

星平会海 占術融合法 奥義口伝

四柱推命・占星学（ホロスコープ）編

はじめに

本書は、フォーチュンソフト社の「星平会海 象意伝 DVDビデオ講座」、「星平会海 人物事例集 DVDビデオ講座」、「四柱推命 養命・芸海法 DVDビデオ講座」の二十時間以上にわたるDVD講座をまとめたものです。

内容は、最もレベルが高いと言われる統合運命学である「星平会海」を使った鑑定技法について解説した本であり、本邦初の内容です。プロの鑑定士でさえ、四柱推命と占星学を統合して実際の鑑定を行える人は、全体の一パーセントもないのが現実です。なぜ習得できる人が少ないのかといえば、決まりきった融通の利かない理屈や理論や方程式では、統合ができないからです。

統合には「気」つまり、「インスピレーション」が必要ですが、古典的な運命学の理論から脱出しないと、人が本来持っている、気とかインスピレーションは、働けないのです。本

書は、決まりきった理論や方程式を脱出して、四柱推命と占星学を融合させるために深い象意を徹底して解説することに心血を注ぎました。

具体的には、十干と十二支、十二星座と十惑星、たった、これだけの象意を習得すれば何億通りもの鑑定が瞬時に可能になるはずなのです。

最後に、本書の内容は出版前にフォーチュンソフト社に確認しており、間違いがないことを保証いたします。

読者の皆様へ

フォーチュンソフト社 天野雲海代表よりメッセージ

■星平会海は、人生のシナリオを創作する運命学である

星平会海という運命学について記載された書籍は日本ではこれまでありませんでした。なぜなのでしょう？

星平会海とは、四柱推命と占星学を統合して象意を融合させて診断するという技法なのですが、その融合という作業には決まりきった方程式や理論はないからです。

理論の本を作るのは、とても容易です。机上でいくらでも発明できますし、実際の人物を観察して検証する必要もないからです。

しかし、象意を融合させるという作業は、人の人生のシナリオを創造していくというシナリオライターのような創作活動なのでその内容を活字にすることはとても困難なわけです。

星平会海という統合運命学を使って人の人生のシナリオを創作していく作業は、その人の個性にあった人生劇を創造していく作業です。創作の基本になるのが、星の象意です。四柱推命の十干と十二支。占星学の星座と惑星。これを徹底して奥深く理解しないと星平会海は、習得できません。どんなに、理論をやっても、星平会海は習得できません。

本書に理論がないのは、そういう理由です。理論を求めている間は、星平会海は習得できないでしょう。では、どういう段階になったら星の象意を習得したと言えるのか、目安を示しておきます。

自分の命式の日干が、「丙」だったとします。「丙」について解説してみてください。二十分間、連続して、次々と「丙」らしい、言動、言葉使い、行動様式などを、「丙」の実際の

人物を思い出しながら語ることができれば合格です。

自分の占星学の支配惑星が、「金星」だったとします。「金星」について解説してみてください。二十分間、連続して、次々と「金星」らしい、言葉、言葉使い、行動様式などを、「金星」の実際の人物を思い出しながら語ることができれば合格です。

自分の占星学の支配星座が、「おうし座」だったとします。「おうし座」について解説してみてください。二十分間、連続して、次々と「おうし座」らしい、言動、言葉使い、行動様式などを、「おうし座」の実際の人物を思い出しながら語ることができれば合格です。

この段階になった人は、フォーチュンソフト社が指導員として認定いたします。当社のすべての商品を仕入れて、販売することが出来る権利を得ることが出来ます。ビジネスパートナーとなつていただけます。つまり、当社よりも下とか上ということではなく、当社と同じ位置に立っていただき、古い業界全体の改革と発展のためにビジネスをしていただけます。当社と同等の位置ですから、アドバイスなどもいたしません。

当社が古い業界の誰からも指導もされず、アドバイスも受けていないように、パートナーになった人は、完全に自立していただきます。ビジネスのやり方には、まったく関与しませんので、自由におやりください。

最後に、繰り返しになりますが、象意を融合させるためのテキストが本書です。そして、象意を融合させることができる人は、プロの鑑定士でもパーセントもないのが現実です。

占いソフト専門（有）フォーチュンソフト

〒〇八一・〇三四一 北海道河東郡鹿追町瓜幕西三十三線二十番地八

目次

はじめに

2

フォーチュンソフト社 天野雲海代表よりメッセージ 4

第一章 古典理論の限界と星平会海 31

■ 「星平会海」をマスターするための方法 32

■ 占いマニアで開運してない人の特徴 32

■ 四柱推命の吉凶が判定される仕組み 33

第二章 融合鑑定法 四柱推命概要 45

- 天干と地支が何を表しているか？ 38
- 古典的な解釈が生身の人間鑑定に使えない事実 39
- 古典理論の「貴賤」が使えない事例 40
- 一般的な古典理論のレベルを解説する 41
- 理屈では「ヒト」を理解できない 43

- 実際に使える四柱推命の鑑定法とは？ 46
- 古典を越える十干解釈の基本キーワード 47

第三章 四柱推命象意の詳細解説53

- 象意による命式の解釈・ある馬の調教師の場合 48
- 象意による命式の解釈・天野雲海氏の場合 50
- 象意による命式の解釈・星平会海スクール紅竜さんの場合 51
- 象意による命式の解釈・ある自己破産した人の場合 52
- インスピレーション鑑定術「十干と十干との結婚」を使いこなす 54
- 甲（きのえ）の象意 54
- 乙（きのと）の象意 60

■ 丙 (ひのえ) の象意	66
■ 丁 (ひのと) の象意	72
■ 戊 (つちのえ) の象意	78
■ 己 (つちのと) の象意	84
■ 庚 (かのえ) の象意	90
■ 辛 (かのと) の象意	96
■ 壬 (みずのえ) の象意	102
■ 癸 (みずのと) の象意	108

第四章 融合鑑定法ホロスコープ解説

135

- 運命学の “一線” “二線” “三線” 136
- 「占星術」が第一線に位置する理由とは？ 136
- 十二運星、月支元命もみない鑑定法 138
- 干支をしっかりとマスターするだけで一万通り以上の命式が読めるようになる 139
- 天干と日支の具体的な解釈例 139
- ホロスコープを構成する基本について 141
- 「支配惑星」「支配星座」のみつげ方 142
- “星座と惑星の結婚”でホロスコープを読むとは？ 143
- インスピレーションでホロスコープを解読する方法 145

■ 十二星座の基本キーワード	145
■ 各惑星の基本キーワード	147
■ おひつじ座と各惑星の作用	148
■ おうし座と各惑星の作用	154
■ ふたご座と各惑星の作用	158
■ かに座と各惑星の作用	164
■ しし座と各惑星の作用	168
■ おとめ座と各惑星の作用	174
■ てんびん座と各惑星の作用	180
■ さそり座と各惑星の作用	186
■ いて座と各惑星の作用	192
■ やぎ座と各惑星の作用	198

第五章 惑星の結婚とアスペクト 239

- みずがめ座と各惑星の作用 204
- うお座と各惑星の作用 208
- 「惑星と惑星の結婚」と「アスペクト」の見方を解説 240
- 「アスペクト」とは惑星の組み合わせ 240
- 月と各惑星の組み合わせ 242
- 太陽と各惑星の組み合わせ 249
- 火星と各惑星の組み合わせ 250

- 木星と各惑星の組み合わせ。
- 土星と各惑星の組み合わせ。
- 天王星と各惑星の組み合わせ
- 海王星と各惑星の組み合わせ。
- アスペクトの種類と解釈の違い 255
- 太陽と各天体とのアスペクト別解釈 254
- 月と各天体との各アスペクト別解釈 253
- 水星と各天体とのアスペクト別解釈 252
- 金星と各天体とのアスペクト別解釈 251
- 火星と各天体とのアスペクト別解釈
- 木星と各天体とのアスペクト別解釈
- 土星と各天体とのアスペクト別解釈

285 282 279 275 270 265 260

- 天王星と各天体とのアスペクト別解釈
- 海王星と各天体とのアスペクト別解釈

288287

第六章 四柱と占星学の融合まとめ

313

- まとめホロスコープと命式をどうみていくのか？ 314
- 惑星が活動する分野の見方 315
- ホロスコープと四柱推命を合わせる具体的事例 316
- ホロスコープと四柱推命の融合鑑定事例・紅竜さんの場合 317
- 占星学（ホロスコープ）と四柱推命の融合鑑定の練習 319

■ 占星学と四柱推命の融合の練習【月】	326
■ 占星学と四柱推命の融合の練習【水星】	325
■ 占星学と四柱推命の融合の練習【金星】	325
■ 占星学と四柱推命の癒合の練習【太陽】	324
■ 占星学と四柱推命の融合の練習【火星】	324
■ 占星学と四柱推命の融合の練習【木星】	323
■ 占星学と四柱推命の融合の練習【土星】	323
■ 占星学と四柱推命の融合の練習【天王星】	322
■ 占星学と四柱推命の融合の練習【海王星】	322
■ 占星学と四柱推命の融合の練習【冥王星】	319
■ 星座を惑星とリンクさせて理解する方法	
■ 十二支の覚え方	331

■ 「星平会海」を使いこなすために最も必要なこと

332

■ 使わなくてもいい理論とは？

■ 星座と十干の組み合わせの相性

336334

第七章 星平会海 融合鑑定事例集

343

事例① 自己破産した優秀なプログラマー

344

■ 四柱推命では吉運の時期に自己破産

■ 三十代後半にヘッドハンティングで転職

346344

■頭金0円でローンを組み四千万円の住宅を購入	
■給料が下がり続け、ついにリストラされる	349
■新しいことに挑戦しない理由	350
■占いの「当たる」「当たらない」の混乱と罠	356
■星の作用を曲げてしまう「存在」の歪み	356
■成功する人と自己破産する人の違い	357
■鑑定時のヒアリングで集中するポイント	359

事例② 自己破産同然の靈感マツサージ 360

■自己破産や生活保護を受給している人達の共通点とは？	360
■幼少期に母親への強い恨みを抱く	364

■彼の行動は命式やホロスコープのどこに現れているのか？	364
■靈感マッサージの手法について解説	367
■ビジネスセミナーに参加することが気持ちいい感性	368
■劣等感と傲慢は全く同じエネルギー	369
■靈感体質とはエーテル体が破れているだけ	370
■ネットワークビジネスの根底にあるもの	371
■宗教団体の教祖に噛みつき、取り押さえられる	372
■靈感マッサージ師の人生を占いで検証	373
事例③ 叔父が国会議員の借金プログラマー	378
■叔父が有力政治家という影響を受けた人生	378

■大運官星の時期にローンが払えなくなる 380

■「いいカッコしたい」という人目を気にする思いが、歪みの原因 386

■星の作用は生まれ育った環境の影響に負ける 387

■成功する人は生まれ育ちの環境を脱皮している 388

■本当の「因縁切り」について解説する 388

事例④ 自己破産した老舗旅館の息子 390

■金持ちの坊ちゃんとして育つ 390

■「ジャガー以外は車ではない」という金銭感覚 392

■吉運のときに破産するという現実 395

■大損したお客から追われる日々 396

■ 占いを総合的に使うときの注意点 399

■ 「親の縛りから脱出しているか？」を把握する 400

■ 「貧乏の縛りから脱出しているか？」を把握する 401

事例⑤ 世界一周した四国の学習塾経営者

402

■ 文部省のマニユアル教師生活に矛盾を感じる 402

■ 世界一周のときの友達が塾に訪れる 403

■ 金銭面が厳しいと確信したシーン 404

■ 貧乏でも幸せな一杯な生活 405

■ 家財道具が少ないジプシーのような暮らしぶり

■ 命式やホロスコープの前に実際の人をよく見る 412410

事例⑥ 半年で倒産した経営コンサルタント 414

- 口八丁で物販する技術を身につける 414
- 幼少期にお寺に養子に出される原体験 415
- 同情心を引き出すエピソード①「私はインポ」 416
- 同情心を引き出すエピソード②「僕の宝物」 416
- 経営コンサルタントとしての具体的手法 418
- 人の同情を引いてお金を引き出す例 421
- 日干「丙」なのに、なぜ依頼心が強いのか？ 427
- 命式は良いのに人生が不幸な理由 427

事例⑦ 脱サラした乗用馬専門のプロ調教師 430

- 日本で二、三人のプロの成功事例 430
- 飛行機に乗って北海道の乗馬クラブへ通う理由 431
- マンション販売の営業マンから脱サラ 431
- 馬の飼育開始後、わずか二年で競技大会で勝利 433
- 乗馬クラブのオーナー兼調教師として成功 433
- 日干と月干の「丙丙」の並びについて解説 435
- 「存在自体」が無色透明の場合、星の良さが素直に現れる 443
- 星の作用がねじまがってしまいう人の見分け方 444

事例⑧ 住居用ログハウス日本一の社長 446

事例⑨ 世界選手権出場の馬術界の異端児

464

- 「つき合う友達を選ぶ」という成功法則とは？ 447
- 安定した企業の内容は大変化している 448
- 「安定している」にまどわされると失敗する 449
- 不安と恐怖に反応するのは未熟な証拠 451
- 実際に人を見るときの実例 452
- 乙を使い切ると庚的な環境がやってくる 457
- 幸せな人生になるためのエネルギーの使い方 460
- 日本の馬術業界の常識とは 465
- 「環境に支配されない脳」が現状を突破する 466

■馬の訓練の人手不足を克服するアイデアとは 467

■世界選手権を目指す目標設定と動機 470

■「もしこれをやったらどうなるんですか？」という思考を解説 472

■ポジティブな反応の絶対条件 472

■成功者は環境に支配されず運命に支配される 478

事例⑩ 人生が転換したカリスマ歯科医師

480

■業界を革命する新システムを開発 480

■人生の前半はコンプレックスを抱える

■交通事故で奥さんが意識不明になる

■交通事故を通じて人生への反応が変化

485 482 481

事例⑪ 「^{だま}騙された」が続くデザイナー社長 492

- 四柱推命の陰陽実虚を使う鑑定法 492
- 親子関係の「しこり」が見えてくる 495
- 突然心拍数上がり救急車で運ばれる生活 497
- 高級ドイツ車など高級品に囲まれる生活 498
- 「女性は上品あるべきだ」というブログ記事を解説する 501
- 「人生哲学の先生としてのコメント」のブログ記事を解説する 502
- 具体的なビジネスを通して星の発動情况进行検証する 506
- 税務調査にどう反応したか？ 506
- 愛人とのトラブルにどう反応したか？ 508
- 下請け業者からの訴訟にどう反応したか？ 508

第八章 開運の法則と反応システム

519

- 社員の育成にどう反応したか？ 510509
- 自分の性欲にどう反応したか？ 510509
- 関西で起きた「いじめ事件」にどう反応したか？ 510
- 子供のいじめ問題は親の問題 512
- 幸せになろうと「占い」を学んだのになぜ不幸になる？ 520
- バフェット氏と斉藤一人さんの開運法則を解説 520
- ウォーレン・バフェットの教え 522
- バフェットの言う一番の才能とは？ 524

■ バフェット流「金持ちになれない人」	525
■ 日航機事故を分析した有名な易者	528
■ バフェット流「金持ちになる人」	528
■ 斉藤一人さんの教え	530
■ 人生に困ったことは起こらない	531
■ 「努力すれば成功する」の嘘	533
■ バブルが潰された理由とホリエモン	534
■ 各人の反応システムが開運の鍵	536
■ 人生が失敗する人は不安と恐怖の反応システム	539
■ ポジ型の反応システムを解説する	540
■ ネガ型の反応システムを解説する	543
おわりに	546

第一章 古典理論の限界と星平会海

■「星平会海」をマスターするための方法

『星平会海』という占いをマスターするには、二通りの方法があります。

一つが「理屈」や「暗記」を使ってマスターする方法です。

もう一つが「象意」からマスターする方法です。

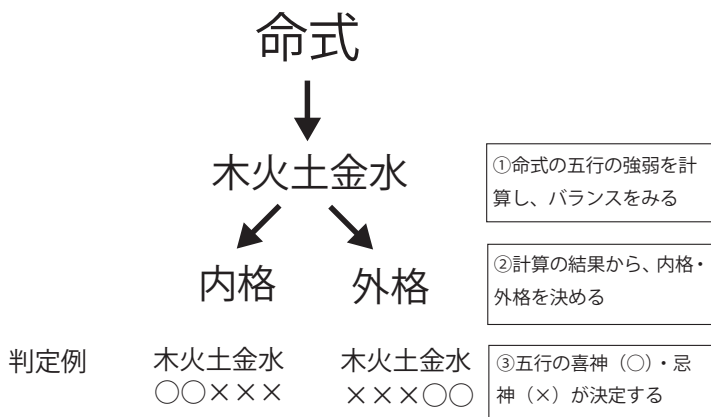
そして、本屋で市販されているような一般の占いや運命学の本は、ほとんどが理屈の本です。また「プロの占い師」といわれる人達でも、ほとんどが理屈を中心にしたレベルの鑑定から脱出できていません。

ところが実際に、占いを使って「人の開運」に本気で取り組もうとすると、象意を中心にした鑑定ができなければ、占いは使い物になりません。誰でも必ず「古典的な理屈が使える」という壁にぶち当たるのです。

■占うマニアで開運してない人の特徴

私（天野氏）は「占いの理屈は沢山知っているが、実際の生活は開運してない」という人を山ほどみてきました。そして、そういう人達には共通点があります。彼らに、占いや運命

各局用神法（概要）



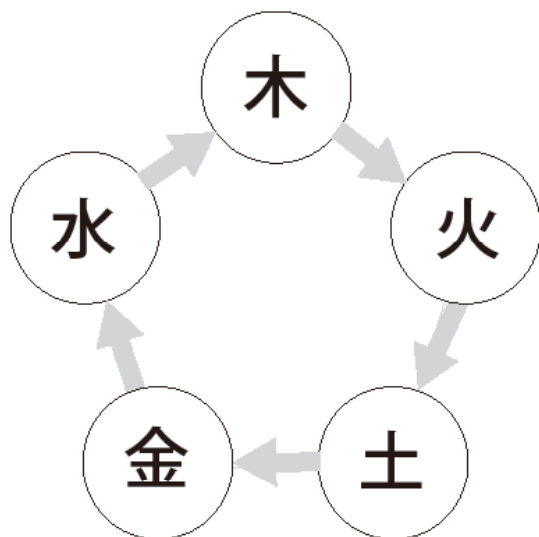
学の理屈をしゃべらせると何時間でもしゃべり続けるのですが、その会話の中に具体的な象意がほとんど出てこないのです。そういう特徴があります。

例えば四柱推命の場合、理屈の最たるものが“格局”や“用神・体神”といわれるものです。この技法は総称して“格局用神法”と呼ばれます。

■四柱推命の吉凶が判定される仕組み

これがどういうものか、簡単に説明します。

四柱推命の場合、まず命式を出して、その次に命式を構成する五行の強弱を出します。そしてバランスがとれた命式なのか、バランスがとれない命式（バランスを諦めた）なのかを判定



五行の相生関係、矢印の先の干が「強められる」。

して「格」を分類していきます。

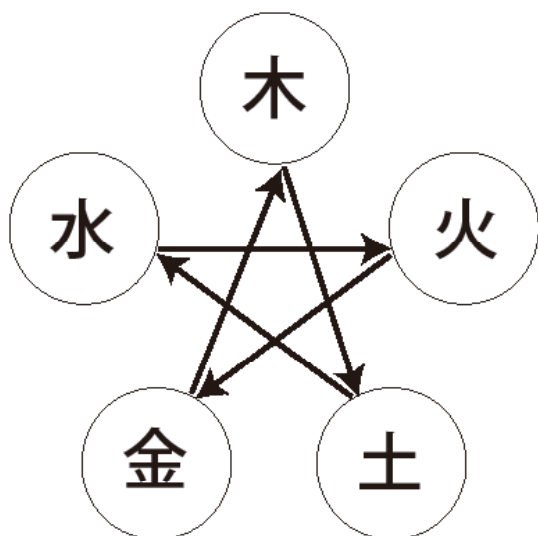
命式のバランスがいい場合は、そのまま命式の五行の均衡を保つことをよしとします。

これが「内格」です。

一方バランスが悪いので、五行の均衡を取るのは無視しようという考え方があります。これが「外格」です。

■五行の相生・相剋と吉凶の関係とは？

そして内格・外格の判定が終わった次に、各五行の吉と凶を分けていきます。具体的には五行の木火土金水のうち、どれが命式にとって良いもので、どれが悪いものかを分けていくのです。そして、それぞれに○×をつけて



五行の相剋関係、矢印の先の干が「弱められる」。

吉凶を決定します。

例えば、ある命式を分析した結果「外格」と判定されたとします。「外格」とはバランスが片寄ることを「よし」とする命式です。

そしてその外格が、例えば、五行の水が最も強かったとすると、水行を強める相剋関係を「よし」として、その後の判定をすすめます。

さらに水行が最も強い外格の場合、五行のうち、まず水が○と判定されます。続いて金も○となります。「金が水を生じる」という金生水の理屈からです。

そして残り三行（木水火）は水を弱めるといふ理屈から×となります。その理由としては、木の場合「水生木」という五行理論が根拠となります。水が木を生じるので、水のエ

ネルギーが減ってしまうため×です。

火の場合、火を消すために水が弱まるということでも×です。これは「水剋火」の理屈です。土の場合「土剋水」の理屈から、土が水の力を弱めるので、やはり×となります。各五行の吉凶はこのような仕組みで判定されるのです。

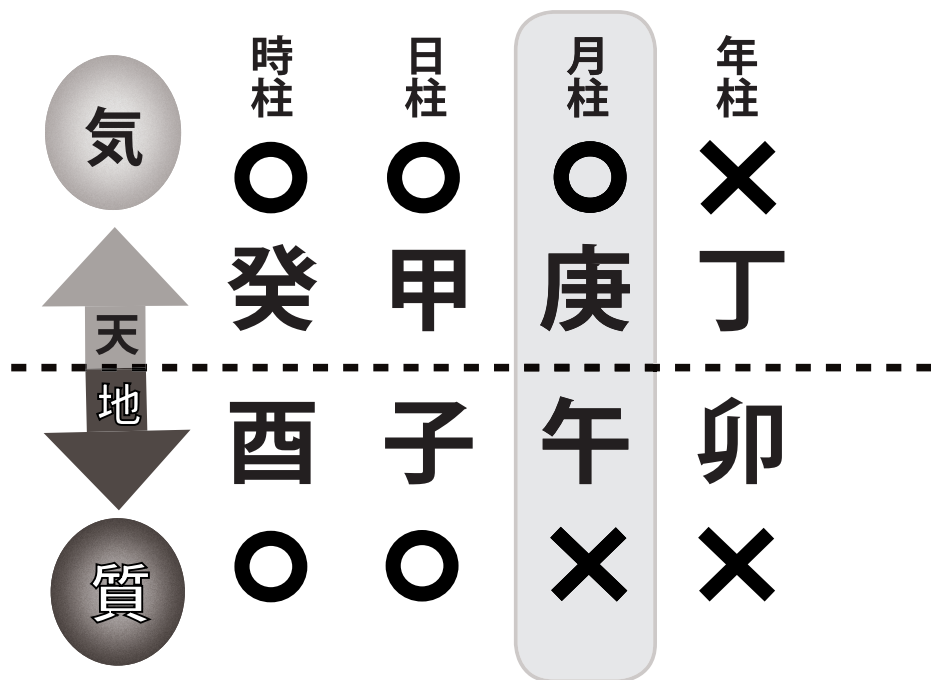
さらに、命式の五行の○×（≡吉凶）を決めた後に、大運や年運に対しても十年や一年単位の吉凶を決定していきます。もっと細かくやろうとすれば、月運や日運といった、より細かい運勢にまで○×を決めることができます。

例えば五行の水が最も強い場合、庚辛の運が回ってくると○となり吉です。同じく、壬癸の運が回ってくると○で吉です。残りの甲乙丙丁戊己の運回りは×になり凶となります。これが格局用神法を使った、四柱推命の未来予知の概要です。大運、年運、月運、日運の全ての吉凶がこの理屈の延長線上で判定されます。

■命式の吉凶が決定される仕組み

次に命式自体の吉凶について簡単に説明します。

月柱は職場運・家庭運をあらわす



四柱推命の命式は日柱、月柱、年柱、時柱によって構成されていますので、五行の水が最も強い場合は、結局、水が○、木が○、金が○、火が×となります。例えば次の命式(上図参照)があつたとすると、このように各柱ごとに○×がつけられます。地支も同じように日柱から金、水、火、木と並んでいる場合、金○、水○、火×、木×となります。そして柱ごとの解釈ですが、もし月柱が○の場合、これは職場をあらわす部分なので、職場運や家庭運がいいですよ、という判定になるのです。

■天干と地支が何を表しているか？

また四柱推命では天干と地支を分けて「天が気を表し、地が質を表す」というのですが、この理屈に従うと、さらに月柱を細かく説明することができます。そうすると「天から見ても、または周りから見て職場運・家庭運がいい」という解釈となります。心の部分に幸せがもたらされるといふことです。

また年柱が〇の場合、「大きな社会運や先祖の運がいい」という判断になります。同じように先ほどの理論を使うと、特に「天から見ても、または周りから見て成功する」という判定になります。

地支は幸禍面をみますから、質をあらわします。幸せか？不幸か？です。他人からの評価ではありません。例えば、具体的に儲かるとか、儲からないをみていきます。物質運があるかどうかをみるのです。

そして日柱の地支は配偶者運をあらわします。ここが〇の場合、「配偶者に恵まれる」とするのが一般的な鑑定です。

■内格と外格の吉凶が反対になる理由とは？

内格の場合も同様で、命式の木火土金水の各五行に○×をつけていきます。例えば、もし水が強い場合、バランスをとる基準が水行となるため、強い水を抑えるようにしていきます。そのため強い水をますます強くする五行を×(凶)とします。

その結果、○×が先ほどの外格と逆になるので、金水が凶と判定されます。残りの木火土が吉運となります。となると、先ほどの外格と五行の判定が全く逆になるわけです。行運の判定も同様に逆になります。

これが「格局用神法」といわれる考え方で、運命学理屈の最たるものですが、今回はこういう理屈的なものは一切やりません。理屈を学びたい人はフォーチュンソフト社の『運命学大全』という別の書籍に全て書いてありますので、そちらを見て下さい。

■古典的な解釈が生身の人間鑑定に使えない事実

今回は、象意を中心に解説していきますので、古典的な意味の象意は一旦全部忘れて下さい。古典的な象意というのは、例えば、甲といえば、「大樹」、乙といえば「草花」のことで

すが、このように十干を自然現象に当てはめるのはタブーです。実際の生きている人間には使えないからです。象意という面では使えません。

例えば、甲の横に丁がある命式を、四柱推命の古典では「木火通明」といつて良い傷官とありますが、こういう解説は今回はやりません。「大樹が燃えて火になるから、いい傷官だ」というような教科書的な解釈はやらないということです。というのも、実際の人物と照らし合わせて、この干の並び人を見てみると、いい人もいれば悪い人もいるからです。いい人生を送っている人もいれば、不幸続きの人生を送っている人もいるのです。「木火通明だから単純にいい人だ」なんてことは、実際は無いのです。いい場合もあるし、悪い場合もあるというのが現実です。

■古典理論の「貴賤」が使えない事例

また四柱推命ではよく「貴賤」ということもいわれますが、これもいいません。例えば己の横に丙がある場合、田んぼを太陽がサンサンと照らしている状態を表し、「大地普照」といわれています。これが四柱推命では「貴の命式」とされているのです。さらに、その奥に

甲などが並ぶと、いつそう美しい命式となり「悪いことを考えない、清らかな命式」といわれています。

ところが、これも実際の人物と照らし合わせると、当たる場合と当たらない場合があるのです。この命式の持ち主で人をだまし、詐欺をやって自己破産した人もいます。古典的な内容とは、当たる場合もありますし、当たらない場合もあるというのが現実なのです。ですから今回は、こういう理屈を一切無視して、実際に使える「象意」を中心にした鑑定法に焦点を合わせていきたいと思えます。

■一般的な古典理論のレベルを解説する

結局、古典的な理論の最終目的は何かというと、「吉と凶と二つに分けなければいけない」という発想です。非常に幼稚なキリスト教的な二分思考と同じ考え方が根底にあるのです。西洋的な幼い思考によく似ています。そういう二分思考に基づいた思考なのです。「吉か凶かをはっきり知りたい」という理論です。

ところが実際の世の中には、完全な×、完全な○というものは存在しません。全てがごちゃ

ごちゃと融合しているのが現実の姿です。そもそも宇宙の姿がそうなのです。“吉と凶”を別の言葉で言い直すと、“陰と陽”と置き換えられますので、実際の世界とは陰と陽が融合している状態ともいえるのです。

例えば、男性の中にも女性ホルモンが流れていますし、反対に女性の中にも男性ホルモンが流れています。男性と女性が結合すれば陰と陽が融合します。男性の中にも“おかまちゃん”のような人もいますし、女性にも“おなべさん”のように男性的な人もいます。陰と陽がごちゃつと混ざっている状態が宇宙の実際の姿なのです。ですから占いも「あなたは吉です。あなたは凶です」のように単純に二つに分けられるものではありません。

■キリスト教的二分思考の成熟度

もともと「何でも二つに分ける」という考え方は、西洋のキリスト教的な発想と同じで、何でも“罪”と“正義”の二つに分ける理屈です。実は、これは幼いレベルの発想なのです。

聖書の最初の部分を読むと、『全ての人は罪を背負って生まれてきている』と書いてあります。そして罪を背負ってないのはイエス・キリストだけだということです。ここから「俺は

正義、あいつは悪」というキリスト教原理が発生しているのですが、これが行き過ぎると、ブッシュ大統領時代のアメリカのように「アメリカが正義だ。アメリカを非難する国は悪だ。北朝鮮は悪だ。イランは悪だ。ベネズエラは悪だ。悪の国はやつつけてしまえ」という極端な発想になってしまいます。これが成熟した発想といえるのでしょうか？

ところが東洋人や我々日本人はそうではありません。本来「陰と陽がいつも融合しているのが当たり前」と発想するように育まれている民族です。ですから占いも、西洋的に単純に二つに分ける幼い発想はもうやめましょうということなのです。

■理屈では「ヒト」を理解できない

まとめると、古典的な十干を自然現象に置き換える発想（甲は木、乙は草花、丙は太陽、丁は人工の火、戊は岩石、己は田んぼの土、庚は鉄、辛は貴金属、寶石、壬は大きな河や海、癸は雨の水）は一切発想はやめましょうということです。今回は、十干を人間の性質で表現します。そして貴賤についてもいいません。五行の強弱もいいません。理屈が好き人にはシヨックかもしれませんが、理屈では、矛盾に満ちている「ヒト」という存在は分からない

のです。

理屈で分かるような気になるのは、生きている「ヒト」をバラバラに分解して、そのパーツだけを分析しているからです。「ヒト」をバラバラにしても「ヒト」は分かりません。

第二章 融合鑑定法 四柱推命概要

■実際に使える四柱推命の鑑定法とは？

これから解説する「象意を使った鑑定法」では、通常の占い教科書に載っているような十パターンの通変星は、意味が無いのでやりません。ですから比肩、劫財、食神、傷官、偏官、正官、偏印、印綬、こういう通変星一つ一つについての解説は今回はやりません。それをやらなくても、今から説明する内容をマスターすると、実際に使える鑑定が自然とできるようになるのです。

結局、四柱推命の命式は縦の方向は天干と地支により天と地に別れ、横方向には時・日・月・年の四つの柱からできています。そして、この四つの柱の干の組み合わせが何個あるかと言うと、 $10 \times 10 \times 10 \times 10$ と一万パターンあるわけです。また命式の地の部分には十二支があるわけです。十二支には結局、それぞれに蔵干があり、その中に十干があるわけです。ですから四柱推命は干と支で構成されていますが、分解すると、基本は十干の組み合わせということになります。

これから十干それぞれを解説していきますが、今から説明することをしつかり読んでいくと、変通星や十二支の一つ一つを覚えなくても、イメージで命式が分かるようになります。そ

ことを目標にして解説していきます。理屈ではなくインスピレーションです。はつきりいいますと、インスピレーションが使えるようにならないと、鑑定はできません。

それではインスピレーションを使いこなすために必要なものについて説明していきます。

■古典を越える十干解釈の基本キーワード

通変星とは、星と星との結婚です。十干と十干の結婚です。結合です。このことを頭に置いてから基本パターンを見ていきます。十干の甲乙丙丁戊己庚辛壬癸それぞれのキーワードを紹介します。

甲は “言葉による思考” です。

乙は “和合と協調の思考” です。

丙は “強い集中力” です。

丁は “正義感・善なるもの” です。

戊は “信頼されたい” 欲求です。

己は“愛されたい”欲求です。

庚は“マネーの損得勘定”です。ただし実際は、損得勘定がずるい思考パターンに陥ると自己破産するパターンに陥りやすくなります。

辛は“精神の損得勘定”であり“繊細な神経”です。スポーツをやってもスピリチュアル的になります。アートの的です。

壬は“真つ向勝負”です。勝ち負けです。

癸は“変化球勝負”です。

このように十干は必ず人の性質で覚えます。絶対に自然現象には直しません。

■象意による命式の解釈・ある馬の調教師の場合

事例集（第七章参照）で丙丙辛の横並びの命式を持つ、日本でも数人しかいない乗場用の馬の調教師の話をしませんが、この命式は古典の貴賤では“賤”とされ、卑しいといわれる命式です。

各十干のキーワード

甲	言葉による思考、
乙	和合と協調の思考、
丙	強い集中力、
丁	正義感・善なるもの、
戊	信頼されたい、
己	愛されたい、
庚	マネーの損得勘定、
辛	精神の損得勘定、・繊細な神経、
壬	真っ向勝負、
癸	変化球勝負、

その理由として、この十干の並び丙・丙は、空に太陽が二つある様子を表しているとき、ゆえに「両夫あり」といって、家に夫が二人いる状態だともいいます。国に置き換えると「両君あり」といって君主が二人いる状態の命式な

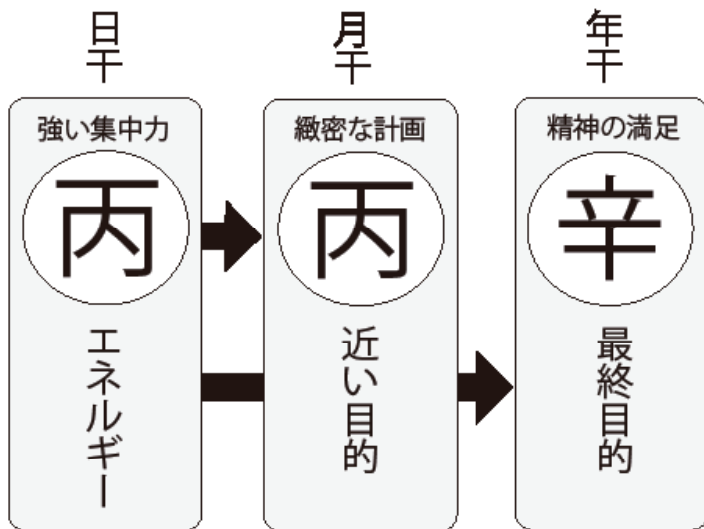
のです。だからよくないというのです。

しかしこの調教師の人生をみると「賤」ではありません。非常にいいのです。貴の人生です。ですからこの場合、丙の並びを「強い集中力」「緻密な計画力」とみるのです。

日柱が強い集中力です。その横の月柱を緻密な計画力、さらに、その横の年柱に精神の満足、とこんな感じでパツとみます。緻密な計画を求めて、強く集中がしたい、月柱を目的とみます。「身近な目的」と思っています。年柱は「最後に成るもの」です。日柱は「自身のエネルギー」です。ですからこの場合、『馬を緻密に計画通り調教したい（月柱・身近な目的）、そして自身も強く集中する（日柱・エネルギー）』となるのです。そして最終的に成るものが精神の満足（年柱・最終目的）となります。

■象意による命式の解釈・天野雲海氏の場合

私自身（天野氏）の命式は、日柱から壬丙己の横並びです。ですから「強く集中したい」そのために自分は「真つ向勝負する」です。最後になるものは己だから「皆から愛されたい」となるのです。



丙丙の並びは古典的には「賤」の並びとされるが、
 実際の人物は「貴」の人生を送っている

■象意による命式の解釈・星平会海ス
 クール紅竜さんの場合

星平会海占いスクール代表の紅竜さんの命式は戊壬壬の横並びです。ですから「真つ向勝負をしたい」ゆえに、「信頼されたい」エネルギーを燃焼させる、となります。最後になりたいものが「真つ向勝負をしたい」です。長く紅竜さんのレッスンを受けている人は分かると思うのですが、彼女は意外と真つ向勝負なところがありません。壬なのです。真つ向勝負をするために信頼を大事にす

るのです。ですから真つ向勝負できない人は紅竜さんのことを嫌いになります。

■象意による命式の解釈・ある自己破産した人の場合

次に己甲丙の横並びです。これはある自己破産した人ですが、貴賤でいうと「貴」の命式です。「言葉による思考」をしたいために「皆から愛されたい」環境をつくります。そして最後になるものは「集中力」です。甲が目的で「言葉による思考」つまり、「理屈を言いたいために、皆から愛される環境をつくる」のです。いわゆる、しゃべりたいのです。そして最後になるものは「集中力」です。このように観ていくのが象意による通変星です。

そして通変星とは「十干と十干の結婚」ですから、これから一つ一つ百パターンを解説していきます。

第三章 四柱推命象意の詳細解説

■インスピレーション鑑定術「十干と十干との結婚」を使いこなす

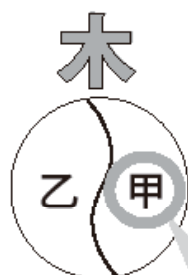
ここから解説する内容では、教科書的な十干にまどわされず、十干を見ただけでイメージが湧き、実際に人の診断ができるレベルを目指していきます。

「比肩だから「独立心がある」とか「劫財だから「やりすぎ」とか「傷官だから「頭がいい」とか「偏財だから「儲かる」とかの幼い理論を卒業して、もつと実際に使える深い推命ができるように説明していきます。

■甲（きのえ）の象意

甲甲 『言葉による思考』を求め、そのために『考える』人です。この甲と甲の並びは、古典では「双木成林でいい」とか「威勢がいい」などといいますが、そうではなく、いわゆる「頭でっかち」な人です。『言葉による思考』をやりたくて、そのために『(言葉で)考える』人なのです。そういうことです。

甲乙 古典では「つる草が大樹にからまってよくない」というのですが、実際は『和合・協



まずは、
これだけ覚えてね！



調・安定という考え』を求めて、『言葉による思考で考える』人です。

甲丙 古典では、〃太陽の上に大樹〃といいますが、これは『強い集中力』を発揮したくて、そのために『言葉で考える』人のことなのです。あるいは『緻密な計画』をするために『言葉で考える』でもいいでしょう。

甲丁 古典では「木火通明」といって〃頭が鋭い〃といわれていますが、これは『善なるものや正義感』を求めて、『言葉で考える』人ということなのです。

甲戊 古典では〃大樹が岩石を割って開墾する〃といいますが、実際は、『信頼されたい』という欲求を満たすために『言葉で考える』人なのです。

甲己 『愛されたい』という思いを満足させるために、『言葉でいろいろ考える』人なのです。

甲庚 古典では〃まさかりで大樹を切つて、木を薪にする〃とありますが、そうではなく『マ



次は、これを
マスターしてね！

甲



ネーの損得勘定』を求めて、『言葉で考える』人なのです。

甲辛 古典では「棍棒粉碎」といって「鏡を大木で割る」並びといいますが、そうではなく、『スピリチュアルな分野や精神の損得勘定・繊細さ』を求めて『言葉で考える』人なのです。

甲壬 古典では「根腐れ」の並びといわれています。「大河の水が木の根を覆って根腐れする」といいます。あるいは「木が水に浮いている」ともいいますが、そうではなく『真つ向勝負をしたい』という思いを燃焼させるために、『言葉で考える』人ということです。

甲癸 『変化球勝負』をしたいために『言葉で考える』人です。古典では「雨の水で木が湿っている」といわれていますが、そうではありません。



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！

実

エネルギー大



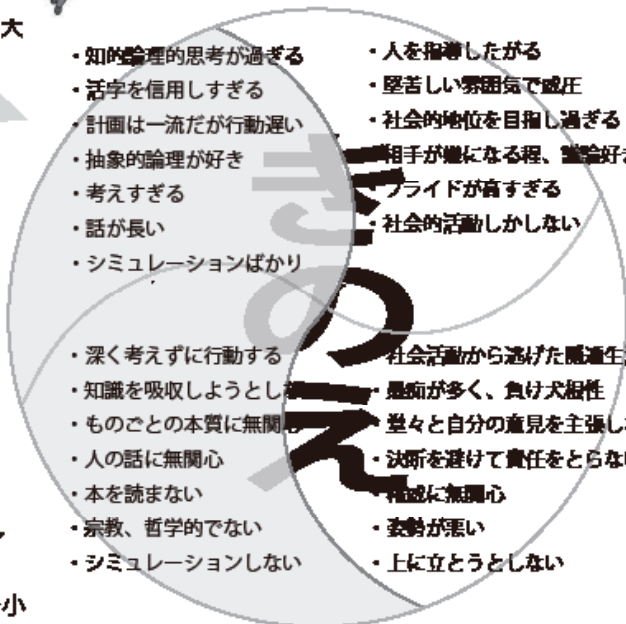
エネルギー小

虚



甲

(陰陽虚実 養命芸海式)



- ・知的論理的思考が過ぎる
- ・活字を信用しすぎる
- ・計画は一流だが行動遅い
- ・抽象的論理が好き
- ・考えすぎる
- ・話が長い
- ・シミュレーションばかり

- ・人を指導したがる
- ・堅苦しい雰囲気で威圧
- ・社会的地位を目指し過ぎる
- ・相手が嫌になる程、論争好き
- ・プライドが高すぎる
- ・社会的活動がしない

- ・深く考えずに行動する
- ・知識を吸収しようとする
- ・ものごとの本質に無関心
- ・人の話に無関心
- ・本を読まない
- ・宗教、哲学的でない
- ・シミュレーションしない

- ・社会活動から逃げた隠遁生活
- ・臆病が多く、負け犬根性
- ・型々と自分の意見を主張しない
- ・決断を避けて責任をとらない
- ・権威に無関心
- ・姿勢が悪い
- ・上に立とうとしない



■乙（きのと）の象意

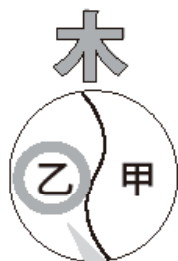
乙甲 『言葉による思考』をしたいがために『和合と協調の考え』をする人ということですが、古典では「つる草が大樹にからまっている状態。どんどん上に伸びていくからいい」といいますが、そうではありません。

乙乙 『和合と協調の思考』をしたいために、『和合と協調の思考で考える』人です。

乙丙 『強い集中力』を発揮したいために、『和合と協調の思考で考える』人で。

乙丁 『正義や善なるもの』を求めて『和合と協調の思考』をする人です。

乙戊 『信頼されたい』がために『和合と強調の思考』をします。



まずは、
これだけ覚えてね！



乙己 『皆から愛されたい』という欲求のために、『和合と強調で考える』人です。

乙庚 『マナーの損得勘定』を求めて、『和合と協調で考える』人です。

乙辛 『精神面の損得勘定』や『繊細なスポーツ(道)』を求めて、『和合と強調の思考』をします。

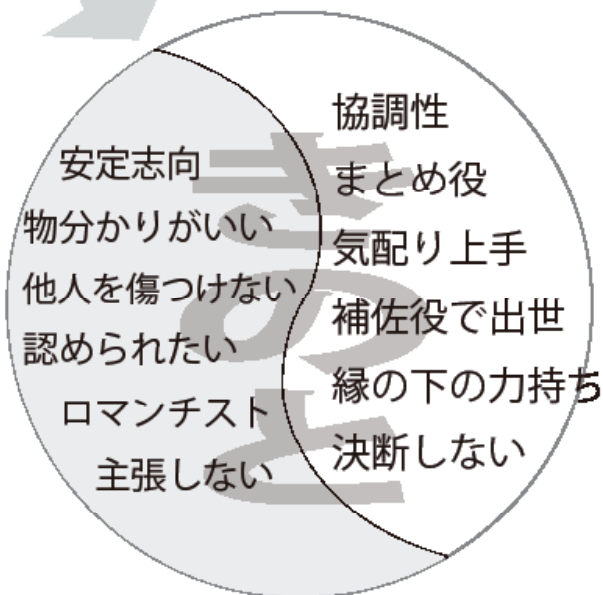
乙壬 『真っ向勝負』をしたいがために、『和合と協調の思考』をしていきます。

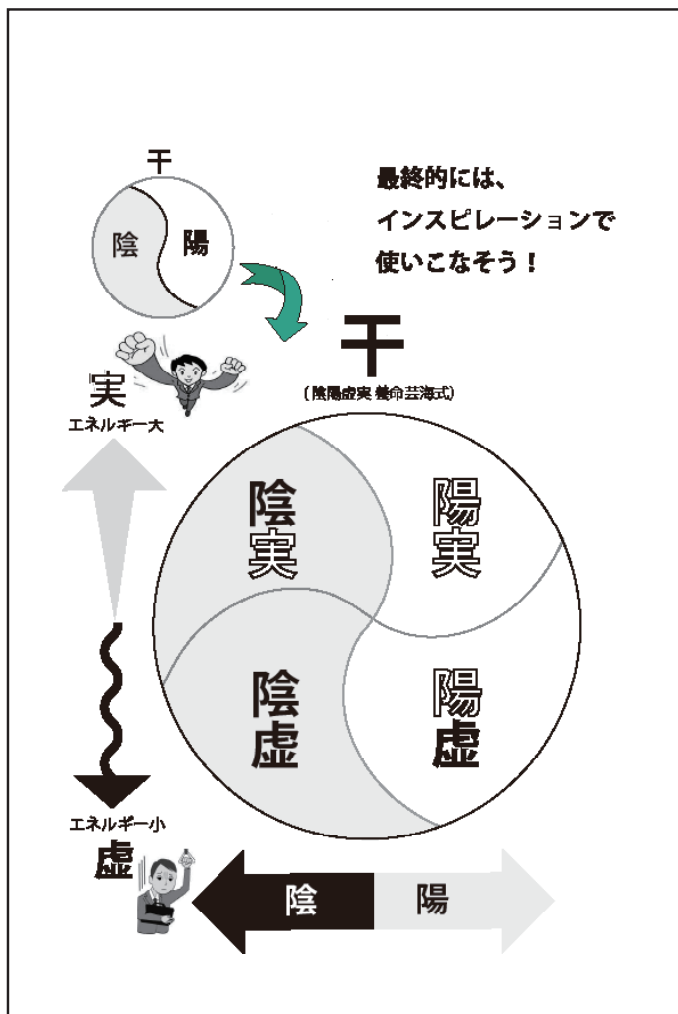
乙癸 『変化球勝負』をしたいがために、『和合と協調の思考』をします。



次は、これを
マスターしてね！

乙





陰陽実虚の位置関係



■丙（ひのえ）の象意

丙甲 『言葉による思考』をしたいがために、『強く集中』していきます。

丙乙 『和合と協調の思考』を求めて、『強く集中』します。

丙丙 『強い集中力』を求めて、そのために『強く集中』します。

丙丁 『正義感・善なるもの』を求めて、そのために『強く集中』します。

丙戊 『信頼されたい』という欲求のために、『強く集中』します。

丙己 『愛されたい』という欲求のために、『強く集中』します。



まずは、
これだけ覚えてね！



丙庚 『マネーの損得勘定』を求めて『強く集中』します。

丙辛 『精神的な損得勘定』や『繊細さ』を求めて『強く集中』します。

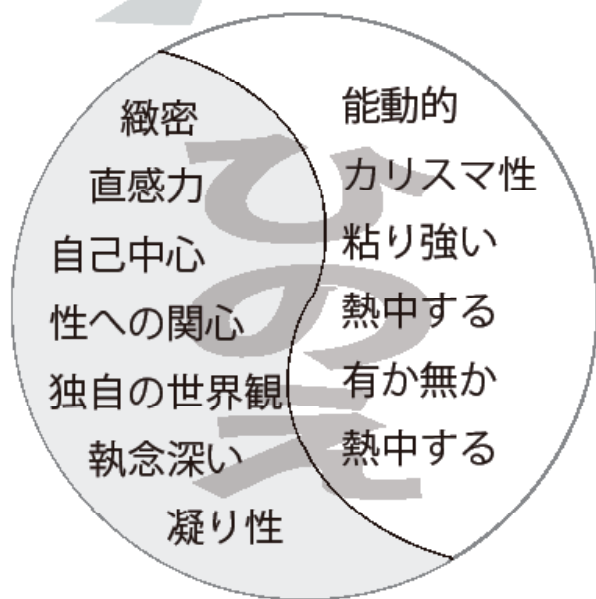
丙壬 『真っ向勝負』を求めて『強く集中』します。

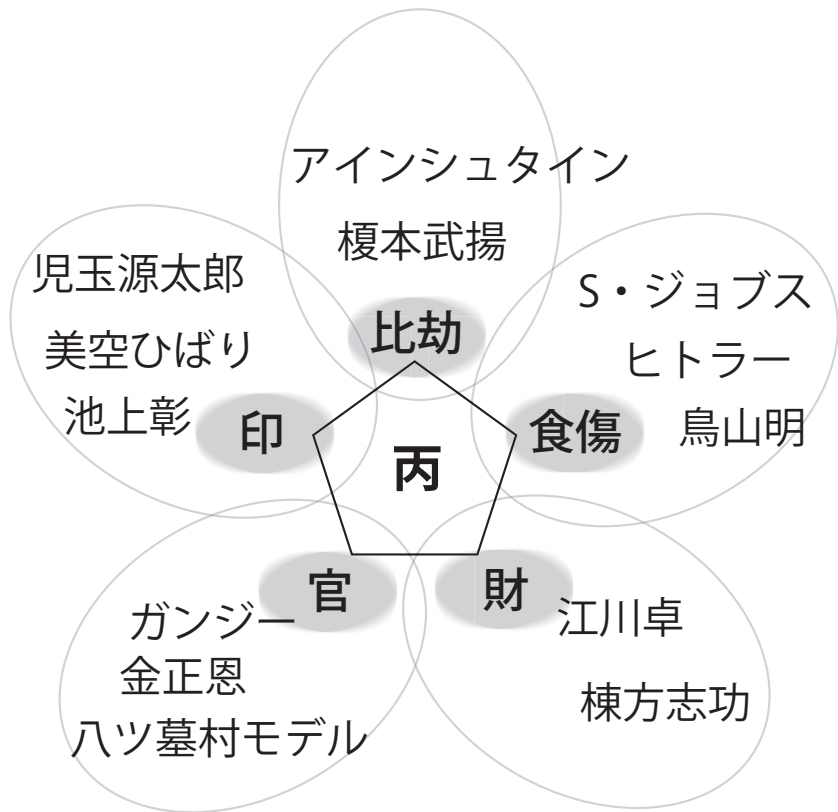
丙癸 『変化球勝負』を求めて『強く集中』します。



次は、これを
マスターしてね！

丙





最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



■ 丁（ひと）の象意

丁甲 『言葉による思考』を求めて、『正義でありたい善でありたい』と想っています。

丁乙 『和合と協調』をしたいために、『正義でありたい善でありたい』と想っています。

丁丙 『強く集中』したいがために、『正義でありたい善でありたい』と想っています。

丁丁 『善なるもの』を求めて、『正義でありたい善でありたい』と想っています。

丁戊 『信頼されたい』という欲求を満たすために、『正義でありたい善でありたい』というエネルギーが動きます。



まずは、
これだけ覚えてね！



丁己 『皆から愛されたい』という欲求を達成するため、『正義でありたい善でありたい』というエネルギーが稼働します。

丁庚 『マネーの損得勘定』のために、『善でありたい、正義でありたい』と動く人です（いいことをして儲けたい）。

丁辛 『精神的な損得勘定』のために、『善でありたい正義でありたい』という人です。

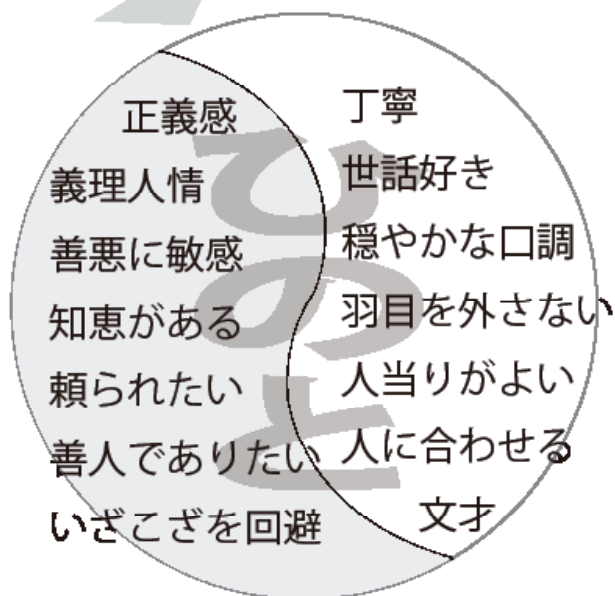
丁壬 『真っ向勝負』をしたいがために、『善でありたい正義でありたい』という人です。

丁癸 『変化球勝負』をしたいがために、『善でありたい正義でありたい』という人です。

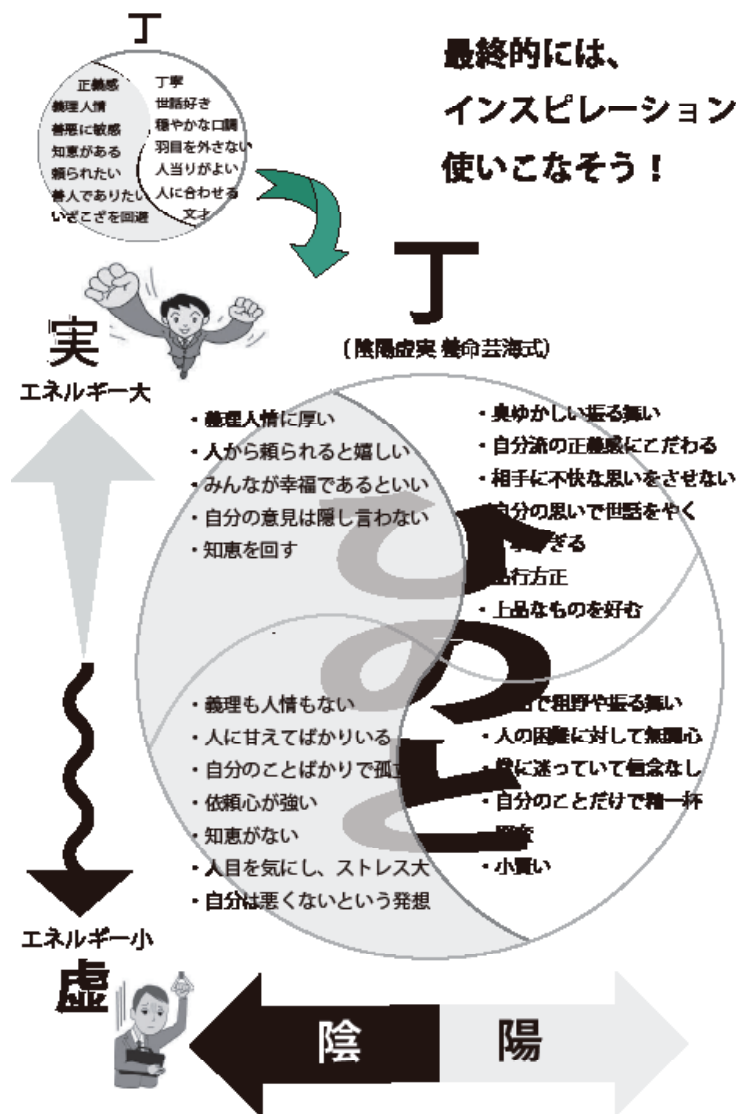


次は、これを
マスターしてね！

丁



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



■ 戊（つちのえ）の象意

戊甲 『言葉による思考』を求めて、『信頼されたい』というエネルギーが動く人です。

戊乙 『和合と協調』を求めて、『信頼されたい』というエネルギーが動く人です。

戊丙 『強い集中力』を求めて、『信頼されたい』というエネルギーが動く人です。

戊丁 『正義感・善なるもの』を求めて、『信頼されたい』というエネルギーが動く人です。

戊戊 『信頼されたい』ために、『信頼されたい』というエネルギーが動く人です（信頼を求めて追求していく）。



まずは、
これだけ覚えてね！



戊己 『愛されたい』という欲求のために、『信頼をまず大事にする』というエネルギーが動く人です。

戊庚 『マナーの損得勘定』という欲求のために、『信頼されたい』というエネルギーが動く人です。

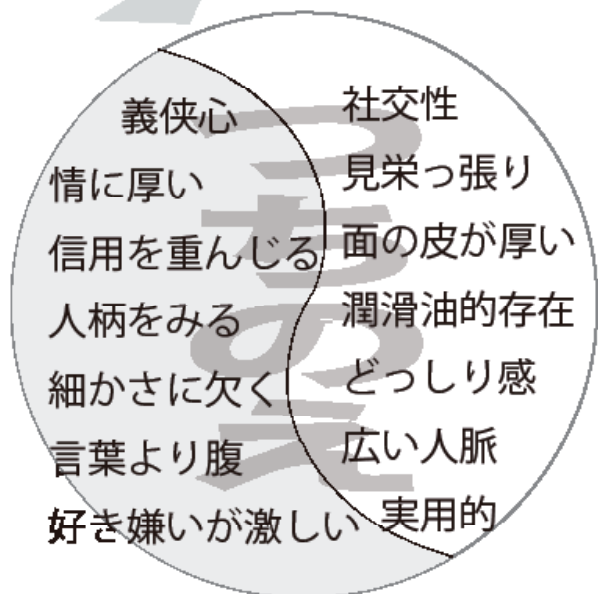
戊辛 『精神的な損得勘定』や『繊細なスポーツや技術』を求めて、『信頼されたい』というエネルギーが動く人です。

戊壬 『真っ向勝負』をしたいがために、まずは『信頼されたい』というエネルギーが動く人です。(この並びについて、古典の解釈では「財を築く」といいますが、壬は『真っ向勝負』の財を表します。真っ向勝負を求めて、まず『信頼を求める』人です。つまり戊壬の財だからと儲かるという単純な発想ではなく、「真っ向勝負の財で、やり方が信頼重視をする人」と解釈するほうが実用的です)



次は、これを
マスターしてね！

戌



戊癸 『変化球勝負』をしたいがために、『信頼されたい』というエネルギーが動く人です。



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



実
エネルギー大

戊

(陰陽虚実 養命芸海式)

-
- ・好きが嫌いで行動
 - ・感情に束縛される
 - ・信用されたい気持ちが強い
 - ・自分の感性を信じている
 - ・頑固
 - ・冷静に現実をみれない
 - ・人が好き
 - ・社交性があり人脈を築く
 - ・感情で人を支配できる
 - ・皮が厚く本音をみせない
 - ・どっしりしているように見える
 - ・調子がいい
 - ・口癖に貪欲
 - ・気がなさすぎる
 - ・人を尊敬・信用しない
 - ・恨みごとばかり言う
 - ・損得だけで人と付き合い
 - ・感情が冷淡で愛に欠ける
 - ・情がない
 - ・孤立していく
 - ・社交性がなく粗雑
 - ・人の気持ちを無視した言動
 - ・人づきあいが下手
 - ・家がゴミだらけ
 - ・物になれない
 - ・ずうずうしさが無い
 - ・友達が敬しくない

エネルギー小

虚



陰

陽

■ 己（つちのと）の象意

己甲 『言葉による思考』を求めて、『愛されたい』というエネルギーが動く人です。

己乙 『和合と協調』を求めて、『愛されたい』というエネルギーが動く人です。

己丙 『強い集中力』を求めて、まずは『愛されたい』というエネルギーが動く人です。

己丁 『善なるもの正義感』を求めて、『愛されたい』というエネルギーが動く人です。

己戊 『信頼されたい』という欲求のために、『愛されたい』というエネルギーが動く人です。



まずは、
これだけ覚えてね！



己己 『愛』のために、『愛されたい』というエネルギーの動く人です（相愛の世界を追及する人）

己庚 『マナーの損得勘定』のために、『愛されたい』というエネルギーの動く人です。

己辛 『精神の損得勘定』や『繊細な神経やスポーツ』を求めて、『愛されたい』というエネルギーの動く人です。

己壬 『真っ向勝負』を求めて、『愛されたい』というエネルギーの動く人です。

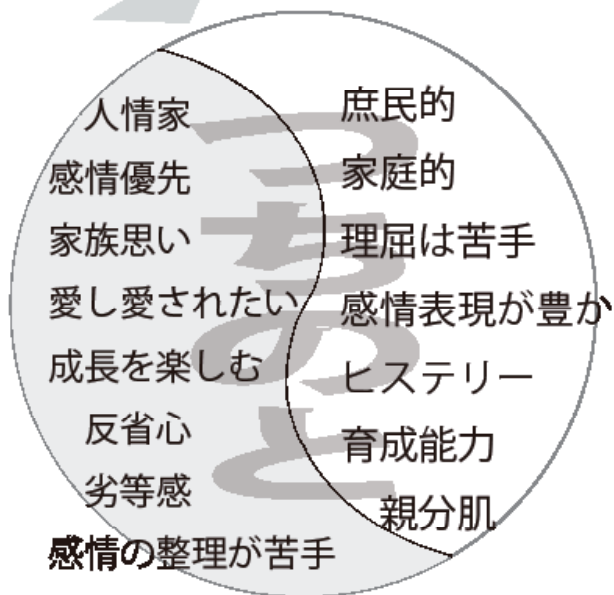
己癸 『変化球勝負』を求めて、『愛されたい』というエネルギーの動く人です。

【参照】己に関して、このように象意を並べてみると、言い回し方で、ちよつと具合の悪い感じの組み合わせがあります。例えば己と壬の場合、『真っ向勝負』を求めて『愛されたい』ですが、ちよつと変な感じはしませんか？真っ向勝負をすると、大抵の場合愛されません。



次は、これを
マスターしてね！

己



古典では己と壬は「己キド土濁ダク壬ジン」と言って汚れた命式と判断しますが、実際はこういうことなのです。変化球勝負の場合は愛されます。

このように「ちよつと変だな」と、違和感のある言い回しになる組み合わせには、少し無理があるのです。「無理」というのは、その人自身にも無理があるということです。

逆に言葉がはつきり、すつきり流れて行く組み合わせもあります。例えば己と乙の場合、『安定・和合協調』を求めて『愛されたい』ですが、この組み合わせは言葉がすつきり流れていきます。こういう場合、その人本人もすつきりとした道を行くことになります。



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！

実

エネルギー大



エネルギー小

虚



己

(陰陽虚実 養命芸海式)

-
- 家庭的な雰囲気が好き
 - 愛情確認を常にしてほしい
 - 叱られないと奮起しない
 - 自虐的に自分を責める
 - 常に反省している
 - ペットを飼う
 - ベタベタしてくる
 - やきもちを焼く
 - 理想よりも感覚を重視
 - 表現が豊かで味がある
 - 心に感動したり悲しむ
 - 育てるのがうまい
 - すぐ泣く
 - 動物のものが大好き
 - 家族や友人に無関心
 - 愛情に冷淡
 - 異性に無関心
 - 劣等感でいつも文句
 - エゴの塊で醜い言葉
 - ペットを飼いたくない
 - 反省しない
 - くだらない理想を優先する
 - 冷淡な感情
 - 人を育成するのが難
 - 宗教的な生活がいいと思う
 - 感情表現できない
 - まずそうに食べる
 - 家族がいない

陰

陽

■庚（かのえ）の象意

庚甲 『言葉による思考』の欲求を達成するために、『マナーの損得勘定』のエネルギーが動く人です。

庚乙 『和合と協調』を求めて、『マナーの損得勘定』のエネルギーが動く人です。

庚丙 『強い集中力』を求めて、まずは『マナーの損得勘定』のエネルギーが動く人です。

庚丁 『善なるもの正義感』を求めて、『マナーの損得勘定』を重要するエネルギーが動く人です。

庚戊 『信頼されたい』欲求のために、まずは『マナーの損得勘定』のエネルギーが動く人です。



まずは、
これだけ覚えてね！



庚己 『愛されたい』のために、まずは『マネーの損得勘定』が動く人です。

庚庚 『マネーの損得勘定』のために『マネーの損得勘定』のエネルギーが動く人です（どこまでもお金儲けや効率性を追及する人）

庚辛 『精神的な損得勘定』を求めて、『マネーの損得勘定』のエネルギーが動く人です。

庚壬 『真っ向勝負』のために、まずは『マネーの損得勘定』を重要視するエネルギーが動く人です。

庚癸 『変化球勝負』をするために、まずは『お金の損得勘定』を重要視する。

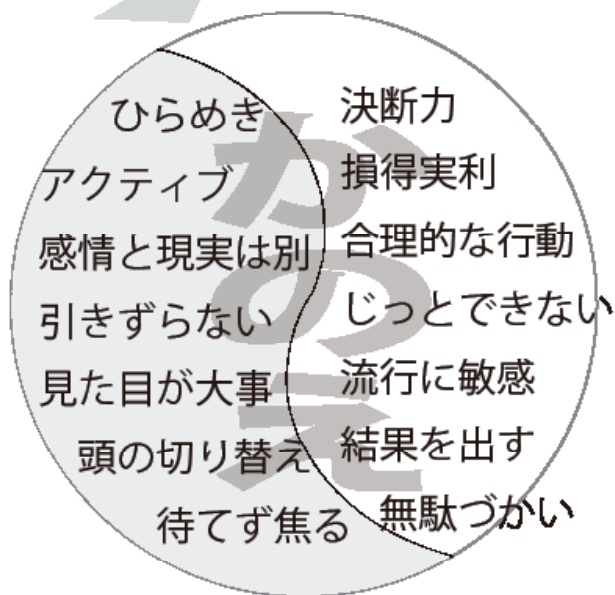
【参照】 庚の場合も、言葉にすると違和感のある組み合わせがあります。反対にスッキリしている組み合わせもあります。

例えば庚と壬は『真っ向勝負』をするから『お金』がいるんだよ、という感じの組み合わせ



次は、これを
マスターしてね！

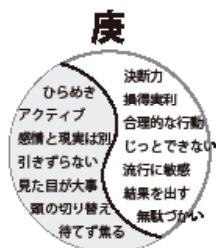
庚



せです。これはいいでしょう。同様に『愛される』ために『お金』がいるんだよ。これもいいでしょう。

ところが庚と甲では『言葉による思考』を求めて『お金』がいるんだよ、と言う感じになります。これなどは今一步の組み合わせです。違和感があります。または、甲を『権力』にすれば、『権力』を得るためには『お金』がいる、という発想でも間違いはありません。インスピレーションに制限はありません。

古典理論で『庚の斧が大樹（甲）を切り倒して薪にするからいい』という説明をしてありますが、これは理屈になってないことはもうお分かりでしょう。



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！

実

エネルギー大



エネルギー小

虚



庚

(陰陽虚実 養命芸海式)

-
- ・儲かるという直観力がある
 - ・常に遅れまいと焦っている
 - ・貧乏は絶対に許せない
 - ・恋と仕事は別という冷静さ
 - ・直感で動く
 - ・美しいと得をと思う
 - ・アクティブ
 - ・実利的な獲得計算が得意
 - ・合理的で計算された行動
 - ・流行にいち早く乗ってしまう
 - ・計画があり、迷いが無い
 - ・結果を出すために努力
 - ・金遣いが荒い
 - ・直観的行動
 - ・利益にならない直観力
 - ・誰の意見もきかない
 - ・時代に遅れた感性
 - ・自分をよく見せる虚偽
 - ・自信がない
 - ・他人に無関心
 - ・ソフトなずれた獲得計算
 - ・計算しているが非合理的行動
 - ・計画まねばかりで工夫しない
 - ・常に人と比べ迷っている
 - ・感情をこじ壊している
 - ・暇をもてあましている
 - ・打算的

陰

陽

■辛(かのと)の象意

辛甲 『言葉による思考』を求めて、『スピリチュアル的』なエネルギーが動く人です。

辛乙 『和合と協調』を求めて、『スピリチュアル的』にやっていくエネルギーが動く人です。

辛丙 『強い集中力』を発揮するために、『スピリチュアル的』なエネルギーが動く人です。

辛丁 『善なるもの』を求めて、『スピリチュアル的』なエネルギーが動く人です。

辛戊 『信頼』のために、『スピリチュアル的』なエネルギーが動く人です。

辛己 『愛されたい』ために、『スピリチュアル的』なエネルギーが動く人です。



まずは、
これだけ覚えてね！



辛庚 『マナーの損得勘定』のために、『スピリチュアル的』であるべきと発想する人です。

辛辛 『精神的に豊か』になるために、『スピリチュアル的』なエネルギーが動く人です。

辛壬 『真っ向勝負』をしたいがために、『スピリチュアル的』なエネルギーを大事にする人です。

辛癸 『変化球勝負』をしたいがために、『スピリチュアル的』なエネルギーが動く人です。

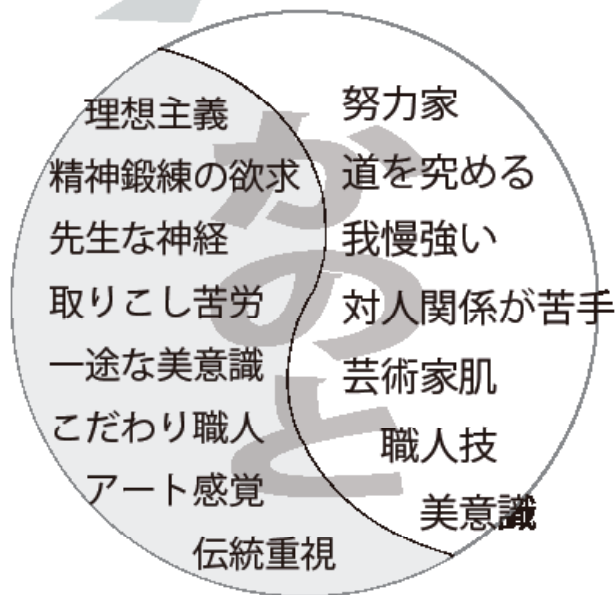
【参照】 庚と辛は昔から古典では“金に貴命なし”といわれ、庚辛の多い命式はいい命式ではないとされています。

例えば、辛の横に壬がある場合 “鏡を水で洗っているので非常にいい”といわれています。ところが実際の内容は『真っ向勝負』を求めて、力づくではなく『スピリチュアル的』にやるべきと発想する人です。この干の並びは、そういう剛柔両面を兼ね備えた良さのある組み



次は、これを
 マスターしてね！

辛



合わせということなのです。

同様に、古典では辛の横に己があると“泥で鏡を汚す（汚玉）”オキヨクといいますが、これも実際には『愛されたい』ために『スピリチュアル』なものを優先する人のことです。そして、こういう人に現代風にアドバイスするなら「愛されたいなら、まずは自分のことは自分でやるくらいに稼げなさい」となるでしょう。単純に古典通りの文言にとらわれるよりも、このように解釈するほうが実用的です。



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！

実

エネルギー大



エネルギー小

虚



辛

(陰陽虚実 養命芸海式)

-
- ・精神的な鍛錬を好む
 - ・微細な変化を感じるセンス
 - ・一途に理想を求める
 - ・伝統的な美に感動する
 - ・自分を磨きたい
 - ・美意識への強いこだわり
 - ・我慢と忍耐の度が過ぎる
 - ・とことん道を究める
 - ・芸術的な美にこだわる
 - ・腕の技を目指したい
 - ・人づきあいは不器用
 - ・職人芸を道つける
 - ・無理し過ぎて体調を崩す
 - ・金銭に執着することが多い
 - ・道を究める意欲がない
 - ・美しいものを見ても無感動
 - ・努力するのが嫌い
 - ・いつも体調が悪い
 - ・なまけもの
 - ・精神的満足よりお金を重視
 - ・人の気持ちを無視した言動
 - ・理想よりも衣食住
 - ・難しいことはやる気なし
 - ・精神鍛錬を怠る
 - ・大雑把
 - ・芸術、アートに無関心

陰

陽

■ 壬（みずのえ）の象意

壬甲 『言葉による思考』をやりたいために『真つ向勝負』をするエネルギーが動く人です。

壬乙 『和合と協調』のために『真つ向勝負』のエネルギーが動く人です。

壬丙 『強い集中力』を発揮したいがために、まず『真つ向勝負』のエネルギーが動く人です。

壬丁 『正義感や善なる性質』を求めて『真つ向勝負』をする人です。

壬戊 『信頼されたい』ために『真つ向勝負』をする人です。



まずは、
これだけ覚えてね！



壬己 『愛されたい』のために、『真っ向勝負』をする人です。

壬庚 『マナー』を求めて、『真っ向勝負』する人です。この並びはかなりスッキリしています。

壬辛 『スピリチュアル』を求めて『真っ向勝負』する人です。

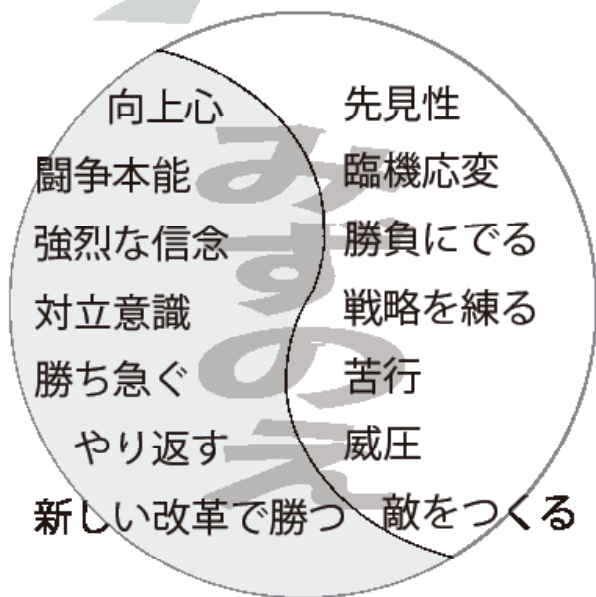
壬壬 『真っ向勝負』しかない人です（『真っ向勝負』のために『頭を使う』でもOKです）

壬癸 『変化球勝負』を求めて、『真っ向勝負』する人です（これなどは、ちよつと意味が合いません。ですから『真っ向勝負』をしながらも、実際は『変化球勝負』ができる人”でもOKです）



次は、これを
マスターしてね！

壬





最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



壬

(陰陽虚実 養命芸海式)

エネルギー大

- ・向上心が強く修行好き
- ・時代の先をとことん読む
- ・人よりも早くやって勝つ
- ・仕返しは倍返しをする
- ・怠けると負けるという恐怖
- ・鍛えないとダメになる
- ・改革したい
- ・限界を越えて勝ちに行く
- ・すぐケンカおしになってしまう
- ・瞬時の判断で方向を変える
- ・いつでも臨機応変で生きる
- ・先づきで準備
- ・先手先手で準備
- ・威圧する
- ・敵が多い

エネルギー小

- ・弱いものをいじめる
- ・向上心がなくウジウジ
- ・新しいことをしない
- ・逃げてばかりの人生
- ・負けるといつまでも恨む
- ・陰険な仕返し
- ・変化を嫌がる
- ・逃げたケンカから逃げる
- ・強そうなのに、と投げやり
- ・強そうな人にこびて生きる
- ・同じ失敗を繰り返している
- ・新しいことに挑戦しない
- ・人に合わせる

虚



陰

陽

■ 癸（みずのと）の象意

癸甲 『言葉による思考』を求めて、『変化球勝負』をする人です。

癸乙 『和合と協調』のために、『変化球勝負』をする人です。

癸丙 『強い集中力』を求めて、『変化球勝負』をする人です。

癸丁 『善なるもの正義なるもの』を求めて、『変化球勝負』をする人です。

癸戊 『信頼されたい』欲求のために、『変化球勝負』をする人です。



まずは、
これだけ覚えてね！



癸己 『愛されたい』のために、『変化球勝負』をする人です。

癸庚 『マネー』を求めて、『変化球勝負』をする人です。

癸辛 『精神的な損得勘定』のために、『変化球勝負』をする人です。

癸壬 『真つ向勝負』を求めているが、実際は『変化球勝負』でやっていく人です。

癸癸 とことん『変化球勝負』でやっていく人です。

通変星をみる場合、古典通りの比肩、劫財、食神、傷官、偏財、正財、偏官、正官、偏印、印綬という枠組みに囚われず、〃十干と十干の結婚〃をイメージして推命するほうがいいのです。〃十干と十干の結婚〃の推命術を使えば、魁罡や天徳貴人などの特殊星をみる必要はありません。さらには空亡や十二運星もみません。



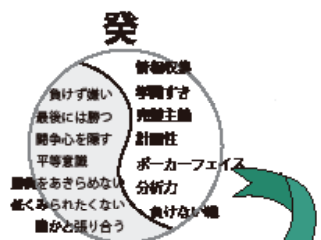
次は、これを
マスターしてね！

癸

情報収集
学問すき
完璧主義
計画性
ポーカーフェイス
分析力
負けず嫌い
最後には勝つ
闘争心を隠す
平等意識
勝負をあきらめない
低くみられたくない
誰かと張り合う
負けない戦



結局、十二運星は十干と十二支の組み合わせです。例えば甲子も、結局十干と十二支の結婚なのです。ですから結局、「甲とは何か?」「子とは何か?」をみて推命したほうがよいのです。この干支の組み合わせが干支の六十パターンであり、その六十干支をさらに十二パターンに分けたのが十二運です。ですから、細分化された十二運星でみるよりは、星と星を結婚させて六十パターンの干支の組み合わせをイメージして推命したほうがいいのです。



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



実
エネルギー大

- ・冷静に物事を判断
- ・特定のライバルに勝ちたい
- ・人は皆平等という公平な心
- ・勝つまであきらめられない
- ・自分だけは特別
- ・内に秘めた闘争心
- ・常に情程を豊めている
- ・知恵を得るのがとても楽しい
- ・リベラスを保つ
- ・思いつくように用意周到
- ・目上でも喧嘩を売る
- ・あきらめない
- ・完璧主義

- ・人と張り合う気持ちがな
- ・ひねくれてウジウジ
- ・すぐにあきめてしまう
- ・人の気を引くことに關心
- ・臆病ですぐ逃げてしまう
- ・はったり
- ・ひねくれた考え
- ・知恵のために知恵を使う
- ・自分で体験しようとしな
- ・知的好奇心がない
- ・目上にこびを売って生きる
- ・理想にしようとしな
- ・計画を実行しない

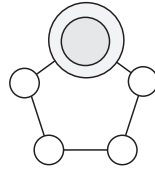
エネルギー小

虚



比肩

自分が強められる関係
陰陽が同じ



乙乙

「和合と協調の思考」を求めて
「和合と強調の思考」で動く

古典名 伏吟雑草（フクギンザッソウ）

従来解釈 柔軟だが頑固が隠れている、保守的、自己防衛

人物 大久保利通、池田勇人
谷崎潤一郎、松任谷由美

甲甲

「言葉による思考」を求めて
「言葉による思考」で動く

古典名 双木成林（ソウモクセイリン）

従来解釈 直情的、頑固、保守心、強い自我、独立心

人物 小林秀雄、藤原紀香、吉岡秀隆
落合博満

丁丁

「正義感・善なるもの」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 両火成炎（リョウカセイエン）

従来解釈 自我、頑固、守備力、独りよがり、独立、自主性、勝ち気、自信、冷静、忍耐、頭がいい、自尊心

人物 長谷川町子、大江健三郎

丙丙

「強い集中力」を求めて
「強い集中力」で動く

古典名 天無両日（テンニリョウジツナシ）

従来解釈 明暖、自我は通ず、頑固
独立心、自信

人物 井深大、杏里、高嶋政宏

己己

「愛されたい」を求めて
「愛されたい」で動く

古典名 伏吟軟弱(フクギンナンジャク)

従来 of 解釈 公平、庶民的、頑固、
信条、固定観念、忍耐、破財、不破、
わがまま、独立心、感情的

人物 盛田昭夫、金田正一

戊戊

「信頼されたい」を求めて
「信頼されたい」で動く

古典名 伏吟峻山(フクギンシュンザン)

従来 of 解釈 不動、頑固、マイペース
独立、冷静、忍耐、自我性、実行、
プライド、破財、温和

人物 有栖川有栖、石橋貴明

辛辛

「精神の損得勘定」を求めて
「精神の損得勘定」で動く

古典名 反吟相克(ハンギンソウコク)

従来 of 解釈 自我、頑固、気品、美、
身勝手、柔鋭、観念だけ、冷静、
自尊心、偏狭、思いつき、破財

人物 稲盛和夫、内村鑑三、美輪明宏

庚庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 戦格(センカク)

従来 of 解釈 行動力、荒っぽい、冷徹
頑固、攻撃的、実行、自主性、自信、
厳粛、勝ち気、自尊心、けが

人物 太宰治、マツコDX、酒井法子

癸癸

「変化球勝負」を求めて
「変化球勝負」で動く

古典名 冲天奔地(チュウテンボンチ)

従来 of 解釈 自我、頑固、独立心、
影状、虎の威を借りる、実行力、固執、
秘めた自主性、冷静、忍耐、偏狭

人物 高杉晋作、谷口雅春、堤清二

壬壬

「真っ向勝負」を求めて
「真っ向勝負」で動く

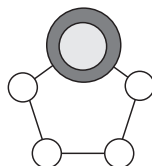
古典名 伏吟地網(フクギンチモウ)

従来 of 解釈 自我、頑固、競争心、
傲慢、流動的、独立、実行力、勝ち気、
自主性、淡々、場を見極める

人物 芥川龍之介、ナポレオン、小泉進次郎

劫財

自分が強められる関係
陰陽が異なる



乙甲

「言葉による思考」を求めて
「和合と強調の思考」で動く

古典名 藤羅伴木（トウラハンモク）

従来の解釈 大胆、野望、援助を引き出す、和合、溶け込む、非改革、独立心、実行力、執拗、嫉妬、誇大妄想

人物 井上靖、志賀直哉、江副浩正

甲乙

「和合と協調の思考」を求めて
「言葉による思考」で動く

古典名 藤羅伴木（トウラハンモク）

従来の解釈 大胆さに欠ける、先導者、責任、独立心がない、投機、誇大妄想、破財、企てない、ストレート

人物 石原莞爾、森末慎二

丁丙

「強い集中力」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 三奇順逐（サンキジュンスイ）

従来の解釈 和合、新しい世界を形成、独立、実行、冷静な闘争心、不実、勇猛果敢

人物 長洲剛、三沢光晴、尾田栄一郎

丙丁

「正義感・善なるもの」を求めて
「強い集中力」で動く

古典名 三奇順遁（サンキジュントン）

従来の解釈 無駄が多い、散財、人気、和合、独立、実行、投機、誇大妄想、闘争、野心、不実、破財

人物 榎本武揚、アインシュタイン、泉谷しげる

己戊

「信頼されたい」を求めて
「愛されたい」で動く

古典名 伏吟軟弱 (フクギンナンジャク)

従来 of 解釈 公平、庶民的、頑固、信条、固定観念、忍耐、破財、不破、わがまま、独立心、感情的

人物 伊藤雅俊 (ヨーカドー) 研ナオコ

戊己

「愛されたい」を求めて
「信頼されたい」で動く

古典名 類似奉公 (レイジホウコウ)

従来 of 解釈 奉仕、経済観念薄い、受け身、大人の和合、嫉妬、身分不相応、放蕩、無頼、賭博、破財

人物 猪瀬直樹、高橋信次、小谷喜美

辛庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「精神の損得勘定」で動く

古典名 戦格 (センカク)

従来 of 解釈 強引、特別意識、実行力、嫉妬、野心、不実、勇猛、争い、破財

人物 石川啄木、藤山寛美

庚辛

「精神の損得勘定」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 戦格 (センカク)

従来 of 解釈 やりすぎ、強引、傷つける、攻撃的、役目意識、独立、実行、冷酷、投機、野心、けが、破財

人物 宇野千代、劇団ひとり、島田紳助

癸壬

「真っ向勝負」を求めて
「変化球勝負」で動く

古典名 冲天奔地 (チュウテンボンチ)

従来 of 解釈 冷静、目下との関係、投機性、闘争、衝動的、破財 (復活しやすい)

人物 明石家さんま、司葉子

壬癸

「変化球勝負」を求めて
「真っ向勝負」で動く

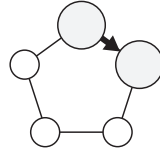
古典名 冲天奔地 (チュウテンボンチ)

従来 of 解釈 実行力、闘争、やり過ぎ、傲慢、投機、誇大妄想、勢い、主体性

人物 徳川家康、吉田松陰
ビートたけし、渡辺喜美

食神

自分が洩らす関係
陰陽が同じ



乙丁

「正義感・善なるもの」を求めて
「和合と強調の思考」で動く

古典名 木火通明（モッカツウメイ）

従来の解釈 鋭い頭脳、多趣味、芯が通っている、中庸、功名、表現力、温和、腰が低い、才能発揮、財源なし

人物 曾野綾子

甲丙

「強い集中力」を求めて
「言葉による思考」で動く

古典名 青竜返首（セイリユウヘンシュ）

従来の解釈 周囲からの恵み、中庸、楽観、功名、度量、大らか、善良、財源

人物 財津一郎、南こうせつ

丁己

「愛されたい」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 有火有炉（ユウカユウロ）

従来の解釈 奉仕、芸術性、表現力、温和、善良、多才、財源、保守的

人物 黒澤明、W・ディズニー、長州力、森英恵

丙戊

「信頼されたい」を求めて
「強い集中力」で動く

古典名 日出東山（ニッシウトウザン）

従来の解釈 奉仕、一方的、屋外レジャー、功名心、剛、表現、度量がある、移り気

人物 ヒトラー、S・ジョブズ

己辛

「精神の損得勘定」を求めて
「愛されたい」で動く

古典名 汚玉（オギョク）

従来の解釈 奉仕、相手の損害となる、表現力、怠惰、神経質、疲れやすい

人物 吉田拓郎、久米宏

戊庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「信頼されたい」で動く

古典名 土多埋金（ドタマイキン）

従来の解釈 奉仕、強引、表現力、功名心、度量、引き立てを受ける、才能発揮、多労、のんき

人物 レーニン、岩波雄二郎

辛癸

「変化球勝負」を求めて
「精神の損得勘定」で動く

古典名 淘洗珠玉（トウセンシュギョク）

従来の解釈 奉仕、品格、特定の分野、人あたりがいい、善良、感受性が豊か、保守的

人物 藤子F不二雄、車田正美

庚壬

「真っ向勝負」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 金水傷官（キンスイショウカン）

従来の解釈 サービス精神、鋭い頭脳、穏やか、戦闘的、チャレンジ、功名心、表現力、度量、冷静

人物 夏目漱石、福原愛

癸乙

「和合と強調の思考」を求めて
「変化球勝負」で動く

古典名 緑野朝露（リョクヤチョウロ）

従来の解釈 干渉、サービス精神、不器用、功名心、表現力、温和、多情、才能発揮、保守的、財源

人物 松下幸之助、瀬戸内寂聴、赤塚不二夫

壬甲

「言葉による思考」を求めて
「真っ向勝負」で動く

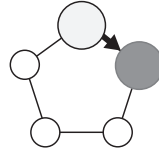
古典名 浮木（フボク）

従来の解釈 干渉、不実、流動性、功名心、表現力、多労、財源、のんき

人物 戸塚宏、内海哲也（野球）

傷官

自分が生じる関係
陰陽が異なる



乙丙

「強い集中力」を求めて
「和合と強調の思考」で動く

古典名 三奇順遂（サンキジュンスイ）

従来解釈 援助を引き出す、自己アピール、活躍、やり過ぎ、派手、楽観的、財源

人物 J・レノン、森繁久弥、本宮ひろ志

甲丁

「正義感・善なるもの」を求めて
「言葉による思考」で動く

古典名 木火通明（モッカツウメイ）

従来解釈 鋭い頭脳、孤独、探究心、功名心、表現力、一言多い、誇大妄想、焦り、不平不満

人物 マッカーサー、山本五十六、中曽根康弘

丁戊

「信頼されたい」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 有炳有火（ユウロユウカ）

従来解釈 表現力、名声、感性、功名心、怒り、多芸多才、財源、器用

人物 ドクター中松、菅直人、福山雅春

丙己

「愛されたい」を求めて
「強い集中力」で動く

古典名 大地普照（ダイチフショウ）

従来解釈 鋭敏、道徳的、功名心、表現力、会話がうまい、しゃべり過ぎ、だらか、負けず嫌い、誇大

人物 N・マンデラ、鳥山明、星野源

己庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「愛されたい」で動く

古典名 刑格（ケイカク）

従来解釈 奉仕、勤が鋭い、感性、功名心、表現力、のんびり、不平不満、焦り

人物 川端康成、薬師丸ひろこ

戊辛

「精神の損得勘定」を求めて
「信頼されたい」で動く

古典名 朝陽格（チョウヨウカク）

従来解釈 鋭い、繊細、神秘性、表面は大人、功名心、表現力、多芸多才、一言多い、財源

人物 I K K O

辛壬

「真っ向勝負」を求めて
「精神の損得勘定」で動く

古典名 金水傷官（キンスイショウカン）

従来解釈 鋭い頭脳、哲学的、功名心、表現力、自己主張、

人物 イチロー、安藤美姫、鳩山由紀夫、池田大作、団鬼六

庚癸

「変化球勝負」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 大格（ダイカク）

従来解釈 不実、焦り、不平不満、財源、闘争的、不器用な一面

人物 安倍晋三、渡辺美樹

癸甲

「言葉による思考」を求めて
「変化球勝負」で動く

古典名 樹根露水（ジュコンロスイ）

従来解釈 育成、不満を貯める、功名心、表現力（目立たない）、一言多い（弱）、活動性、焦り、財源

人物 マザーテレサ、三浦綾子、タモリ

壬乙

「和合と強調の思考」を求めて
「真っ向勝負」で動く

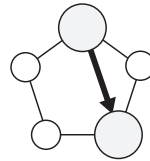
古典名 逐水桃花（チクスイトウカ）

従来解釈 鋭い頭脳、表現力、反逆、感受性大、功名心、一言多い、勝負にこだわる、不満、闘争、財源

人物 村上春樹、野田佳彦

偏財

自分が剋す関係
陰陽が同じ



乙己

「愛されたい」を求めて
「和合と強調の思考」で動く

- 古典名** 壤土培花（ジョウドバイカ）
- 従来 of 解釈** 穏やか、行動力、積極性、奉仕、財強い、円滑、交渉力、気が多い、金銭感覚、業務能力、浪費
- 人物** 本田宗一郎、澤田秀雄（HIS）

甲戌

「信頼されたい」を求めて
「言葉による思考」で動く

- 古典名** 秃山孤木（ハゲヤマコボク）
- 従来 of 解釈** 強引、社会的信用を求める、表裏がない、財強い、干渉、統率、投機、親分肌、理財、処理能力
- 人物** 小林亜星、開高健、森口博子

丁辛

「精神の損得勘定」を求めて
「正義感・善あるもの」で動く

- 古典名** 火炎珠玉（カエンシュギョク）
- 従来 of 解釈** やりすぎ、破壊的、情熱、身内への奉仕、財あり、干渉、浪費、処理能力、
- 人物** ビートたけし、太田光、森光子

丙庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「強い集中力」で動く

- 古典名** 榮感入白（エイワクニューハク）
- 従来 of 解釈** 強引、直感、一生懸命、非戦略、積極的、奉仕、財あり、干渉、統率、親分肌、傲慢、浪費、抜ける
- 人物** 棟方志尚、浅野温子、一条さゆり

己癸

「変化球勝負」を求めて
「愛されたい」で動く

古典名 地刑玄武 (チケイゲンブ)

従来の解釈 柔軟、お人よし、財うすい、交際上手、気が多い、金銭感覚、業務能力

人物 フロイト、ユング、美川憲一

戊壬

「真っ向勝負」を求めて
「信頼されたい」で動く

古典名 山明水秀 (サンメイスイシュウ)

従来の解釈 頑固、奉仕、去るものこぼまず、大衆受け、財強い、迫力、統率力、円滑、外交、浪費

人物 みのもんた

辛乙

「和合と強調の思考」を求めて
「精神の損得勘定」で動く

古典名 白虎昌狂 (ビャッコショウキョウ)

従来の解釈 強引、感情的、干渉、統率、支配、財あり、多忙、経済感覚、奉仕、お節介、処理能力

人物 J・F・ケネディ、桑田真澄

庚甲

「言葉による思考」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 伏宮採残 (フクキウサイザン)

従来の解釈 迫力、仕事人間、押しつけ、財あり、統率力、親分肌、性急、傲慢、金銭感覚

人物 谷村新司、小澤征聖、横尾忠則

癸丁

「正義感・善なるもの」を求めて
「変化球勝負」で動く

古典名 騰蛇妖嬌 (トウダヨウキョウ)

従来の解釈 支配、頑固、奉仕、財強い、干渉、統率、経済感覚、投機性、浪費、やり過ぎ

人物 習近平、後藤新平、大久保清 (死刑囚)

壬丙

「強い集中力」を求めて
「真っ向勝負」で動く

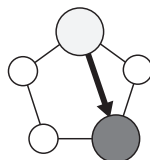
古典名 江輝相映 (コウキソウエイ)

従来の解釈 干渉を受ける、財弱い、投機性、軽はずみ、おごり、経済感覚、多忙

人物 ダルビッシュ有、宮澤賢治

正財

自分が剋す関係
陰陽が異なる



乙戌

「信頼されたい」を求めて
「和合と強調の思考」で動く

古典名 青竜合霊 (セイリユウゴウレイ)

従来 of 解釈 穏やか、順応、財あり、
干渉、節約、コツコツ働く、信用、
経済感覚、処理能力

人物 山中教授 (iPS)、孫正義、貴乃花光司

甲己

「愛されたい」を求めて
「言葉による思考」で動く

古典名 壤土育木 (ジョウドイクボク)

従来 of 解釈 着実に実績を重ねる、
官人の蓄財、財あり、干渉、統率、節
約、ケチ、勤勉、処理能力

人物 渋沢栄一、三木谷浩次、石原慎太郎

丁庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 火錬真金 (カレンシンキン)

従来 of 解釈 他人を訓練、統率、育成、
軽い干渉、処理能力、経済感覚、散財、
頭のよさ

人物 岡本太郎、正岡子規、竹村健一

丙辛

「精神の損得勘定」を求めて
「強い集中力」で動く

古典名 日月相会 (ニチゲツソウカイ)

従来 of 解釈 礼節、規律を重んじる、
蓄積、財あり、干渉、統率、太っ腹、
経済感覚、処理能力、大財、失財

人物 江川卓

己壬

「真っ向勝負」を求めて
「愛されたい」で動く

古典名 己土濁壬（キドダクジン）

従来の解釈 性格の欠点、蓄積、財あり、節約、経済感覚、手堅い、ケチ、資産、疾病

人物 松山千春、井森美幸

戊癸

「変化球勝負」を求めて
「信頼されたい」で動く

古典名 天乙会合（テンオツカイゴウ）

従来の解釈 穏やか、受動的、財あり、節約、現実的、手堅い処理能力、経済感覚、勤勉、信用、破財

人物 西郷隆盛、李登輝

辛甲

「言葉による思考」を求めて
「精神の損得勘定」で動く

古典名 棍棒粉碎（コンボウフンサイ）

従来の解釈 苦勞、財弱い、真面目、節約、ケチ、蓄財、勤勉、道理に外れたものは受け入れない

人物 尾崎行雄、石原伸晃、金日成

庚乙

「和合と強調の思考」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 日奇被刑（ニッキヒケイ）

従来の解釈 組織への配慮、統率、行動力、投機、干渉、やりすぎ、勤勉、信用、処理能力、経済感覚、商才

人物 キング牧師、勝海舟、重信房子

癸丙

「強い集中力」を求めて
「変化球勝負」で動く

古典名 騰蛇妖嬌（ドウダヨウキョウ）

従来の解釈 強引、ワンマン、蓄財、清濁併せ持つ、統率、経済感覚、失財、資産形成

人物 ラサル石井

壬丁

「正義感・善なるもの」を求めて
「真っ向勝負」で動く

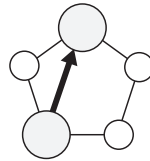
古典名 干合星奇（カンゴウセイキ）

従来の解釈 知性、商才、蓄財、財あり、干渉、口うるさい、統率、信用、処理能力、現実的、資産形成

人物 藤田晋、小池百合子、大橋巨泉

偏官

自分が剋される関係
陰陽が同じ



乙辛

「精神の損得勘定」を求めて
「和合と強調の思考」で動く

古典名 白虎昌狂 (ビャッコキョウショウ)

従来 of 解釈 臆病、間接攻撃、官あり、
神経質、自制心、忍耐、コセコセして
いる、変わり者、ケガ

人物 辰吉丈一郎、くらたまなぶ

甲庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「言葉による思考」で動く

古典名 伏吟採残 (フクギンサイザン)

従来 of 解釈 自制心、忍耐、官あり、
権威、反逆、ゴタゴタを起こす、事故、
勤労、無気力、攻撃

人物 松井秀樹、小林よしのり、松本人志

丁癸

「変化球勝負」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 騰蛇妖嬌 (トウダヨウキョウ)

従来 of 解釈 忍耐力、プロ意識、積
み重ね、不合理が許せない、官あり、
自制心、反逆、闘争

人物 松本零士、石ノ森章太郎、山下清

丙壬

「真っ向勝負」を求めて
「強い集中力」で動く

古典名 江輝相映 (コウキソウエイ)

従来 of 解釈 攻撃、官なし、やりすぎ、
権威、独りよがり、意思表示が明らか

人物 田中良和 (グリー)、八つ墓村モデル
白土三平

己乙

「和合と強調の思考」を求めて
「愛されたい」で動く

古典名 壤土培花（ジョウドバイカ）

従来の解釈 協調、義理人情の戦い、官あり、自制心、忍耐力、コツコツ働く、活動、影響を受けやすい

人物 オバマ大統領、遠藤周作、山口百恵

戊甲

「言葉による思考」を求めて
「信頼されたい」で動く

古典名 秃山弧木（シュウザンコボク）

従来の解釈 頑固、権力意識、自分の土俵で戦う、官あり、自制心、忍耐、地味な活動、努力家、不屈

人物 ニーチェ、本田圭佑（サッカー）

辛丁

「正義感・善なるもの」を求めて
「精神の損得勘定」で動く

古典名 火炎珠玉（カエンシュギョク）

従来の解釈 臆病、美意識、官あり、自制心、忍耐、神経質、腹の中でイライラする、災難

人物 岩崎弥太郎、土光敏夫、山田洋次

庚丙

「強い集中力」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 榮惑入白（エイワクニユウハク）

従来の解釈 大規模の戦い、官あり、権威、人を指導する、独断、反逆、忍耐、ゴタゴタ

人物 出口王仁三郎、森田健作

癸己

「愛されたい」を求めて
「変化球勝負」で動く

古典名 地刑玄武（チケイゲンブ）

従来の解釈 柔らかい干涉、裏で糸を引く、官なし、真面目、忍耐、努力、愚直、反抗、コツコツ働く

人物 泉ピン子

壬戌

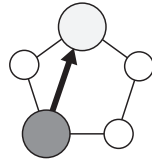
「信頼されたい」を求めて
「真っ向勝負」で動く

古典名 山明水秀（サンメイスイショウ）

従来の解釈 度を越さない、自制心、戦い、破壊、官あり、忍耐力、働き者、協調、ワンマン、反抗、敵対

人物 上杉謙信、斉藤祐樹、麻原彰晃

正官



自分が剋される関係
陰陽が異なる

乙庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「和合と強調の思考」で動く

古典名 日奇被刑（ニッキヒケイ）

従来の解釈 自制心、堅苦しい、隠れたプライド、名誉、地位、官あり、忍耐、出世、信用、正直、保守的、服従心

人物 和田アキ子、妻木松吉（説教強盗）

甲辛

「精神の損得勘定」を求めて
「言葉による思考」で動く

古典名 棍棒粉碎（コンボウフンサイ）

従来の解釈 自尊心、官なし、正直、真面目、気苦労がつきまとう、几帳面、優柔不断

人物 朝永振一郎、メルケル大統領

丁壬

「真っ向勝負」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 干合星奇（カンゴウセイキ）

従来の解釈 忠実、礼儀正しい、礼節、売名、プライド、人気者、官あり、名誉、名声、正直、責任感、保守的

人物 エジソン、手塚治虫、石破茂

丙癸

「変化球勝負」を求めて
「強い集中力」で動く

古典名 黒雲遮雲（コクウンシャジュツ）

従来の解釈 抑圧される、傲慢、官あり、名誉、名声、信用を得る、正直、保守的、ゴタゴタに巻き込まれる

人物 ガンジー、金正恩

己甲

「言葉による思考」を求めて
「愛されたい」で動く

古典名 壤土培花（ジョウドバイカ）

従来の解釈 プライド、優越感、自己愛、自制心、礼節、忍耐、名声、信用、正直、責任感、優柔不断、服従

人物 アントニオ猪木、樋口可南子

戊乙

「和合と強調の思考」を求めて
「信頼されたい」で動く

古典名 鮮花名瓶（センカメイビン）

従来の解釈 組織の調整役、やせがまん、プライド、官あり、自制心、忍耐、名声、出世、信用、真面目

人物 吉本隆明、ちばてつや

辛丙

「強い集中力」を求めて
「精神の損得勘定」で動く

古典名 日月相会（ニチゲツソウカイ）

従来の解釈 美的センス、純粹、服従、平和主義、官あり、自制心、忍耐力、臆病、信用、名声

人物 田中角栄、テリー伊藤

庚丁

「正義感・善なるもの」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 火錬真金（カレンシンキン）

従来の解釈 自制心、エリートコース、自尊心、名誉、官あり、信用、服従、頭でっかち

人物 石川遼、江夏豊、藤子A不二雄

癸戊

「信頼されたい」を求めて
「変化球勝負」で動く

古典名 地刑玄武（チケイゲンブ）

従来の解釈 服従、忠誠心、不言実行、官あり、信用、交際、正直、保守的、責任、優柔不断

人物 伊藤博文、立川談志、宮崎駿

壬己

「愛されたい」を求めて
「真っ向勝負」で動く

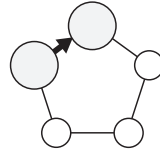
古典名 己土濁壬（キドダクジン）

従来の解釈 上司や組織を馬鹿にする、自尊心、官あり、卑屈、優柔不断、怠惰、ゴタゴタ

人物 乃木希助、賀川豊彦、司馬遼太郎

偏印

自分が生じられる関係
陰陽が同じ



乙癸

「変化球勝負」を求めて
「和合と強調の思考」で動く

古典名 緑野朝露 (リョクヤチョウロ)

従来の解釈 穏やか、アイデア、創造性、忍耐、印あり、援助をうける、人気、名声、学術、センスがある

人物 G馬場、萩本欽一、鈴木宗男

甲壬

「真っ向勝負」を求めて
「言葉による思考」で動く

古典名 浮木 (フボク)

従来の解釈 依頼心、悪知恵、放浪、改革、印あり、援助、幻想、自我が強い、気が多い、不安定

人物 西田幾多郎、守永重信

丁乙

「和合と強調の思考」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 焼田種作 (ショウデンシュサク)

従来の解釈 援助を受ける、放浪、転職、創造力、先駆者、印あり、学術、趣味、独創、妄想、ロマン

人物 小沢一郎、古館伊知郎、横溝正史

丙甲

「言葉による思考」を求めて
「強い集中力」で動く

古典名 青竜返首 (セイリユウヘンシュ)

従来の解釈 生活の知恵、印なし、一人よがり、自我、妄想

人物 さだまさし、池上彰、児玉源太郎

己丁

「正義感・善なるもの」を求めて
「愛されたい」で動く

古典名 有火有炉（ユウカユウロ）

従来への解釈 アイディア、多趣味、
気が多い、印なし、利用、風流、趣味、
孤独、幻想、妄想、放浪

人物 長友佑都（サッカー）

戊丙

「強い集中力」を求めて
「信頼されたい」で動く

古典名 日出東山（ニッシウトウザン）

従来への解釈 知恵、マイペース、印
あり、学術、思考、援助、名声、信用
自我、わがまま、傲慢

人物 マルクス、桜井よし子、秋山真之

辛己

「愛されたい」を求めて
「精神の損得勘定」で動く

古典名 汚玉（オギョク）

従来への解釈 うれしくない援助、甘
さ、判断ミス、大義名分、証明を求
める、知恵、理性

人物 孫文、東国原英夫、吉田沙保里

庚戌

「信頼されたい」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 土多埋金（ドタマイキン）

従来への解釈 行動力、積極性、放浪、
反社会的、知恵、アイディア、社会を
変革

人物 坂本竜馬

癸辛

「精神の損得勘定」を求めて
「変化球勝負」で動く

古典名 淘洗珠玉（トウセンシュギョク）

従来への解釈 アイディア、印なし、学問、
知力、依頼心、幻想、趣味

人物 吉田茂、千代の富士

壬庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「真っ向勝負」で動く

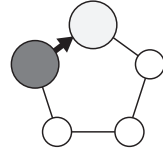
古典名 水源庚有（スイゲンニカノエアリ）

従来への解釈 援助を受ける、積極性、
合理的な探究心、放浪、知恵、アイデ
ィア、独創性

人物 長嶋茂雄、中原中也

印綬

自分が生じられる関係
陰陽が異なる



乙壬

「真っ向勝負」を求めて
「和合と強調の思考」で動く

- 古典名** 逐水桃花 (チクスイトウカ)
従来解釈 知的、清濁併せ持つ、印あり、知恵、名誉、プライド、人気、学問、伝統
人物 村上龍、武藤敬司、酒井法子

甲癸

「変化球勝負」を求めて
「言葉による思考」で動く

- 古典名** 樹根露水 (ジュコンロスイ)
従来解釈 自然とチャンスに恵まれる、印あり、知恵、学問、名誉、プライド、人気、依頼心、甘さ
人物 宮城まり子

丁甲

「言葉による思考」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

- 古典名** 青首転光 (セイリュウテンコウ)
従来解釈 援助を受ける、知性、思想、学問、プライド、名誉、市井の哲学者
人物 毛沢東、安岡正篤、西川きよし

丙乙

「和合と強調の思考」を求めて
「強い集中力」で動く

- 古典名** 三奇順遁 (サンキジュントン)
従来解釈 聡明、緻密、知性、応用の知恵、改良、名誉、プライド、臨機応変
人物 麻生太郎、美空ひばり、細木数子

己丙

「強い集中力」を求めて
「愛されたい」で動く

古典名 大地普照(ダイチフショウ)

従来解釈 知性、アイデア、人懐っこい、話題が豊富、人気、知恵、趣味

人物 浦沢直樹(漫画家)、小柳ルミ子

戊丁

「正義感・善なるもの」を求めて
「信頼されたい」で動く

古典名 有火有炉(ユウカユウロ)

従来解釈 知性、穏やか、名誉、固定概念、伝統、環境の影響を受ける、学問、人気

人物 三島由紀夫

辛戌

「信頼されたい」を求めて
「精神の損得勘定」で動く

古典名 反吟漏氣(ハンギンロウキ)

従来解釈 知恵、理性、援助を受ける、芸術、器用、不安定、企画、創造力、プランニング

人物 小沢昭一、三角寛、宮崎勤

庚己

「愛されたい」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 刑格(ケイカク)

従来解釈 知性、知恵、研究心、頭がよい、判断力、名誉、職人的、趣味

人物 原辰徳、斉藤一人、枝野幸男

癸庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「変化球勝負」で動く

古典名 宝刀己老(ホウトウキロク)

従来解釈 知性、学問、苦勞がともなう、プライド、大器晩成、芸術、伝統

人物 田中正造、桑田圭祐

壬辛

「精神の損得勘定」を求めて
「真っ向勝負」で動く

古典名 淘洗珠玉(トウセンシュギョク)

従来解釈 相互援助、知性、探究心、助言、教師、学問、プライド、人気、名誉

人物 湯川秀樹、坂本龍一

第四章 融合鑑定法ホロスコープ解説

■運命学の「一線」「二線」「三線」

この章から占星学の説明に入っていきますが、本題に入る前に、運命学の「一線」「二線」「三線」という内容について説明します。

運命学の「二線」とは「占星学」のことを指します。つまりホロスコープのことです。そして「二線」がいわゆる「子平」です。四柱推命のことです。そして「三線」が「紫微斗数推命」です。運命学には、このようなレベル分けがあります。これば中国の古典の原書に書かれている内容です。

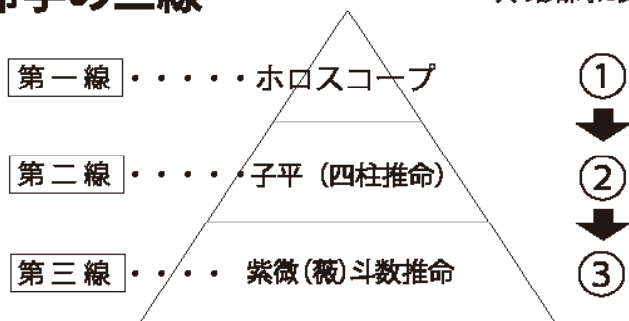
■「占星術」が第一線に位置する理由とは？

ではなぜ「二線」という位置に占星術が入っているのでしょうか？

その理由は、『人を診断するときには、まず一番最初にホロスコープを使え』という古人の教えがあるからです。そして、その教えは「ホロスコープ」を使った次に「子平」つまり四柱推命、三番目に「紫微斗数」を使うように、と続いているのです。つまり数字の若い順が、人を見るときに使う占術の順番を示しているのです。

運命学の三線

人の診断時に使う順番

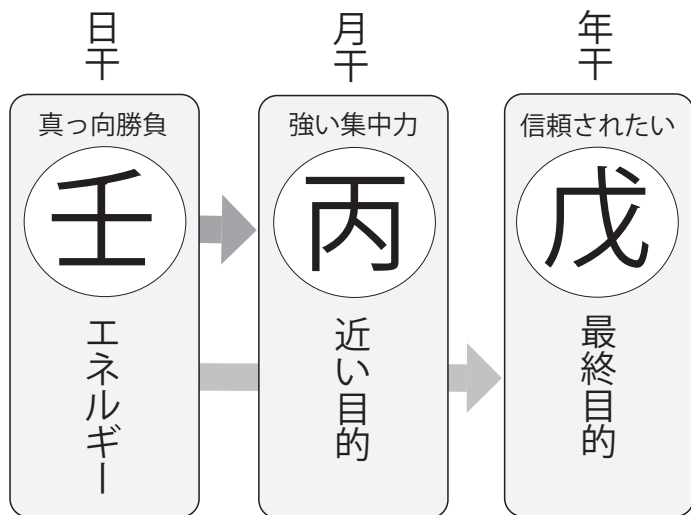


ですから実際の鑑定の場合では、これから説明するホロスコープを最初に使います。その後に、四柱推命（子平）を使います。そして最後に紫微斗数を使うのですが、紫微斗数は生まれた時間が正確にわからないと、使いものにならないので、今回は講義しません。しかし一番簡単に修得できる占術でもあることを覚えておいて下さい。

鑑定で使うのは一線・二線・三線という順番ですが、占術を修得するのが簡単なのは三線・二線・一線の順番なのです。

■実際の鑑定時には干支のみを使う

前章の復習にもなりますが、子平を使う場合、通変星や十二運星は無視して、完全に干支だけを使って鑑



天野氏の天干の並び、教科書的な通変星などでなく干支を使う

定します。命式には生年月日の干支の八字があります。そのうち四つの天干と日支だけを使います。

例えば私（天野氏）の場合、日干に壬があり、その右横に丙があり、さらにその右横に戊があります。日支は午です。生まれた時間もわかりますが、とりあえず今は無視します。使うのはこの四つだけです。

■十二運星、月支元命もみない鑑定法

通変星、十二運星もみません。私の場合、命式には偏財と正官がありますが、これもみません。十二運星も胎ですが、これもみません。月支元命の通変星もみません。年支の通変星

もみません。

■干支をしっかりとマスターするだけで一万通り以上の命式が読めるようになる

それでも、三柱の天干を組み合わせるだけで $10 \times 10 \times 10$ で千通りの組み合わせになります。さらに、そこに十二支が加わるわけですから、 $\times 12$ となります。つまり三柱それぞれの天干と日支の組み合わせだけでも、合計一万二千通りの組み合わせができるのです。ですから、やたらと星を増やして鑑定するよりも、十干と十二支をしっかりと押さえるだけで、何干・何万通りの命式を鑑定できるようになってしまうのです。

■天干と日支の具体的な解釈例

ここまでの内容をまとめます。

私の場合、壬は勝負ですから「勝負したい」という欲求があります。そして既に説明したように、目的を示す月柱天干が丙ですから、「極度の集中」となります。つまり私の命式の場合『極度の集中力をしたいがために、勝負をする』わけです。では、なぜ勝負をするので

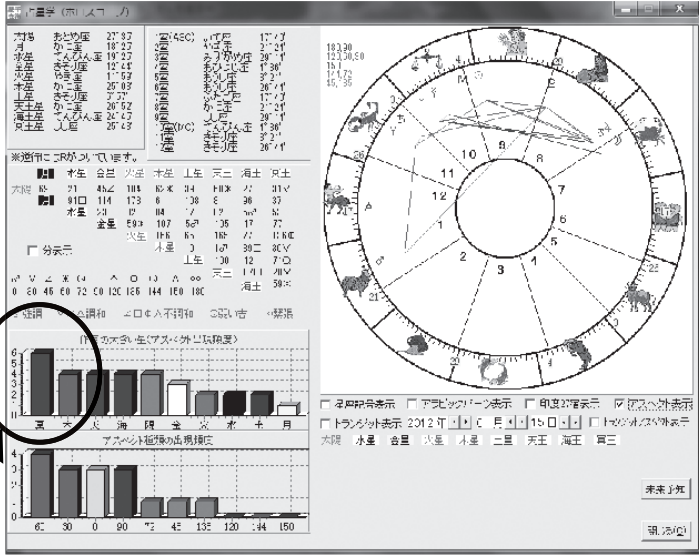
しょうか？・・・それは、極度の集中力を「楽しみたい」からです。楽しみたいというのは日支の午です。そのために勝負するのです。

そして最終的に年干にたどり着き、最後は『周囲から愛される人物になりたい』となるのです。このように鑑定していきます。

また形にとらわれることなく、この命式を『勝負を楽しみたいがために、集中する』とよむのもOKです。

「壬Ⅱ勝負」、「丙Ⅱ集中」、「午Ⅱ楽しい」、これらのキーワードを組み合わせてインスピレーションで象意をつくります。星平会海で使う象意とは、実はこれで十分なのです。皆さんにも、このように星と星とを結婚させて象意をつくれるようになって欲しいのです。

今説明した内容だけで、何万何千通りもの推命のパターンが出来ます。しかもイメージの力を使うので、一瞬のうちに自力で象意をつくりあげてしまいます。なおかつ、覚えるのは「十干（十種類）」と「十二支（十二種類）」だけです。これだけで何万パターンも存在する様々な命式が、臨機応変によめてしまうのだから最高です。



星平会海のPCソフトで診断すると、支配惑星もすぐに表示される、上は安倍晋三首相のホロスコープ「冥王星」が最もアスペクトしているのがわかる。

■ホロスコープを構成する基本について

前章までは四柱推命の十干の象意について解説しましたが、ここからは、同じようにホロスコープについて解説していきます。

まずは基本ですが、ホロスコープとは「星座」と「惑星」の組み合わせからできているものです。そして西洋占星術の一般的な見方としては、「○」星座に、「○○」惑星が入ったから「○だ・・・」というような解釈をしていきます。これが星座対惑星でホロスコープを解釈していく見方です。

例えば、私のホロスコープ場合、太

陽がやぎ座に入っていますので、この方法に従って鑑定すると「社会的責任が強い人」という解釈になります。

■「支配惑星」「支配星座」のみつけ方

星平会海プロ版のパソコンソフトを使って、占いたい人物の生年月日を入力すれば、その人物の支配惑星が自動的に表示されるようになっていきます。支配惑星とは、通常は一番アスペクトしている惑星のことをいいます。アスペクトで支配惑星を決める方法です。

また、それとは別に支配星座を中心に見ていく鑑定法もあります。それは、「特定の星座の中に、惑星が三つ以上あるときに、その星座を支配星座とする」という方法です。惑星が二つ入っている状態では、惑星が星座の支配を受けているとまではみません。バランスよく影響を受けている状態とみます。

また、もう一つ別にハウス区分でみる方法もありますが、これは生まれた時間が正確にわからないと使えない方法なので、今回は無視します。ちなみにハウス区分による診断法は、実は紫微斗数推命と同じ仕組みになっています。ですから、もし十二区分を使いたいと思う

なら、紫微斗数推命をマスターして、そっちを使ったほうが実用的です。

■ “星座と惑星の結婚” でホロスコープを読むとは？

それでは本題の“星座対惑星”について解説をしていきます。基礎を固めるという意味で、全ての組み合わせをさっと流して解説しますが、一番重要なのは、『まずは支配惑星を発見して、その星に何がアスペクトしているか？』をみることです。

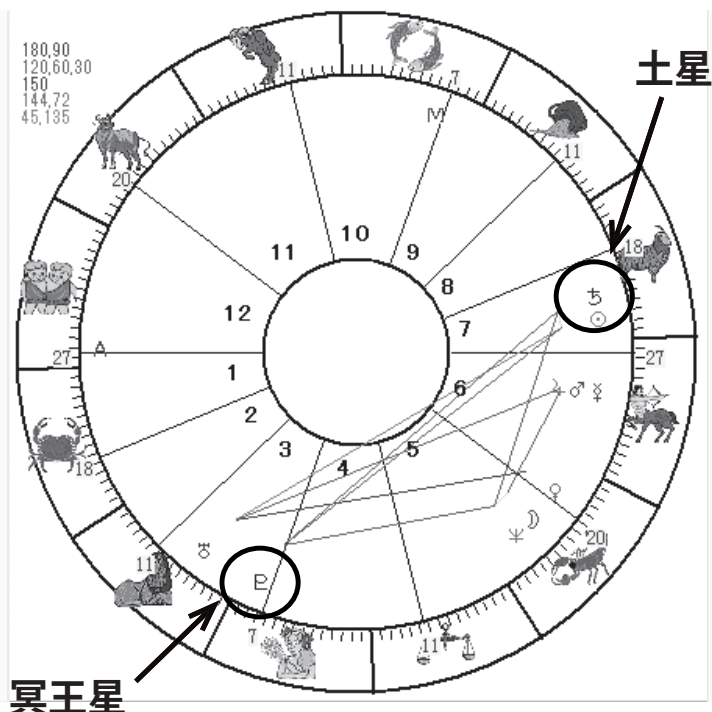
例えば私のホロスコープの場合、土星と冥王星が強いのですが、そこから、土星と冥王星に何がアスペクトしているかをみていくのです。すると冥王星に太陽や月、土星、海王星がアスペクトしています。

冥王星は破壊と創造で、そこに太陽が作用するわけですから、“人生の目的が破壊と創造”となるのです。

月の作用により、“感情的にもガラッと簡単に自分の感情をスイッチングできる”という特徴がでてきます。

さらに土星はそれを忍耐強く、コツコツとやっていますから、“コツコツとものづくり

天野雲海氏のホロスコープ（星平会海ソフトを使用）



をして、一瞬で破壊して、また新しいものを創造していく”となります。

海王星は理想とか幻想ですから、現状を否定して新しい理想をつくっていく”となります。

このように星と星を結婚させて支配惑星をみていくのです。

つまり支配惑星だけに注目するのではなく、支配惑星に何がアスペクトしているのかで象意をつくっていくわけです。星と星との結婚をみていくのです。これが星平会海の一番重要なテーマとなります。これができるよう

になると、これが一番当たります。最初に人を診断するとき、この手法で人をみていきます。

■インスピレーションでホロスコープを解読する方法

それでは次に、基礎を固めるといふ意味から、十二星座と十個の惑星のパターンを解説していきます。これもパターンを全部、丸暗記するのではなく、そこからインスピレーションを得て、イメージが湧くようにしなければ意味がありません。

覚えるのは、十二星座と十惑星の意味だけ覚えて下さい。全部の組み合わせの百二十パターンを丸覚えする必要はありません。

■十二星座の基本キーワード

おひつじ座は『我あり』です。

おうし座は『持つ』です。すなわち所有欲です。

ふたご座は『伝える』です。すなわちコミュニケーションです。

かに座は『感じる』です。すなわち人懐っこい感じですが。

しし座は『創造』です。クリエイティブです。創造とは唯一無二のものをつくるということです。

おとめ座は『分析』です。だから批判的です。

てんびん座は『比較』ですから人目を気にします。

さそり座は『欲望』です。ですから愛情に欲望を感じると、深く魂と魂の結合を要求するような状態になっていきます。

いて座は『冒険』です。すなわち目標に向かってまっしぐらです。

やぎ座は『使う』です。ですから社会的に地位や立場を得ると、人を使うのが上手になります。

みずがめ座は『知る』です。すなわち新しい知識を得ていきます。

うお座は『信じる』です。信仰や博愛という意味があります。

これらの星座に惑星が入ったらどういう意味になるのかをみるのですが、そのために次に、各星のキーワードを紹介します。

■各惑星の基本キーワード

月は『感情』です。

水星は『知性』です。

金星は『楽しい・快楽』です。

太陽は『目標・エネルギー』です。

火星は『やる気』です。攻撃性です。

木星は『社会に対する関係性(社会関係)』です。社会に対してどう取り組んでいくかです。

土星は『コツコツ・束縛』です。(『困難』の意味もあります)

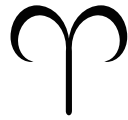
天王星は『独立・変革』です。

海王星は『理想・幻想』です。

冥王星は『徹底してやる』です。『創造と破壊』です。

以上は覚えて下さい。それ以外はインスピレーションでやっていきます。

■おひつじ座と各惑星の作用



月、「我あり」に「感情」ですから、気が短いとか自立心旺盛となります。野生児です。

水星、「我あり」に「知性」ですから、素早い決断力とストレートな表現となります。

金星、「我あり」に「楽しい」ですから、愛を闘いで勝ち取る、ライバルがいると燃えるとなります。

太陽、「我あり」に「目標・エネルギー」ですから、独立独歩の人生観となります。

火星、「我あり」に「やる気」ですから、突発的な行動となります。火星は攻撃でもあるので、異性に対しても攻撃的にアプローチします。負けず嫌いです。

まずは、
これだけ覚えてね！



木星・「我あり」に「社会との関係性」ですから、指導者的な立場となり、自分で幸運を勝ち取ります。

土星・「我あり」に「コツコツ」ですから、コツコツやります。束縛・困難が伴いますから、年配者や目上が苦手です。自分が中心なので、自分を邪魔する先輩や目上から反発します。

天王星・「我あり」に「独立・変革」ですから、大胆にやっけていくとなります。

海王星・「我あり」に「理想・幻想」ですから、発明とか開拓をやっけていきます。

冥王星・「我あり」に「徹底してやる」ですから、とにかく徹底してやるということです。

時々このテキスト（今回の講座では『占星学鑑定全書／紅竜著』から象意などが引用されています）には、「おやつ」思う言葉がでてきますが、その部分は実際の人物をみた上で、著者の紅竜さんが執筆している部分です。例えば天王星の「独立と改革」という箇所をみる

次はこれくらいを
マスター！

月

The Moon

- ・感情
- ・家庭
- ・母親
- ・住環境
- ・感受性
- ・日常生活
- ・反応能力



かに座のルーラー

と「工業的センスがある」と記述がありますが、これは実際のそういう設計の分野で成功した人物の実例をもとに書かれている内容なのです。このように紅竜さんのテキストは、実際の人物をみた上で得られたインスピレーションが含まれているので、そのことを頭に入れておいて下さい。



実

エネルギー大



エネルギー小

虚



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！

月
The Moon



■おうし座と各惑星の作用



月・「持つ」に「感情」ですから、モノに愛着を持ち、肌触りに敏感です。

水星・「持つ」に「知性」ですから、実際に役立つ知識以外興味がありません。マイペースでゆっくりしゃべります。

金星・「持つ」に「楽しい」ですから、お金やモノを楽しみます。お金も恋愛相手も所有したくなります。

太陽・「持つ」に「目標・エネルギー」ですから、物質世界の現実を重視する人生観となります。

まずは、
これだけ覚えてね！



火星「持つ」に「やる気」ですから、強い所有欲となります。

木星「持つ」に「社会との関係性」ですから、生まれながらに社会的に発展していきます。

土星「持つ」に「コツコツ」ですから、ものに対する考え方が非常に堅実です。コツコツやっています。

天王星「持つ」に「独立・変革」ですから、感覚機器のどこかに突出したものがありません。斬新な感覚の持ち主です。

海王星「持つ」に「理想・幻想」ですから、理想を追い求めますが、そのやり方が非常に物質的です。

冥王星「持つ」に「徹底してやる」ですから、とにかく徹底して所有にこだわる人となります。



次はこれくらいを
マスター！

水星

Mercury

- ・ 知性の傾向
- ・ 話すこと、書くこと
- ・ コミュニケーション
- ・ 学習 ・ 記憶
- ・ 推理 ・ 旅行



ふたご座と
おとめ座のルーラー

■ふたご座と各惑星の作用



月・「伝える」に「感情」ですから、好奇心が旺盛で無邪気です。流行にも敏感です。屋台が好きです。

水星・「伝える」に「知性」ですから、何でも知りたがる面があり、それを伝えます。知的で機転が効きます。

金星・「伝える」に「楽しい」ですから、恋愛や対人関係は楽しく美しくあるべきとなります。路上でナンパも普通にします。

太陽・「伝える」に「目標・エネルギー」ですから、臨機応変で時代に逆らわない生き方をします。伝えるという意味はもちろんです。ふたごですから、「どっちかな、あつ

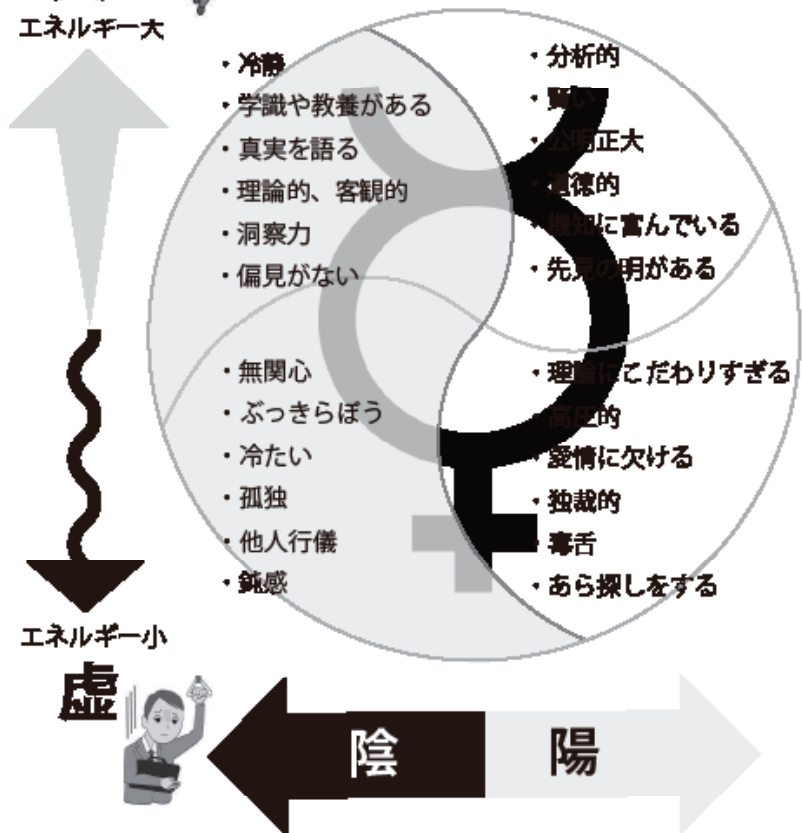


最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



実
エネルギー大

水星
Mercury



ちかな、こつちかな」という二面性もあり、行ったり来たりする特徴もあります。ですからマルチな才能という意味にみる解釈もあります。

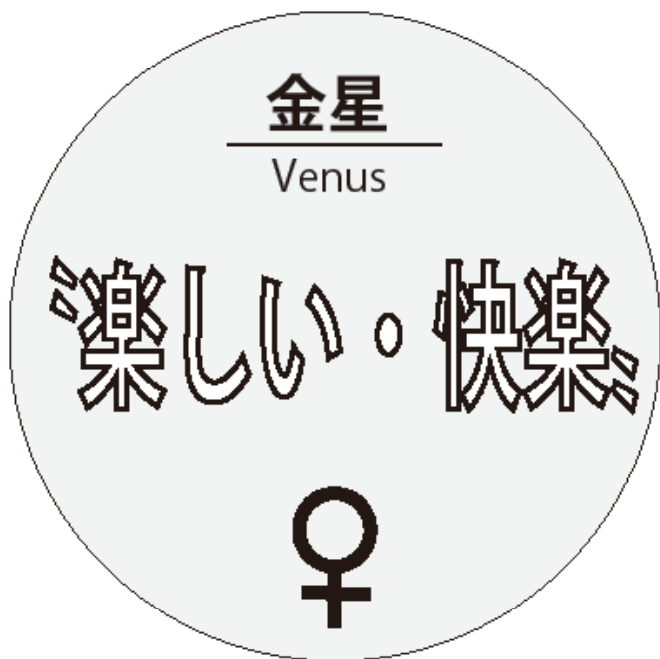
火星・「伝える」に「やる気」ですから、瞬間的で敏感だが持続力に欠けます。また頭の回転は速さがあります。

木星・「伝える」に「社会との関係性」ですから、社会を知る、社会を伝えるということから情報通で話題が豊富となります。

土星・「伝える」に「コツコツ」ですから、知的なコンプレックスとなります。ふたご座は伝える知性なので、それが制限されるということからこの意味が発生しています。しかし知的コンプレックスというよりは、人見知りといったほうが、しつくりします。伝えるのが苦手、伝えるのが束縛されるということです。

天王星・「伝える」に「独立・変革」ですから、人と違う表現を好みます。

まずは、
これだけ覚えてね！



海王星、「伝える」に「理想・幻想」ですから、文学や芸術で人に何かを伝えるとなります。

冥王星、「伝える」に「徹底してやる」ですから、あれもこれも何でも徹底してやってみるとなります。

次はこれくらいを
マスター！



金星

Venus

- ・愛情傾向
- ・人気 ・芸術
- ・バランス感覚・協調性
- ・平和と和合 ・親和力
- ・華やかさ



おうし座と
てんびん座のルーラー

■かに座と各惑星の作用



月・「感じる」に「感情」ですから、**面倒見がよく人間関係が良好**です。人にまとわりつく感じですが。

水星・「感じる」に「知性」ですから**情に流されやすい**ですが、**立ち振る舞いの端々に知性があらわれます**。知性は冷静ですが、かに座は感情的なのでそのような感じになります。

金星・「感じる」に「楽しい」ですから、**人懐っこい**ですが、**本心は見えにくい**です。

太陽・「感じる」に「目標・エネルギー」ですから、**保守的な人生観**となります。普通であることの**素晴らしさ**を知っている人です。かに座は**自分の周りに人が居ることを、それを気持ちよく感じる**という面があります。



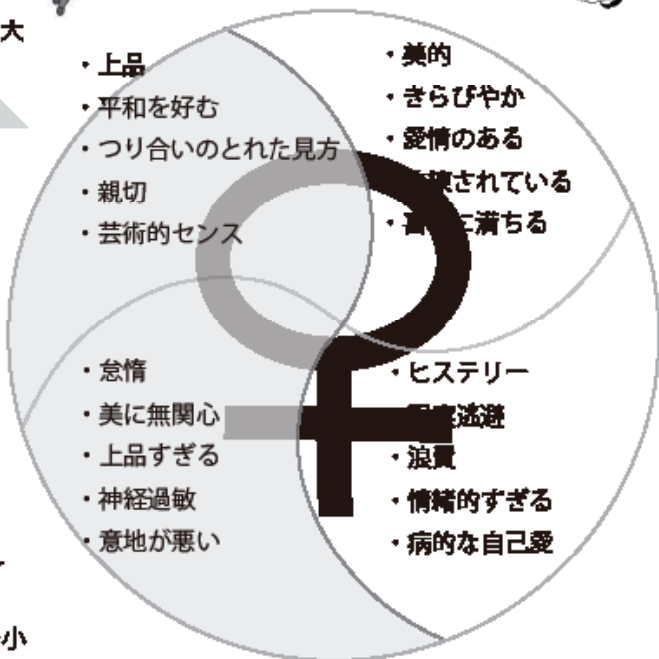
最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



実
エネルギー大

金星

Venus



- ・上品
- ・平和を好む
- ・つり合いのとれた見方
- ・親切
- ・芸術的センス
- ・美的
- ・きらびやか
- ・愛情のある
- ・愛されている
- ・喜びを満ちる
- ・怠惰
- ・美に無関心
- ・上品すぎる
- ・神経過敏
- ・意地が悪い
- ・ヒステリー
- ・逃避
- ・浪費
- ・情緒的すぎる
- ・病的な自己愛

虚
エネルギー小

虚



火星・「感じる」に「やる気」ですから、内弁慶になる傾向があります。かに座は感じるのですから、感情的に爆発するという解釈もあります。

木星・「感じる」に「社会との関係性」で、平凡で衣食住の安定感があれば満足します。

土星・「感じる」に「コツコツ・束縛」ですから、感情を抑えそれを引きずります。これも感情を束縛するということです。

天王星・「感じる」に「独立・変革」ですから、人間関係や家族愛的なものから脱出したいとなります。家系や家族制度に嫌悪感を持ちます。

海王星・「感じる」に「理想・幻想」ですから、人間関係や家族関係を理想なものにしたいとなります。

冥王星・「感じる」に「徹底してやる」ですから、感情や人間観関係を破壊しても平気です。

まずは、
これだけ覚えてね！



■しし座と各惑星の作用



しし座の「創造」には唯一無二という意味があります。そこからしし座の人には「人生はドラマである」と発想する特徴が出てきます。そのことを頭に入れながら、しし座と各惑星の結婚をイメージしていきます。

月・「創造」に「感情」ですから、感動的な人生を送りたい。特別な気持ちを感じたいとなります。

水星・「創造」に「知性」ですから、華やかな演出を加えた表現力となります。偉そうにしゃべることもあります。

金星・「創造」に「楽しい」ですから、ロマンチックな愛情となります。魅せる力や人

次はこれくらいを
マスター！

太陽

The Sun

- ・ 目標
- ・ エネルギー
- ・ 性格
- ・ 仕事
- ・ 人間関係
- ・ 父親
- ・ 健康状態
- ・ 品位



しし座のルーラー

を弾きつける力があり、奇抜なファッションをする場合もあります。

太陽「創造」に「目標・エネルギー」ですから、目的が誇り高く、自己中心の人生となります。カリスマ性があります。

火星「創造」に「やる気」ですから、強い自尊心があり、注目されたい思いがあります。

木星「創造」に「社会との関係性」で、やたらに新しいことをやっていくので目立ちます。派手です。楽天的です。

土星「創造」に「コツコツ・束縛」ですから、型にはまった古典的な分野で活躍するという面があります。この解釈は、創造が束縛されるところからきていると思いますが、それよりもコツコツやる創造性がある、ととらえたほうがいいでしょう。

天王星「創造」に「独立・改革」ですから、表現にひねりを加えるようになりますが、これ



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



実

エネルギー大

太陽

The Sun



- ・動じない精神力
- ・唯一無二でありたい
- ・ワクワク感が好き
- ・気高さがある
- ・名声や権威に向かう
- ・独創性を発揮
- ・楽々かさ
- ・とうれしい
- ・自己満足が忙しい
- ・自己主張がない
- ・弱々しい
- ・他人に合わせる
- ・目立たない
- ・ただのわがままだけ
- ・かなり自己中心
- ・独善的
- ・エネルギーが強すぎる
- ・支配したがる

エネルギー小

虚



はちょっと普通の創造力ではない、ということ。個性を貫きたいと解釈したほうがスムーズです。

海王星 - 「創造」に「理想・幻想」ですから、欲望をドラマティックに膨らませるということ。ことです。

冥王星 - 「創造」に「徹底してやる」ですから、とにかく徹底して新しいものを創ります。

まずは、
これだけ覚えてね！

火星

Mars

やる気・攻撃性



■おとめ座と各惑星の作用



おとめ座は「分析」です。だから批判的です。そして正確です。正確に物事をみます。そのため**実務能力がある**となります。これと惑星を結婚させていきます。

月、「分析」に「感情」ですから、**感情が真面目**となり、**感情表現が苦手**です。**根が真面目**です。

水星、「分析」に「知性」で、**実用的な知性がある**。分析的となります。

金星、「分析」に「楽しい」で、**愛情に完璧さを求めます**。分析的だからです。

太陽、「分析」に「目標・エネルギー」ですから、**自分を分析して管理**します。**職人氣質**です。

次はこれくらいを
マスター！



火星

Mars

- ・行動傾向
- ・積極性
- ・短気
- ・攻撃的
- ・格闘技
- ・勇気
- ・衝動的
- ・スポーツ



おひつじ座のルーラー

火星「分析」に「やる気」ですから、分析的な攻撃となります。正義感が強すぎて批判的になります。また仕事には情熱を燃やします。

木星「分析」に「社会との関係性」で、社会に対して分析しますから、良識的で細かく実務能力が高い人となります。あるいは良心的で社会を批判するでもいいです。

土星「分析」に「コツコツ・束縛」ですから、計算が得意です。医療とか健康に関する分野に関心があります。

天王星「分析」に「独立・変革」ですから、パソコンを使った事務能力などがあります。これはこういう人が実際に多いということでしょう。

海王星「分析」に「理想・幻想」ですから、代替療法や漢方などに期待を持つ世代とあ



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！

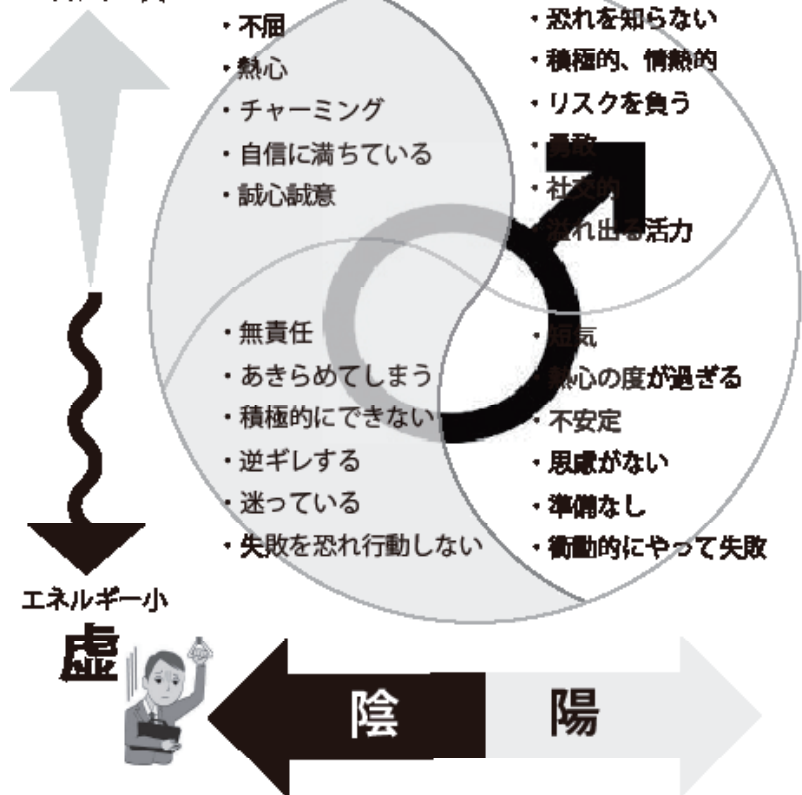


実

エネルギー大

火星

Mars



りますが、海王星は理想ですから、今までの物事を分解するものではなく、**物事を融合する**ような**分析の手法**に時代が変わってきていることを表しています。

冥王星「**分析**」に「**徹底してやる**」ですから、**医療・健康・雇用**などを**改善**したい世代です。今の**医療・健康・雇用**などの分野を**徹底的に分析**して、その上で**破壊**して、**新しいもの**を創ったりします。

まずは、
これだけ覚えてね！

木星

Venus

社会との関係

24

■てんびん座と各惑星の作用



てんびん座は「比較」ですが、平和主義者です。ただし、人に対しては攻撃的になります。見た目は非常に上品で優雅です。そしてものごとを公平に扱います。

月・「比較」に「感情」ですから、誰とでもうまく付き合えます。気配り精神です。

水星・「比較」に「知性」で、相手に合わせたコミュニケーションです。外交手腕があります。

金星・「比較」に「楽しい」で、沢山の人から愛されたいとなります。洗練されたセンスがあります。バランスのとれた快樂ということです。

太陽・「比較」に「目標・エネルギー」ですから、公平な人生観です。

次はこれくらいを
マスター！

木星

Jupiter

- ・ 発展 ・ 拡大、膨張
- ・ 富と名誉 ・ 社会性
- ・ 物心両面の恩恵と保護
- ・ 正義と道徳 ・ 保存
- ・ 学問や宗教 ・ 成功



いて座のルーラー

火星・「比較」に「やる気」ですから、誰かに熱中しているとありますが、自分と誰かを比較して熱中しているということですから。また人付き合いに熱中でもいいでしょう。

木星・「比較」に「社会との関係性」で、人と交流すること、社会と関係を持つことが楽しいので、人脈が広がります。

土星・「比較」に「コツコツ・束縛」ですから、対人関係にルールを持っていると書いてあります。人と比較してコツコツやっていくということから、こういう象意となっています。

天王星・「比較」に「独立・変革」ですから、本質面を評価します。また結婚生活に改革を求めます。これも実例からの象意です。

海王星・「比較」に「理想・幻想」ですから、人生に過剰に理想を追い求めていきます。

木星
Jupiter

- ・発展 ・拡大、膨張
- ・富と名誉 ・社会性
- ・物心両面の恩恵と保護
- ・正義と道徳 ・保存
- ・学問や宗教 ・成功

最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



実

エネルギー大

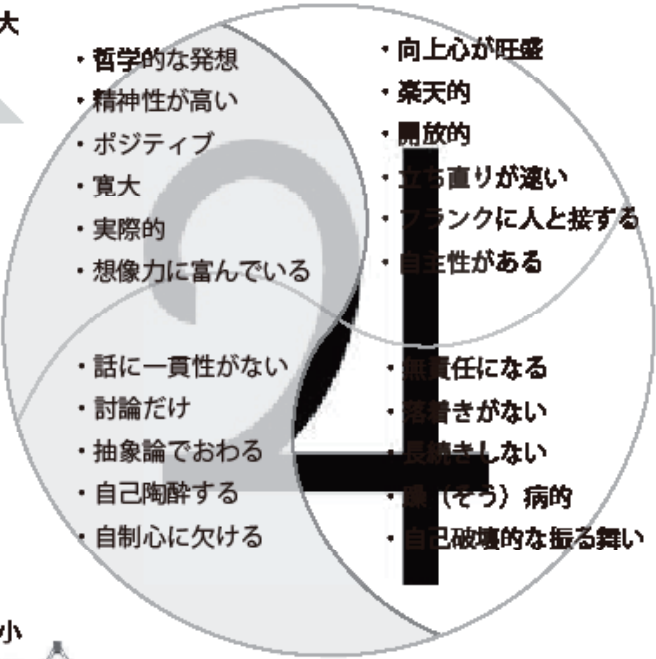
木星

Jupiter



エネルギー小

虚



冥王星「比較」に「徹底してやる」ですから、徹底して今までの結婚制度や共同制度を破壊して、新しいものをつくっていきましょうとします。

まずは、
これだけ覚えてね！



■さそり座と各惑星の作用



さそり座の「欲望」とは「人と深く交わりたい」という欲望です。粘り強く、鋭い洞察力があります。また裏切りません。逆に「裏切ったら殺す」のような情念を持っています。直観力もあります。

月・「欲望」に「感情」ですから、感情的に深く交わりたいとなります。

水星・「欲望」に「知性」で、自分の考えを人に押し付けます。交わりたいがために押し付けます。

金星・「欲望」に「楽しい」で、愛情の念が濃く一途です。

次はこれくらいを
マスター！

土星

Saturn

- ・ コツコツ
- ・ 束縛
- ・ 責任感
- ・ 誠実
- ・ 制限
- ・ 抑制
- ・ 孤独
- ・ 病気
- ・ 常識
- ・ ルール



やぎ座のルーラー

太陽・「欲望」に「目標・エネルギー」で、結合と変容を求める人生となります。人と深く交わりたいのが目的です。

火星・「欲望」に「やる気」で、しつこくのめり込みます。徹底してやります。性的情念があります。

木星・「欲望」に「社会との関係性」で、社会生活で深い感情の交流を求めます。

土星・「欲望」に「コツコツ・束縛」で、強い支配力になります。土星が現実ですから、現実を支配するようになります。権力志向です。

天王星・「欲望」に「独立・変革」で、自分を変えることができるので、自分を客観視できようになります。心理学的な方面で伸びます。

海王星・「欲望」に「理想・幻想」です。神秘の世界への深い洞察力があります。



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



実

エネルギー大

土星

Sataurn



エネルギー小

虚



陰

陽

冥王星、「欲望」に「徹底してやる」で、
神秘の世界を徹底的に追及して、そこから新し
いものに挑戦します。

まずは、
これだけ覚えてね！



■いて座と各惑星の作用



いて座は「冒険」ですが、根っこにあるのは**自由な精神**です。そしてこの星座は**楽天的で解放**です。もともと楽天的でなければ冒険もできません。

月・「冒険」に「感情」ですから、**自由で気まま、大雑把**となります。

水星・「冒険」に「知性」ですから、**精神的に価値があるかないかを重視**します。高い教養でもOKです。

金星・「冒険」に「楽しい」ですから、**自分より精神的に優れた相手（パートナー）**が欲しくなります。

次はこれくらいを
マスター！

天王星

Uranus

- ・独立
- ・変革
- ・変化
- ・発明発見
- ・常識を超える
- ・博愛
- ・非組織



みずがめ座のルーラー

太陽「冒険」に「目標・エネルギー」ですから、冒険と向上心の人生観となります。また哲学・宗教にも親しみます。

火星「冒険」に「やる気」ですから、意見の対立を楽しみます。

木星「冒険」に「社会との関係性」ですから、社会でいろんなことに挑戦して楽しみたいとなります。高い語学力を持つ場合もあります。

土星「冒険」に「コツコツ・束縛」ですから、教育や研究分野で活躍となりますが、コツコツやる現実重視と冒険の結婚ですから、現実を束縛しているものに対して挑戦しているということから、拘束から自由でありたいという意味も出てきます。

天王星「冒険」に「独立・変革」ですから、抽象的なものに強い理解を示します。つまりスピリチュアル的な面です。ですから常識のウソにまどわされません。



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



実

エネルギー大

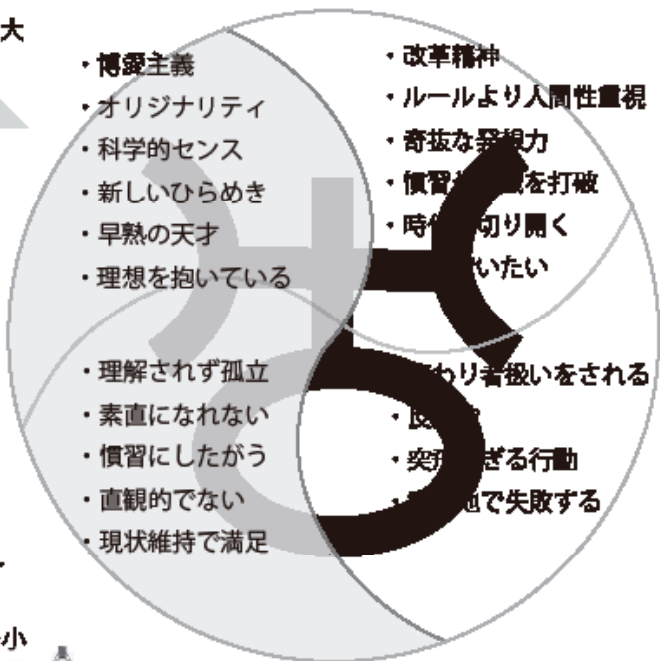
天王星

Uranus



エネルギー小

虚



海王星・「冒険」に「理想・幻想」ですから、理想を冒険します。つまり自由な精神でありたいとなります。

冥王星・「冒険」に「徹底してやる」ですから、宗教や思想、哲学を徹底して冒険するとなります。

いて座に、星が集まっている人は、だいたい宗教や哲学に強い関心を持ちます。いて座がなぜ冒険するか星座かというと、実は、そういうスピリチュアル的な面が強いからなのです。お金や物質の世界にしか関心の無い人は冒険しません。お金がかかりますし、時間もかかるからです。ですから、はじめに何かスピリチュアルなもの（宗教や哲学を含む）を求めているという部分があって、次に冒険に走ってしまうのだと理解して下さい。

まずは、
これだけ覚えてね！



■やぎ座と各惑星の作用



やぎ座は責任感です。社会的な責任感を象徴します。ですから積極的に行動します。そして堅実に行動します。

月、「使う」に「感情」で、社会のルールに従います。そして行儀がいいです。

水星、「使う」に「知性」で、具体的に実的な知性です。

金星、「使う」に「楽しい」で、その場その場にふさわしい態度をとります。TPOをわきまえた行動です。

太陽、「使う」に「目標・エネルギー」で、集団の中での弱肉強食的な人生観となります。

次はこれくらいを
マスター！

海王星

Nptune

- ・理想 ・幻想
- ・慈善 ・自己犠牲
- ・精神的分野 ・夢
- ・時空を超えた意識の拡がり
- ・美しい幻 ・直感
- ・不確定 ・ルーズ



うお座のルーラー

野心家です。

火星「使う」に「やる気」で、自制心を強く持つことに意義があるとなります。強烈な出世欲を持っています。この「自制心を強く持つ必要性」の本当の意味は、それほどの強い責任感や、強い野心が心の底にあることの裏返しなのです。

木星「使う」に「社会との関係性」で、社会的地位を目指します。

土星「使う」に「コツコツ・束縛」で、地域社会に対する順応性があります。またマイナス思考の癖もあります。強い責任感と野心が束縛されるということからそうなります。

天王星「使う」に「独立・変革」で、独立心を社会の中で活かしていきます。社会を変えていきます。

海王星「使う」に「理想・幻想」で、理想と社会ですから、意外と日本的な風習を理想と



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



実

エネルギー大

海王星

Nptune



します。

冥王星「使う」に「徹底してやる」で、**社会の破壊と新しい社会の創造**となります。

まずは、
これだけ覚えてね！

冥王星

Pluto

“徹底してやる”

“破壊と創造”

♇

■みずがめ座と各惑星の作用



みずがめ座は、自由でいたいという星座です。既得権が大嫌い、奇抜なものが大好きです。改革的な知性が大好きです。

月、「知る」に「感情」で、感情に左右されません。感情を表に出しません。

水星、「知る」に「知性」が入ると、まとめ役として非常に有能となります。

金星、「知る」に「楽しい」で、濃厚な恋愛を本能的に避けます。どちらかという博愛主義者です。

太陽、「知る」に「目標・エネルギー」で、社会的地位にはあまりこだわりません。

次はこれくらいを
マスター！

冥王星

Pluto

- ・破壊と創造
- ・支配
- ・徹底してやる
- ・劇的な変化
- ・異常さ
- ・洞察力
- ・死と再生
- ・極限状態
- ・絶対権力



さそり座のルーラー

火星「知る」に「やる気」で、社会など何かしらの縛りから自由でありたいと思います。

木星「知る」に「社会との関係性」で、社会を知りたい、他人を知りたいということで、非常に協力的になります。

土星「知る」に「コツコツ・束縛」で、コツコツできるものを知りたい、変わらないものを知りたいとなります。普遍性に対する強い思い入れとなります。

天王星「知る」に「独立・変革」で、人の個性をそのまま認めます。干渉もしません。

海王星「知る」に「理想・幻想」で、新しい知識、霊的なものを知りたいと思います。

冥王星「知る」に「徹底してやる」で、今までの知識を破壊して、新しい知識を得るとなります。



最終的には、
インスピレーションで
使いこなそう！



実

エネルギー大

冥王星

Pluto



- ・現実路線をいく
- ・洞察力のある
- ・極限まで追いつむ
- ・粘り強い努力
- ・謎めいた魅力
- ・無から有を生む
- ・現実的な行動
- ・徹底的な変化
- ・支配
- ・常識を超える発想
- ・変化できない
- ・現状維持が続く
- ・すぐあきらめる
- ・薄情
- ・全てを失ってしまう。
- ・残酷
- ・度が過ぎる破壊行為
- ・脅迫的

エネルギー小

虚



■うお座と各惑星の作用



「私は信じる」ということですが、非常に情的でやさしいですが、感情の起伏があります。ですから非常に人間味に溢れています。そして自分を犠牲にして相手に奉仕する精神もあります。

月・「信じる」に「感情」が入ると、甘えたり甘えられたりします。

水星・「信じる」に「知性」が入ると、非常に自由な発想をします。

金星・「信じる」に「楽しい」で、愛情とは相手に対する奉仕と考えやすくなります。ですからうお座の女性は男性にとって、とてもいいのです。

各惑星のキーワード

月	感情、
水星	知性、
金星	楽しい・快樂、
太陽	目標・エネルギー、
火星	やる気、
木星	社会に対する関係性、
土星	コツコツ・束縛、
天王星	独立・変革、
海王星	理想・幻想、
冥王星	徹底してやる、破壊と創造、

太陽「信じる」に「目標・エネルギー」で、魂の実現を求めたいとなります。

火星「信じる」に「やる気」で、信じて攻撃するということですが、感情の起伏があるので被害妄想に陥りやすいです。

木星「信じる」に「社会との関係性」で、人の気持ちに自然と共感できる人なので一緒にいると癒されます。

土星「信じる」に「コツコツ・束縛」で、自己犠牲に対する強い思い入れを持ちます。

天王星「信じる」に「独立・変革」で、形のないものを認識する力はあるが、言語化や具体化はできないとなります。これが具体的な行動となるには、やぎ座などの他のエネルギーが必要です。

海王星「信じる」に「理想・幻想」で、理想を信じます。

各星座のキーワード

おひつじ座	我あり。
おうし座	持つ。
ふたご座	伝える。
かに座	感じる。
しし座	創造。
おとめ座	分析。
てんびん座	比較。
さそり座	欲望。
いて座	冒険。
やぎ座	使う。
みずがめ座	知る。
うお座	信じる。

冥王星「信じる」に「徹底してやる」で、破壊と創造を信じます。

以上で百二十パターンを説明してきましたが、一つ一つの言葉を丸暗記するのではなく、実際の鑑定は人を見てその場、その時のインスピレーションを重視して判断するようにして下さい。

私(天野氏)の事例でいいますと。太陽が「やぎ座」に入っていますので、人生の目的が「使う」となりますが、これは人を使うとか、社会的に使うとなります。そして支配星座は星が三つ入っている「いて座」なので、宗教・哲学・スピリチュアル的なものに対する冒険性があるのです。それを「使う」の「やぎ座」が社会的に広めて行くわけです。「やぎ座」は「行動」の星座でもあるので、「いて座」のそのような冒険心を「やぎ座」に流していると解釈します。このように臨機応変にインスピレーションを使いながら人をみていくのです。

まとめ



おひつじ座

Aries

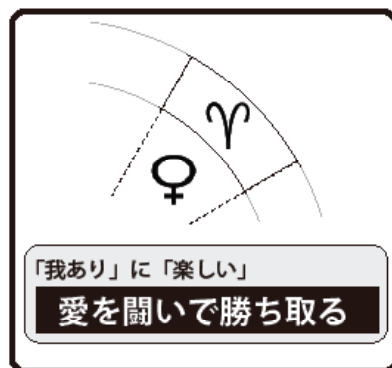
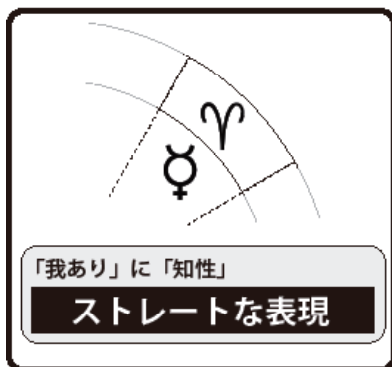
「我あり」



I am

活動

火



「我あり」に「社会との関係性」
自力で幸運を勝取る

「我あり」に「やる気」
突発的な行動

「我あり」に「独立・変革」
大胆にやっていく

「我あり」に「コツコツ・束縛」
上司や目上に反発

「我あり」に「徹底してやる」
とにかく徹底してやる

「我あり」に「理想・幻想」
発明や開拓に挑む



おうし座

Taurus

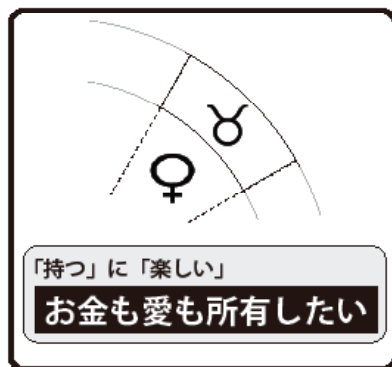
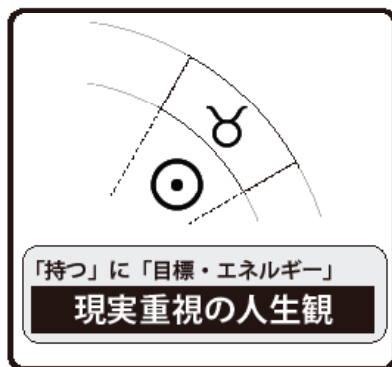
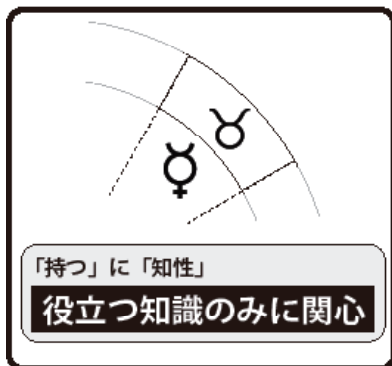
持つ

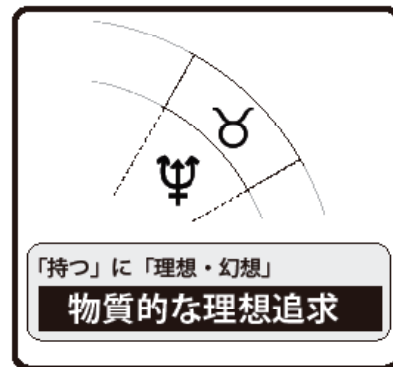
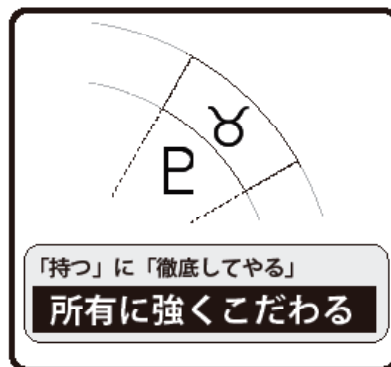
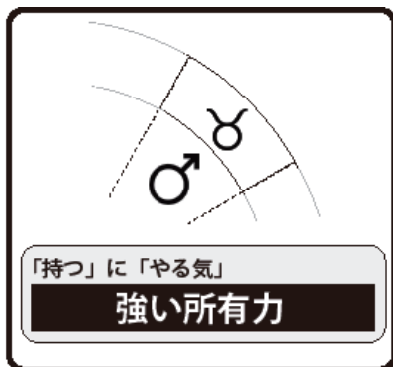
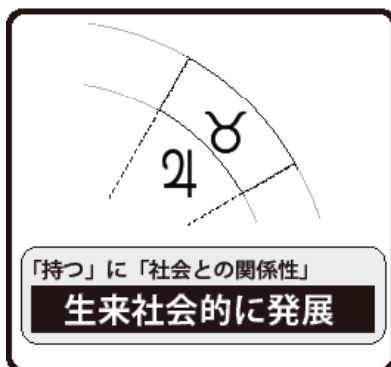


I have

不動

土







ふたご座

Gemini

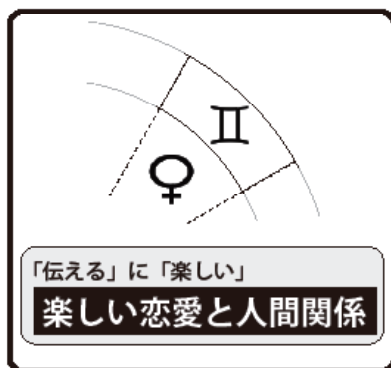
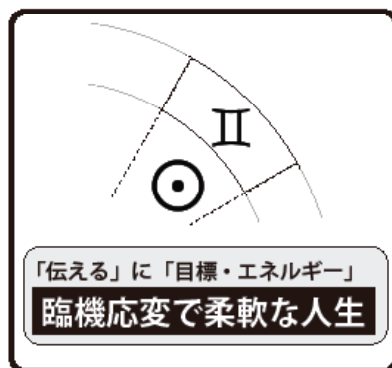
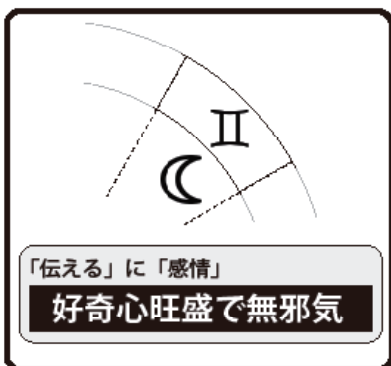
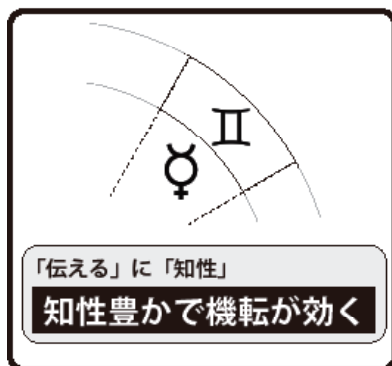
「伝える」

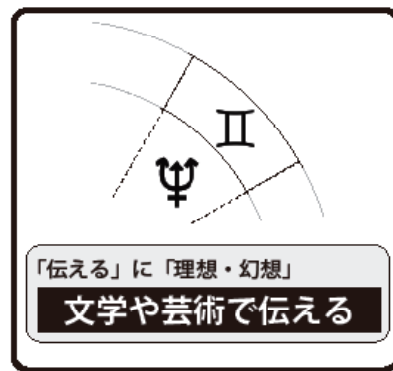
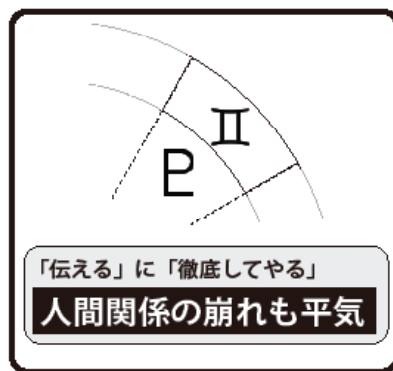
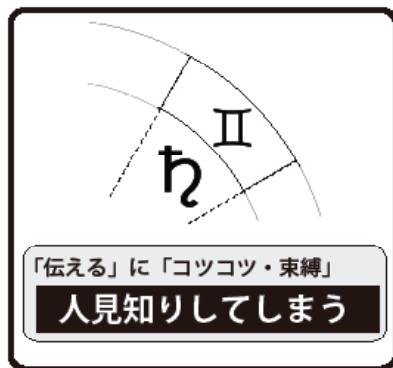
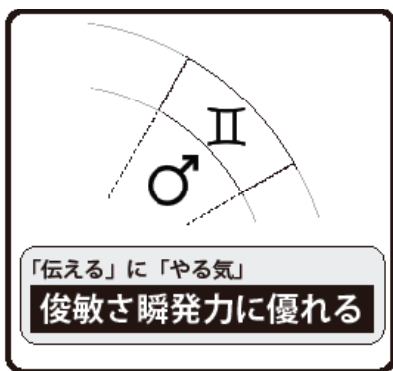
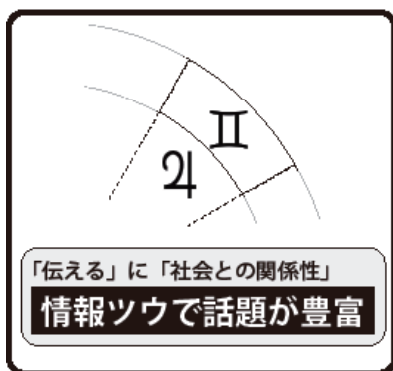


I communicate

柔軟

風







かに座

Cancer

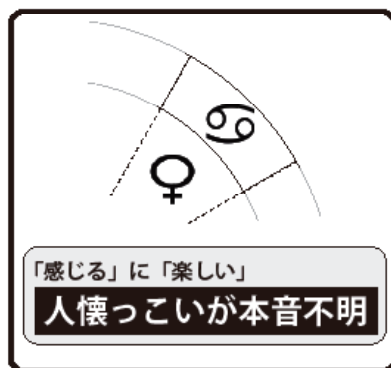
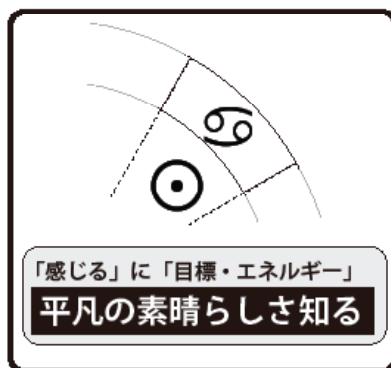
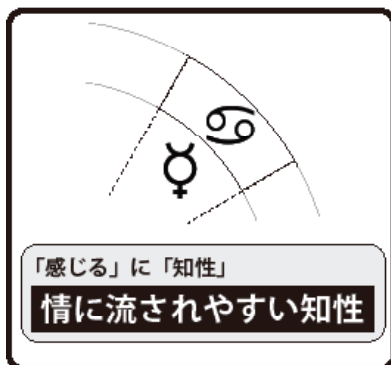
感じる

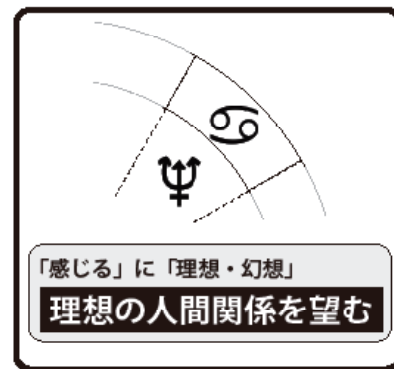
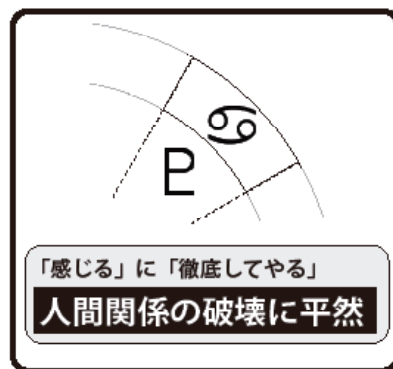
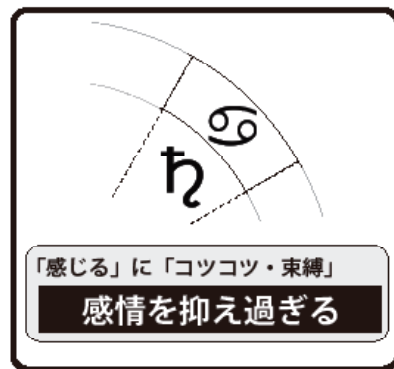
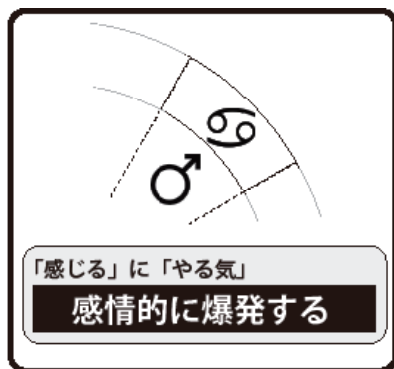
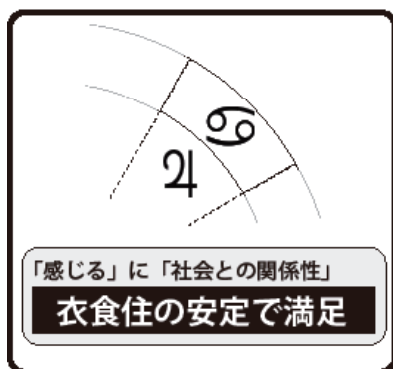


I feel

活動

水







しし座

Leo

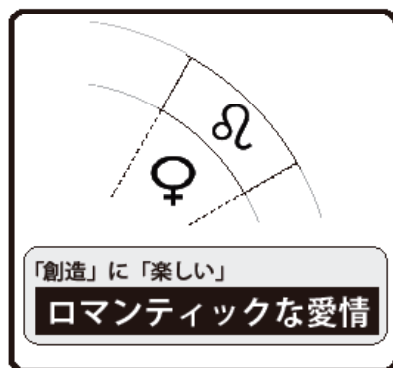
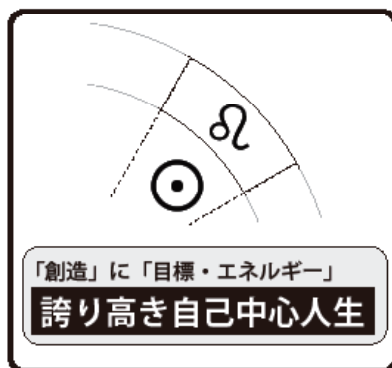
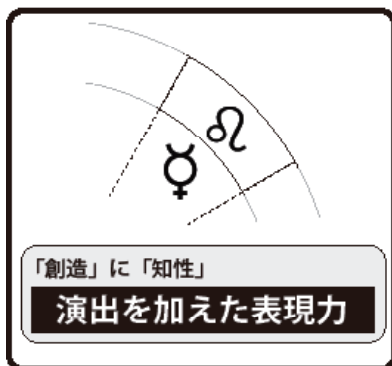
創造

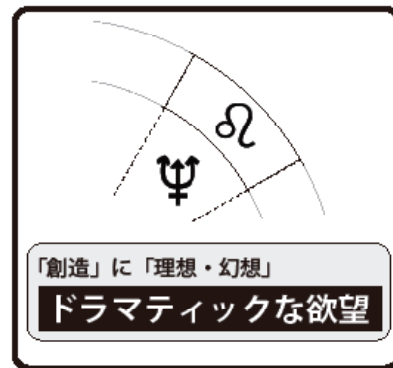
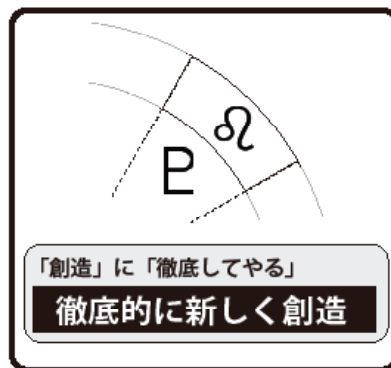
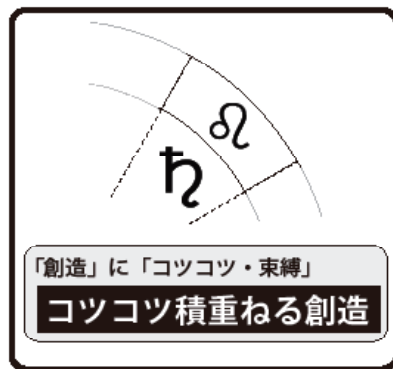
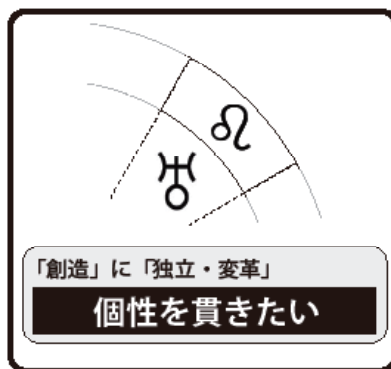
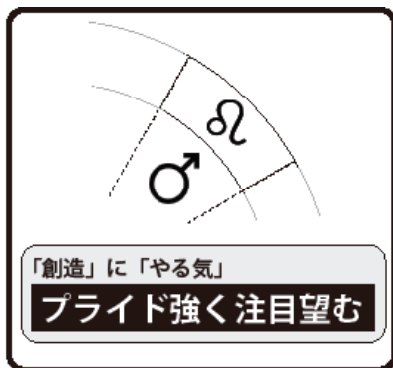
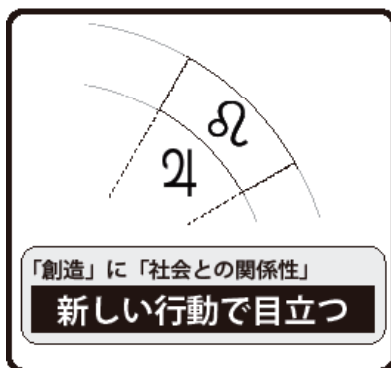


I create

不動

火







おとめ座

Virgo

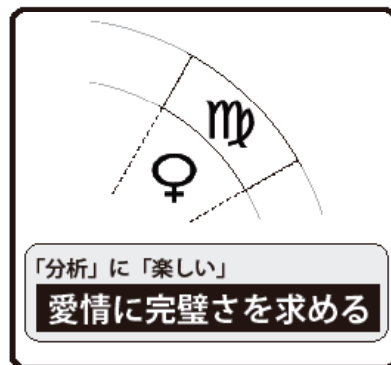
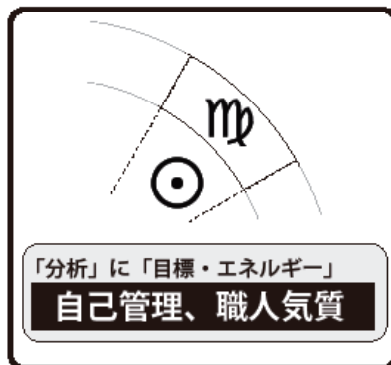
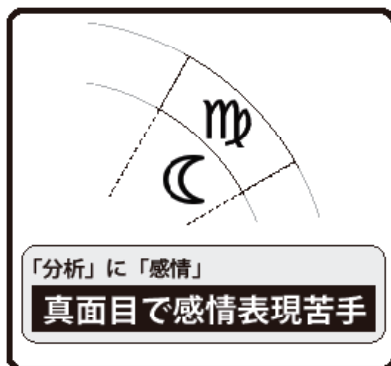
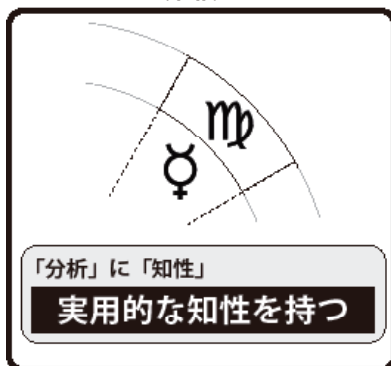
≒分析≒

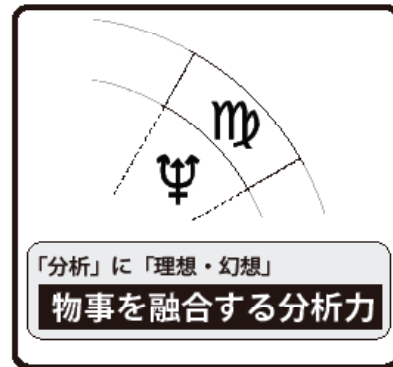
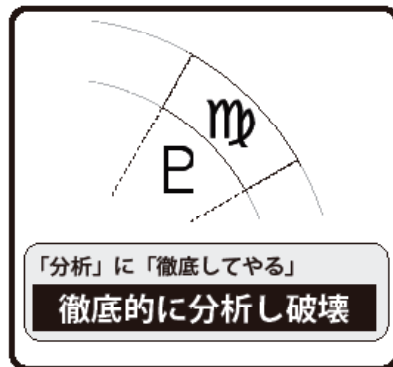
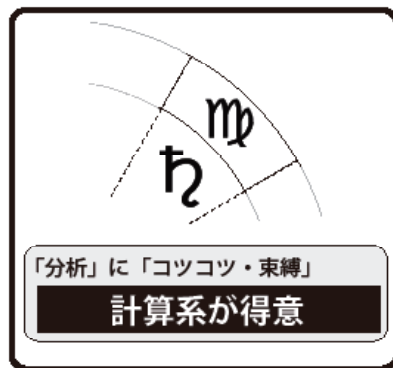
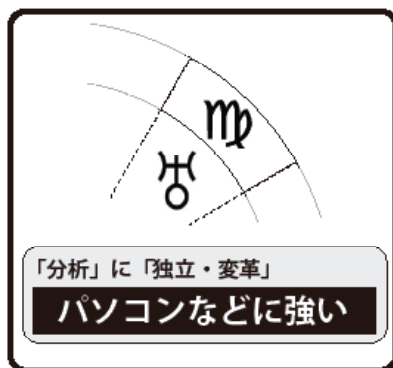
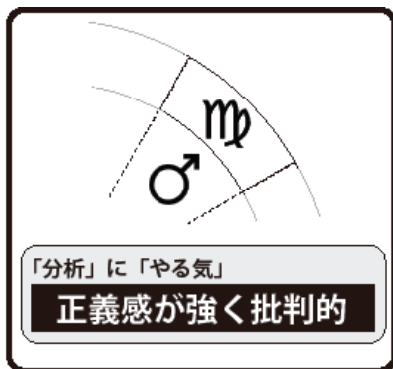
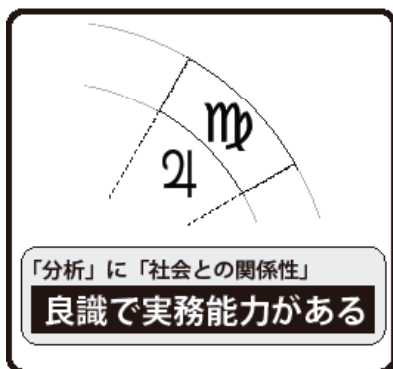


I analyze

柔軟

土







てんびん座

Libra

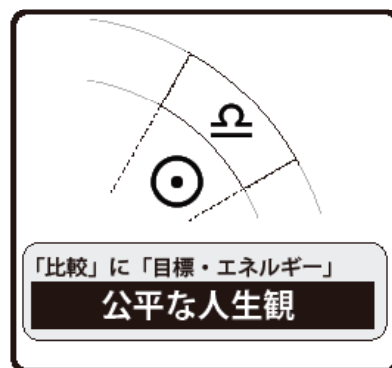
「比較」

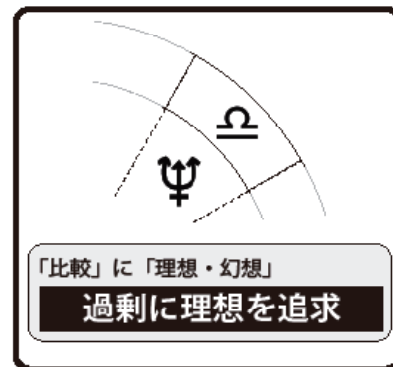
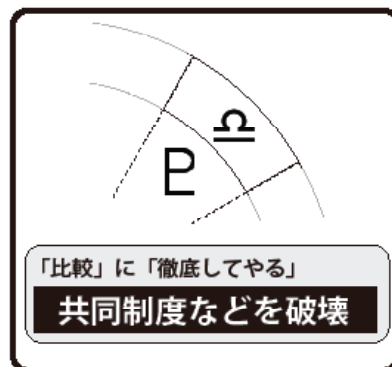
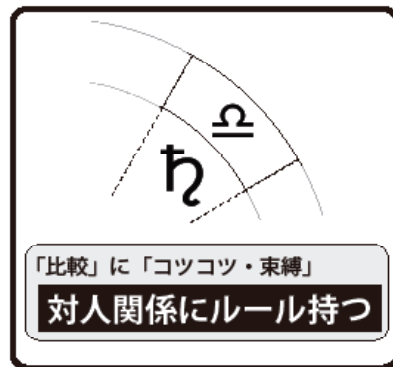
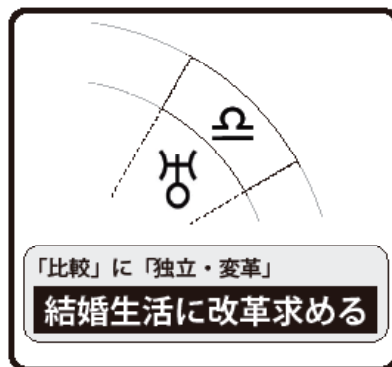
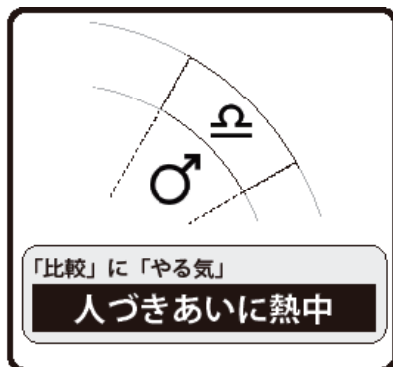
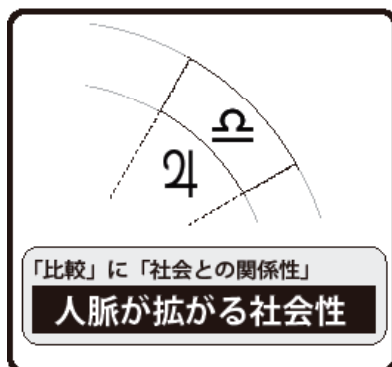


I balance

活動

風







さそり座

Scorpio

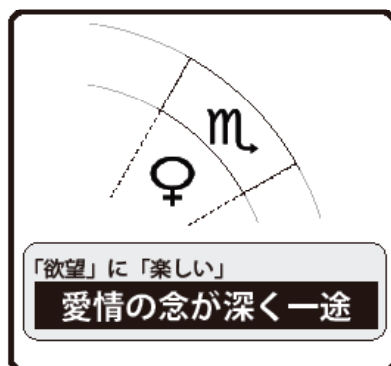
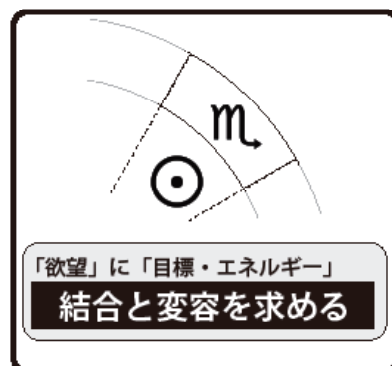
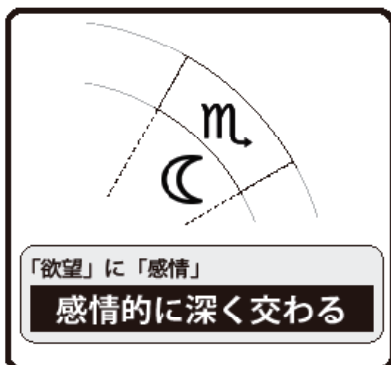
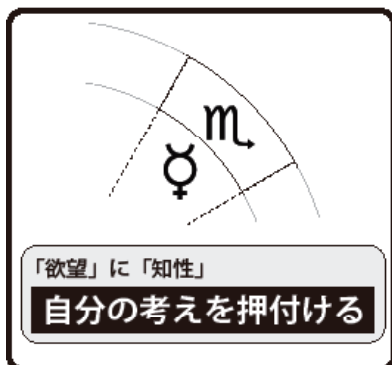
欲望

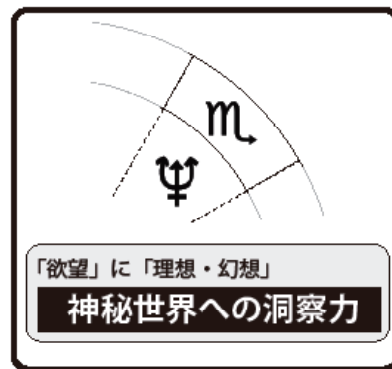
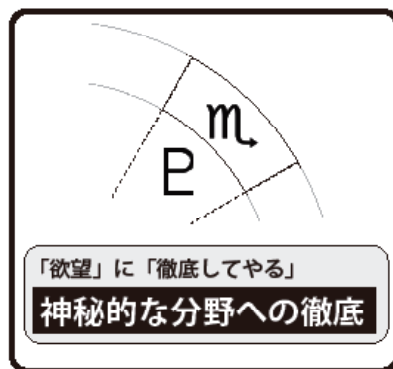
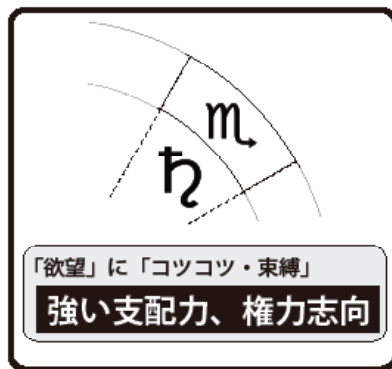
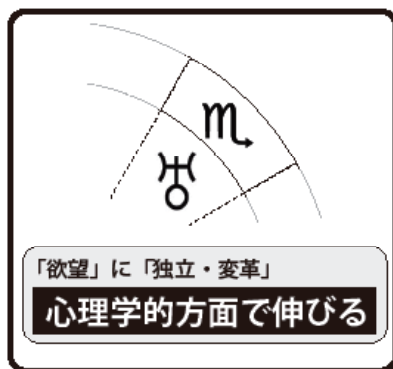
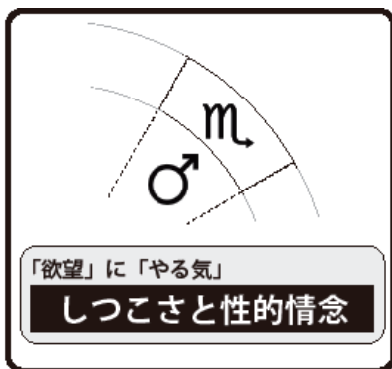
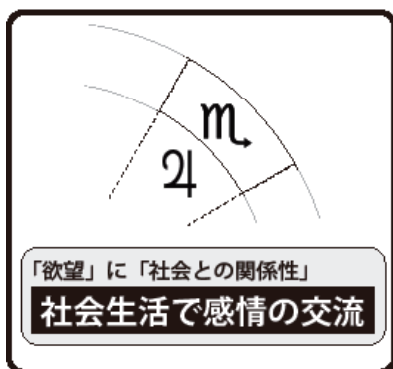


I desire

不動

水







いて座

Sagittarius

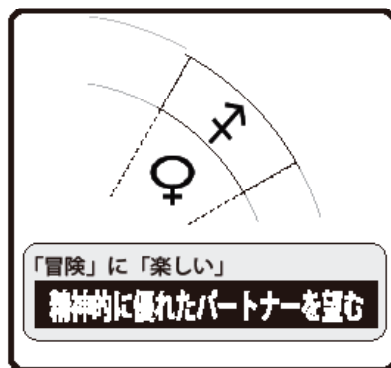
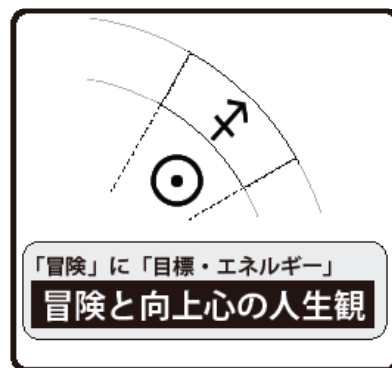
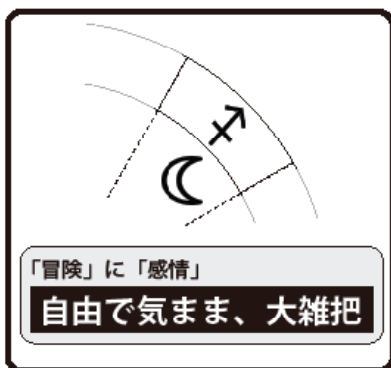
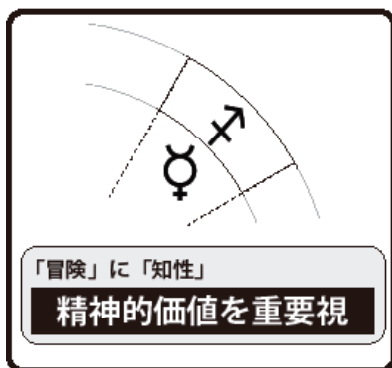
「冒険」

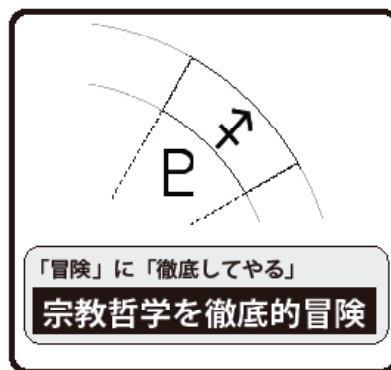
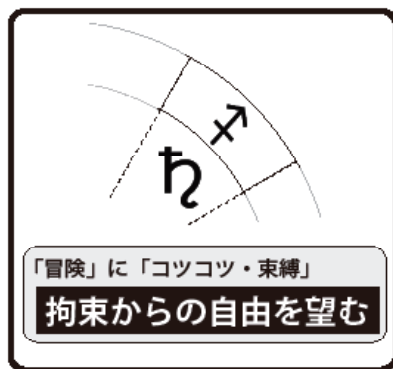
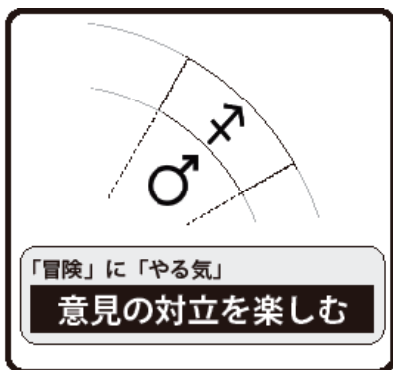
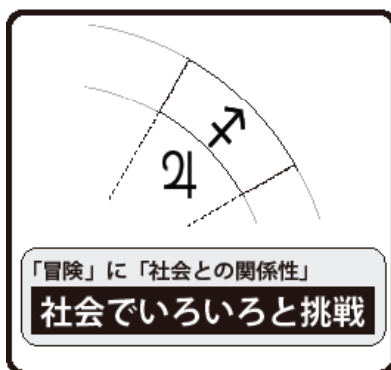


I explore

柔軟

火







やぎ座

Capricorn

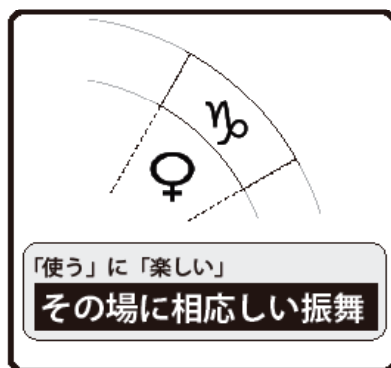
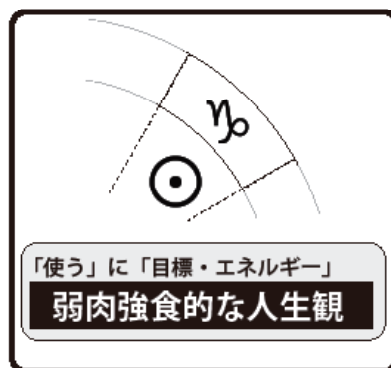
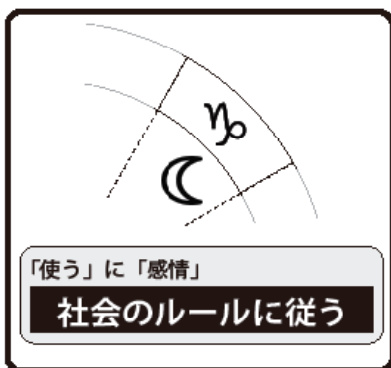
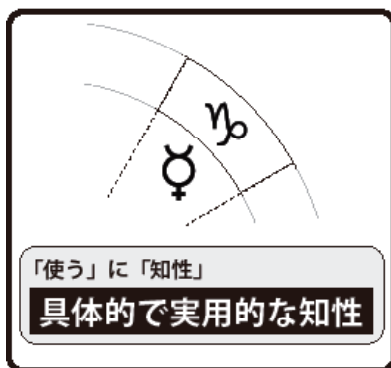
「使う」

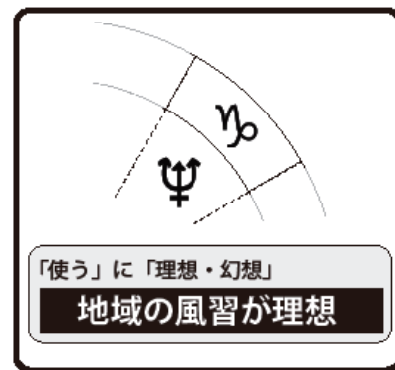
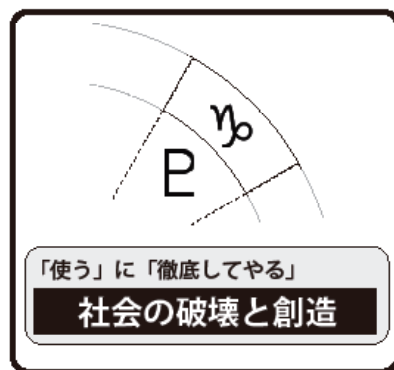
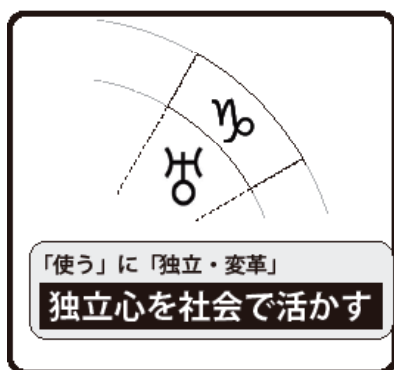
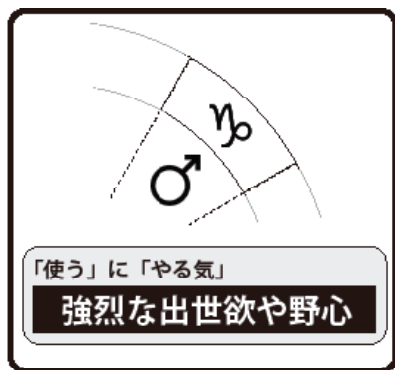
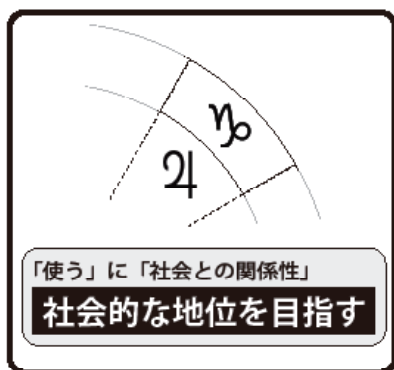


I use

活動

土







みずがめ座

Aquarius

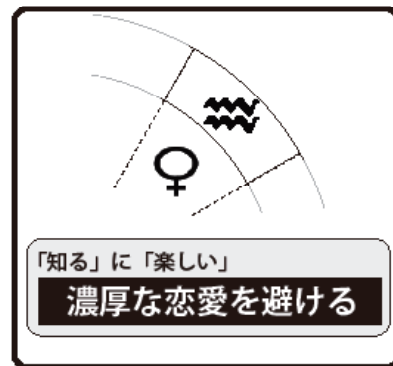
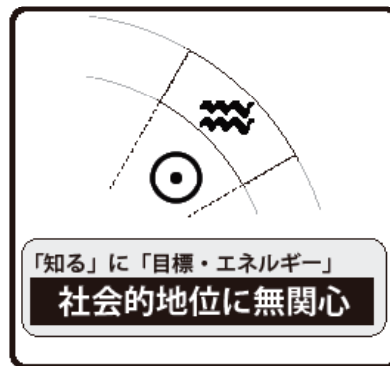
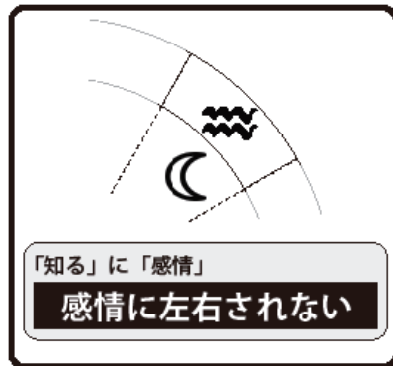
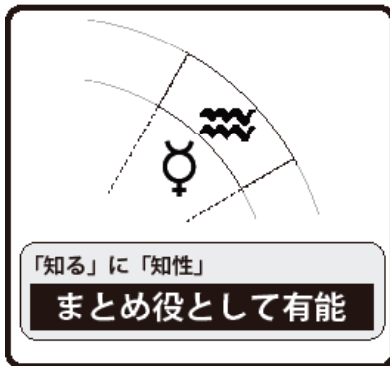
知る



I know

不動

風



「知る」に「社会との関係性」
非常に協力的な人

「知る」に「やる気」
縛りから自由でいたい

「知る」に「独立・変革」
個性をそのまま認める

「知る」に「コツコツ・束縛」
普遍性への思い入れ

「知る」に「徹底してやる」
今までの知識を破壊

「知る」に「理想・幻想」
霊的な新しいもの好き



うお座

Pisces

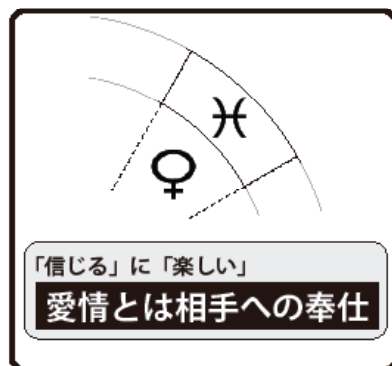
信じる



I believe

柔軟

水



「信じる」に「社会との関係性」
一緒にいると癒される

「信じる」に「やる気」
被害妄想に陥りやすい

「信じる」に「独立・変革」
形ないものを認識する

「信じる」に「コツコツ・束縛」
自己犠牲への思い入れ

「信じる」に「徹底してやる」
破壊と創造を信じる

「信じる」に「理想・幻想」
理想を信じる人

第五章 惑星の結婚とアスペクト

■「惑星と惑星の結婚」と「アスペクト」の見方を解説

この章では「惑星と惑星の結婚」と「アスペクト」について解説していきます。テキストとして前章と同じように『占星学鑑定全書』を使って解説していきますが、最終的には本や資料を使わずに、インスピレーションで診断できることを目標に、ホロスコープの見方について解説していきます。

■「アスペクト」とは惑星の組み合わせ

まずアスペクトと言っても、結局は十種類の惑星と十種類の惑星の組み合わせからできていることを理解して下さい。

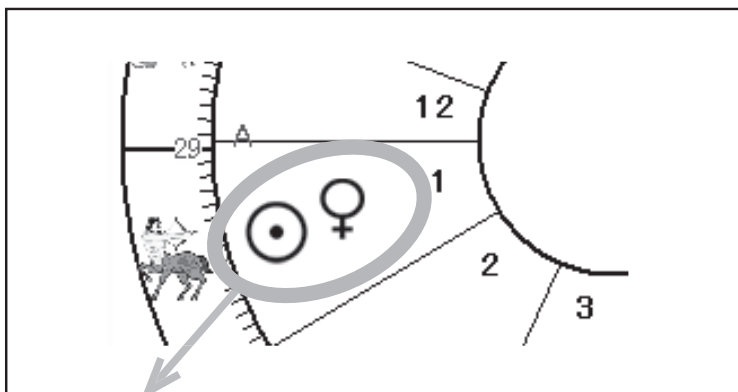
これらも四柱推命と同様に、組み合わせの一つ一つを全部丸覚えする必要は全くありません。私（≡天野氏）自身も全てを一字一句覚えているわけではありません。私が覚えているのは十個の惑星の基本的な象意だけです。あとはインスピレーションで、実際の人物を見ながらイメージを湧かせて鑑定しているのです。その方が、実際には使えます。

繰り返しとなりますが、惑星の組み合わせの各パターンを一字一句、完璧に暗記したとし

	☾	月と各惑星の組み合わせ ～惑星と惑星の結婚～
☾	☾☾	感情が動くのは、 感情に触れたとき
♀	☾♀	感情が動くのは、 知性が刺激されたとき
♀	☾♀	感情が動くのは、 楽しいものとの出会う時
☉	☾☉	感情を動かすこと自体が 人生の目的
♂	☾♂	感情が動くのは、 やる気が高まったとき
♋	☾♋	感情が動くのは、 社会関係を見出したとき
♌	☾♌	感情が動くのは、 コツコツと何かをやる時
♍	☾♍	感情が動くのは、 独立や革命するとき
♎	☾♎	感情が動くのは、 理想とか幻想的なもの
♏	☾♏	感情が動くのは、 破壊と創造のとき

でも実際の現場では使えません。ですからこの章では丸暗記ではなく、基本の覚え方をマスターすることを重視して解説していきます。

ホロスコープ上の `惑星と惑星の結婚、の具体例




















この場合、太陽と金星が0度でアスペクトしている。太陽と金星を結婚させた象意については「楽しいことや恋愛が人生の目的」と、本書には紹介されているが、「人生のエネルギー源は、恋愛や美しいもの」などのように変化させることもOK。鑑定する人が臨機応変にインスピレーションを使って象意をつくることが重要

それでは「惑星と惑星の結婚」の百ある象意を、一つ一つイメージで理解できるように解説していきます。まずは、十個の惑星について徹底して説明していきます。

■月と各惑星の組み合わせ

月が何らかの星とアスペクトしているときは、『感情が動くものは○○○だ』という解釈となります。

月、「感情が動くものは、感情に触れたとき」となります。

	 水星と各惑星の組み合わせ <small>～惑星と惑星の結婚～</small>
	 知性が発動するのは、 楽しいことがあるとき
	 知性が発動するのは、 何かの目的があるとき
	 知性が発動するのは、 やる気が高まっている時
	 知性が発動するのは、 対社会でいるとき
	 知性が発動するのは、 困難に陥ったとき
	 知性が発動するのは、 独立や革命のとき
	 知性が発動するのは、 理想の世界を求めるとき
	 知性が発動するのは 徹底してやる時

水星
「感情が動くものは、知性的なものが刺激されたとき」となります。

金星 「感情の動くものは、楽しいものとの出会いのとき」となります。

太陽 「感情を動かすのは目的。感情を動かすこと自体が人生の目的」となります。

火星 「感情が動くものは、やる気と攻撃が高まったとき」となります。

木星 「感情が動くものは、社会関係を見出したとき」です。何かしらの社会性のあるものに感情が動きます。

土星 「感情が動くものは、コツコツやること」となります。あるいは「束縛されるもの」です。困難なものに遭遇するとき感情が動くという意味です。

天王星 「感情が動くのは、独立とか変革のとき」となります。

海王星 「感情が動くのは、理想とか幻想的なもの」となります。

	♀	金星と各惑星の組み合わせ ～惑星と惑星の結婚～
☉	♀☉	楽しいことや恋愛が 人生の目的やエネルギー
♂	♀♂	楽しい気持ちになるのは どんどん攻撃するとき
♃	♀♃	楽しい気持ちになるのは 社会との接点を持つとき
♋	♀♋	困難を克服するときに 楽しいと感じる
♌	♀♌	改革したり改善するのに 楽しい気持ちになる
♍	♀♍	理想を追い求めるとき、 楽しい気持ちになる
♎	♀♎	徹底した破壊と創造を 楽しいと感じる

冥王星 「感情が動くのは、徹底してやるとき」となります。あるいは「感情が動くのは、

破壊と創造のとき」と
なります。

このようにみていき
ます。

■水星と各惑星の組み
合わせ

水星の場合『知性が
発動する(対象)のは
○○○だ』となります。

金星 「知性が発動するのは、楽しいことがあるとき」となります。「楽しいことに頭を使う、頭が回転する」ということです。

太陽 「知性が発動する対象は、目的があるとき」となります。何かしらの目的があつて、はじめて知性が発動します。

火星 「知性が発動するのは、やる気や攻撃性に満ちているとき」となります。

木星 「知性が発動するのは対社会に対して」です。つまり「何か世の中と関係性ができるときに、頭がよく回転する人」となります。

土星 「困難に陥ったときに、知性が発動する」となります。

天王星 「独立や変革のときに、知性が発動する」となります。

海王星「理想や幻想の世界を求めるときに、知性が発動する」となります。

	☉ 太陽と各惑星の組み合わせ ～惑星と惑星の結婚～
♂	☉♂ 人生の目的はやる気を発揮すること
♃	☉♃ 人生の目的は社会的発展をすること
♎	☉♎ 人生の目的は困難に打ち勝つこと
♊	☉♊ 人生の目的は独立して改革すること
♋	☉♋ 人生の目的は理想を追いかけること
♍	☉♍ 人生の目的は徹底した破壊と創造

冥王星「徹底してやる

ときに、知性が発動する」です。または「既存のものを破壊して、新しいものを創造する場合にのみ、知性が発動する」となります。

■金星と各惑星の組み合わせ。

金星の場合『楽しい気持ちが発動する(対象)のは○○○だ』となります。

太陽 「人生の目的は、楽しむことや恋愛」となります。

火星 「楽しいと思うことは、やる気があるとき」となります。または「楽しいと思うときは攻撃しているとき」となります。

木星 「社会と接点をもつことを、楽しいと感じる」となります。

土星 「コツコツと困難を脱出することを、楽しく感じる」となります。

天王星 「ものごとを改革したり、革命することに楽しさを感じる」となります。

海王星 「理想や幻想を追い求めるときに、楽しいと感じる」となります。

冥王星 「徹底して破壊と創造をするときに、楽しいと感じる」となります。

■太陽と各惑星の組み合わせ。

太陽は『人生の目的は〇〇だ』という解釈になります。

♂ 火星と各惑星の組み合わせ ～惑星と惑星の結婚～	
♂♂	やる気が起きるのは 社会との関わりがある時
♂♃	やる気が起きるのは 困難に遭遇したとき
♂♅	やる気が起きるのは 独立や変革するとき
♂♆	やる気が起きるのは 理想を追いかけるとき
♂♁	やる気が起きるのは 破壊と創造のとき

火星、「人生の目的は、やる気や攻撃性」となります。

木星、「人生の目的は、社会との関係を築くこと」です。または「人生の目的は、社会的発展」となります。

土星、「人生の目的は、コツコツやること、困難に勝つこと」となります。

天王星 「人生の目的は、独立して改革すること」です。変化に対してエネルギーを使います。

海王星 「人生の目的は、理想を追いかけること」となります。

冥王星 「人生の目的は、徹底して破壊と創造をやること」となります。

■**火星と各惑星の組み合わせ。**

火星は『やる気が起きるのは〇〇〇だ』となります。

木星 「やる気が起きるのは、社会との関わりがあるとき」となります。または「やる気が起きるのは、拡大のとき」となります。

土星 「やる気が起きるのは、困難に遭遇したとき」となります。

	24	木星と各惑星の組み合わせ ～惑星と惑星の結婚～
ち	24ち	社会との関わり方は コツコツとやっていく
≡	24≡	社会との関わり方は 独立と変革的なもの
ψ	24ψ	社会との関わり方は 理想のため接点を求める
巳	24巳	社会との関わり方は 既得権を破壊し再創造

天王星「やる気が起きるのは、独立するとき、変革するとき」となります。

海王星「やる気が起きるのは、理想を追いかけるとき」となります。

冥王星「やる気が起きるのは、徹底して破壊と創造をするとき」となります。

■木星と各惑星の組み合わせ。

木星は『社会との関わり方は〇〇〇だ』となります。

土星 「社会との関わり方は、コツコツとやっていく」となります。もしくは「社会との関わり方は、非常に困難で束縛に満ちたものになりやすい」となります。

天王星 「社会との関わり方は、独立と変革的なもの」となります。

海王星 「社会との関わり方は、理想を求めるために接点を持っていく」となります。

冥王星 「社会との関わり方は、徹底して今の既得権を破壊し、創造すること」となります。

■ **土星と各惑星の組み合わせ。**

土星は『コツコツと継続したいのは〇〇〇だ』となります。

天王星 「コツコツと継続したいのは、独立と変革」となります。

ち 土星と各惑星の組み合わせ <small>～惑星と惑星の結婚～</small>	
♄	ち♄ コツコツ継続したいのは 独立と変革すること
♅	ち♅ コツコツ継続したいのは 理想や幻想を求めること
♆	ち♆ コツコツ継続したいのは 徹底した破壊と創造

海王星 「コツコツと継続したいのは、理想と幻想」となります。

冥王星 「コツコツと継続したいのは、徹底してやること」となります。または「コツコツと継続したいのは破壊と創造」となります。

■天王星と各惑星の組み合わせ

天王星は『「変革したいのは〇〇だ」となります。

海王星 「変革したいのは、理想と幻想」となります。

「理想を求めながら変革していく」ということです。

冥王星 「徹底して破壊と創造をして、変化をもたらす」となります。

■ **海王星と各惑星の組み合わせ。**

海王星は『理想とするものは〇〇〇だ』となります。

冥王星 「理想とするのは、破壊と創造」となります。

以上のように、覚えることは十個の惑星自体の意味です。後は組み合わせ、融合させ連想でやっていくだけでいいのです。

■アスペクトの種類と解釈の違い

続いてアスペクトの種類について簡単に説明していきます。

○度、三〇度、六〇度、九〇度、一二〇度をメジャーアスペクトといえます。

【〇度】 - 同じ位置にいる状態です。一致しています。

【三〇度、六〇度、一二〇度】 - よい作用が起こりやすいアスペクトです。相乗効果が起こります。すんなりと発展していきます。

【九〇度】 - 緊張関係で、悪いほうに作用しやすいです。何かしらストレスがかかったり、一方がブレーキ的な作用になってしまいます。イレギュラーな現象が発生します。

天王星と各惑星の組み合わせ ～惑星と惑星の結婚～	
♄	変革したいのは理想と幻想
♄♄	徹底した破壊と創造で変革をもたらす

【二八〇度】 真反対にある関係ですから、学習し合う関係となります。お互いに持っているものを吸収しようとしています。

以上が主なアスペクトの解釈法です。それぞれの角度の簡単な説明をしていますが、インスピレーションを使って鑑定する場面では、実は細かい角度の違いは一旦脇に置いて、あまり使いません。文章を書くときなど、ロジック的な使い方をするときには使いますが、インスピレーションをフル活用する場ではあまり使いません。このことを頭の片隅に置いて使ってください。

そのことを踏まえた上で、続いて各惑星のアスペクトの違いによる解釈について解説します。



アスペクト【0度】

記号 ♀ コンジャンクション

星と星が同じ位置、一致した状態、お互い強め合う

アスペクト【90度】

記号 □ スクエア

緊張関係で、悪い方に作用しやすい。何かストレスがかかったり、ブレーキ的な作用が起こる。イレギュラーな現象が起こる。転換期には必要なアスペクト

アスペクト【30度】

記号 ∨ セミセクスタイル

アスペクト【60度】

記号 * セクスタイル

アスペクト【120度】

記号 △ トライン

よい作用が起こりやすいアスペクト、相乗作用が起こり、すんなりと発展していく、安定感や応用力が発生する

アスペクト【180度】

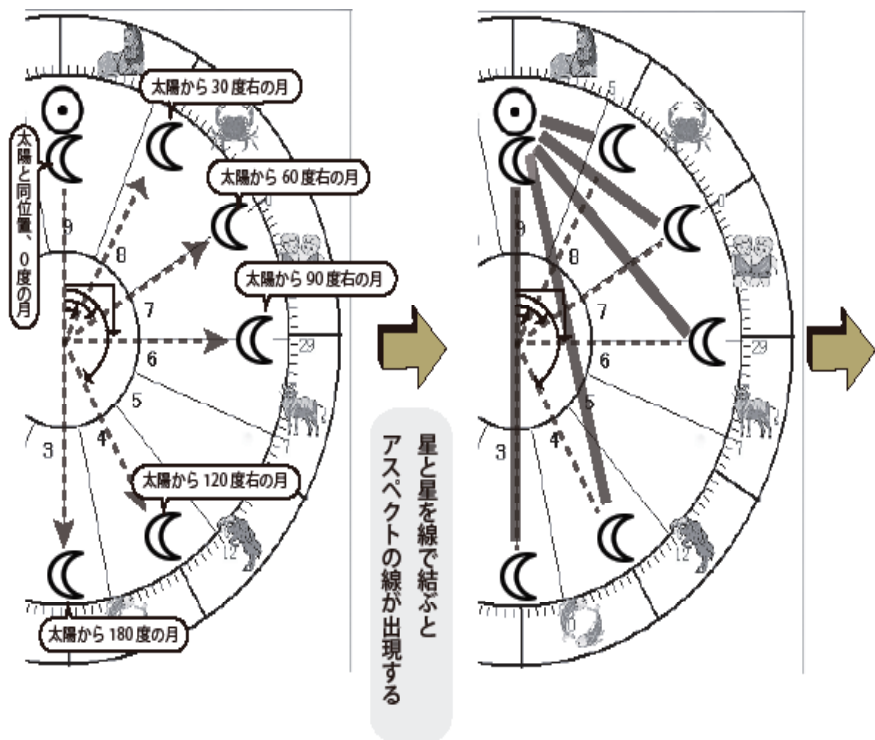
記号 ♀ オポジション

真反対にある関係で、お互いに学習しあう関係。持っていないものを吸収しようとする。反対の星を意識して自分の星の特徴を発揮する

c f) 動きの速い天体が、動きの遅い天体に干渉されているような感じ、相手（反対側）を意識している分、客観視する能力がある

速 < 遅

アスペクトの 角度別の解釈の違い



■太陽と各天体とのアスペクト別解釈

○●●●●●【太陽】●●●●●（獅子座【I create】火【意】）のルーラー

★太陽と月のアスペクト別の解釈

【〇度】 - 太陽と月が同じところにあるので「目的と気持ちが一致する」となります。

【三〇度、六〇度、一二〇度】 - 「普段のプライベートな生活で様々な工夫をする」となります。

【九〇度】 - 緊張していますから、「私生活の本心の部分をさらけ出すのが恥ずかしい」となります。

【一八〇度】 - 「目的のために私生活を犠牲にする」となります。

このような解釈になりますが、『占星学鑑定全書』にはもっと詳しく書いてあります。

いずれのアスペクト解釈も、例えば太陽と月の場合、太陽の『目的』と月の『感情』『プライベート』といった、それぞれの意味が融合されるときに「さじ加減」が少々変わるくら

いのものなので、ロジックで文章をつくるような場面以外では、そんなに意識する必要はないでしょう。

★太陽と水星のアスペクトの解釈

太陽と水星はあまり離れることはありません。ですから太陽の『目的』に水星の『知性』が常に関与していることになります。これは「**目的を持って何かをする場合、知性は必ず必要だ**」ということを示しているのです。

★太陽と金星のアスペクトの解釈

金星も太陽とあまり離れることはありません。これは「生きていくには、金星の楽しいことをしなさい」つまり「**人生は楽しむべきだよ**」ということ宇宙の神が教えていると思っただけでしょう。

★太陽と火星のアスペクト別解釈

太陽『目的・エネルギー』と、火星『やる気』です。

【〇度】 - 「積極的に行動して成功」となります。

【三〇度、六〇度、一一〇度】 - 「活力が衰えない」「いつまでも若々しい」となります。

【九〇度】 - 緊張気味ですから「目的ははつきりしてやる気はあるが、短気」となります。

【一八〇度】 - お互いに学びあう関係ですから「挑戦的で攻撃的」「常にパワフルでなければならぬ」となります。

★太陽と木星のアスペクト別解釈

太陽『目的・エネルギー』と、木星『社会との関連性』です。

【〇度】 - 「抜群の引き立て役」となります。社会自体が目的そのものに一致している状態です。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「素直で率直な発展」となります。

【九〇度】 - ちょっと緊張していますから「筋違いなところで発展していく」「意外な分野が

発展していく」となります。

【一八〇度】 - 学びあう関係で「手を広げすぎる」となります。

★太陽と土星のアスペクト別解釈

太陽『目的・エネルギー』と、土星『コツコツと継続』です。

【〇度】 - 「コツコツと努力していく人生」となります。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 - 「コツコツと積み重ねる伝統的な専門職」となります。

【九〇度】 - 緊張関係ですから「人生の目的にブレーキがかかる」となります。

【一八〇度】 - 学びあう関係ですから「自分をつくらうとするルールに従おうとする」となります。

★太陽と天王星のアスペクト別解釈

太陽『目的・エネルギー』と、天王星『独立と変革』です。

【〇度】 - 「独立心旺盛な人生」となります。その人の人生が、独立心そのものを目的と

している状態です。

【三〇度・六〇度・一二〇度】「華やかで斬新な人」となります。

【九〇度】「緊張関係ですから「普通が嫌」とか「変わり者でいたい」となります。

【一八〇度】「学びあう関係で、目的そのものが独立ですから「組織には向かない」となります。

★太陽と海王星のアスペクト別解釈

太陽『目的・エネルギー』と、海王星『理想と幻想』です。

【〇度】「理想主義者」となります。「理想そのものが目的」です。

【三〇度・六〇度・一二〇度】「人生のチャンスを感じする」となります。

【九〇度】「緊張関係ですから「お告げや直感的なもので動きたい」「オカルト的になる」となります。

【一八〇度】「学び合う関係ですから「直感的で大胆な行動力」となります。

★太陽と冥王星のアスペクト別解釈

太陽『目的・エネルギー』と、冥王星『破壊と創造』『徹底してやる』です。

【〇度】 - 徹底してやるのが太陽の目的となりますから「意志を貫く人生」となります。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「徹底してやる人」「破壊と創造の人」となります。すな

わち「不死身の人」です。何が何でも勝ち取ります。

【九〇度】 - 緊張関係ですから「危険な行動に引き寄せられる」となります。

【一八〇度】 - 学びあう関係ですから「限界を設けることができない」となります。つまり「やり過ぎる」ということです。

■月と各天体との各アスペクト別解釈

●●●●●【月】●●●●●（蟹座【I feel】水【情】）のルーラー）

★月と水星の各アスペクト別解釈

月『感情』と、水星『知性』です。

【〇度】 「素直な人」となります。月と水星が全く同じところにあるので、「感情を素直にコミュニケーションで表せる」のです。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 「人の気持ちを思いやる」となります。

【九〇度】 「緊張関係ですから「内面は葛藤している」となります。

【一八〇度】 「他人の影響を受けやすい」となります。

★月と金星の各アスペクト別解釈

月『感情』と、金星『楽しい』です。

【〇度】 「楽しい感情です。すなわち「愛されキャラクター」です。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 「女性に絶大なる人気」となります。金星は女性の星ですから、

女性の魅力が発揮されます。

【九〇度】 「甘え性」です。

【一八〇度】 「見栄っ張り」となります。

★月と火星の各アスペクト別解釈

月『感情』と、火星『やる気』です。

【〇度】 - やる気・攻撃が感情と同じところにあるので「打たれ強い」となります。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「キビキビした元気印」となります。

【九〇度】【一八〇度】 - この場合同じで、「瞬間湯沸かし器」です。つまり「興奮しやすい人」「興奮体質」となります。

★月と木星の各アスペクト別解釈

月『感情』と、木星『社会との関係性』です。

【〇度】 - 「のん気でおおらか」です。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「リラックスの天才」です。木星は対社会の星ですが、割合ゆるいのです。ゆるゆるしているところがあります。ですからこの場合、ゆるゆるしている月の感情の部分と融合してこうなるのです。

【九〇度】 - 「能天気な人」となります。

【一八〇度】 「気まぐれな人」となります。

★月と土星の各アスペクト別解釈

月『感情』と、土星『コツコツと継続』です。

【〇度】 「苦労人」となります。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 「きちんとした人」で「コツコツと積み重ねる実務能力のある人」となります。

【九〇度】 「リラックスすると罪悪感を感じる人」となります。〃コツコツしなければならぬ、休んではならぬ」というのが土星の性質です。

【一八〇度】 「気楽に振る舞うのが怖い」となります。

★月と天王星の各アスペクト別解釈

月『感情』と、天王星『独立と変革』です。

【〇度】 「独立心が旺盛な人」となります。「人とは違う生活スタイル」ということです。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 「あっさりとした都会人」です。

【九〇度】 「不安定な人間関係」です。

【一八〇度】 「普通ではやっていけない」となります。大衆性や平凡さに反発します。

★月と海王星の各アスペクト別解釈

月『感情』と、海王星『理想と幻想』です。

【〇度】 「靈感体質」です。「神秘世界が似合う人」です。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 「イメージを生産的に使う」です。イメージを具体的に実現していきます。

【九〇度】 「訳も無く変なトラブルに巻き込まれる」となります。

【一八〇度】 「人の感情に巻き込まれる」となります。上手く融合できないということです。

★月と冥王星の各アスペクト別解釈

月『感情』と、冥王星『破壊と創造』『徹底してやる』です。

【〇度】 - 「ものごとくに動じない」となります。強烈な意思を持っています。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 - 「動じない精神力」です。「何かに集中すると、不思議な回復力を発揮する」となります。

【九〇度】 - 「アンバランス」です。二重人格です。

【一八〇度】 - 「細かいことには反応しない」です。極限状態になったときに、はじめて感動します。

■水星と各天体とのアスペクト別解釈

●●○○●●●●●● (双子座 【I communicate】風【知】と

乙女座 【I analyze】土【物質】)のルーラー)

★水星と金星の各アスペクト別解釈

水星『知性』と、金星『楽しい』です。

【〇度】 【三〇度・六〇度・一一〇度】 - ここは同じで、知性を飾るということですから、「言葉を飾る、会話を飾る」となります。

★水星と火星の各アスペクト別解釈

水星『知性』と、火星『やる気』です。

【〇度】 - 「処理能力が早い」となります。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「優れた事務能力」となります。

【九〇度】 - 「早合点でせっかち」となります。

【一八〇度】 - 「攻撃的な話し方」「攻撃的な知性」となります。

★水星と木星の各アスペクト別解釈

水星『知性』と、木星『社会との関係性』です。

【〇度】 - 「出版・教育関係者向き」となります。知識が拡大していくということから出

てきます。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 「温和で常識的な人」となります。拡大するものが「知性」です。拡大というのは、人の意見を受け入れるということ、そこから温和・常識的な人という解釈になります。

【九〇度】 「本質からずれていく」です。少し知性がズレてしまう感じですが。

【一八〇度】 「いろんなことを知っている」「博識」「話がドンドン大きくなっていく」となります。

★水星と木星の各アスペクト別解釈

水星『知性』と、土星『コツコツと継続』です。

【〇度】 「伝統職人・スローテンポの知性」となります。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 「優れた記憶力」「学習速度は早くないが覚えたら忘れな
い」となります。

【九〇度】 「知的コンプレックス」となります。もしくは「学校の先生や父親からの圧迫」

です。

【一八〇度】 学び合う関係ですから「研究者」です。

★水星と天王星の各アスペクト別解釈

水星『知性』と、天王星『独立と変革』です。

【〇度】 「人が目をつけないところに着目するセンス」です。ちよつと変わったものや、改革的なものに知的関心や興味が向かうためです。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 「常識に囚われない発想力」です。

【九〇度】 緊張関係ですから「突拍子もない発想」「平凡なことには嫌悪感を抱く」となります。

【一八〇度】 「斬新」となります。会話の内容は切れ切れしています。

★水星と海王星の各アスペクト別解釈

水星『知性』と、海王星『理想と幻想』です。

【〇度】 - 「多彩な表現力、繊細な感受性」です。または「曖昧なものを曖昧なまま理解する」となります。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「気持ちを察する洞察力」となります。相手の気持ちを感覚的にとらえます。

【九〇度】 - 幻想の知性ですから「うっかりミス」となります。つまり「まとまらない知性」です。

【一八〇度】 - 「漠然とした、理論的ではない表現力」です。アルコール依存症になりやすい場合もあります。

★水星と冥王星の各アスペクト別解釈

水星『知性』と、冥王星『破壊と創造』『徹底してやる』です。

【〇度】 - 「普通ではない知性」です。または「限界まで調査する知性」となります。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「目置かれるレベルの知性」です。

【九〇度】 - 「平均性や常識的なものもない、かなり片寄った知性」となります。

【一八〇度】 - 「性的アピール度が高い」となります。

★金星と木星の各アスペクト別解釈

金星『楽しい』と、木星『社会との関係性』です。

【〇度】 - 「公で華やかな場が似合う」です。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「山の手が似合う」「セレブのような人」です。つまり「品がいい人」です。または「ほどほど華やか」「財布の紐がゆるい」となります。

【九〇度】 - 「お金がどんなにあっても足りない」となります。

【一八〇度】 - 快楽を拡大ですから「華やかでなければならぬ」と思っている。「こてこてのブランド志向」となります。

★金星と土星の各アスペクト別解釈

金星『楽しい』と、土星『コツコツと継続』です。

【〇度】 - 「ときめきよりも安定」です。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 - 「まじめで長続きする恋愛」となります。あるいは「長続きする趣味」です。

【九〇度】 - 「恋愛下手」となります。

【一八〇度】 - 「恋愛が怖い」となります。または「自虐的な癖がある」「厳格すぎる異性関係」です。

★金星と天王星の各アスペクト別解釈

金星『楽しい』と、天王星『独立と改革』です。

【〇度】 - 「飾る」という面で突飛な才能がある」となります。または「自由な恋愛」「平凡な恋愛はできない」です。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 - 「自由な感性」となります。または「あきつぱい」「恋愛は突然始まり、突如として終わる」です。

【九〇度】 - 「ちよつと風変わりな恋愛」となります。

【一八〇度】 - 「破綻的な恋愛」です。または「破綻的な趣味」となります。

★金星と海王星のアスペクト別解釈

金星『楽しい』と、海王星『理想と幻想』です。

【〇度】 - 「ロマンチック過ぎる恋愛」です。または「優れた芸術的才能」となります。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 - 「奉仕的な恋愛」です。

【九〇度】 - 「期待の大きすぎる恋愛」です。または「求めても求めても満たされない恋愛」となります。

【一八〇度】 - 「非現実的な恋愛」です。または「ドラッグなどにも注意」となります。

★金星と冥王星のアスペクト別解釈

金星『楽しい』と、冥王星『破壊と創造』『徹底的にやる』です。

【〇度】 - 「強引な恋愛」です。または「自分の意思を強引に押し付ける」となります。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 - 「温かい恋愛」です。

【九〇度】 - 「身勝手な恋愛」です。または「マニアックな恋愛」となります。

【一八〇度】 - 「支配的な恋愛」です。または「全身全霊をかけた恋愛」となります。

■火星と各天体とのアスペクト別解釈

●●●○【火星】●●●●（牡羊座【am】火【意】）のルーラー

★火星と木星の各アスペクト別解釈

火星『やる気』と、木星『社会との関係性』です。

【〇度】 - 「人のいい野心家」です。または「流行に乗ることができる」となります。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「盛り上げるのがうまい」です。または「流行に乗るのがうまい」となります。

【九〇度】 - 「野心が空回りしてしまう」です。または「下調べ無しでやってしまう」となります。

【一八〇度】 - 「事業的な野望がある」です。または「傍若無人になりやすい」となります。

★火星と土星の各アスペクト別解釈

火星『やる気』と、土星『コツコツと継続』です。

【〇度】 - 「何がなんでもやり抜く」です。束縛を越えていきます。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「困難な環境を、うまく乗り越えていく」となります。例えば、困難にぶつかつたときに、年長者をうまく使つたりします。

【九〇度】 - 鎖につながれた火星ということで「やる気を削がれるような社長や先輩がいる」となります。

【一八〇度】 - 「限られた目標に向かって突き進む」です。または「仕事のみ集中し、他の事にエネルギーを使わない」となります。

★火星と天王星の各アスペクト別解釈

火星『やる気』と、天王星『独立と改革』です。

【〇度】 - 「リスクを怖れない独立心」です。「危険であるほど燃える」となります。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「より進歩的なものを好む」です。

【九〇度】 - 「突発的で反抗的な行動力」です。

【一八〇度】 - 「常識を超えた改革に燃えていく」です。つまり「無秩序である程燃えていく」

という感じですか。

★火星と海王星の各アスペクト別解釈

火星『やる気』と、海王星『理想と幻想』です。

【〇度】・「ピンときたら則ち行動」です。「たとえそれが夢でも幻想でもやってみる人」です。

【三〇度・六〇度・一二〇度】・「目に見えない力が助けてくれる」です。いわゆるインスピレーションです。特にアート面で恵みがあります。

【九〇度】・「脱線しやすい」です。または「無意識に方向性がずれていく」「ドラッグやアルコール依存症に注意」となります。

【一八〇度】・「働きすぎ」です。

★火星と冥王星の各アスペクト別解釈

火星『やる気』と、冥王星『破壊と創造』『徹底してやる』です。

【〇度】・「絶対的なパワー」です。または「自分の力を過信する」「挑戦できない人を軽

蔑する」となります。つまり「あら探しの天才」です。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 - 「困難であればあるほど燃える」です。または「仕事のやりすぎが楽しい」となります。

【九〇度】 - 「敵を根絶する」となります。暴力的なアスペクトです。

【一八〇度】 - 「無限のバイタリテイ」です。すなわち「やりすぎ」です。または「体力を過信し過ぎて危ない目に会う」となります。

■木星と各天体とのアスペクト別解釈

●●●●●【木星】○●●●●(射手座)【I explore】火【意】のルーラー)

★木星と土星の各アスペクト別解釈

木星『社会との関係性』と、土星『コツコツと継続』です。

【〇度】 - 「真面目できちんとした人」です。常識的な土星の枠の中で成功します。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 「地道に発展する」です。学校の先生タイプです。
【九〇度】 「悲観的な傾向がある」です。社会に縛られているという感覚を持っています。
【一八〇度】 「しつやルールを重視する人」です。「結婚してお母さんになると教育ママになりやすい」となります。

★木星と天王星の各アスペクト別解釈

木星『社会との関係性』と、天王星『独立と変革』です。

【〇度】 「新しいことを狙っている」です。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 「新しいトレンドを仕掛ける人」となります。

【九〇度】 「反社会的運動」となります。

【一八〇度】 「流行の最先端を走る」です。または「プライベートを犠牲にする」となります。

★木星と海王星の各アスペクト別解釈

木星『社会との関係性』と、海王星『理想と幻想』です。

【〇度】 「奉仕活動に精を出す」となります。「ユートピアが大好き」です。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 関係が穏やかですから「慈善的活動が好き」となります。

【九〇度】 「奉仕活動をしたくて、あちこち彷徨っている」です。または海王星は「幻想」ですから「お酒、ドラッグ、詐欺に会いやすい」ともなります。

【一八〇度】 「理想の社会を実現したい」となります。

★木星と冥王星の各アスペクト別解釈

木星『社会との関係性』と、冥王星『破壊と創造』『徹底的にやる』です。

【〇度】 「メラメラと燃える支配力」です。または「カリスマ的支配力」となります。「権力を手に入れたら何でもやってしまうタイプ」です。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 「自然な出世願望」です。

【九〇度】 「善人でありながら傲慢」となります。やはり権力意識があります。

【一八〇度】 「自分が法律」です。または「過剰な権威主義」となります。

■土星と各天体とのアスペクト別解釈

●●●●●【土星】●○○●●●（山羊座【use】土【物質】のルーラー）

★土星と天王星の各アスペクト別解釈

土星『コツコツと継続』と、天王星『独立と変革』です。

【〇度】 - 「引き締まった完璧主義者」です。または「実利面だけを評価する」となります。

【三〇度・六〇度・一一〇度】 - 「すっきりとした理論派」となります。「緻密な計算や統計的データが得意」です。

【九〇度】 - 「偏屈な改革者」です。

【一八〇度】 - 「情愛を挟まない」となります。すなわち「リストラなどの才能がある」です。

★土星と天王星の各アスペクト別解釈

土星『コツコツと継続』と、海王星『理想と幻想』です。

【〇度】 - 「常識を簡単に超えていく」です。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 「理想を現実化する」となります。

【九〇度】 「いつの間にかルールを破って、スキャンダルになりやすい」です。または「無謀なことをやってしまう」となります。

【一八〇度】 「ユートピアを実際につくる」です。または「世の中の裏社会やダークな面に強い」となります。

★土星と冥王星の各アスペクト別解釈

土星 『コツコツと継続』と、冥王星 『破壊と創造』『徹底的にやる』です。

【〇度】 「地の底から這いあがる実力者」です。

【三〇度・六〇度・一二〇度】 「歩みは遅いが必ず頂点に立つ」となります。

【九〇度】 「理由のわからない大きな圧力」です。

【一八〇度】 「厳格で厳しい人」となります。

■天王星と各天体とのアスペクト別解釈

●●●●●【天王星】●●●○●●● (水瓶座 【I know】 風【知】のルーラー)

★天王星と海王星の各アスペクト別解釈

天王星『独立と変革』と、海王星『理想と幻想』です。

【0度】 - 「はっとする閃き」「精神エネルギー」となります。

【30度・60度・120度】 - 「アートのセンスの持ち主」となります。

【90度】と【180度】 - 「奇抜なアイデア」です。

★天王星と冥王星の各アスペクト別解釈

天王星『独立と変革』と、冥王星『破壊と創造』『徹底的にやる』です。

【0度】 - 「破壊と創造をやる人」です。または「個人を越えた大きな問題に取り組む人」となります。

【30度・60度・120度】 - 「自由を求めて社会の運動に参加する」です。そして参

加する運動とは、既得権を壊す運動です。たとえば『TPP大賛成』とか『電力会社の解体』などのような行動になります。

【一八〇度】 - 「常識に対する反抗心に満ちている」です。ちょっと危ない人になります。

■海王星と各天体とのアスペクト別解釈

●●●●●【海王星】●●●○●（魚座【I believe】水【情】）のルーラー

★海王星と冥王星の各アスペクト別解釈

海王星の『理想と幻想』と、冥王星『破壊と創造』『徹底的にやる』です。

【〇度】 - 「スピリチュル至上主義者」です。または「靈感に左右されやすい」となります。

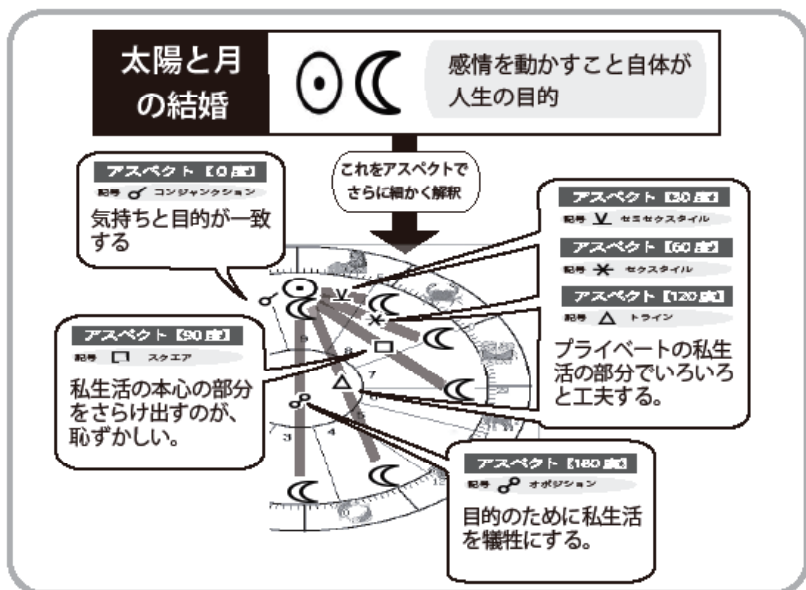
【三〇度・六〇度・一二〇度】 - 「靈的な感性はありますが、そんなに無理がない」となります。

【九〇度と一八〇度】 - 「理解不能の人」です。または「薬物、アルコール、魔法などに

関心を持ちたがる」です。

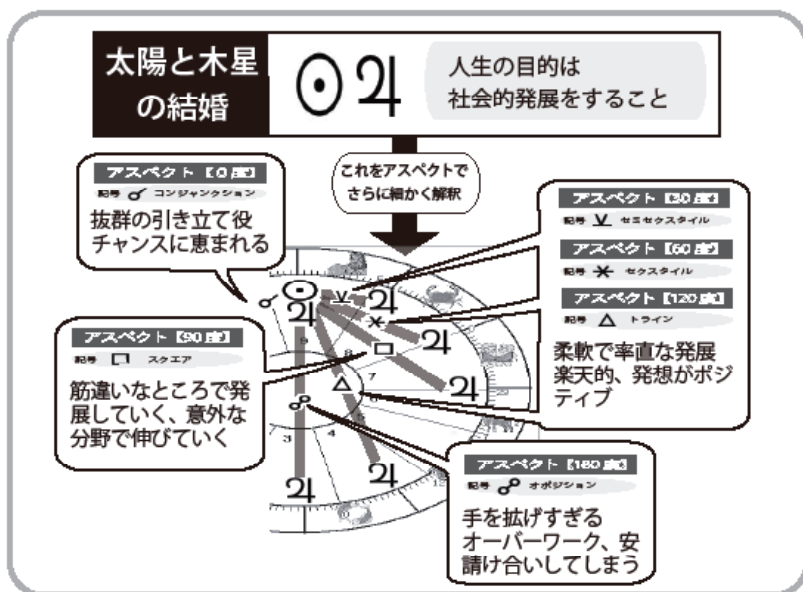
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【太陽と月】【太陽と火星】



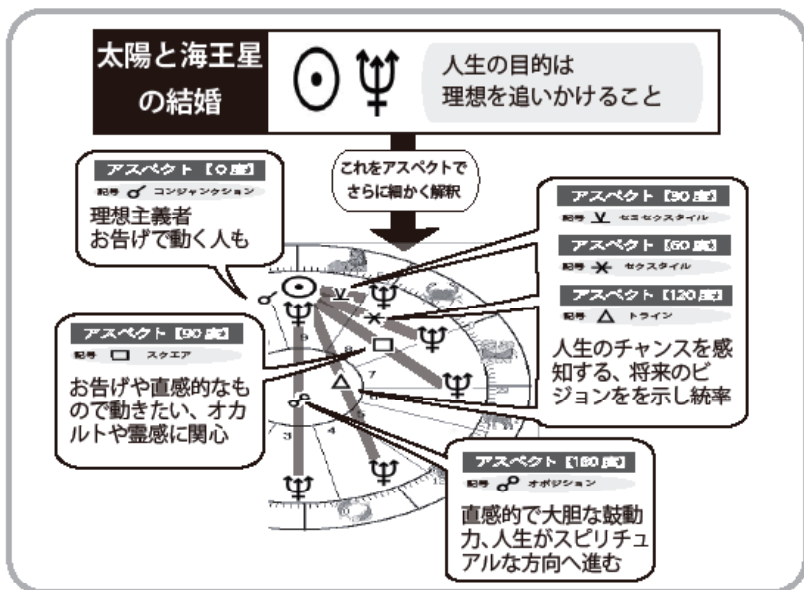
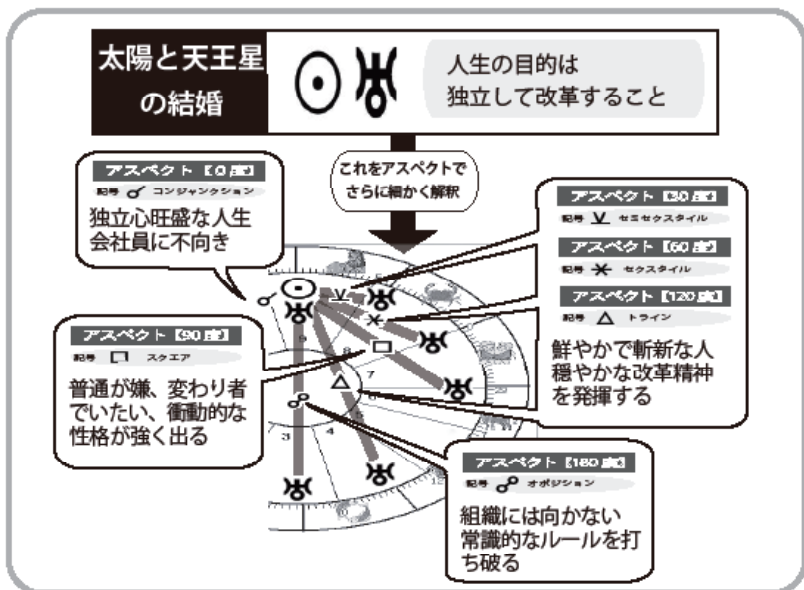
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【太陽と木星】 【太陽と土星】



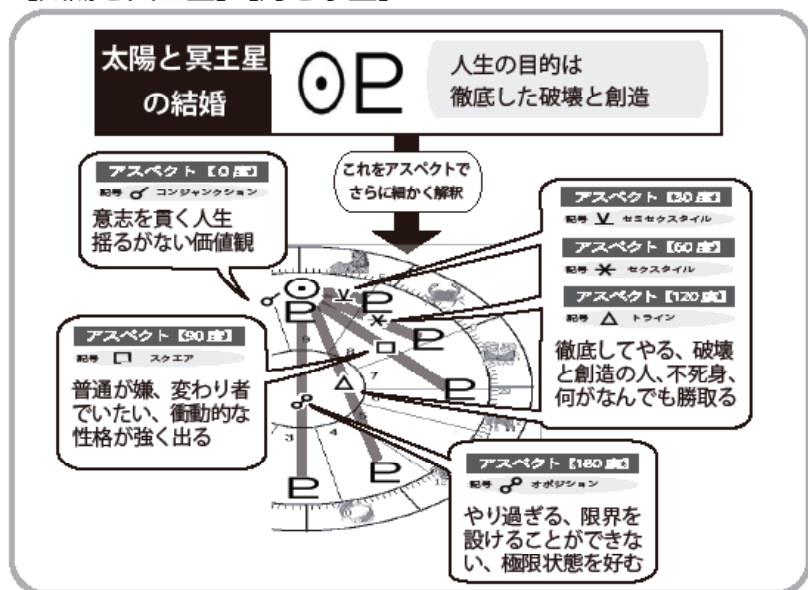
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【太陽と天王星】 【太陽と海王星】



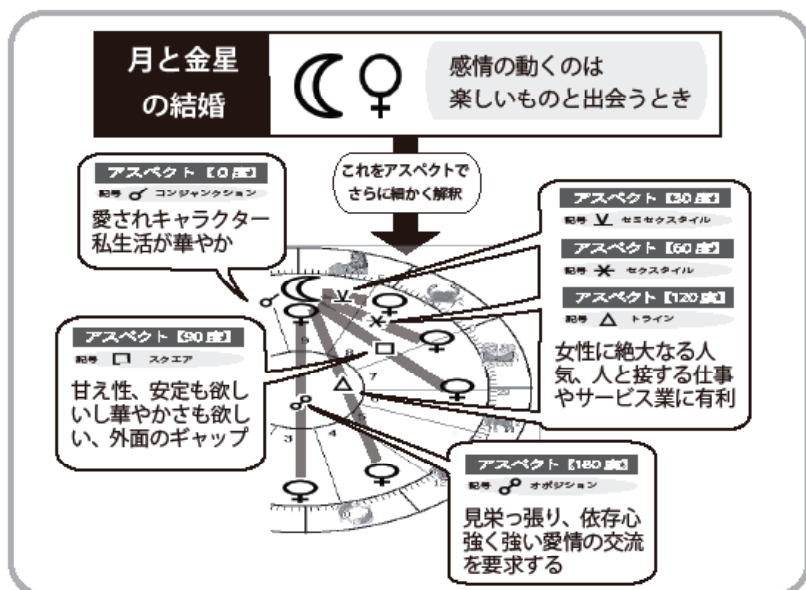
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【太陽と冥王星】【月と水星】



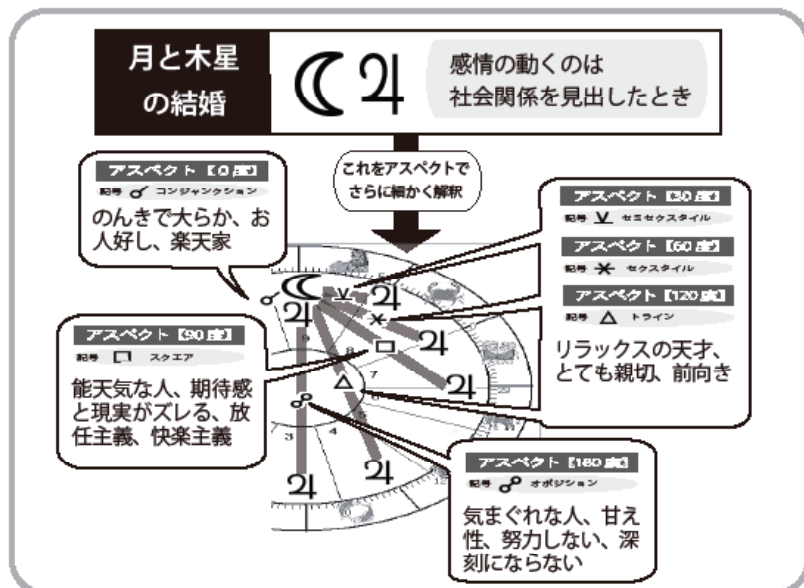
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【月と金星】【月と火星】



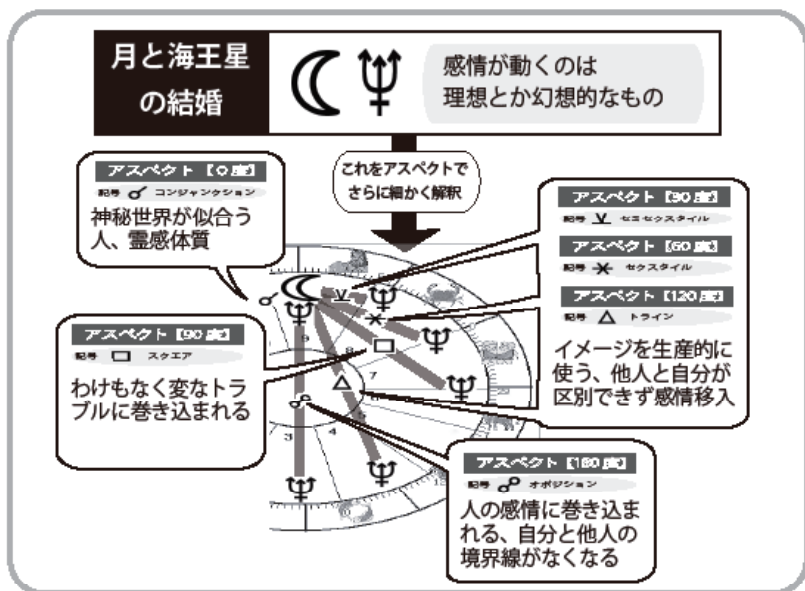
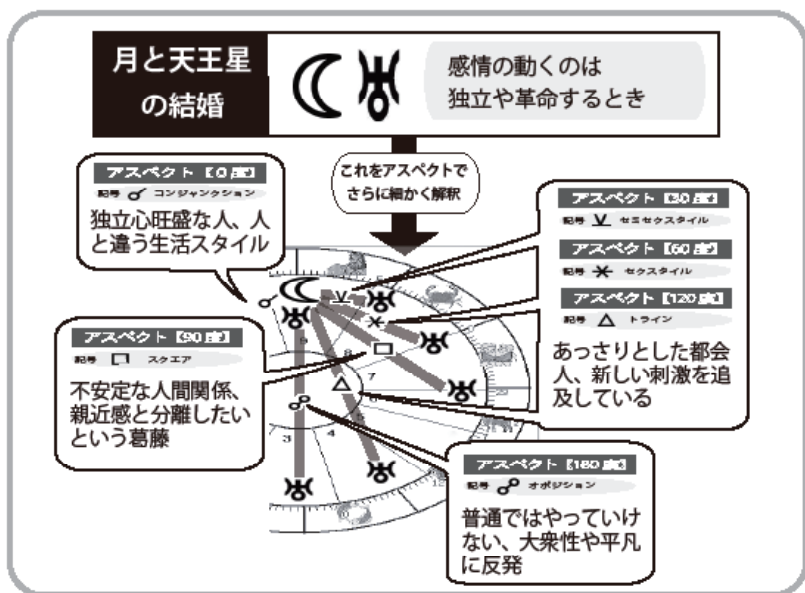
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【月と木星】【月と土星】



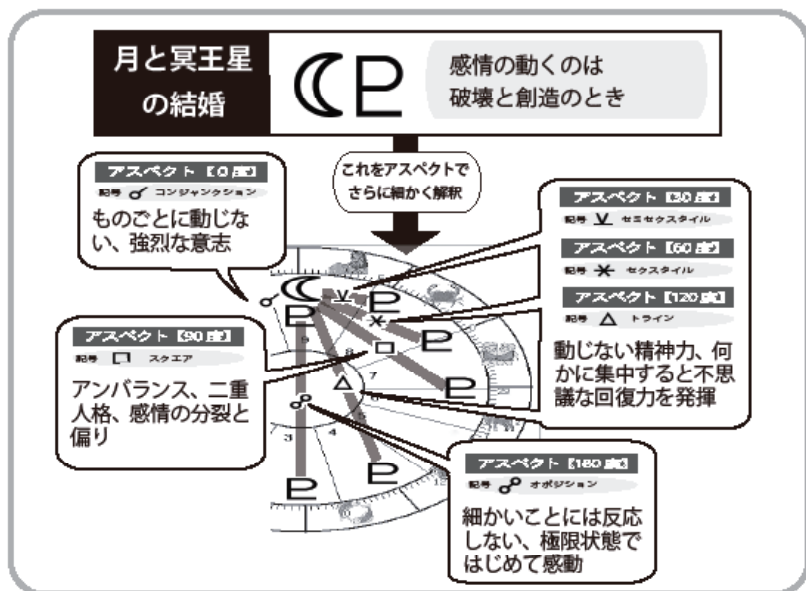
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【月と天王星】【月と海王星】



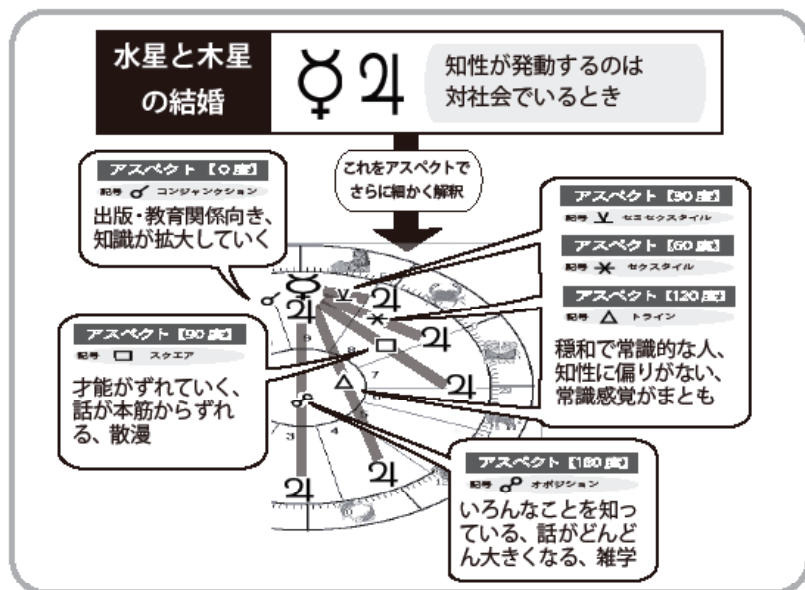
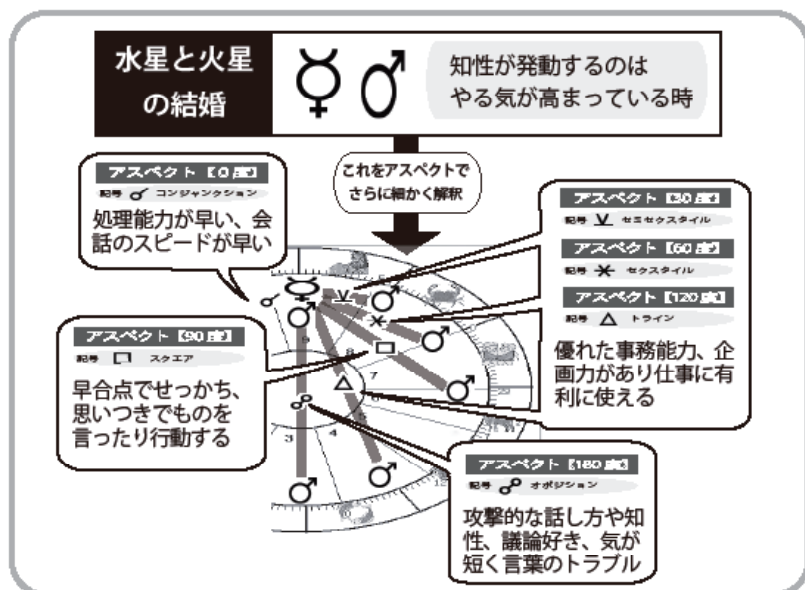
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【月と冥王星】 【月と金星】



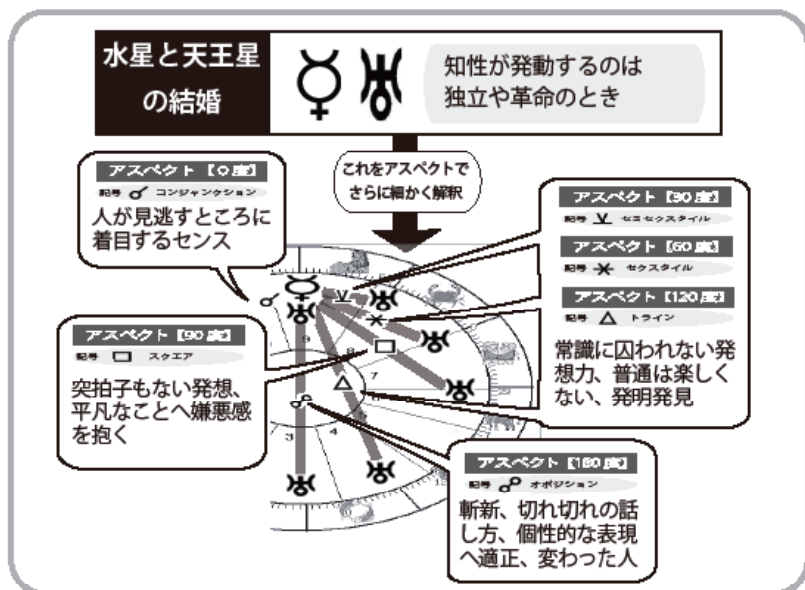
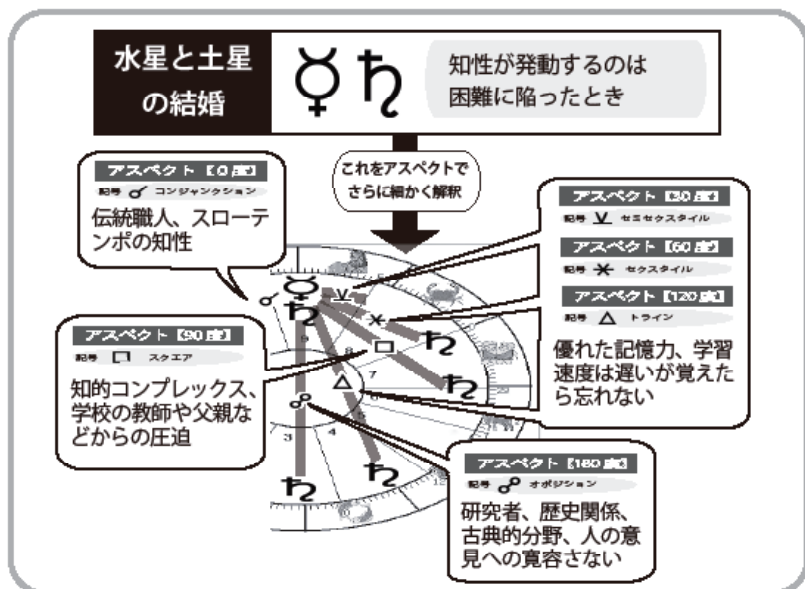
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【水星と火星】【水星と木星】



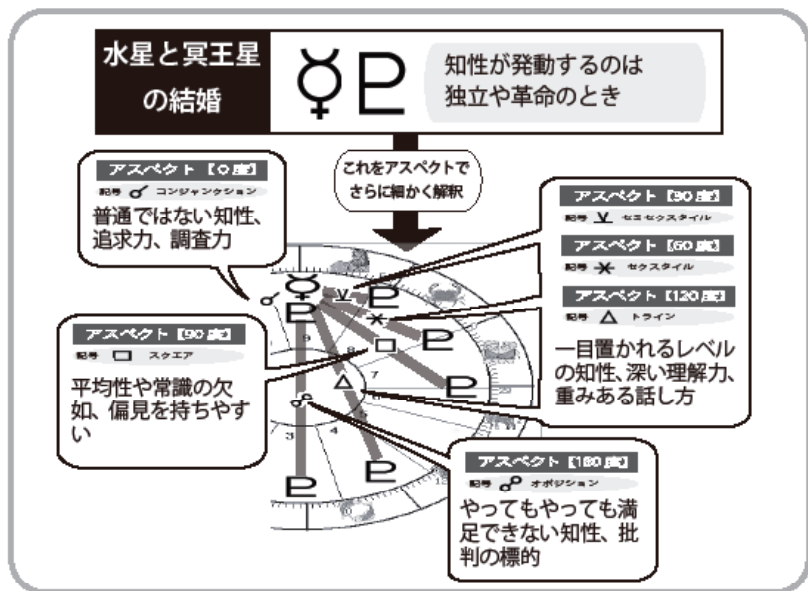
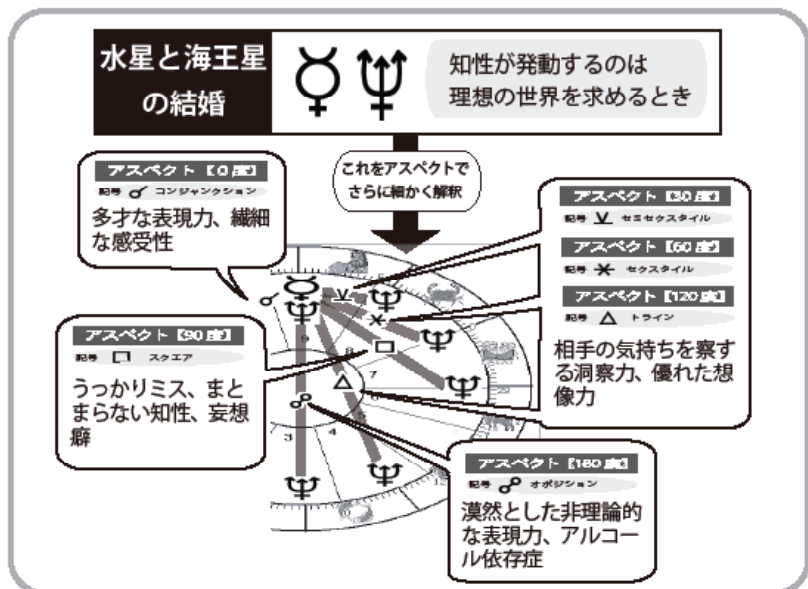
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【水星と土星】【水星と天王星】



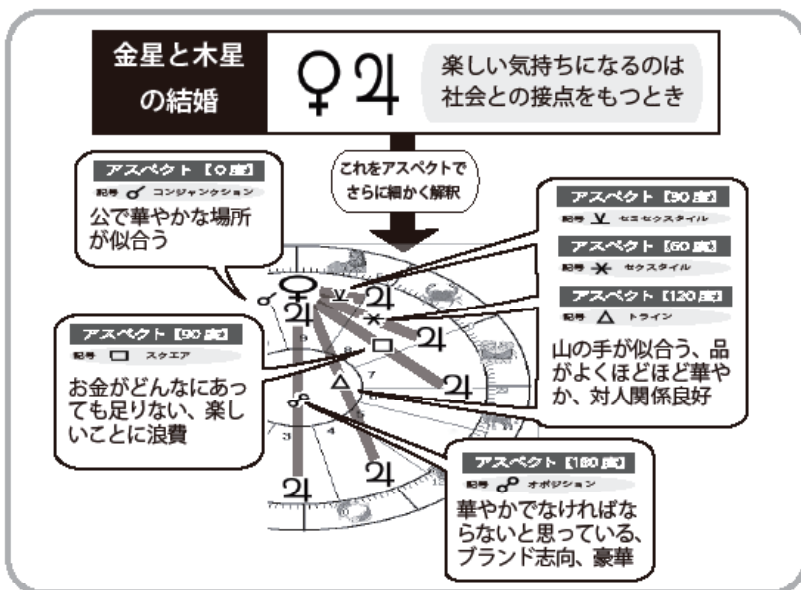
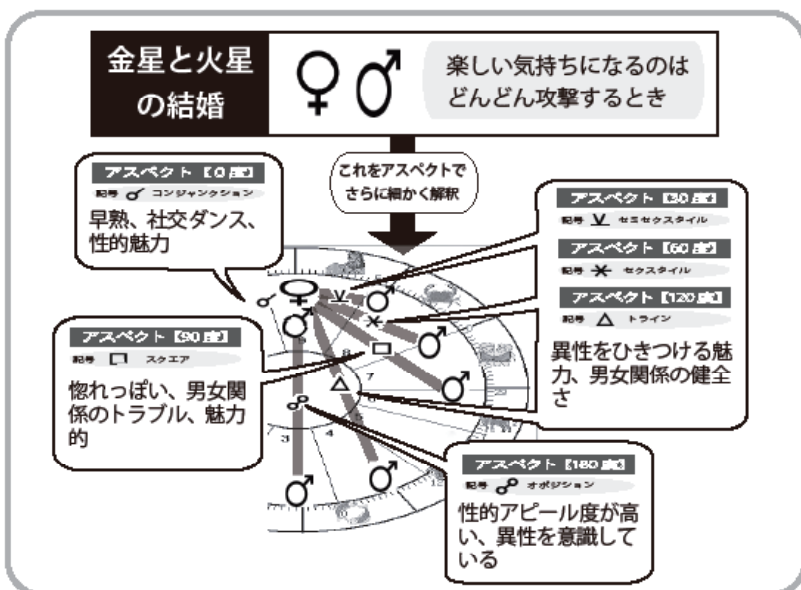
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【水星と海王星】 【水星と冥王星】



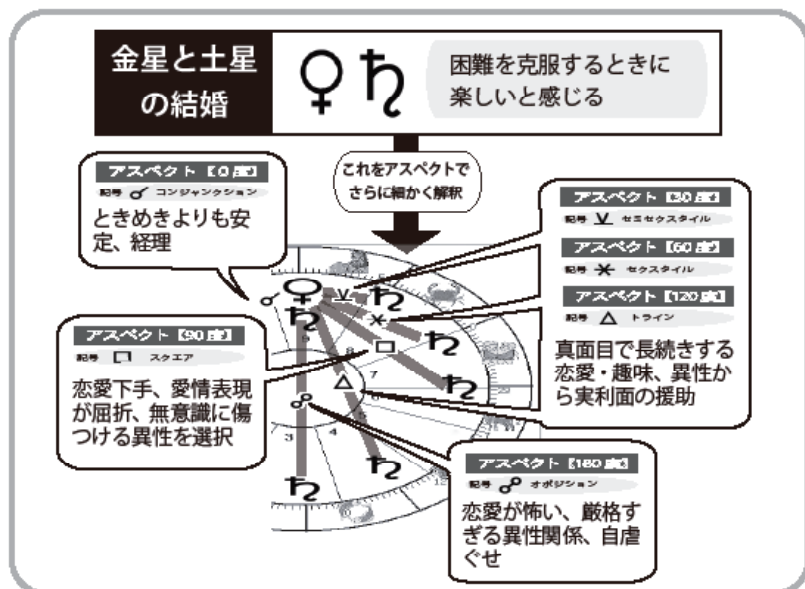
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【金星と火星】【金星と木星】



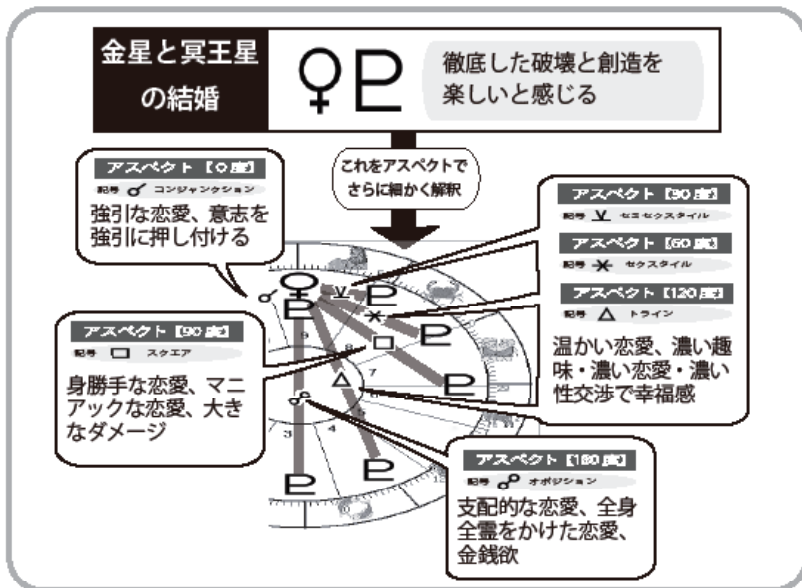
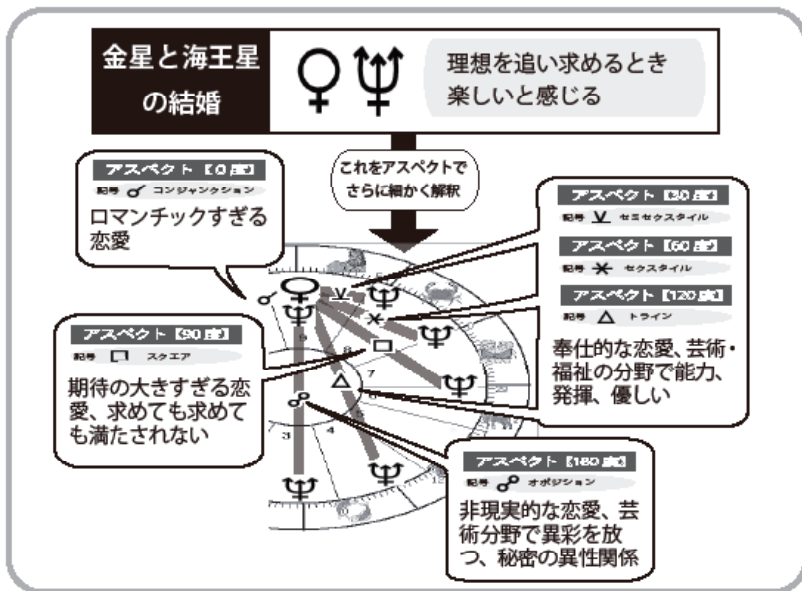
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【金星と土星】【金星と天王星】



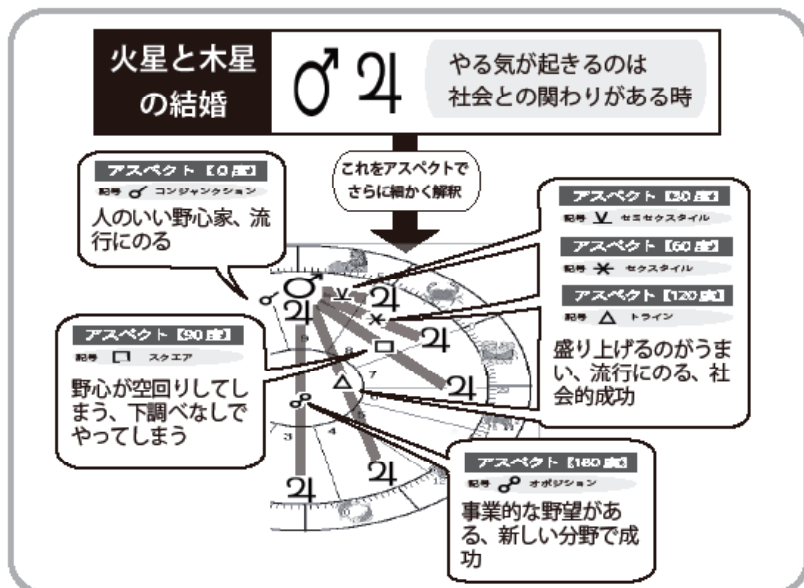
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【金星と海王星】 【金星と冥王星】



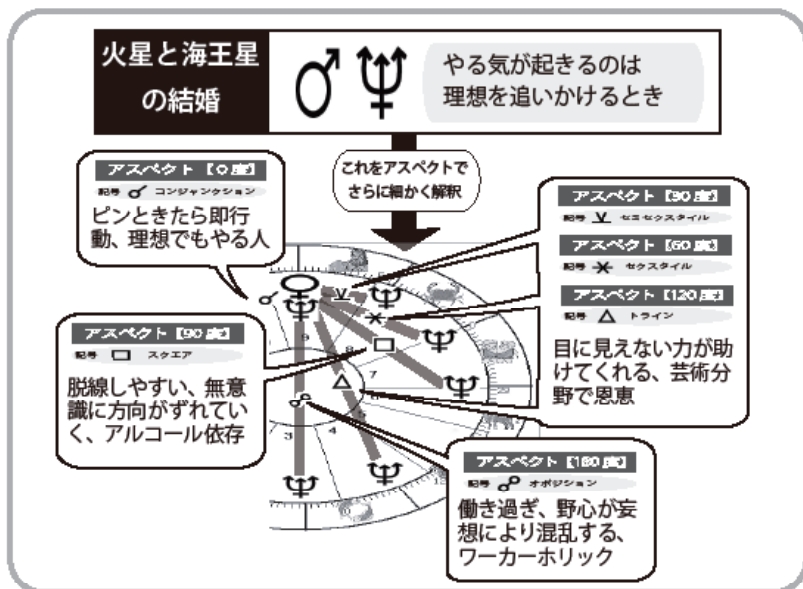
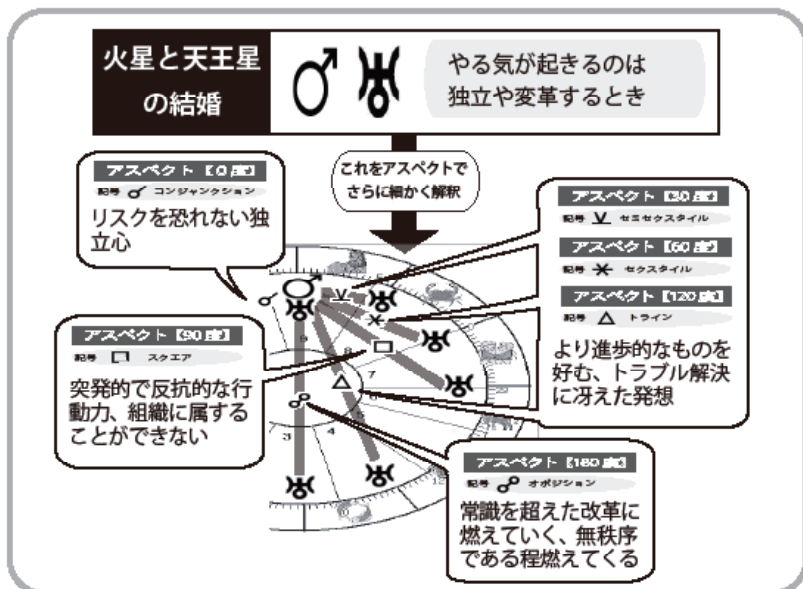
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【火星と木星】【火星と土星】



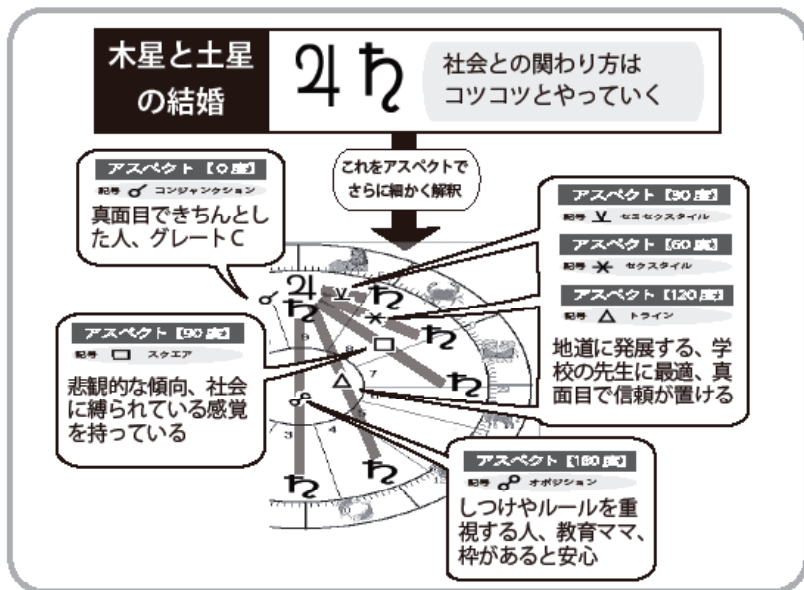
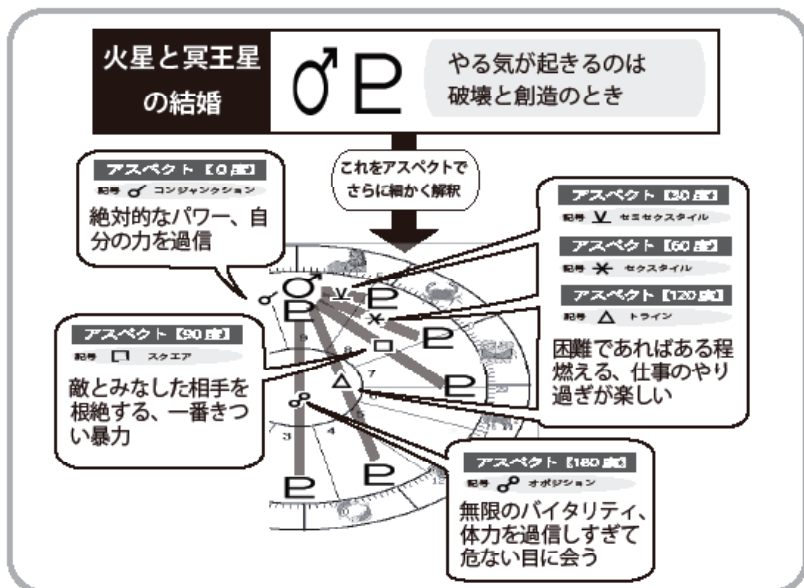
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【火星と天王星】 【火星と海王星】



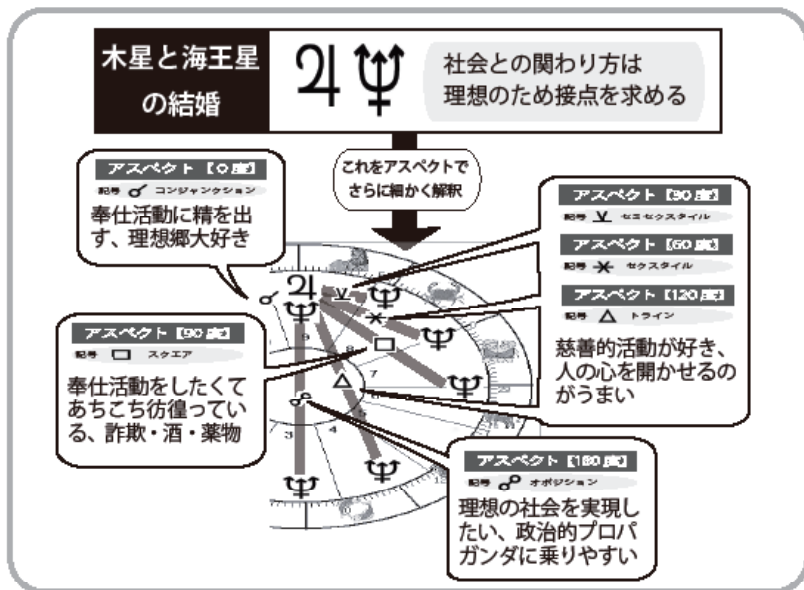
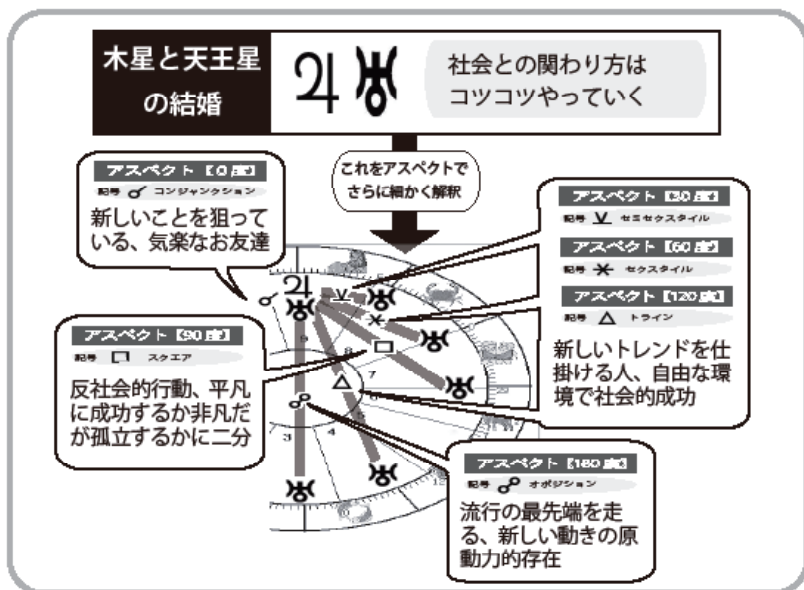
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【火星と冥王星】【木星と土星】



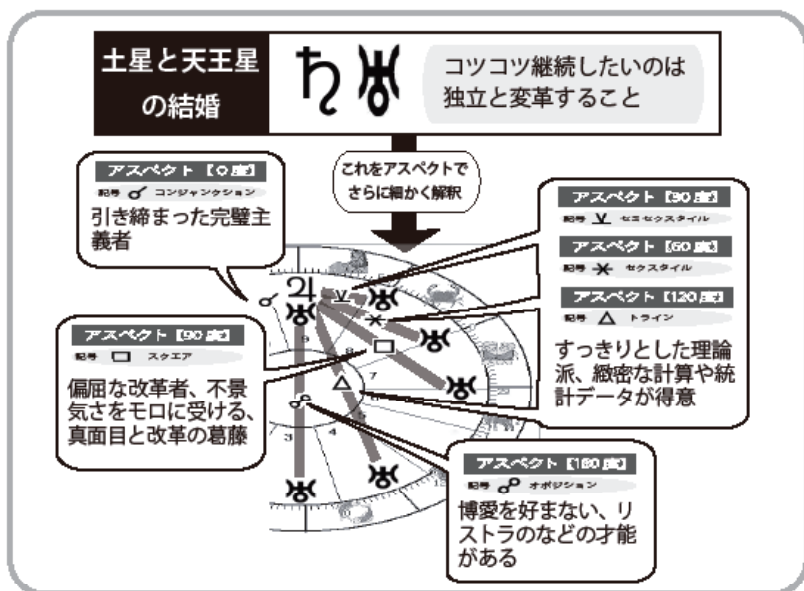
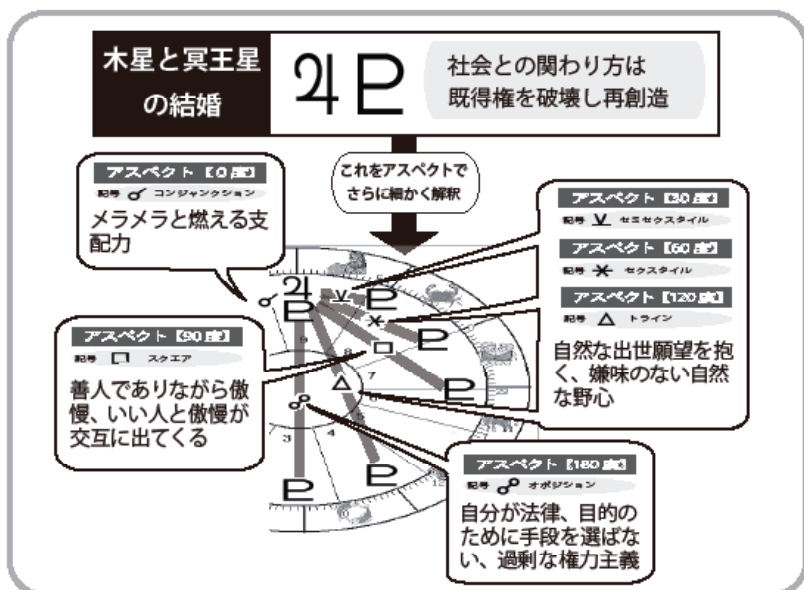
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【木星と天王星】 【木星と海王星】



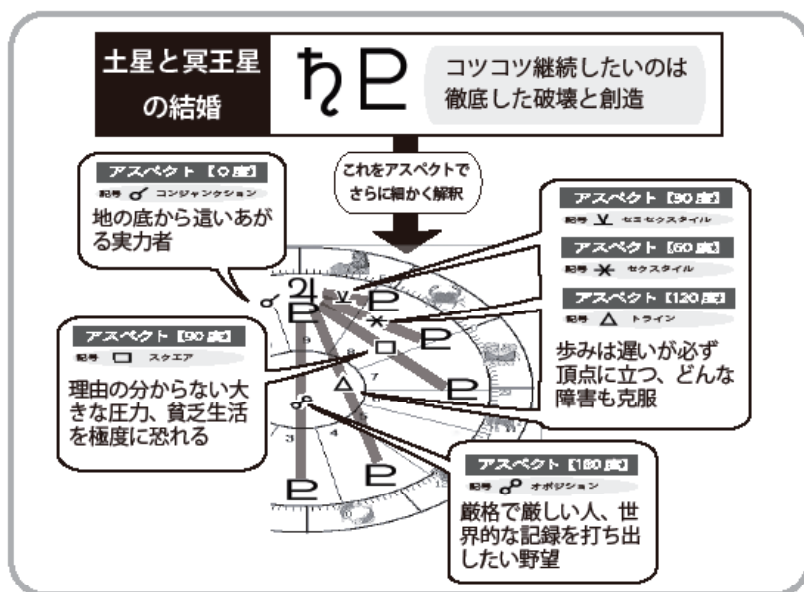
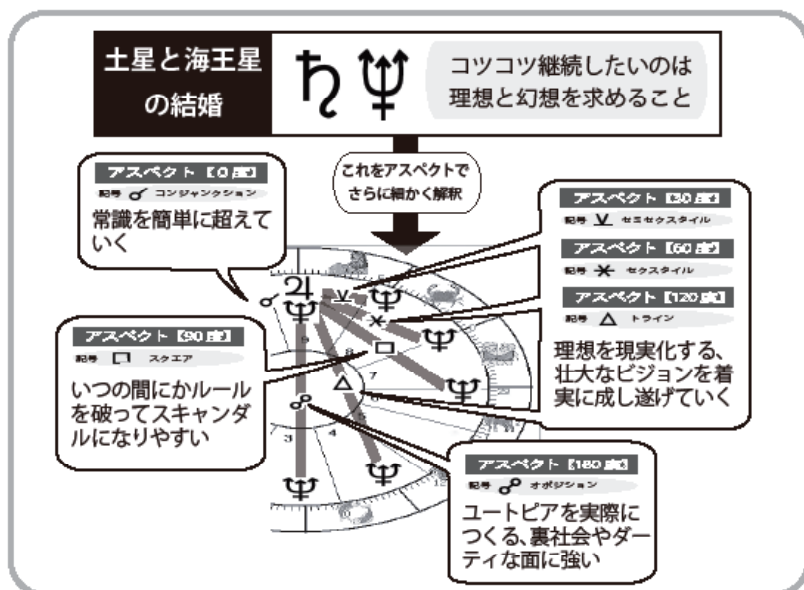
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【木星と冥王星】 【土星と天王星】



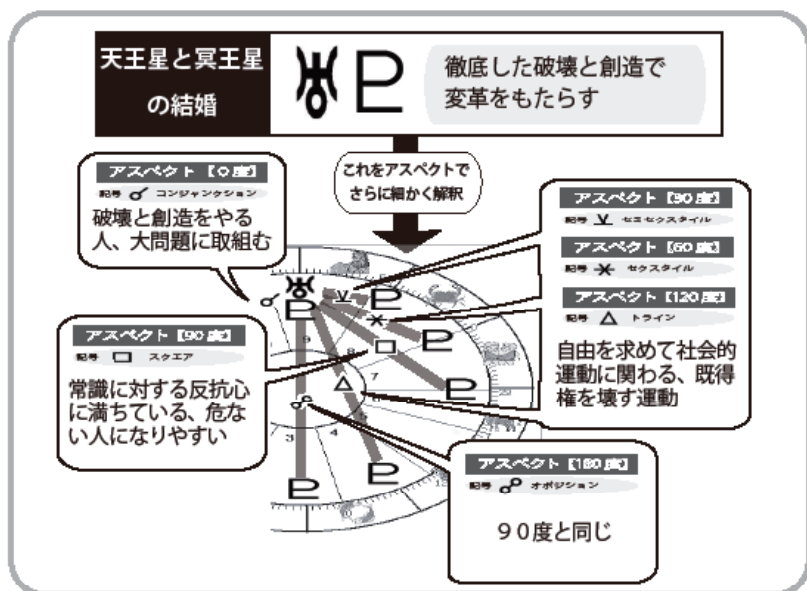
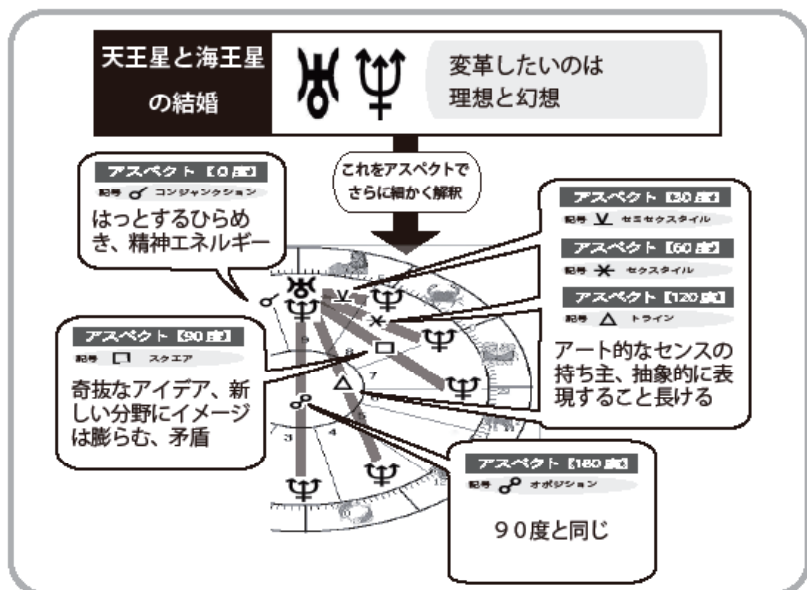
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【土星と海王星】 【土星と冥王星】



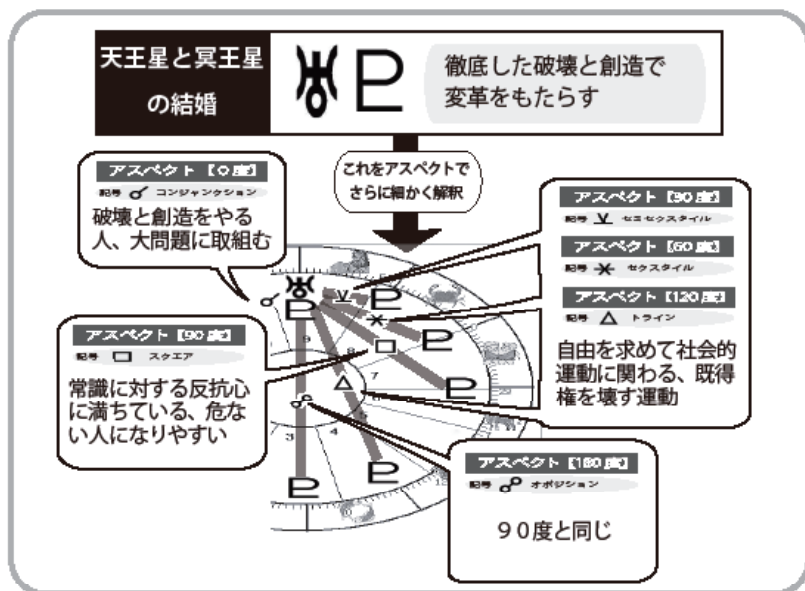
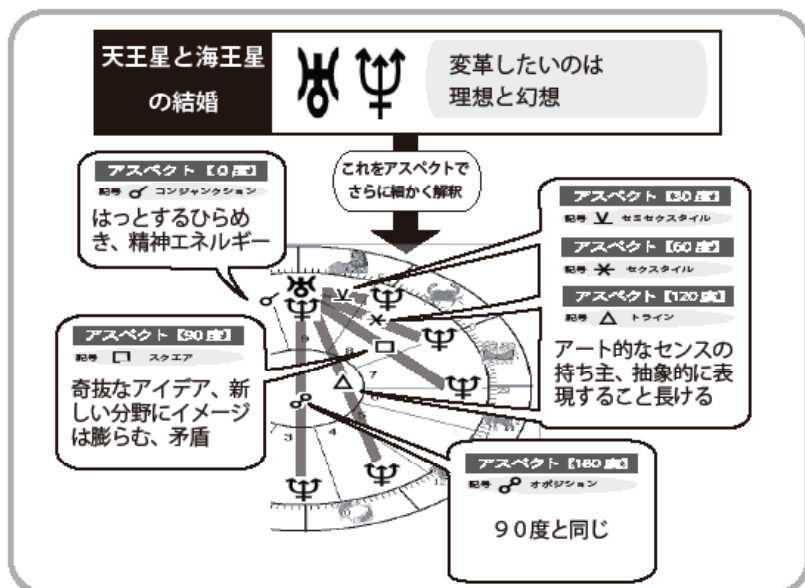
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【天王星と海王星】 【天王星と冥王星】



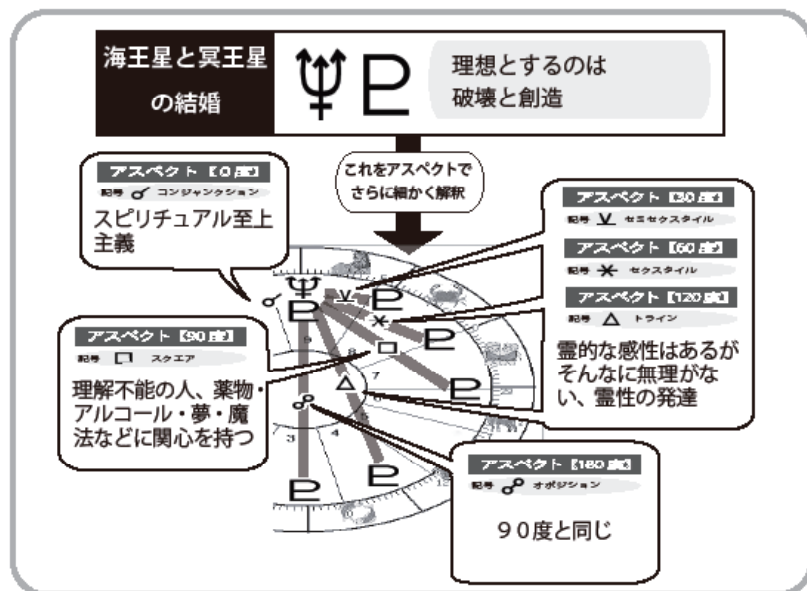
惑星の結婚とアスペクト まとめ

【天王星と海王星】 【天王星と冥王星】



惑星の結婚とアスペクト まとめ

【海王星と冥王星】



第六章 四柱と占星学の融合まとめ

■まとめホロスコープと命式をどうみていくのか？

今までの内容を全て使って解説していきます。

私（天野氏）の事例を解説します。

私のホロスコープは、【木星】と【火星】と【水星】が【アスペクト0度】となっています。まずここが大きな特徴となっていることがわかります。そこで「これをどうみるか？」が問題となります。

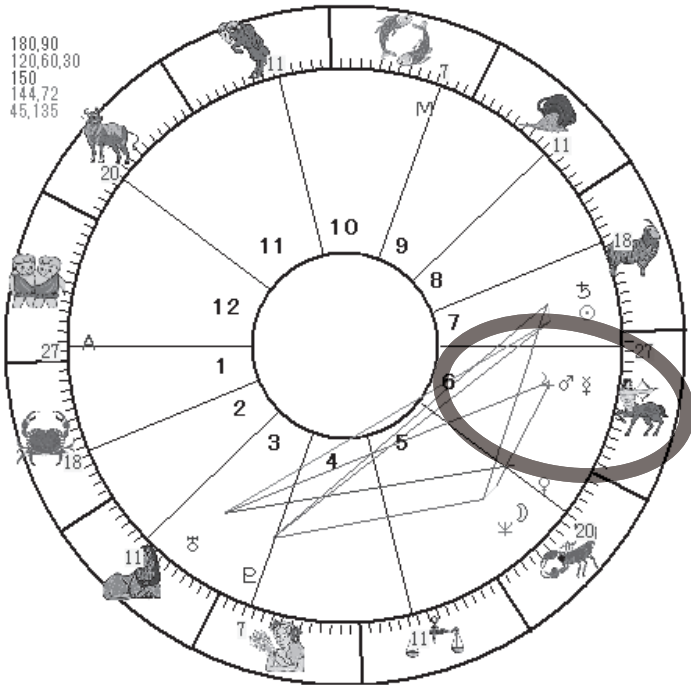
■ホロスコープ上の惑星と惑星の融合（結婚）の具体例

これまで解説してきたように、【木星】は「拡大・社会（との関係性）」です。【火星】は「パワー・攻撃・やる気」です。【水星】は「知性・コミュニケーション」です。この三つが【0度でアスペクト】しているのが、占星術の出生図（ホロスコープ）の一番の特徴です。

星平海会を使う場合、まず始めにホロスコープの「惑星と惑星の結婚」をみると説明してきました。ですから、まずここに注目するのです。

そうすると「社会」に対して「攻撃的」となります。さらに「知性」でもって十二分に下

調べをします。つまりこのキーワード三つを融合（結婚）性の攻撃で、社会に接していく』とよめるのです。



丸で囲ってある部分が、木星、火星、水星がいて座でアスペクト0度となっている

■惑星が活動する分野の見方

では具体的にどのような分野で、それらの惑星の行動や現象が起こるのでしょうか？

それはホロスコープのどこに注目すればわかるでしょうか？

答えは、その三つの惑星が入っている星座をみていくのです。この場合【いて座】となります。【いて座】は、抽象的なものが大好きな星座です。すなわち「宗教・

させると『周到に下調べをした知

哲学・占い・運命学」などのことです。まずここを抑えます。

四柱推命									
戊:偏官	壬	丙:偏財	己:正官	天干					
申	午	子	亥	地支					
(金水)	(木)	(火)	(土)						
庚 庚 庚 丙 丁 壬 癸 癸 壬 壬 壬	陰 陽								
偏印 偏印 偏印 偏財 正財 正財 比肩 劫財 劫財 比肩 比肩 比肩	十神								
長生	臨	帝旺	建祿	十二運					

勝負が楽しい

+

強い集中力を求めている

干と干、干と支を融合（結婚）させて命式をよんでいく

■ホロスコープと四柱推命を合わせる具体的事例

次に、ここまで解釈ができた段階で、四柱推命に合わせていきます。

四柱推命では日柱が【壬午】で、隣の月柱が【丙】「勝負」、【午】が「楽しい」ですから、融合（結婚）させると『勝負が楽しい』と読むことができます。さらに【丙】が隣にありますから、『強い集中力を求めている』となります。このように組み合わせていきます。

それでは、今までの内容を総合して解釈してみると『抽象的な世界、運命学・哲学・宗教などの

分野で、社会に接していきます。そしてやり方は、非常に攻撃的であり、かつ知性的であり、しかも勝ち負けをものすごく意識します。そしてそのことを非常に楽しく感じ、しかも極度に集中した状態でやっていく」このよう読むことができます。

最初にホロスコープで大雑把におさえて、途中から四柱推命でみていきます。これが星平海会の「星と星との融合（結婚）」です。

■ホロスコープと四柱推命の融合鑑定事例・紅竜さんの場合

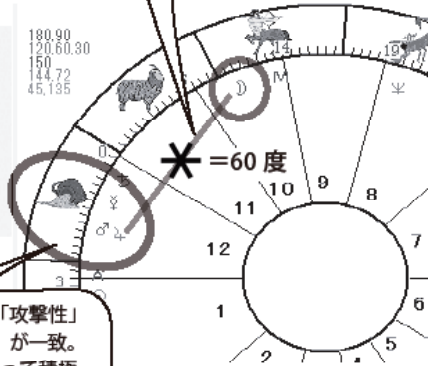
続いて、星平海会占いスクールの紅竜さんの事例について解説していきます。紅竜さんもちよつと変わった特徴的なパターンの持ち主です。

まず【火星】と【木星】が【0度のアスペクト】です。これは私と同じです。つまり火星の攻撃性と木星の社会への関与です。これがどこに入っているかという【みずがめ座】に入っているのです。【みずがめ座】は「知識」です。ですからこれは非常に知識を求めます。

攻撃的に社会に関わっていくのですが、その分野という「知識」なのです。ですから『占星学鑑定全書』のような百科事典並みの重たい本ができるのです。知識の固まりです。

信頼されたい【戊】という感情【月】が、社会【木星】とうまくつながり【60度のアスペクト】、攻撃性【火星】が表面から隠れていることを表している

戊	壬:偏財	壬:偏財	天干
戊	寅	寅	地支
(火土金)	(木火)	(木火)	
辛	辛	丙	甲
甲	甲	甲	甲



みずがめ座にある、火星の「攻撃性」と木星の「社会との関わり」が一致。『世の中に対して、知識でもって積極的に関わっていく』ことを表している

紅竜さんの四柱推命の命式とホロスコープ

しかし、紅竜さんと接した人には「そういう風には見えないけど？」という印象を持つ方もいると思います。
その理由はなぜなのでしょう？

■内側に隠れた性情をよみ説くには？

紅竜さんの場合、四柱推命でみていくと、日柱が【戊戌】です。隣の月干が【壬】です。その隣の年干が【壬】です。【戊】は「信頼」です。信頼されたいという感情がありますからカウンセラー向きだといえます。
そしてホロスコープでどういう感情なのかを細かくみていくと、【木星】と【月】が【六〇度のアスペクト】になっていますから、

『社会と感情がうまくつながっている』といえます。【戊】も「感情」ですから、この辺りから【火星】の「攻撃性」が表面に出ることなく隠れてしまっているのがよみ取れます。

このように星と星を融合させていくのです。決まりきったパターンはありません。その場で象意をつくっていくのです。それが星平会海の一番面白いところです。

■占星学（ホロスコープ）と四柱推命の融合鑑定の練習

それでは、ここからは融合の練習をしていきます。この融合ができなければ星平会海は楽しく使いこなせません。

■占星学と四柱推命の融合の練習【月】

まずホロスコープをから「あなたの支配惑星は何なのか？」をみていきます。例えば支配惑星が【月】になる場合、【月】が象徴しているのは「感情」です。そして四柱推命で「感情」に当たるのが【戊】【己】です。ですから、もしホロスコープと四柱推命が一致する場合、

非常に感情の部分が表面に出てくる人となります。

また【月】には、「受容性」という性質もありますから、これが四柱推命になると【丁】や【辛】が、それに該当します。

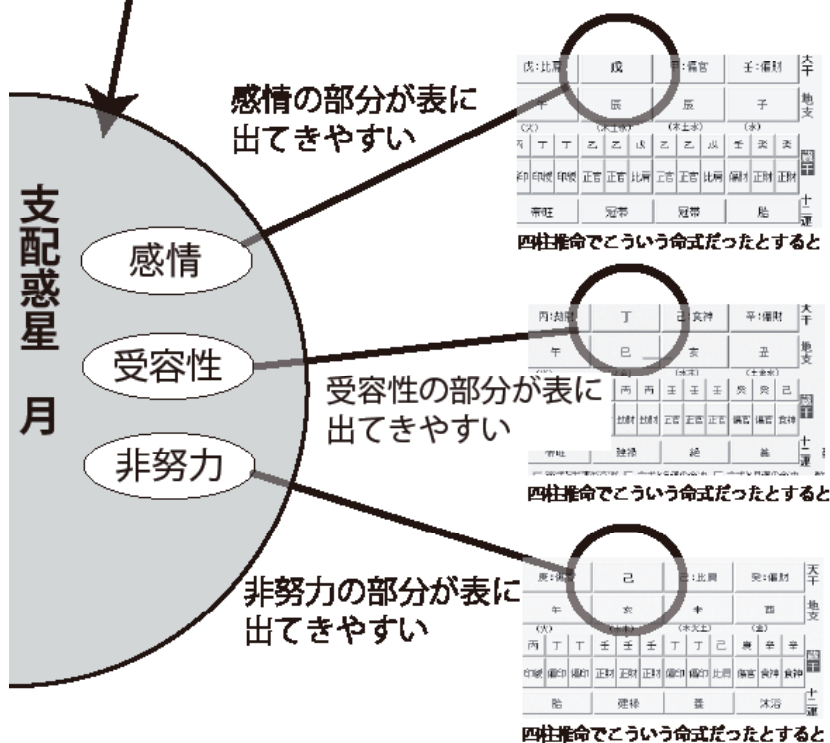
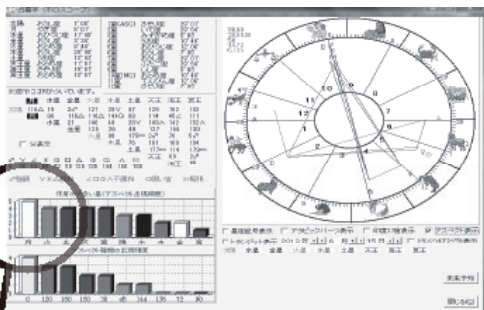
さらに【月】には「非努力」という面もありますが、これは四柱推命では【己】が該当します。

■占星学と四柱推命の融合の練習【水星】

支配惑星が【水星】の場合、これは「知性」を表します。四柱推命で「知性」は水です。すなわち【壬】【癸】です。この両方があれば、「非常に知的だ」とか「知性がある」と解釈でき、そういう現象や行動をしているはずですよ。

またこの「知性」を「言葉によるコミュニケーション」と理解した場合、四柱推命では【甲】が該当します。

さらに【水星】の「技術」という面に注目すると、四柱推命では【辛】の技術や、【丙】の探求力が当てはまってきます。このように合わせていくのです。



■占星学と四柱推命の融合の練習【金星】

支配惑星が【金星】の場合、これを「飾り」とか「華やかさ」ととると、四柱推命では【戊】や【丙】が該当します。

また【金星】を「魅力」とか「愛情」ととると、これは四柱推命では「感情」の【戊】と【己】が該当します。

また【金星】を「美的感性」ととると、四柱推命の【丁】が該当します。

■占星学と四柱推命の癒合の練習【太陽】

支配惑星が【太陽】の場合、これを「目標」ととると、四柱推命では【甲】【丙】【庚】【壬】が該当します。つまり陽干が該当します（【戊】を外したのは、「感情」が優先される性質があるからです）

また【太陽】を「創造のエネルギー」ととった場合、四柱推命の【陽干】が全部該当していきます。

■占星学と四柱推命の融合の練習【火星】

支配惑星が【火星】の場合、「荒っぽい意思」とか「やる気」となりますが、これは四柱推命では【庚】【壬】となります。

【火星】を「批判的」ととると、「言葉」で批判するケースは【甲】です。「感情」で批判とすると【戊】です。「技術」で批判となると【丙】です。

また【火星】を「攻撃性」ととると、【壬】【庚】【癸】です。ただし【癸】は変化球的な攻撃をします。

■占星学と四柱推命の融合の練習【木星】

【木星】が支配惑星のとき、これを「社会的な集団」ととると、四柱推命では【甲】【乙】【丙】【戊】【己】【庚】【辛】が該当します。

また【木星】を「寛大」ととると、四柱推命では【戊】が「感情的に寛大」となり、【壬】が「度量的に寛大」となります。

また【木星】を「宗教」ととる場合もありますが、このときは四柱推命では【辛】です。

また【木星】を単なる「ラッキー」ととらえると、【十干全部】が該当します。どの干がラッキーで、どの干がアンラッキーというのはありません。それは本人次第なのです。

■占星学と四柱推命の融合の練習【土星】

支配惑星が【土星】の場合これを「規律」ととると、四柱推命で「規律」が好きなのが【甲】【乙】となります。「正義感的な規律」は【丁】です。「宗教的な規律」は【辛】です。「知的な規律」は【癸】となります。

【土星】を現実面の「組織」や「責任」ととると、四柱推命では【甲】【乙】となります。

■占星学と四柱推命の融合の練習【天王星】

支配惑星が【天王星】の場合「現状否定」「改革」ととると、四柱推命では【壬】【丙】となります。

また【天王星】を「博愛」ととると、四柱推命では【戊】になります。

また【天王星】を「非組織」ととると、四柱推命では【甲】【乙】【丁】【癸】などは、逆

に全く当てはまりません。合いません。

■占星学と四柱推命の融合の練習【海王星】

【海王星】が支配惑星の場合、これを「幻想」とると、四柱推命で合わない干は【庚】【丙】【戊】となります。一致しません。

■占星学と四柱推命の融合の練習【冥王星】

【冥王星】が支配惑星の場合「破壊と創造」ととると、四柱推命で合わない干は、陰干を中心に【乙】【丁】【戊】【己】【辛】【癸】です。これらは冥王星とは一致しません。

占星学の星と四柱推命の干を結婚させる場合、このようにみていきます。

■星座を惑星とリンクさせて理解する方法

次に星座について解説します。星座をそのまま星座として理解するのではなく、「星座を惑星として理解する」ほうがいいのです。そうするとホロスコープを使うときに、覚えるのに必要なのは惑星だけになるからです。星座は覚えなくてもいいのです。

なぜかという点、星座とは太陽系の外にある遠いところにある星の集団だからです。遠いところにある星座のエネルギーを具体的に受けて活動しているのが太陽系の各惑星です。ですから、「どの惑星が、どの星座から一番影響を受けているのか」さえ理解してしまえば、一つ一つの星座について細かく覚える必要はなくなるのです。

覚えることを減らして、インスピレーション重視で鑑定していこうというのが、今回の講義の目的です。それでは惑星と星座の関係について解説していきます。占星学では星座から影響を受けている星のことを「ルーラー」と呼んでいます。

【おひつじ座】のルーラー - 【火星】

特徴は「冒険と自由」「衝動的な行動」「負けず嫌い」です。火星は、最もおひつじ座の影

響を受けています

【おうし座】のルーラー - 【金星】

特徴は「粘りと継続」「頑固」「自己中心」です。「物質的なモノを所有したい」というのは金星のエネルギーです。

【ふたご座】のルーラー - 【水星】

特徴は「臨機応変な知性」「好奇心」「情緒は若干不安定」です。水星が一番ふたご座の影響を受けています。

【かに座】のルーラー - 【月】

特徴は「感情」です。「仲間を大事にする」「人の世話が好き」「感情の起伏」があります。月が最もかに座の影響を受けています。

【しし座】のルーラー・【太陽】

特徴は「たくましい」「創造力」「独善的」「自己中心」です。太陽が最もしし座のエネルギーを受けています。

【おとめ座】・【水星】

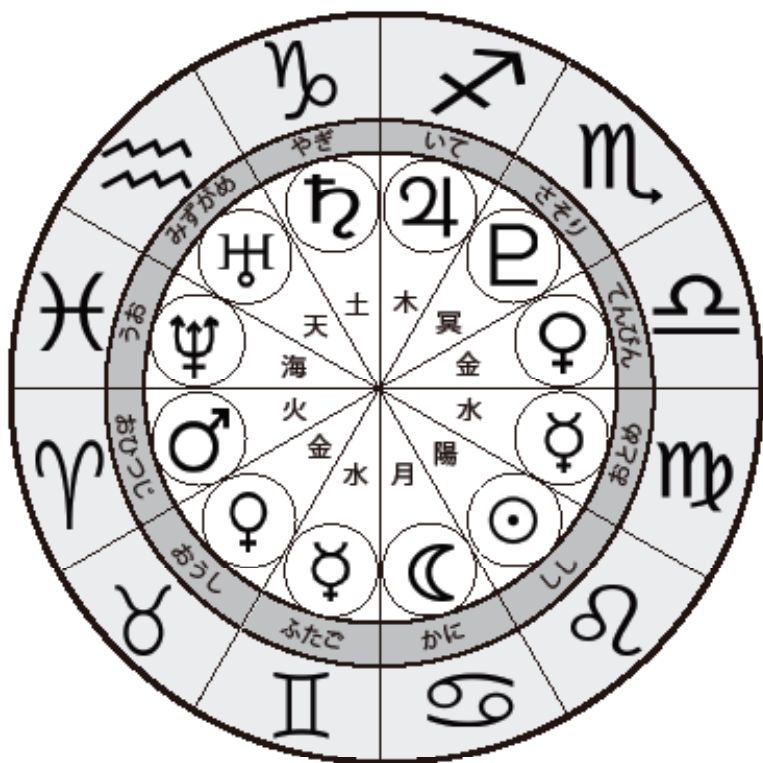
特徴は「分析と批判」「実務能力」がある。「職人的」です。水星はおとめ座の影響を受けています。

【てんびん座】のルーラー・【金星】

特徴は「上品」「公平」である。「駆け引き」です。金星はてんびん座の影響を受けています。

【さそり座】のルーラー・【冥王星】

特徴は「洞察力」「裏切らない責任感」「嫉妬深い」です。冥王星はさそり座の影響を最も受けています。



各星座とルーラーの天体との相関図、天体は、各星座の持つ性質を「動いて」活動する。動き、活動することで天体としての役目を果たしていく。星座から各天体へとエネルギーが流れており、天体は星座に守護されている。

【いて座】のルーラー・【木星】

特徴は「オープン」である。「哲学的」「宗教的」「精神的」です。木星は最もいて座の影響を受けています。

【やぎ座】のルーラー・【土星】

特徴は「社会的目標を達成する」「打算的で苦労症」です。土星は最もやぎ座の影響を受けています。

【みずがめ座】のルーラー・【天王星】

特徴は「奇抜な発想」「改革」「博愛」「常識を無視」「反抗的」です。天王星は最もみずがめ座の影響を受けています。

【うお座】のルーラー・【海王星】

特徴は「人情と奉仕」「適応力がある」「非現実的」「逃避願望」です。海王星が最も魚座の影響を受けています。

このように星座を覚えなくても、ルーラーを覚えておけばいいのです。

■十二支の覚え方

次に十二支です。実は十二支もそれぞれを覚えなくてもいいのです。実は十二支にも占星学のルーラーと同じ仕組みがあるのを皆さんご存知でしょうか？十二支にもルーラーがあるのです。それが「蔵干」です。蔵干とはルーラーのことなのです。以下に十二支とそのルーラーの関係を紹介します。

【子】のルーラー【癸】
【丑】のルーラー【己】
【寅】のルーラー【甲】
【卯】のルーラー【乙】
【辰】のルーラー【戊】

【巳】のルーラー 【丙】
【午】のルーラー 【丁】
【未】のルーラー 【己】
【申】のルーラー 【庚】
【酉】のルーラー 【辛】
【戌】のルーラー 【戊】
【亥】のルーラー 【壬】

このようになっていきます。

こうやってみていくと、最低限覚えておく必要があるのは、十干と十個の惑星だとわかります。これで星平会海は終わってしまうのです。

■ 「星平会海」を使いこなすために最も必要なこと

後の問題は、星と星との結婚のさせ方です。これができるようになると象意はいくらでも



十干とルーラーとしての十二支の相関図

出てきます。もうちょつと頑張りたい人は十二支と十二星座の詳細も覚えるのです。以上の内容で四柱推命と西洋占星術を融合させてみるのが可能になります。本当に覚えることは少ないのです。

■徹底して十干と十惑星を掘り下げる

ただし象意がイメージできるように、徹底して研究する必要があります。

つまり、一つのことを深く掘り下げて研究するのです。このテキストにはいろいろと非常に詳しく解説してありますが、こういうものを丸暗記するのではなく、実際の人物で覚えて欲しいのです。人物で覚えたものは間違いないからです。

■使わなくてもいい理論とは？

一方、無視していい理論や、使わなくてもいい理論もあります。四柱推命では五行の概念、五行の強弱、空亡などです。特殊星もいりません。なぜなら、結局こういう内容を突き詰めると、十干と十二支の組み合わせだけからできているからです。

また、吉と凶という概念も必要ありません。格局も問題外です。使い物になりません。全てが十干と十二支の組み合わせとなります。通変星も使いません。これも結局十干と十干の組み合わせですから、自分で創造できるのです。十二運星もいりません。これも結局十干と十二支の組み合わせです。そうすると、ほとんどの理論は必要ないという結論になります。

占星学も同じようにアスペクトを中心にみていきますが、0度とか三〇度とか九〇度とかマイナーアスペクトとか沢山ありますが、そういう細かいものは一旦全部忘れて、星と星と

の結婚で象意をつくっていくのです。ハウスも使いません。ハウスは生まれた時間が分からないと、全く使い物にならないからです。純粹に惑星と十二星座だけで十分に鑑定することができます。

■星座と十干の組み合わせの相性

星座と十干には相性のようなものがありますので、それを説明していきます。星座と十干が似たもの同士であれば、その特徴を発揮して現象がきれいに出来ますし、似てないものが組み合わさると、やはりどっちつかずになりやすい傾向があります。

【おひつじ座】 「人に合わせない」という特長があります。そのため四柱推命では陽干との組み合わせがよい相性です。すなわち甲・丙・戊・庚・壬です。これらの陽干には「人とは合わせない」という性質があるからです。一般的には陽干は人に合わせませんから、おひつじ座的だといえます。

だからといって陰干との組み合わせがダメなものではありません。例えば丁は正義感を押し通します。そういう面では人に合わせませんし、辛は精神世界という面では人に合わせません。癸も人に合わせる振りをしながら全く自分の考えでやっていきます。そういう面では、おひつじ座と象意が一致する場面もあるといえます。

【おうし座】「ものを持ちたい」という所有欲ですから、十千の中では一番の所有欲のある庚と合います。お金への欲望です。同じように癸もお金への欲望はあるのですが、これは頭で

合わない十干	星座	合う十干
	おひつじ座	甲丙戊庚壬
丁	おうし座	庚癸
丙庚壬	ふたご座	丁
庚壬	かに座	乙丁己辛癸
	しし座	甲丙戊庚壬乙
	おとめ座	壬癸丙乙
庚壬	てんびん座	
	さそり座	戊己
丁己	いて座	甲丙戊庚壬
丁己	やぎ座	甲丙戊庚壬
	みずがめ座	辛丙
	うお座	丙甲

稼ぐマナーです。一方、庚は行動で稼ぐマナーで、辛は精神世界で稼ぐマナーです。

逆におうし座に合わないのは丁です。丁は善人づらしますもので、どうしても所有欲は発揮しません。根底に「善人でありたい」という欲求があるからです。

【ふたご座】「コミュニケーションの星座ですから、コミュニケーション」というより「行動」という庚とは合いません。コミュ

ニケーションというより「自分で探求する」という丙ともマッチしません。コミュニケーションよりも「相手に勝つ」という壬も合いません。逆に知的会話を好む癸とか、善良な会話を好む丁とはマッチしません。

【かに座】 仲間意識があります。そのため陰干の乙・丁・己・辛・癸との相性はいいでしょう。逆に「一人で行く」という庚や、人と合わせるよりも「人に勝つ」という壬はマッチしません。

【しし座】 「ワクワクするものをやってみたい」という星座なので、これも陽干の甲・丙・戌・庚・壬との組み合わせはいいです。陰干の場合は、乙でしし座の人で成功しているケースがあります。例えば、数年前話題になった村上ファンドの村上さんです。彼は乙でしし座です。あのようにちよつとズルくなる傾向があります。ワクワクするのですが、乙との組み合わせにより、ちよつとズルくなる場合もあります。

【おとめ座】 疑って分析する星座です。これは水行の壬・癸とはマッチします。例えば世界一の投資家のW・バフェットさんは壬のおとめ座です。また丙も探究心ですから合います。

乙も合うのですが、乙は分析した結果、臆病になってしまう傾向があります。

【てんびん座】 - バランスを取る星座です。ですから「バランスはどうでもいい」という壬とは合いません。同じく「バランスを取るよりも自分でやってしまう」という庚とも合いません。

【さそり座】 - 深いところで人と信頼関係で結ばれたい。そうしないと気持ちよくないという星座です。ですから感情の戊・己とは合いません。

【いて座】 - 自由でありたい、冒険したいという星座です。ですから各陽干とはマッチします。特に思想的には甲と合います。逆に合わないのは「リスクを嫌がる」丁や、「ねたみを持ちやすい」己とは合いません。

【やぎ座】 - 社会的な野心です。これも各陽干とマッチします。逆に陰干でも「人から評価されたい」とか「善人ぶりたい」という丁とは得にマッチしません。同じく己も「感情を内

側に溜め込みたい」ので、野心を持ってしまおうと怒りやすくなってしまうので、相性的にはあまりよくありません。

【みずがめ座】 自由に新しいものを創造し、生み出していききたい星座です。ですから「スピリチュアル的」な辛や、「スピリチュアル的な探究心」のある丙とは非常に合います。奇抜なアイデアを出してきます。また庚などは現実世界の十干ですが、成功する人は、みずがめ座の庚でも成功します。その場合現実世界と、自由と創造の理想世界を融合して、現実を理想世界に近づけることで成功していきます。

ちなみに、命式やホロスコープに出ている星が、全部融合していく人がいい人であり成功していく人なのです。融合しない人が運勢の悪い人なのです。

ですから、どんなに違う性質の十干や星座同士であっても、融合できる人であれば人生が成功するのです。例えば、丙と辛も干合干で全く性質の違う干同士ですが、辛の精神世界と丙の探究心が融合すると、例えば馬の世界の「精神」の「探究心」のように、性質は違うけれども融合するのです。運勢のある人は融合するのです。成功する人は矛盾が矛盾でなくなっ

てしまうのです。

【うお座】 - とことんまで信じます。ですから「とことん探求しよう」という丙とは合います。例えばアップルのS・ジョブスさんです。彼は丙のうお座です。またうお座は「宗教性」の辛ともマッチします。「とことんまで信じる」威圧的ですが甲ともマッチします。とことんまで信じて「これやります」とコミットするのです。日産自動車のC・ゴーンさんも甲のうお座です。「絶対にこれやります」という徹底的に目標を信じる力です。ちよつとカリスマ的で高圧的になりやすい傾向もあります。

このように、成功する人は異なる象意の星を融合させることができます。そのため矛盾が矛盾でなくなりません。逆に失敗する人は、同じような星が固まって「こんなふうになるんだろうな」という象意の予測が外れます。ですから占いの本などに書いてあるような行動や現象が起りません。象意がバラバラになってしまふのです。ここで紹介した『融合』というの人生の成功の一つのキーワードです。

象意の融合は男女関係と一緒です。男性が全く自分とは違う性質を持つ女性の気持ちと融

合して中性的になる。女性が男性を受け入れて男性的な心情、発想、資質を吸収して中性的になる。こういう人達はだいたい開運していきます。「俺は男だ」とか「私は女だ」のように男性性だけに片寄っていたり、女性性だけに片寄っている人達は、融合できてないですから意外と運がないのです。

第七章 星平会海 融合鑑定事例集

事例① 自己破産した優秀なプログラマー

一九六〇年六月一日 午前六時生まれ

私（天野氏）のサラリーマン時代の部下で、二十年來のつきあいのある男性がいます。彼が今年になって破産しました。もともと技術的には優秀なプログラマーで、機械系の制御プログラムをつくるという面ではかなり優秀な人物でした。しかし破産してしまいました。どうしてそうなったのでしょうか？この人物について解説していきます。

■四柱推命では吉運の時期に自己破産

四柱推命でみると、日柱が庚申でその十二運星が建禄となっています。命式は金が最強で

己:印綬		庚		辛:劫財		庚:比肩		天干	? 十干気学	旧暦 平月 5/8 六	
卯		申		巳		子		地支	大運は生まれた日から、1年7ヵ月後		
(木)		(金水)		(火金)		(水)			節入り日 6日 18時		
甲	乙	乙	庚	庚	庚	丙	丙	丙	壬	癸	癸
偏財	正財	正財	比肩	比肩	比肩	偏官	偏官	偏官	食神	傷官	傷官
胎		建禄		長生		死		十二運	? 蔵干	? 納音	
胎		建禄		長生		死		十二運	? 蔵干	? 特殊星	
<input type="checkbox"/> 命式と大運の合沖 <input type="checkbox"/> 命式と年運の合沖 <input type="checkbox"/> 命式と月運の合沖 教え年は生まれた年が1才です。											
教え年大運	3才1月	13才1月	23才1月	33才1月	43才1月	53才1月	63才1月	73才1月	83才1月		
	壬:食神	癸:傷官	甲:偏財	乙:正財	丙:偏官	丁:正官	戊:偏印	己:印綬	庚:比肩		
	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅		
	沐浴	冠帯	建禄	帝旺	衰	病	死	墓	絶		
教え年年運	2008年 49才	2009年 50才	2010年 51才	2011年 52才	2012年 53才	2013年 54才	2014年 55才	2015年 56才	2016年 57才	2017年 58才	
	戊:偏印	己:印綬	庚:比肩	辛:劫財	壬:食神	癸:傷官	甲:偏財	乙:正財	丙:偏官	丁:正官	
	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	
	死	墓	絶	胎	養	長生	沐浴	冠帯	建禄	帝旺	

事例① 自己破産したプログラマーの四柱推命の命式

す。教科書的な判断をすると、金を剋する火運が回ってくると、良い運回りとなります。庚辛庚と天干に並ぶ三比の命ですから、なかなか強い独立心があるはずで、命式上はこうなっています。

大運をみていきますと、二十三才から偏財、三十三才から正財、四十三才から偏官、五十三才から正官です。四十三才からの二十年間は火運が回ってきます。つまり火運が回ってくるので本来吉運のはずです。ところが彼は現在かぞえの五十二才なのですが、この火運のところ以自己破産です。吉運のときに自己破産してしまいました。

■三十代後半にヘッドハンティングで転職

冒頭で紹介したように、彼はもともと大手のコンピュータ関係の会社に勤めていて、私の部下でした。機械系のソフトをつくっていましたが、当時の働きぶりは優秀でした。その彼が三十代後半のときに転職しました。正財のときでした。

経緯としては、ある先輩社員が独立してIT企業をつくったのですが、そのときに彼をいわゆるヘッドハンティングしたのです。当時の彼の給料は二十八万くらいでしたが、ヘッドハンティング先の企業には「役員待遇で、今の倍の五十六万円の給料を出します」と言われ転職していきました。

■iモードの占いのコンテンツで売上げをあげる

彼が転職した時代は、ちょうど日本で携帯電話が普及し始めた頃で、NTTドコモがiモードのサービスを始めた時期でもありました。そして当時、iモードのコンテンツとして「占いコンテンツ」が大ヒットしていました。コンテンツをつくれればつくほど、どんどん儲かる状態でした。

彼は、もともと私と一緒に趣味で四柱推命のシステムなどをつくっていました。そのため四柱推命や紫微斗数推命などのエンジンの構造などを全部わかっていたこともあり、彼自身がその転職先で古いコンテンツをつくってビジネスをしていたのです。

彼をつくったコンテンツも当時はすごい売り上げで、毎月三百万円から四百万円を売り上げていました。年間になると四千万円から五千万円を、彼一人だけで売り上げていたのです。そのため会社からも一目置かれる存在となり、非常に優秀な部下を三人つけてもらいながら仕事をしていました。彼はとてもいい時代を送っていたのです。

■頭金0円でローンを組み四千万円の住宅を購入

こういう状況ですから、彼は、この時期に四千万円の家を建ててしまいました。ところが、なんと頭金0円でローンを組んでの購入だったのです。

また当時は羽振りがよかったので車もBMWを買いました。これもローンです。そして三人の子供たちも全員、私立の学校に通わせました。しかも、車で二時間かけて自宅から学校まで送迎するという生活をしていたのです。この送り迎えのガソリン代だけで月六万円か

かっていました。

ですから、何だかんだ合わせると住宅ローンの十二万円にガソリン代が六万かかり、これだけで毎月二十万円くらいは飛んでいくのです。

このとき私（天野氏）は彼に「今はたまたま波に乗っているけど、いつまでも続かないよ」と注意しました。

■リーマンショックとスマホの登場で流れが変わる

そしてしばらく後、二〇〇八年九月に、皆さんご存知のリーマンショックが起きました。同時に、この時期iモードの売り上げもドンドン減っていました。時代はスマートフォンに移行しつつあったのです。今のスマホ中心の時代というのは、携帯電話中心の時代よりも、古いコンテンツは実は儲からないのです。

こう言うと「 아이폰やアンドロイドのアプリがあるじゃないか」という意見も出てくるのですが、実はスマートフォンのビジネス分野では、まだ「こうやれば儲かる」というような方程式がないのです。まだまだ新しく開拓していかなければいけない状態なのです。

日干と月干の並び

庚辛

「精神の損得勘定」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 戦格（センカク）

従来の解釈 やりすぎ、強引、傷つけ、攻撃的、役目意識、独立、実行、冷酷、投機、野心、けが、破財

人物 宇野千代、劇団ひとり、島田紳助

日干と年干の並び

庚庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「マネーの損得勘定」で動く

古典名 戦格（センカク）

従来の解釈 行動力、荒っぽい、冷酷頑固、攻撃的、実行、自主性、自信、厳肅、勝ち気、自尊心、けが

人物 太宰治、マツコDX、酒井法子

事例①の人物の天干の並び、お金に関する損得勘定と合理的な発想に特徴が出てくると予測できる。著名人には極端な生き方をしている人物が目立つ

つまり、新しくリスクを背負って、いろいろとやってみなければ結果が出ない分野なのです。

ところが彼の性格上こういうことへの対応ができないのです。彼の場合「誰かがやってみて、すでに儲かっている仕組みをみつけて、それを真似てやる」というのは得意なのですが、自分自らがリスクを背負ってやることはしないのです。また現実を見渡しても、古いコンテンツの分野では、どこの会社もまだ儲かってないので、真似をしようと思っても誰も真似はできないのです。前例がないのです。

■給料が下がり続け、ついにリストラされる

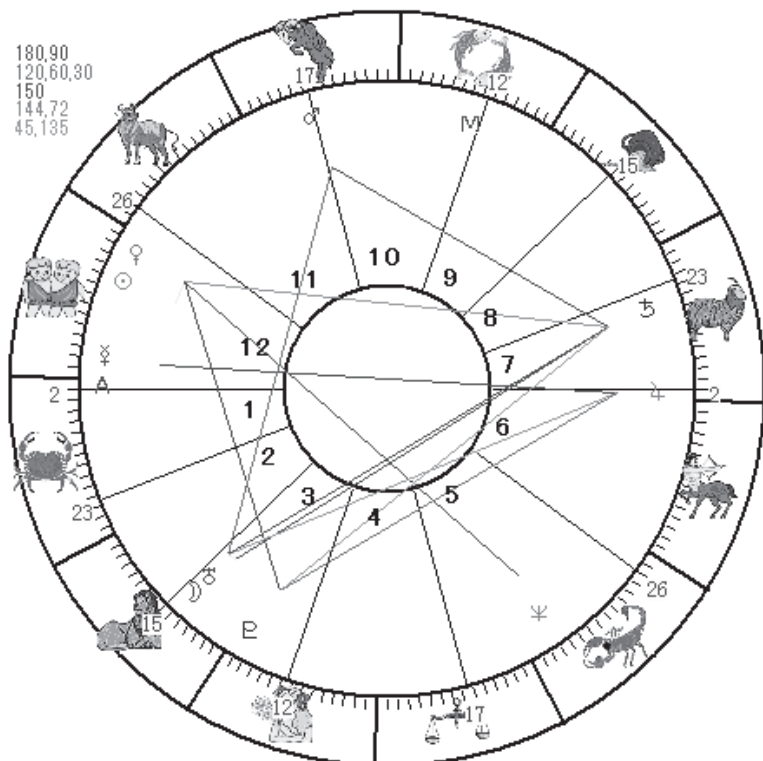
そうこうしているうちに、彼のビジネスの売

り上げがドンドン下がっていきました。二〇一〇年には給料が三十万円に下がりました。さらに二〇一一年には二十万円になりました。始めの三分の一になってしまいました。そして二〇一一年十一月には、ついにリストラされてしまいました。

彼は当初、金利二・一％くらいで毎月十二万円の住宅ローンを返済していましたが、この頃、変動金利で金利が四％くらいに上がり、毎月の返済も十四万円になっていました。ですから二〇一一年時点で、どんなにやりくりしても毎月十四万円のローンと六万円のガソリン代、合わせて二十万円は払えないのです。奥さんがパートで頑張っても、四国の田舎のスーパーで働くくらいですから、せいぜい八万円程度の稼ぎがやっとでした。どうやりくりしても、三人の子供を私立の学校に通わせるだけのお金は無いのです。

■新しいことに挑戦しない理由

この時点で自己破産は見えていたので、私は「食っていけなくなるから、新しいことをドンドンやらないといけない。 아이폰・アプリやアンドロイド・アプリで、プロ用のいい古いコンテンツをつくってくれればフォーチュンソフト社で販売しますよ」と、ずっとア



■事例①の男性のホロスコープ

プルーチしていたのですが、結局彼はやりませんでした。

なぜやらなかったかという点、誰もその分野で儲かってないからでした。前例が無いからです。「誰かが儲かっているならやるよ、儲かってないならやらないよ」という発想なのです。

そして彼はリストラされ、結局住宅ローンも払えなくなり、破産管財人を立てて自己破産しました。そして今ではアパートを借りて生活しています。ローンを組んで購入した家は任意売却しました。そういう人生です。

口の悪い占い師なら「月干に劫財（別名廢財）があるから破産するんだね」などと言うのでしょうか、そうではありません。このことについて彼のホロスコープと四柱推命を融合させながら解説していきます。

■太陽と金星が0度のアスペクト

占星学で彼のホロスコープをみると、性格的には「**太陽と金星が0度のアスペクト**」しているので「愛想がいい」となります。実際、会社の社長に対しても非常に愛想がいいのです。例えば社長が仕事で無理難題を持ってきても、愛想がいいので「出来ません」と言えません。愛想がよく、うまく周囲に合わせるのです。

ところが、これは彼の四柱推命の庚と合いますか？庚は周囲を無視して自分の道を行く干です。ですから合わないのです。この場合、庚の良さも出ないし、太陽と金星の0度のアスペクトのよさもあまり出てきません。

■月と天王星が0度のアスペクト

【月と天王星が0度のアスペクト】です。この組み合わせは本来、依頼心が少ないはずですが、独立心があるのです。これは庚と合います。独立心についてみてみると、彼の命式の場合、比肩・劫財が多く庚もあります。また月と天王星の0度のアスペクトもあるので、独立心が十分に備わっているはずなのですが、実際の彼はどうだったでしょう。例えばiモードが駄目になったときに「アイフォーンやアンドロイドをやりませんか？」とアドバイスされましたが、実行しませんでした。「誰か他の人が儲かってないからやりません」という発想でした。つまり依頼心が強く独立心がありません。

■土星と火星が90度のアスペクト

【土星と火星が90度のアスペクト】です。これをどう解釈するかですが、口の悪い占い師なら、これを見てほしいネガティブなことを言うでしょう。「火星のやる気を土星が束縛しますね」などと結果をみて言うでしょう。さらに「それでは誰が束縛するかというと、会社の社長です」みたいなことを言うのですが、そうではありません。

現実社会では、火星と土星が九〇度であつても成功している人は山ほどいるのです。この惑星とアスペクトの組み合わせがもたらす成功がどういふものかという点、土星の「困難・束縛」を火星の「やる気」と「喧嘩腰のパワー」でやつつけていくという「開拓の精神」があるのです。ところが彼の場合、やる気がないという状況になっています。

■ふたご座に太陽と金星と水星が同居

【ふたご座に太陽と金星と水星が同居】しています。ふたご座はコミュニケーションの星座ですから、うまく周囲に合わせるといふ伝達能力があります。世間体も気にします。これはそのとおりです。世間体を気にするから「子供を私立の学校に通わせて、少しでも学歴をつけさせてあげたい」と発想するのです。

ところが私から見ると私立学校といつても田舎の学校ですから、たいしたことはないのです。公立の学校で十分です。わざわざガソリン代を何万円も使って送迎して、私立の学校にやろうなんて発想は私にはありません。

彼の場合ふたご座の庚ですから、庚と伝達とは一致しにくい組み合わせでもあります。

■火星・おひつじ座、木星・やぎ座

次に男の場合、必ず火星と木星をみていきます。火星は戦いで、木星はどういう社会活動をしていくのかをみていきます。

【火星はおひつじ座】に入っています。これはいいです。火星はやる気、パワー、戦いですから、おひつじ座はこれに合っています。新しいことにドンドン挑戦していく組み合わせです。

【木星はやぎ座】に入っています。やぎ座は長期展望がありますから、目の前の利益よりも長期的に計算してやっていけるはずですよ。

しかし実際の彼はやっていません。「既に誰かが儲かっていればやるが、儲かってなければやらない」という発想です。目の前の利益は追求できるが、長期的な利益は追求できていません。

■占いの「当たる」「当たらない」の混乱と罫

こんなふうなみにみていくと「当たる」とか「当たらない」という観点から占いを使うと、わけが分からなくなってしまう混乱に陥ってしてしまうのです。

そうではなく、本来の彼自身にはいろんな星が作用しているはずなのです。例えば庚も比肩・劫財が多いというのもそうですし、強い火星、木星、太陽、金星、月、天王星の作用も、彼という存在を通じて結果が出てくるはずなのです。

ところが星の作用が発動してないという現実があります。実はこのことは、星の作用の問題ではなく、彼という「存在」自体に問題があるのです。つまり「存在」が間違っていると、せっかく庚が作用しても変な庚になってしまうのです。せっかく火星が作用しても、変な火星になってしまうのです。

■星の作用を曲げてしまっ「存在」の歪み

そして「存在」そのものは運命学でみるものではありません。「存在」とは、別の言葉に置き換えると「その人の現実の心理状態と思考パターン」のことなのです。ここが一番重要



星の作用

命式、ホロスコープ

存在

がクリアな状態ならば
実の人生を送る



存在

が腐った状態ならば
虚の人生を送る



です。ここが変に曲がっているので、結果も曲がってくるのです。

■成功する人と自己破産する人の違い

成功する人と自己破産する人との違いというのは「存在自体が透明な心理であるかどうか」「二六〇度全体を見渡せることができるか」「バランスよくものごとを見るか」「できるかどうか」といったところにあるのです。

そういう透明な心理で物事をみる訓練が成されてきた人というのは、だいたいは痛い思いを何回もしている人です。庚でありながら、全く違う乙の考え方もで

きる。比肩・劫財でありながら、全く違う官星の発想もできる。という人が、透明で三六〇度の思考パターンの持ち主なのです。

そういう人ならば庚のよさがでる、火星のよさがでる、比肩・劫財のよさがでる・・・と全部占いが当たるのです。四柱推命でも当たる、占星学でも当たる、という結果になるのです。

■「存在」が腐っていると結果も腐る

ところが「存在」が腐っていると結果も腐ってしまいます。彼も本来ならどんどん周りを無視して、社長を無視して、長期の利益を狙ってスマートフォン対応のコンテンツをつくることのできるのです。庚のパワーがあり、しかも建禄なので正確なコンテンツをつくる実力があるのです。だから、やればいいのです。

でもやらないのです。比肩・劫財があるのだから、周りとのトラブルは気にせずに、やればいいのです。土星の困難があるとすれば、火星で打ち破ればいいのです。トラブルが起これりそうになれば、ふたご座があるのだから、それを使ってうまくコミュニケーションをとつ

て、相手に合わせるふりもできるのです。

大体世の中で成功している人は、四柱推命をみても、占星学をみても星がいいように作用しています。一方、失敗する人や自己破産してしまう人は「存在」が歪んでいるので、全ての星の作用も歪んでいくのです。

■鑑定時のヒアリングで集中するポイント

事例①の彼のような人生を説明するときには「庚のよさが出ていますか？悪さがでていますか？それとも死んでいる庚ですか？」というつもりでヒアリングしなければいけません。

つまり「庚が生きているのか？比肩・劫財は生きているのか？建禄は？火星は？ふたご座らしいコミュニケーションはできるのか？太陽と金星のアスペクトのように楽しい会話はできるのか？」こういう目で相談者をみるのです。そうすると星がきちんと作用している人かどうかがみえてきます。

事例② 自己破産同然の靈感マツサージ

一九六四年十二月二十六日 午前九時生まれ

タイトルにある「同然」というのは自己破産から逃げたからです。自己破産の申請はしてないが、実質的には自己破産同然になったという男性です。やはり私の部下だった人です。

■自己破産や生活保護を受給している人達の共通点とは？

彼と私は以前同じコンピューター会社に勤めていました。今は上場企業となって大きな会社になっていますが、ちょうど会社が上場するときに百人くらいが退社しています。そして、そのうちの半分近くの人が現在、経済的に食べていません。自己破産してないまでも生活保

戊:劫財		己		丙:印綬		甲:正官		天干	? 十干気学	旧暦 平月 11
辰		酉		子		辰		地支	大運は生まれた日から、3年6ヵ月 節入日 7日 10時 節入日からは18.9日で次の節入宿曜経 氏宿	
(木土水)		(金)		(水)		(木土水)				
乙	癸	戊	庚	辛	壬	癸	乙	癸	戊	
偏官	偏財	劫財	傷官	食神	正財	偏財	偏官	偏財	劫財	
衰		長生		絶		衰		十二運	? 蔵干	? 納音
命式と大運の合冲		命式と年運の合冲		命式と月運の合冲		数え年は生まれた年が1才です。				
数え年大運	5才6月	15才6月	25才6月	35才6月	45才6月	55才6月	65才6月	75才6月	85才6月	
	丁:偏印	戊:劫財	己:比肩	庚:傷官	辛:食神	壬:正財	癸:偏財	甲:正官	乙:偏官	
	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	
	墓	死	病	衰	帝旺	建禄	冠帯	沐浴	長生	
数え年年運	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2018年	2020年	2021年	2022年
	50才	51才	52才	53才	54才	55才	56才	57才	58才	59才
	癸:偏財	甲:正官	乙:偏官	丙:印綬	丁:偏印	戊:劫財	己:比肩	庚:傷官	辛:食神	壬:正財
	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
	帝旺	建禄	冠帯	沐浴	長生	養	胎	絶	墓	死

事例②の男性の四柱推命の命式

護を受けていたり、親の年金頼りで生活していたりしています。実は、こういう人達にはある共通点があるのです。今回の事例を聞きながら、その辺りをきちんと理解していただきたいと思っています。

■命式と実際の人生を照らし合わせてみる

はじめに彼の命式を紹介しておきます。

日柱が己酉で長生です。月柱が丙子です。年柱が甲辰です。彼の人生を紹介していきますが、その人生模様が命式らしい人生なのか、それとも命式らしさが出てない人生かどうかを、実際と照らし合わせながら聞いていただきたいと思っています。

彼はもともとコンピュータのプログラマーでした。しかし彼のつくるプログラムはグチャグチャで全然駄目なので、営業に移動となりました。営業ではそこそこ上手くいきましたが、会社が上場する前後の時期に退社しました。そして会社を辞めた後は整体マッサーで独立しました。彼の場合、霊感的な力があつたので、それを利用した整体マッサーでした。そして現在は破産同然です。

■宿曜・氏

彼の場合、宿曜経に特徴があるので、それも紹介しておきます。【氏】です。何にでも抵抗する星です。

■おとめ座に火星、天王星、冥王星

占星学の特徴はおとめ座に惑星が集中していることです。【おとめ座に火星、天王星、冥王星】です。強い星が集中していますが「では実際の彼はどのようなだろう？」と推理しながら聞いてください。

■ いて座に水星

【いて座に水星】があり、この水星は強さが最強です。水星は知性とコミュニケーションの星です。そしていて座は理念的なもの、宗教的なものです。このように連想しながら聞いて下さい。

■ ホロスコープ上の各アスペクト

【水星と冥王星が九〇度のアスペクト】です。コミュニケーションとあの世の星・冥王星が九〇度です。また【水星と海王星が九〇度】です。そして【水星と火星が九〇度】です。パワーの火星とコミュニケーションです。これがどうなるかを推理して下さい。

■ 火星がおとめ座、木星がおうし座

そして男性の場合、火星、木星をみますが【火星がおとめ座】です。分析・批判です。

【木星がおうし座】です。物質です。「じゃあ社会生活はどうなるんだろう？」と推理しま

す。

■幼少期に母親への強い恨みを抱く

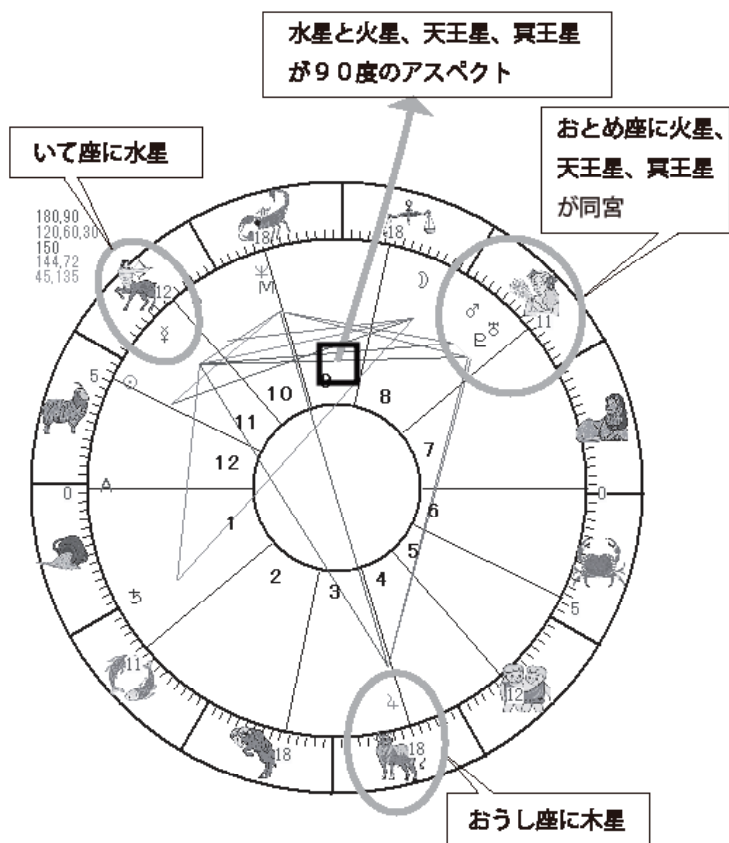
それでは彼の人生模様を紹介していきます。

彼はまず非常に恨みを持っています。自分の親に対して強い恨みを持っています。特にお母さんです。なぜお母さんかというと、この男性はおばあちゃんが大好きだったのですが、そのおばあちゃんの面倒をお母さんがみなかったというのです。

酪農家の家でしたから、毎日が牛の面倒をみるので大変です。ですからおそらく彼のお母さんは仕事に手一杯で、おばあちゃんの面倒までみる余裕がなかったのだと思います。

■彼の行動は命式やホロスコープのどこに現れているのか？

ところが彼はそのことを恨んでいるのです。「おばあちゃんの面倒をみなかった駄目な母親だ」と、今でも恨んでいます。このときに「ではそれが彼の人生のどこに出ているのだろう？」と命式やホロスコープをみるのです。



■事例② 破産同然の靈感マッサージ師のホロスコープ

大運をみると二十五才で比肩です。このときはサラリーマンです。三十五才で傷官です。このときに独立しています。四十五才からは食神で、ここが現在で破産同然です。

先程紹介したようにプログラマーとしては駄目でしたから、私が人事して営業に行ってもらいました。営業では比較的人当たりがよく、お客さんの面倒見も割りとよかったです。それなりに実績を出していました。特にサポートがよかったのでお客さんからかわいがられていました。これは命式のどの辺りに出ているのでしょうか？

■「恨みを持ちやすい」は己の「感情」の特徴に一致

己の「感情」は「恨みを持ちやすい」という彼の特長と一致しています。また酉はよくしゃべる営業には向いています。

プログラマーとしては、感情中心となるとあまり向いていません。むしろプログラマーには分析力が必要とされるからです。しかし彼のホロスコープには、おとめ座の分析に火星、天王星、冥王星と入っていますから、本来分析力もあるはずなのです。ですからプログラマーとしても本来はやっていけないはずなのです。

■靈感マッサージの手法について解説

また彼には靈感があると紹介しましたが、彼のやっていた靈感マッサージとは、靈感を使った靈感商法的なマッサージでした。例えば、おじいさんおばあさんのところに行つて、気功のような治療をしていると、彼が言うには「霊が入ってくる」というのです。そうするとおじいさんやおばあさんの三代前の先祖が武士の因縁で誰かを殺したとか、女性を虐待したとか、そういう因縁を持った霊がいるのがわかるということです。

■先祖の因縁の解消とからませて商品を販売

マッサージしている間はどうしても、筋肉をほぐしますから誰でも相手に気を許してしまうのです。ほぐすのがマッサージですから、気を許さなければできません。そのときに、彼はおじいさんやおばあさんの心の根っこにあるものを引っ張るのです。そして先祖の霊の話をするのです。

すると「じゃあどうしたらいいのですか？」となります。そこでいろいろなものを売っていくのです。最初は五十万円位の活水器を売っていました。「水でお清めしましょう、いい

水を飲めば霊も清まります」といった具合です。

次はサプリメントでした。「これはとても良いサプリメントで、アメリカ産でありながら実は中国の漢方の秘伝の本からノウハウを得てつくったものです」とか「中国に行つて特許を買つて秘伝的なサプリメントをつくっている会社なので、このサプリを飲んだら先祖が供養できるのです。悪霊が出ていくのです」みたいなこと言つて売っていました。

■ビジネスセミナーに参加することが気持ちいい感性

最近健康布団です。オリンピック選手が使っているということまで有名になってしまったのですが、ブラジルのとある会社です。フィギュアスケートの選手がこの会社の手袋をよくしています。私もそのビジネスセミナーに誘われて行つてみたのですが、確かに荒川静香さんや有森裕子さんなどを招いてイベントをやっていました。そういうイベントに参加すると自体が彼にとつてはとても気持ちいいのです。というのは、劣等感を抱えているからなのです。

傲慢



劣等感

必要以上に偉ぶる傲慢も、自己卑下する劣等感も根源にあるものは同じ

■劣等感と傲慢は全く同じエネルギー

劣等感のエネルギーというのは、ひっくり返るとすぐに傲慢になってしまいます。実は、劣等感と傲慢とは全く同じエネルギーなのです。ピョンピョンとマインドがジャンプするだけの違いです。ですから劣等感のある人は必ず傲慢です。彼もマッサージをしながら、何十万もする活水器や布団を売りつけるのですから傲慢です。

彼は、小さい頃の寂しかった思いや、お母さんに対する恨みが未だにあるから、それが劣等感となってしまうのです。別の言い方をすると、人間の体の上にはエーテル体という部分があるのですが、劣等感が強いというのは、このエーテル体が破れているということなのです。

■霊感体質とはエーテル体が破れているだけ

霊感がある人というのは、だいたい小さいときに親から虐待を受けていたとか、その類たぐいの恨みを持つているものです。その恨みがエーテル体を破るのです。破れたその隙間から霊が洩れ出ているから、相手の霊も見えるのです。つまり霊感を持つている人は障害者なのです。傷を負っているのです。『傷もの』です。そんなふうと思うと「霊感を持つている」というのは偉くもなんともないのです。心に傷を負っている人なのです。

■高額商品の返金を迫られ奥さんの実家へ逃げる

彼は九州の田舎でマッサージをしていたのですが、そういう高額なものを売りつけたために、村八分になってしまいました。高い商品を売ったのはいいけど、後になって「商品は返すから金を返せ」と言われ、彼のもとへ何十人も人がやってきました。

そして彼の一家は、仕方なく奥さんの実家に逃げました。何百万円もの返済を要求されて逃げたのです。実家に居候です。

彼がバンバン高い商品を売りつけている時期に、私は「彼がどんな家に住んでいるのか？」

と行ってみたことがありました。すると彼はこういう傲慢な商売をやりながら、自分は偉いんだとばかりに、なんと家賃二十五万円の豪邸に住んでいたのです。

しかし、そういう豪邸に住んだのはわずか半年間でした。その後奥さんの実家に逃げて、居候になりました。そういうレベルです。

■ネットワークビジネスの根底にあるもの

結局、彼の販売していたものは全部ネットワーク販売の商品でした。私もいろんなところから誘われて、いろんなネットワーク販売のセミナーに行きましたが、そこに集まってくる人達には、ある共通点があるのです。それは皆「劣等感を持っている」ということです。そして皆が傲慢です。また自分で自分のことを管理できない人達です。だからネットワーク販売がよいのです。

ネットワーク販売には先輩みたいな人が沢山いて、そういう先輩が二、三人ついて新人さんを寄つてたかつて教育するという仕組みになっています。これは教育という名前の管理です。つまりネットワークビジネスとは、「自分で自分のことを管理できないから、誰かに管

理してもらおう」という組織なのです。自分のケツも拭けないような人達がやっているのが、ネットワーク販売です。ですから偉くもなんともありません。

■傲慢な人間は「ビジネス」という言葉に弱い

傲慢な人間（つまり劣等感を持つ人間）だから、皆「ビジネス」という言葉に弱いのです。その証拠に、皆かっこいい名刺をつくっています。彼の場合も、実際は単なる靈感を使ったインチキマツサージなのですが、人には「ビジネスやってます」「毎月何十万も商品売っているビジネスマンです」と自己紹介をします。これは劣等感の裏返しです。傲慢なのです。

■宗教団体の教祖に噛みつき、取り押さえられる

また彼はあるカルト系の宗教団体に入っていました。やはりそこでも傲慢なのです。彼には靈感があったと紹介しましたが、彼に変な霊がとりつくくと、本人が言うには神様と会話できるといいます。そこで、彼は宗教団体の教祖に向かって何と言ったかというところ「あな

たの神よりも、私の神のほうが正しいのだ」と言ったのです。「私のほうが詳しく神のことを知っているから、私に教祖をやらせろ」と言ったのです。すごいと思いませんか？ものすごい傲慢です。

彼はそのことを言った瞬間に、宗教団体の幹部に取り押さえられ、口の中に塩をつつこまれ、棒で叩かれて悪霊退散の儀式をされました。しかし彼の場合、そんなことをしても変わりませんでした。

■靈感マツサージ師の人生を占いで検証

このような人生です。彼の人生模様を聞きながら「己が出ているかな？酉がでているかな？おとめ座は出ているかな？」と推測していただいたと思うのですが、それでは、ここからは四柱推命とホロスコープで検証していきましょう。

■日柱が己酉、天干が己丙

彼の人生をみてみると非常に感情的な側面が強い印象があります。これは【日柱の己酉】

己丙

「強い集中力」を求めて
「愛されたい」で動く

古典名 大地普照(ダイチフショウ)

従来の解釈 知性、アイデア、人懐っこい、話題が豊富、人気、知恵、趣味

人物 浦沢直樹(漫画家)、小柳ルミ子

四柱推命の古典では「己丙」の並びは、非常に美しい命式とされている。星が良い方へ作用して、人情的な側面があらわれて成功している著名人もいる。

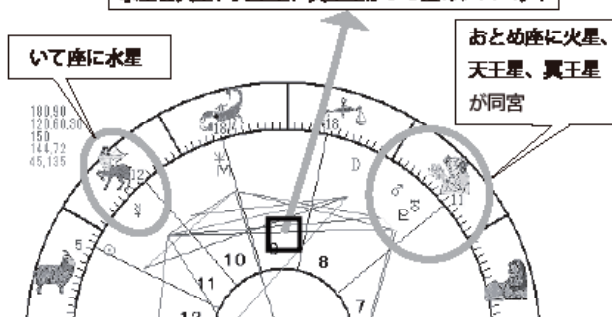
と一致します。また四柱推命でいうと【天干の己丙】の並びは非常に美しい命式です。田んぼの土に太陽で美しい光景です。貴賤でいうと貴の命式です。しかし実際の彼の人生は賤です。卑しいです。

■火星・天王星・冥王星がおとめ座

【おとめ座に火星・天王星・冥王星】があるので、本来なら分析的で実務能力もあるはずですが、そして新しいものをドンドンやっていくパワーも備わっているはずですが。ところが実際の実務は全然駄目ですし、単に教祖を批判するだけ、上司を批判するだけ、といった様子です。

水星と冥王星のアスペクトは、よく作用すれば「革命的な知性」「理想を追い求めるコミュニケーション」となり得るのだが、この事例の男性の人生の場合「へんちくりんなコミュニケーション」となってあらわれてしまった

水星と火星、天王星、冥王星が90度のアスペクト



■水星と冥王星が九〇度

【水星と冥王星が九〇度】です。「知性」と「抽象的なもの」との組み合わせです。そのため宗教的な知性もあるのでしようが、これは「へんちくりん」なコミュニケーションとなつてあらわれています。つまり相手の立場に立てないコミュニケーションです。

いい方に解釈すると、革命的な知性とか理想を追い求める知性となります。おそらく彼自身が無色透明で、間違つてない心理状態であれば、これは革命的な知性として働くのでしよう。しかし実際の彼は恨みだらけの劣等感で満ちているので、へんちくりんなコミュニケーションとなつてしまうのです。

つまり恨みだらけの海王星と水星なのです。そうになると、例え三〇度のよいアスペクトであつたとしても、いつも知性に霽もやがかかつて、ボーつとしている状態になつてしまいます。

■水星と火星が九〇度

【水星と火星が九〇度のアスペクト】ですが、彼は恨みの多いねじ曲がつた存在なので、火星の攻撃性と水星の知性が融合して「単なる早合点」「単なる早とちり」となつてしまいます。彼がもしねじ曲がつてなければ「行動の伴つた知性」となるでしょう。

■火星がおとめ座

【火星がおとめ座】に入っています。分析と攻撃ですから、他人を分析して攻撃します。彼の場合は「他人の批判」のためだけに使われています。本来ならば「現状を変えるために分析力を使い、そこから新しいことをやっていく行動力」となるでしょう。

■木星がおうし座

【木星がおうし座】に入っています。おうし座は物質です。彼の場合ねじ曲がっていますから、「単なる金欲しさ」とか「楽しんで稼ぎたい」となってしまうのです。もし彼が間違っていないならば「豊かな生活をきちんと送っている」となるのです。

■宿曜が氏

二十七宿では【氏】です。この星は「目上や組織に反抗」します。よい作用が働くと「既得権を持った組織を解体する存在」となります。

このように彼という「存在自身」が正しければ、どんな星が巡ってきてても、結果はいいように作用しますし、「存在自身」が間違っていれば、どんな星が来ても結果はねじ曲がってしまうのです。（例えば、幼い頃のお母さんに対する恨みをずっと持っている状態、恨みだらけの状態のこと）皆さんも命式やホロスコープをみるとときには、こういう思考パターンをぜひ使っていただきたいと思えます。

事例③ 叔父が国会議員の借金プログラマー

一九五九年三月二十六日 午前十時生まれ

叔父さんが元建設大臣の大物の国会議員という男性です。その叔父さんは今は亡くなっていますが、そういう人を叔父さんに持つプログラマーです。この人が家を建てて、やはり住宅ローンが払えなくなり、サラ金に借金をしました。そしてなんと、私（天野氏）のところまで借金を頼みにやってきました。この人は私のサラリーマン時代の先輩でした。そういう事例です。最終的に自己破産したかまでは知りません。

■叔父が有力政治家という影響を受けた人生

叔父さんが元大臣の国会議員ということとは、この男性の性格、気持ち、思考パターン、実

実際上の運勢などを、かなり大きな割合で決めているキーワードになります。

彼はもともとはコンピュータ会社で働いていたのですが、その厳しい上司についていけなくなつて独立しました。今まで紹介してきた事例とは独立の経緯がちよつと違います。あまりにも厳しい上司だったので嫌になつて退職したのです。

その後実家に帰つて自分の会社をつくり独立しました。実は、彼の叔父さんのつくつた会社の下請けのような会社で、コネクションがらみでいくらでも仕事があつたのです。

ただし、それは叔父さんが現役の国会議員でいる間だけでした。そのため叔父さんが死んでしまった後は仕事もびたつと止まつてしまいました。そして最終的に住宅ローンも払えなくなりました。

■叔父さんのコネ頼みの生活

彼は実家に帰つた後に、ものすごい豪邸を建てました。農家の息子なので土地代はタダでした。土地は親の財産だったので、どうみても農地ではないにもかかわらず、農地として申請して、税金も農地と同じ金額しか払っていませんでした。つまりタダ同然です。そ

日干と月干の並び

丁丁

「正義感・善なるもの」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 両火成炎（リョウカセイエン）

従来の解釈 自我、頑固、守備力、
独りよがり、独立、自主性、勝ち気、
自信、冷静、忍耐、頭がいい、自尊心

人物 長谷川町子、大江健三郎

日干と年干の並び

丁己

「愛されたい」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 有火有伊（ユウカユウロ）

従来の解釈 奉仕、芸術性、表現力、
温和、善良、多才、財源、保守的

人物 黒澤明、W・ディズニー、長州
力、森英恵

の上に五千万円くらいのお邸を建てたのですが、後で住宅ローンが払えなくなりました。

住宅ローンを組むときも独立したばかりで年収が少なかったため、普通の銀行ではローンが組めませんでした。ですから叔父さんのコネを使って地元の信用金庫でローンを組みました。全部借金です。

■大運官星の時期にローンが払えなくなる

四柱推命でみると日柱が【丁未の冠帯】です。まずこれだけで「いいかつこしい、見栄っ張り」と予測できます。月柱が丁卯で、年柱が己亥です。陰干ばかりが並んでいます。

大運は二十七才から印綬です。三十七才から偏官です。四十七才から正官です。独立したのは印綬の時代です。家

事例③ 叔父が国会議員の男性の命式

四柱推命

乙:偏印	丁	丁:比肩	己:食神	天干	? 十干気学	旧暦 平月 2/18
巳	未	卯	亥	地支	大運は生まれた日から、6年7カ月後 節入日 6日 16時 節入日からは19.7日で次の節入り日 宿曜経 房宿	
(火金)	(木火土)	(木)	(水木)			
戊 庚 丙	丁 乙 己	甲 乙 戊 甲 壬			蔵干	
傷官 正財 劫財	比肩 偏印 食神	印綬 偏印 傷官 印綬 正官			? 蔵干	? 納音
帝旺	冠帶	病	胎	十運	空亡:酉卯	? 特殊星

節式と大運の合沖 命式と年運の合沖 命式と月運の合沖 数え年は生まれた年が1才です。

数え年大運	7才10月	17才10月	27才10月	37才10月	47才10月	57才10月	67才10月	77才10月	87才10月
	丙:劫財	乙:偏印	甲:印綬	癸:偏官	壬:正官	辛:偏財	庚:正財	己:食神	戊:傷官
	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	午
	死	墓	絶	胎	養	長生	沐浴	冠帶	建祿

数え年年運	2013年 55才	2014年 56才	2015年 57才	2016年 58才	2017年 59才	2018年 60才	2019年 61才	2020年 62才	2021年 63才	2022年 64才
	癸:偏官	甲:印綬	乙:偏印	丙:劫財	丁:比肩	戊:傷官	己:食神	庚:正財	辛:偏財	壬:正官
	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
	帝旺	建祿	冠帶	沐浴	長生	養	胎	絶	墓	死

を建てて借金が払えなくなったのは官星の時代です。ですから「劫財だから破産する」という教科書的な占いは、ほとんど当たらないのです。

■太陽と水星が0度でおひつじ座

「太陽と水星が0度アスペクトでおひつじ座」です。これは結構強力な組み合わせです。太陽は目的、水星は知性で、それが0度でピタリと一致です。しかもおひつじ座です。目的と知性が融合し、前例のないことをバリバリやっていく感じですよ。本来他人のことなど気にせずに、思

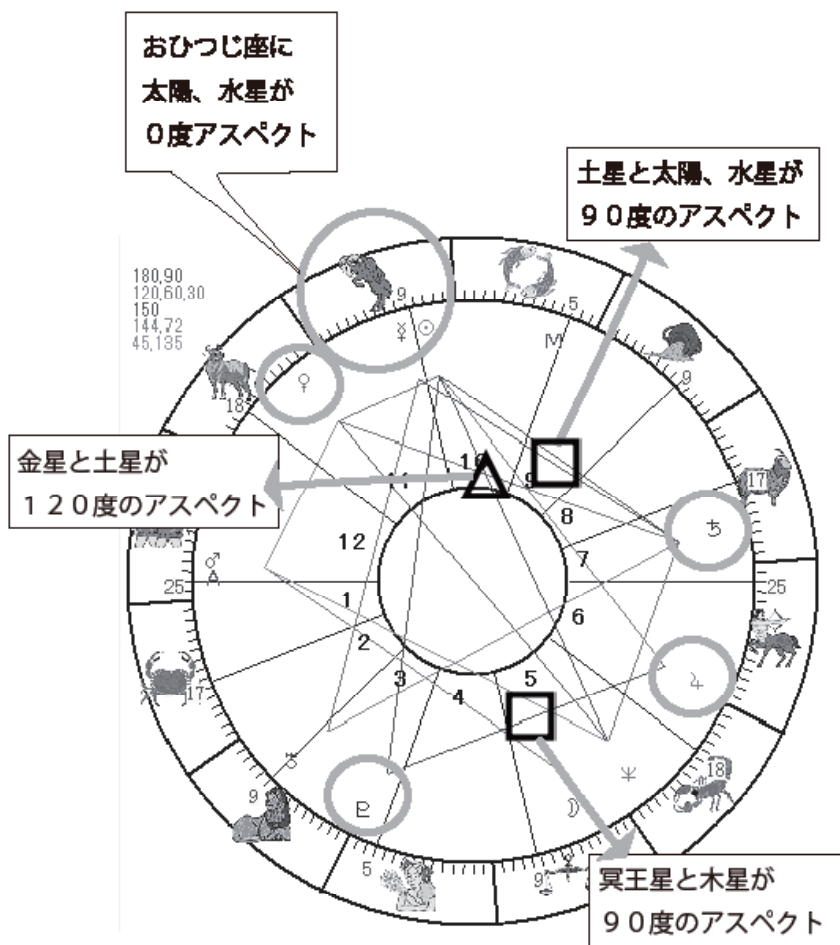
考よりも行動が先立つような組み合わせなのですが、実際の彼はそうなりませんでした。

■太陽と土星が九〇度

【太陽と土星が九〇度】です。太陽の「目的」と土星の「困難」が融合して、あまり遊びがない人生です。

■木星と冥王星が九〇度

【木星と冥王星が九〇度】です。本来この組み合わせは「権力」のアスペクトです。木星の「善人」と冥王星の「破壊的パワー」の融合なのですが、彼の場合、本人が権力を持つというよりは、叔父さんが権力を持ってしまい、そこから下請け的な仕事をもらう型になっています。ですから太陽と木星がうまく融合してないのです。目的のために困難を越えて行くのではなく、困難から逃げて、楽して儲かる仕事をやるという選択をしています。「叔父さんからもらえる仕事をやっていけば十分食える」という発想です。実際はそんな状態でした。



■事例③ 叔父が国会議員の男性のホロスコープ

■土星と金星が一二〇度

【土星と金星が一二〇度】です。金星は「異性」で、土星は「現実」ですから、本来は異性からの援助があつてもいい感じですが、ところが実際は、奥さんが浪費家でした。奥さんが「こんな家がいい」「こんな内装がいい」「こんな家具がいい」と主張したことで、結果的にすごい豪邸が建つてしまいました。

■水星と土星が九〇度

【水星と土星の九〇度】です。水星の「知性」と土星の「現実・コツコツ」の融合です。ですから本来は、地道に何かを研究していくようなアスペクトなのですが、実際はあまりそういう感じもありませんでした。逆に、短い期間で楽しんで儲けたいという感じです。

市販されている占い本には「土星は困難で悪い星」のように書かれ、それが水性と組み合わせると「知的コンプレックス」などと書いてあるものもありますが、これは当たっていません。彼は有名な大学を卒業していますし、小さいときから良い塾に通って受験テクニクは鍛えられています。ですから知的コンプレックスはありません。サラリーマン時代に厳し

い上司から指導されて、そこから逃げ出したという事実がありますが、知的コンプレックスから来るものではありませんでした。

■宿曜・房

知的コンプレックスというよりは、むしろ宿曜経でみると【房宿】ですからエリート意識の星です。「自分は頭がいいんだ」という意識を持っています。

■火星がふたご座

男性ですから火星と木星をみます。

【火星がふたご座】です。コミュニケーションの星座に火星が入っていますから、コミュニケーションが速い、つまり頭の回転が速いということです。ところが実際は「何か新しいことないかな、新しくいいものないかな」という変化だけを追い求めて、あまり集中していません。コツコツ積み重ねることもしません。「新しい技術の流行は何か？」と変化だけを求めています。

■木星がいて座

【木星がいて座】です。この組み合わせは社会貢献ですから、本当は社会のために役に立つような仕事ができるはずなのです。しかし、実際にやっていたのは、叔父さんの会社から回ってくる仕事だけでした。世の中にとつていいか悪いかも関係ありませんでした。確実なお金をくれるから、その仕事をやるというスタイルでした。実際の仕事内容はOA関連の財務などの仕事でした。財務や会計が中心でしたから、そんなに楽しいものではありませんでした。

■「いいカッコしたい」という人目を気にする思いが、歪みの原因

本来住宅ローンが払えなくなったら、親族がお金持ちなのだから、自分の親や親族のところに駆けばいいのです。ところが彼は、そういうところには行ってないのです。そこに行かずに私（天野氏）のところに来ました。これは冠帯のカッコつけで見栄っ張りの部分が現れています。親には頼めないが、私には言えるというのは変でしょう？

つまり小さい頃から“お坊ちゃん”として育てているのです。ですから、いいかつこしか

できないのです。世間の評判や評価ばかりを考えているのです。こういう人は、どんなによい星が作用しても「世間の目や評判」というフィルターを通してでしか結果が出てこないのです。

■星の作用は生まれ育った環境の影響に負ける

太陽と水星がおひつじ座に入っていますから、本来なら他人の目を気にせずにドンドンやっていくことができます。太陽と土星が九〇度になっていますから、困難を越えて目的を達成してもいいはず。木星と冥王星が九〇度ですから、権力を持つてもいいはず。土星と金星が九〇度ですから、異性からもモテて援助があってもいいはず。土星と水星がアスペクトしていますからコツコツしていてもいいはず。火星がふたご座ですから、頭の回転も速いはず。木星がいて座ですから、社会貢献をしてもいいはず。

しかし現実には、小さい頃からずっと「国会議員のところの坊ちゃん」として育ってきたので、大人になった今でもそういう脳の回路が変わってないのです。ですから、どんなに星が作用しても、彼自身の存在を通しての結果しか生まれてこないのです。だから占いが当たたら

ないのです。星の作用よりも、生まれ育った環境のほうが大きいのです。

ただし、このことは駄目な人生を送っている人の場合です。生まれ育った環境を引きずっている人の場合です。

■成功する人は生まれ育ちの環境を脱皮している

反対に成功している人は、生まれ育った環境を脱皮しています。どんな人でも生まれ育った環境の因縁を引きずっていますが、成功する人は環境を脱皮しているのです。脱皮できない人が大体失敗しています。

小さい頃に大人から植えつけられた思考回路や、心情の奥にある心理状態を引きずり続けている人は、何をやっても結果がそこに引きずられてしまうのです。

■本当の「因縁切り」について解説する

このことを宗教では因縁といいます。親からの因縁、先祖からの因縁です。ですから本当の因縁切りというのは「親や先祖から受け継いだ環境を脱皮するような、新しい脳の回路を

持ったり、そういう環境から脱皮するような心理状態をつくること」なのです。いつまで経っても「親がこうだから・・先祖がこうだから・・」と、自分が出来ない理由を環境のせいに行っている人は、因縁から脱出できていません。だからどんなによい星が作用しても結果が悪くなるのです。

人に会ってカウンセリングをする場合、その人が生まれ育った環境を引きずっている人なのか、そうではない人なのかを見極めることが重要です。環境を引きずったままの場合、絶対にその仕事は成功しません。ですから私も組みません。生まれ育った環境を脱出した人が成功するのです。そういう人でしたら私も組むでしょう。このように四柱推命を使う。占星学も使う。それが非常に実用的な使い方なのです。

事例④ 自己破産した老舗旅館の息子

一九六三年三月十八日朝八時生まれ

ある有名な芸能人の弟です。名前を出すことはできませんが、お姉さんは毎日テレビに出ているような有名な芸能人です。仙台で有名な老舗旅館を経営していた一家でしたが、今は旅館は廃業してやっています。

■金持ちの坊ちゃんとして育つ

ここで紹介する彼が旅館を受け継いだのですが、潰してしまいました。彼の基本的な育ち方は、典型的な「金持ちのボンボン」です。地元の私立の中学・高校から大学へと進んでい

るのですが、見るからにボンボンというタイプの人です。

現在は保険の代理店をやっているセールスマンをしています。二〇〇四年に初めて、私(天野氏)と出会ったときは、外資系の投資銀行の商品を売っていました。

■外資系の投資銀行の商品をセールス

リーマンショックという出来事が二〇〇八年にありましたが、彼は、このリーマンの会社の代理店をしていました。当時は、六本木に本社を構える世界的に有名な投資銀行でした。私と出会ったのも、その投資銀行が運用する商品を通じてでした。彼の「最低でも年率七%で回る商品を買いませんか?」というセールスを通じて出会いました。彼は商品をすすめるときに「その商品は、最低でも年利七%で回るので、紹介料として二%下さい」とも言っていました。そんな感じの人です。

確かに二〇〇八年当時は、外資系の投資銀行が運用するもので、最低でも七%くらいの金利で回っていた金融商品もありました。更に彼は「ちよつとリスクが高くなりますが、十%から十五%くらいで回る商品はいくらでもありますよ」とも言っていました。

ところが、今現在どうなったかは、皆さんもご存知だと思います。リーマンショックでその会社は倒産しました。ですから、彼らが販売していた商品も0円になっています。その後、どうなったかは想像できると思います。

■「ジャガー以外は車ではない」という金銭感覚

彼は「坊ちゃん坊ちゃん」している雰囲気と、また、お姉さんが有名な芸能人ということも手伝って商品は結構売れました。当時、彼とは商談で一ヶ月に五、六回会っていました。羽振りもよかったようで、そのときも彼は車を新車のジャガーに買い替えていました。それまでもジャガーに乗っていたようです。値段は一千万円くらいの車でしたが、「なぜジャガーなんですか？」と彼に聞いてみると、「ジャガーしか乗ったことないですから」と答えるのです。そういう家柄なのです。「ジャガー以外の車は、車ではない」といった感覚です。

■日柱が庚申の建禄

命式は、年柱から、【癸卯、乙卯、庚申（建禄）、庚辰】です。通変星でいうと、月柱天干

庚:比肩		庚 — 乙:正財		癸:傷官		天干	? 十干気学	旧暦 平月 2/:	
辰		申		卯		地支	大運は生まれた日から、3年10才		
(木土水)		(金水)		(木)			節入日 6日16時		
乙	癸	戊	戊	壬	庚	甲	乙	甲	乙
正財	傷官	偏印	偏印	食神	比肩	偏財	正財	偏財	正財
養		建禄		胎		胎		十二運	? 納音
命式と大運の合沖		命式と年運の合沖		命式と月運の合沖		数え年は生まれた年が1才です。		? 特殊星	
5才1月	15才1月	25才1月	35才1月	45才1月	55才1月	65才1月	75才1月	85才1月	
甲:偏財	癸:傷官	壬:食神	辛:劫財	庚:比肩	己:印綬	戊:偏印	丁:正官	丙:偏官	
寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	午	
絶	墓	死	病	衰	帝旺	建禄	冠帯	沐浴	
2013年 51才	2014年 52才	2015年 53才	2016年 54才	2017年 55才	2018年 56才	2019年 57才	2020年 58才	2021年 59才	2022年 60才
癸:傷官	甲:偏財	乙:正財	丙:偏官	丁:正官	戊:偏印	己:印綬	庚:比肩	辛:劫財	壬:食神
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
長生	沐浴	冠帯	建禄	帝旺	衰	病	死	墓	絶

事例④ 老舗旅館の息子の四柱推命の命式

が正財、年柱天干が傷官、月支元命が正財です。古典的に診断すると、正財が上と下に並んでいるので「コツコツ真面目にやる人」と、普通の占い師なら鑑定するでしょう。

■うお座で太陽と木星が0度

占星学でみると【うお座に太陽と木星が0度のアスペクト】があります。これが一つの特徴です。ですから、生き方がうお座的で、ちよつと地に足がついてないような、幻想的なものを追い求めるのが楽しい、みたいなタイプです。

■紫微斗数の命宮に天機星、父母宮に紫微星

紫微斗数では【命宮に天機星】です。ですから「頭がよい」とか「知恵」を意味します。この星が悪く出ると「ズルをしてでも儲けたい」みたいな発想になる星です。それが命宮に入っています。【父母宮には一番いい紫微星】が入っていますので、お父さんお母さんは立派で、仙台の老舗旅館をつくってきた、ということを示しているのでしょうか。【財帛宮には天同星と巨門星】が入っています。これらは、あまり強い星ではありません。

■宿曜・女

宿曜経をみると【女宿】です。官僚の星です。

■この人物の命式を古典的に解釈するとどうなる？

ではここで、ちよつと意地悪な説明をしてみます。もしこの命式を古典的な占い原理を重視して鑑定するとどうなるかを説明します。

四柱推命の五行で見ると、これは木が強い命式です。つまり財が強いのです。財が強くて

我が身の金が弱いです。ですから、金を強くすれば吉運となります。古典的な解釈ではそうなります。つまり金が強まると、彼にとつて「いい運」になるのです。

では、これは本当でしょうか？

■吉運のときに破産するとうとう現実

まず大運をみてみます。彼は今、四十八歳くらいですが、三十五歳から十年間が吉運でした。更に、四十五歳から十年間が庚運で三十五歳から合わせて二十年間、金の運が続くのです。すなわち吉運なのです。では、この吉運のときにどうなったのでしょうか？

芸能人の弟で、仙台の老舗旅館のオーナーの息子ですから、コネなどを利用して外資系の投資銀行の商品を沢山売りました。沢山売ったのですが、二〇〇八年九月にリーマンショックが起こり、金融商品が全部紙くずになってしまいました。彼も自己破産しました。吉運のときに破産したのです。

これを古典的な四柱推命の原理で説明すると、「大成功しますよ」という結果になるはずですが、実際には破産しました。しかも先祖代々続いてきた信用までも全部失いました。

■大損したお客から追われる日々

この人の現在の生活ですが、いろいろと逃げまくっています。つまり「金返せ！どうしてくれるんだ」と大損した人から追われている状態です。「有名な名家の息子なんだから、なんとかしろ！」と親兄弟も文句を言われているでしょう。もちろん有名な芸能人であるお姉さんのところにも苦情が行っています。「お前の弟の商品を買って損をしたのだからなんとかしろ！」という人が随分行っているはずですよ。もともとがボンボンですから、そういう状態で生き残るだけの根性は無いでしょう。

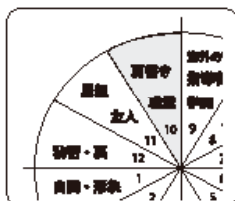
■占星学・第十八ハウスに金星と土星

占星学では【**第十八ハウスに金星と土星**】が入っています。第十八ハウスは「肩書き」とか「社会的立場」を象徴する場所で、他にも「その人の目指す場所」とか、「方向性」の意味も含まれます。

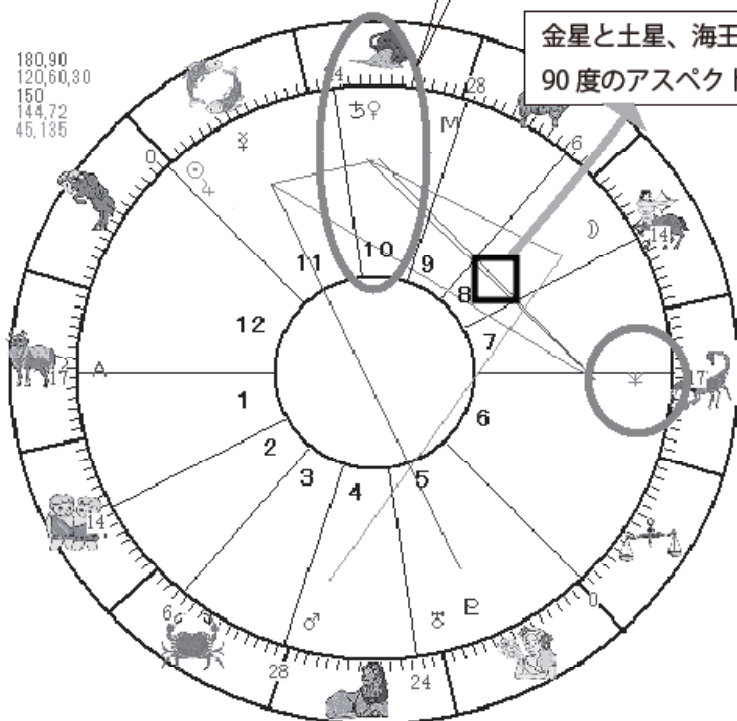
金星は「華やかさ」とか、「女の子」「お金」「芸術的なもの」「美しいもの」「楽しいこと」を表しますが、その金星に土星がぴったりくっついていてるので、金星の自由な華やかさに、

【10ハウスに木星と金星が0度】

10ハウスは「肩書・社会的立場・
名誉」などを現し、やぎ座的な
意味がある



金星と土星、海王星が
90度のアスペクト



■老舗旅館の息子のホロスコープ

縛りが入ってくる感じになるので、何かに縛られた金星となります。

ですから仕事上での彼は、一見して「人当たりがよくて華やかな人」という感じではなく、第一印象からは、どちらかといえば「きちんとした人」といった感じを受けます。本来は、きちんとした職業についていることをあらわしているのですが・・・。

また金星には「看板」とか、「看板娘」のような意味もありますが、彼のホロスコープの場合、土星の監視があるので「悪さをしない金星」といった感じになります。ですから例えばですが、旅館だったら番頭さんをやらせてみるとよかったのかもしれない。ホロスコープ的には向いているのです。

■金星と土星が海王星と九〇度

老舗旅館を土星とみて、客商売を金星とみると、旅館業はぴったりの感じなのですが、それがくずれてしまったわけです。はっきりした時期がわからないですが、冥王星が九十度になるときに第七ハウスに来るので、そのあたりの時期にいろいろと、崩れ始めたのかもしれない（第七ハウスは、パートナー、結婚、対人関係、契約、訴訟などを意味がある）

この人の場合、金星と土星、海王星がもともと九十度のセットになっているので、ときどき土星が「きちんとやろうよ」と言っているのに、海王星がそれを煙に巻いて、金星を野放しにする感じになります。そうすると金星が「なんだか自分はものすごいことができる」みたいな錯覚を起こしてしまうので、そこで方向性がずれたのかもしれない。

■太陽がうお座

また、もともと太陽星座がうお座なので、社会的にきっちりしたことができない側面もあるので、そういう部分は何かをきっかけに引つ張られたのかもしれない。

■占いを総合的に使うときの注意点

今回の講義は「占いを総合的に使う」ということがテーマですが、彼の場合、占い以前の問題があります。生まれ育った環境に勝てなかったことが問題なのです。

本人が本来持っている「命(式)」のパワーと環境との間で、どちらが勝ったのかというと、結局、彼は親が用意した環境に負けてしまったのです。自分の生まれ持った命を、結局何も

使わないまま長い間人生を過ごしてしまったのです。個性が環境に負けてしまったということです。

■庚申・正財・土星の働きが鈍っている

占星術と四柱推命を合わせてみた場合、通常、日柱に庚申がある人は、何でもきちんとする人が多いものです。例えば斉藤一人さんも日柱が庚申です。さらに例題の彼の場合、天干に正財・正財と並んでいるので、一見すると、古典的な理屈によれば、きちんとした命式なのですが、実際の人生は違っています。占星術でも土星が金星をきちんとは見張っているのいい並びなのですが、どこか何かのきっかけでゆるんでしまうようです。そうして人生が流されてしまう感じですよ。

■「親の縛りから脱出しているか？」を把握する

占いを使う前の段階として、本人が生まれ育った環境を必ず把握しなければいけません。例えば、親が名家とか金持ちで本人がボンボンの場合、その縛りから脱出しているかどうか

がポイントになります。つまり、親とか兄弟の名声をあてにしないで、人生を生きてきたかどうかを把握しなければいけません。親の名声を利用して生きてきたのなら、その人の命式は死んでしまいます。

■「貧乏の縛りから脱出しているか？」を把握する

もう一つあるのは、逆に親が貧乏だった場合です。この場合もやはり貧乏に束縛されています。例えば「親が貧乏だったから・・・」という劣等感を長い間引きずっている人が多いものです。そういう人も環境が勝って、命が負けるケースが多いのです。

ですから、占いで鑑定して当てようと思っても、親が金持ちだった、貧乏だった、あるいは親からいじめられたという経験を持つ人は、環境が命に勝ってしまうので、占っても当たりません。命が死んでいるからです。こういう事例が、実際の現場では多いので、このことを頭に入れて欲しいと思います。

事例⑤ 世界一周した四国の学習塾経営者

一九五六年八月十五日十四時生まれ

以前、私の子供が通っていた塾の先生です。元々は小学校の教師をしていましたが、三代前半に退職し、その後五年くらいかけて自転車で世界一周をした人です。

■文部省のマニュアル教師生活に矛盾を感じる

なぜ公務員いう安定した仕事を辞めて、自転車で世界一周したかという点、学校の先生は四年間の大学生活を卒業したらすぐに教師になるわけですが、子供に教える内容は文部省からマニュアルが来て、それに従って教えていくわけです。つまり自分の経験してこなかった

ことでも、マニュアル通りの内容をしゃべっていけば学校の先生は勤まるのです。

そこで彼は「自分は何も社会を経験してない、何も見てない、何も感じていないのに子供に教えている・・・」という思いがだんだん強くなってきました。文部省のマニュアルに従って教えるだけの教師生活に嫌気がさしたのです。そして約十年間、現場の先生を勤めた後に退職しました。その後「子供に教えるのなら、自分で見て聞いて感じたものでなければ、きちんと教えることはできない」という思いで世界一周に旅立ちました。

■世界一周のときの友達が塾を訪れる

今は、その世界一周のときに知り合った友達を頻繁に日本に呼んで、学習塾でいろんな話をしてもらっています。彼は仏教系の信仰を持っているので、アメリカやヨーロッパに行つたときにも、お寺をずいぶんまわりました。ですからアメリカのお寺の白人のお坊さんなどが、わざわざ四国の学習塾に来て話をしてくれるのです。

また南アフリカに行ったときには、あるお金持ちと親しくなつて、そこで教わつたのが乗馬でした。南アフリカでは金持ちが馬を飼うのが人気らしく、そこで乗馬の楽しさを味わつ

たというのです。

■学習塾の経営面では苦戦

ところが、学習塾の経営面はどうかというと、はつきり言って儲かっていません。彼はものごとをはつきり言い過ぎるところがあるので、塾に通っている子供のお母さん達と喧嘩になって、生徒が辞めてしまうのです。ですから、学習塾だけでは食べていけないので、今は介護関係のアルバイトもしています。

■金銭面が厳しいと確信したシーン

そしてあるとき、「経営が厳しいんだろうな」と改めて感じたことがありました。それは、とある風景に遭遇したからです。私がたまたま、ある定食屋に入ったところ、先生と奥さんとその子供が一家三人で食事をしていたのですが、その光景にびっくりしてしまいました。

まず先生は、てんこ盛りの特盛りライスを注文していました。（特盛は並より二十円高いだけなので、ライスを二つ頼むより値段が安い）奥さんは一切注文していませんでした。子

供は普通にライスとおかずを注文していました。先生はてんこ盛りのライスとおかず一品だけでした。子供にはおかずが三品ついてました。

先生一家はこちらに全く気付いていませんでしたので、そのまま「あれ〜？」と見ていました。すると奥さんは、取り皿をもらってきて特盛ライスを分けていました。そして一品しかないサバの味噌煮を旦那と半分にして食べていました。

■貧乏でも幸せな一杯な生活

この風景を見て「ああこれは経営が厳しいのだな」と察しました。ですから、それ以降そういう目で、先生を見て暮らしぶりを観察しているのですが、先生本人は貧乏生活が少しも気になってないのです。そういう生活が好きで、幸せ一杯で生きているのです。

先生は貧乏でも幸せに生きている様子ですが、では奥さんは本当に、一緒に楽しいと思っているのでしょうか？

実は、先生の奥さんが塾の近くの喫茶店に来ているのをよくみかけていました。奥さんはそこで甘いビスケットとコーヒーを一人で飲んでいのです。奥さんにとって、旦那に隠れ

てビスケットとコーヒーを飲食するのが、至福の一時なのです。喜びのときなのです。旦那に黙っておいしいものを食べて、なんとかバランスをとっているのです。私が奥さんを喫茶店でみかけたときに、挨拶がてら「先生は喫茶店に来てることを知ってるんですか？」と聞いてみると、奥さんは「わかるでしょ」とニコリと答えていました。つまり、上手に息抜きをしているのです。先生本人は現状の生活に満足しているようですが、周りの人の立場や気持ちはあまりわからないタイプなのです。

■命式の天干に食神が並ぶ

それでは命式をみてみます。四柱推命では**【天干に倒食、倒食】**と並んでいます。古典的な解釈を使つて解説すると、食傷（＝倒食）は「でしゃばり」とか「やらなくてもいいことをやる」という象意があります。いわゆる「お世話をしたい」という欲求が強いのです。子供の世話をしたり、介護をしたりしていますが、これが彼の原動力です。

更に、古典的な理屈を使つて、あえて意地悪な解釈をしてみます。彼の命式には財星が一つもありません。この場合、土が財になります。命式上に土が無いので大運や年運で財星

甲丙

「強い集中力」を求めて
「言葉による思考」で動く

古典名 青電返首(セイリュウヘンシユ)

従来の解釈 周田からの恵み、中庸、
楽歌、功名、度量、大らか、善良、財
源

人物 財津一郎、南こうせつ

辛:正官	甲		丙:食神		丙:食神		天干	? 十干気学	旧暦 平月	
未	寅		申		申		地支	大運は生まれた日から、7年1 節入り日 7日22時 節入り日から7.5日で次の節、 宿曜経 箕宿		
(木火土)	(木火)		(金水)		(金水)			? 蔵干	? 納音	
丁 乙 巳	戊 丙 甲	庚 壬 庚	戊 壬 庚	傷官 劫財 正財	偏財 食神 比肩	偏財 偏印 偏官	偏財 偏印 偏官			
墓		建禄		絶		絶		十二運	? 特殊星	
<input type="checkbox"/> 命式と大運の合沖			<input type="checkbox"/> 命式と年運の合沖			<input type="checkbox"/> 命式と月運の合沖			数え年は生まれた年が1才です	
数え年大運	9才6月	19才6月	29才6月	39才6月	49才6月	59才6月	69才6月	79才6月	89才6月	
	丁:傷官	戊:偏財	己:正財	庚:偏官	辛:正官	壬:偏印	癸:印綬	甲:比肩	乙:劫財	
	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	
	胎	養	長生	沐浴	冠帶	建禄	帝旺	衰	病	
数え年年運	2013年 58才	2014年 59才	2015年 60才	2016年 61才	2017年 62才	2018年 63才	2019年 64才	2020年 65才	2021年 66才	2022年 67才
	癸:印綬	甲:比肩	乙:劫財	丙:食神	丁:傷官	戊:偏財	己:正財	庚:偏官	辛:正官	壬:偏印
	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
	病	死	墓	絶	胎	養	長生	沐浴	冠帶	建禄

■世界一周した四国の塾経営者の命式

が巡ってきたとき、つまり土の運が巡ってきたときに「お金が儲かりますよ」とか、「財がよくなりますよ」と古典的には診断します。それでは実際には何が起ったか検証してみます。

彼の場合、戊土の大運が十九歳のときに巡ってきます、また二十九歳からは己土が巡ってきます。ですか、ちやうど大学を卒

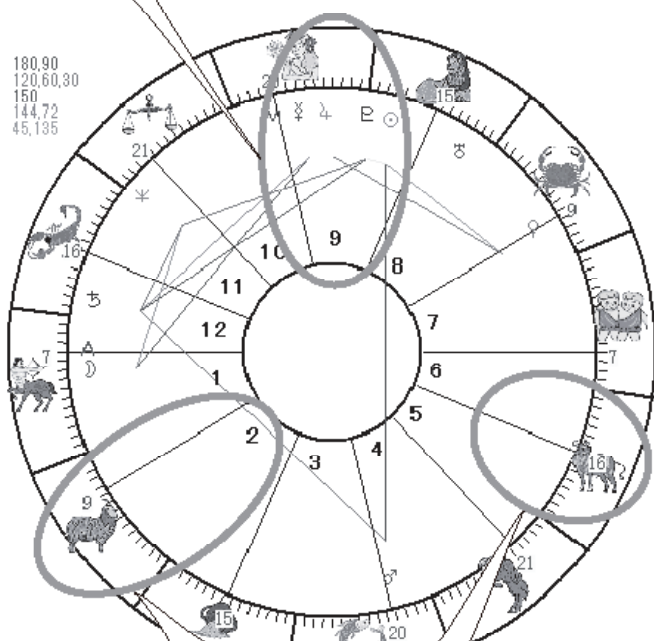
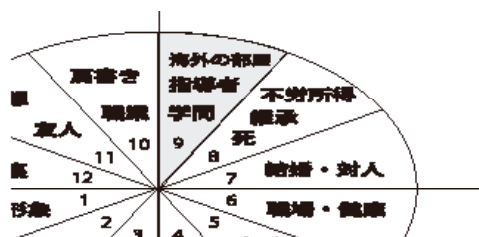
業して公務員を辞め、自転車世界一周を始めたときが、財星が回ってくる時期です。ですから理論上では吉運となり、お金が儲かる時期になるはずなのです。しかし実際の彼は、この期間に世界一周をしたことでお金を使ってしまう。逆に貧乏になっているのです。

ですから、方程式通りに「あなたは財がありません。だから財である土の運のときにお金が儲かりますよ」というような古典的な鑑定では当たらないのです。実際は土が巡ってきたときに教師を辞めて、世界一周をして貧乏になっているのです。

■占星学・第九ハウスに星が集中

占星学でみると、彼の場合ハウスに特徴があります。**【第九ハウスに沢山の星が集中】**しています。第九ハウスは海外とか先生、あるいは出版、哲学、宗教をあらわします。そこに太陽、冥王星、木星、水星と沢山の星が集合しています。かなり特徴的な配置になっています。また、お金や物質をあらわす第二ハウスには何もありません。だからお金や物質的なものに関心が薄いのです。第三者から見ると「貧乏生活をやっていてかわいそうだな」という同情心が湧いてくるのですが、本人は平気なのです。

第9ハウスに星が集中している。この人の人生模様は第9ハウスの特徴と、そのまま一致している



財産を表す第2ハウスや社会を表すやぎ座、物質・お金を表すおうし座には星が一つも入っていない。

■世界一周した四国の塾経営のホロスコープ

■やぎ座、おうし座、第二ハウスに天体が無い

また、やぎ座とおうし座にも天体が入っていません。やぎ座は「社会」とか「社会的成功」を表し、おうし座は「物質」や「所有物」を表します。ですから、社会からどうみられるかに無頓着になったり、お金を儲けて何かしようといったことにも関心が無いのです。そして彼の場合、第二ハウスがやぎ座からスタートしているので、本来やぎ座的なことで稼ごうとするのですが、やぎ座の支配星である土星が、第十二ハウスに行つて、隠れてしまっているのです、この性質が表に出にくくなっています。

■家財道具が少ないジプシーのような暮らしぶり

これを実際の暮らしぶりと合わせてみます。例えば彼の住宅ですが、四国のある町の町営住宅で家賃が八千円のところ、長く住んでいました。冬は薪ストーブで暖を採る生活をしていました。子供が中学生になってバスケットボールをするようになると、子供が街中の強いクラブに入ったこともあり、町営住宅から街中に引越しました。それでも家賃六万円くらいの賃貸に住んでいます。

また家の中の様子ですが、ほとんど家具がありません。引越しにかかった時間も三十分くらいでした。それぐらいで十分足りるくらいの家財道具しかありません。まるで遊牧民のようでハイエース一台で引越してできる感じです。本人はそれでもいいのですが、奥さんや息子が、先生と違う価値観を持っていたとしたらちよつとかわいそうです。

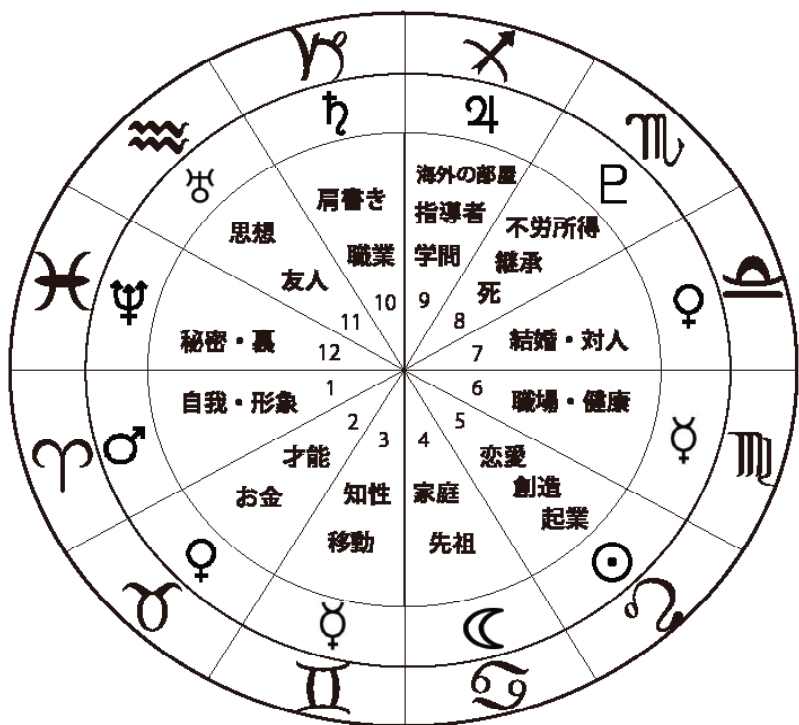
■紫微斗数の命宮に天府星

紫微斗数でみると【命宮に天府星】が入っています。この星は「やさしい」とか言いますが、彼には、塾生のお母さん達にきつく言ってしまうって、生徒が辞めていくという一面もあります。これは天府星がどちらかというところ「おかみさんタイプ」なので、単純なやさしさというよりも、場を円満に収めるために統率していくところが出てくるのでしょうか。ただの同情心を発揮して癒される「やさしさ」とは全く性質が違います。単純な癒し系ではありません。イメージ的には女帝です。天府系の星のトップが天府星で、トリが破軍星なのです。このことも参考にして下さい。

■命式やホロスコープの前に実際の人をよく見る

ここで頭に入れておいて欲しいのは、「命式がこうだから」という説明以上に、まずその実際の人を見るといふことです。例えば何を食べているかを見ます。レストランや定食屋でどんなものを食べているかを見ます。そういうところから、その人特有の個性や性格を抑えるのです。それが絶対的に正しい現実です。「その現実が命式にどう展開しているか」といふ発想でみます。そういう見方をせずに最初にロジックで鑑定するとおかしくなってしまう。

この先生の場合、少なくとも命式通りには生きています。ですから楽しく生きています。決して不幸ではありません。健康です。体型もスツキリしたい体をしています。毎日五時間くらいの睡眠で、いろんな人の世話焼きをしながら、超健康で楽しく生きています。命式通り生きているから、貧乏でも幸せなのです。



ハウスの意味と天体と星座の関係

事例⑥ 半年で倒産した経営コンサルタント

一九六五年一月十二日 午前三時生まれ

現在は、フリーの経営コンサルタントをやっている男性です。数年前、私（天野氏）のところに、彼から「IT企業をつくりました」という報告がありました。ところが、それからわずか半年後に、その会社が倒産しました。そういう人物です。

■口八丁で物販する技術を身につける

彼は高校卒業後ある販売会社に入りました。いわゆる「あまりよろしくない販売会社」で、一日に何百本も電話をして商品を売りつけるような会社でした。彼はそこで電話だけを使っ

て、いかに口八丁でモノを売るのかを徹底的に仕込まれたそうです。

そしてその販売会社を退社して、フリーの経営コンサルタントとして独立したのですが、あるとき何をとち狂ったのかIT企業を創設しました。そして、なんと半年後に倒産してしまいました。こういう人生です。

■幼少期にお寺に養子に出される原体験

彼の人生には「生まれてすぐに、お寺に養子に出されてしまった」という特徴があります。このことが彼の根っここの部分にずっと残っているのです。つまり劣等感です。

また彼の兄弟やおじさんなどは、東大をはじめとする一流大学を卒業しています。東大教授のおじさんもいるようです。しかし彼自身は大学に行ってません。ですから彼は「自分だけ養子に出された上に、大学も出てない」という強烈な劣等感を持っているのです。

事例②のときに「劣等感が裏返ると傲慢になる」ことを説明しましたが、今回の彼の場合も例に洩れず、心の深い部分に強烈な劣等感を持っているので、傲慢性もまたすごいのです。劣等感を持っている人は言動に特長が出るのですが、彼の場合、特に「話し方が非常に同

情を引く」という特長があるのです。憐れみを引く話し方です。ところが、これが大変やっかいなのです。傲慢な部分を分かりやすく表に出してくれれば、すぐに劣等感だと分かるのですが、それを表に出さないのです。

■同情心を引き出すエピソード① 「私はインポ」

彼の同情を引くエピソードで一番すごい話があります。

彼は自分のことを「インポだ」というのです。勃たないというのです。そこで彼は「私にはつきあっている彼女がいるのですが、私がインポで勃たないから彼女を幸せにすることができないのです……。だから雲海さん、あなたが彼女を抱いてくれませんか？」と私に言うてくるのです。こういうことをやるのです。こういう同情心です。

■同情心を引き出すエピソード② 「僕の宝物」

またあるときは「私は養子に出されてお寺にいましたから、由緒ある古事記の本を授けられています。それは僕の宝物ですが、特別に雲海さんにプレゼントします」と言って古事記

の本をくれたのです。

私は「そうか、そんなにすごい宝物をもらったのか」と思っただけで本をめぐって見たのですが、一番最後の裏表紙にシールの後がついているのです。

皆さんご存知だと思いますが、中古本を古本屋で買うと裏表紙あたりに値札のシールがついていますが、あれです。ああいうシールをはがした跡が残っているのです。さらに、そのラベルの色から明らかに神田の易の専門店から買って来たことまでわかるのです。

彼がプレゼントしてくれたのは文庫本サイズでしたから、おそらく百円くらいのものだと思います。それを「小さい頃から持っている宝物だけど差し上げます」と言っただけで持ってくるのです。このように大変ややこしい劣等感なのです。

■日柱が丙寅の長生

四柱推命でみると、彼は【日柱が丙寅】です。丙ですからいろいろと探究心はありません。探究心があるといえはるので、それは丙らしい探究心というより、何かこざかしい探究心なのです。

十二運星は長生です。月柱が丁丑の劫財です。年柱が甲辰の偏印です。

大運が十八才から傷官です。この時代は販売会社に就職して、電話一本で売り上げを立てていく世界で一生懸命に仕事をしました。

二十八才からは偏財です。この時代にフリーのコンサルタントとして独立しました。彼の経営コンサルタントとしての仕事のやり方ですが、私が見る限り金持ちに媚びるやり方なです。

■経営コンサルタントとしての具体的手法

彼は土地やマンションを持っている金持ちがいると聞きつけると、その人に取り入っているのです。例えば「マンションの駐車場の管理がうまくいってない」などとその金持ちから話を聞き出します。そして「私に任せていただければもっと売り上げをつくってみせますよ」と言ってコンサルの契約をするのです。

日干と月干の並び

丙丁

「正義感・普なるもの」を求めて
「強い集中力」で動く

古典名 三奇順通（サンキジュントン）

従来の解釈 無駄が多い、散財、人気、和合、独立、実行、投機、誇大妄想、闘争、野心、不実、破財

人物 榎本武雄、アインシュタイン、泉谷しげる



四柱推命		丙		丁:劫財		甲:偏印		天干		
庚:偏財	丙	丁:劫財	甲:偏印	天	?	十干気学	旧暦	平月	12/	
寅	寅	丑	辰	地支	六曜	生まれた日から、7年90日	節入日	5日	21時	
(木火)	(木火)	(木土)	(木土)	節入日から引けば02日で次の節入日	宿曜経	費宿				
戌 丙 甲 戌 丙 甲 癸 辛 己 乙 癸 戌	?		? 納音							
食神 比肩 偏印 食神 比肩 偏印 正官 正財 傷官 印綬 正官 食神										
長生	長生	養	冠帯	十二運						
<input type="checkbox"/> 節式と大運の當沖 <input type="checkbox"/> 節式と年運の合沖 <input type="checkbox"/> 節式と月運の合沖 節入年と生まれた年が1才です。										
節入年大運	0才 10月	18才 10月	26才 10月	34才 10月	42才 10月	50才 10月	58才 10月	66才 10月	74才 10月	82才 10月
	戌:真神	己:傷官	庚:偏財	辛:正財	壬:傷官	癸:正官	甲:偏印	乙:印綬	丙:比肩	
	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	
	長生	沐浴	冠帯	建祿	帝旺	衰	病	死	墓	
節入年大運	2013年 49才	2014年 50才	2015年 51才	2016年 52才	2017年 53才	2018年 54才	2019年 55才	2020年 56才	2021年 57才	2022年 58才
	癸:正官	甲:偏印	乙:印綬	丙:比肩	丁:劫財	戊:食神	己:傷官	庚:偏財	辛:正財	壬:偏官
	己	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
	建祿	帝旺	衰	病	死	墓	絶	胎	養	長生

■事例⑥ 経営コンサルタントの命式と行運

■駐車場を利用した売上げづくり

そして彼は何をするのかというと、その駐車場に自動販売機を置いて、そこから売り上げをつくるのです。そして売り上げを金持ちのところへ持って行って喜ばせませす。置くのはタバコやジュースの自動販売機です。そして地主から何十万円かの経営コンサルタント料をもらうというやり方です。

■クレーム処理を請け負って企業に入り込む

あるいは、コンピューター関連の会社に入り込むパターンもあります。パソコンにいろいろなシステムをつけて販売する会社というのは、一番の悩みとして「ユーザーからのクレーム処理」の問題があるのです。

どういうクレームかというと、ユーザー自身が原因で、コンピューターのことを理解していないために起こるトラブルです。自分（ユーザー自身）でシステムをおかしくしているのに、企業にクレームをつけてくるのです。

企業の立場からすると、「あなたがそんな操作をしたからコンピューターがおかしくなっ

たんでしょ」というのが本音の言い分で、正論でもあるのですが、そういう言い方をするとお客さんは怒ってしまうのです。ですからクレーム担当者は非常に難しいのです。

彼はそういう問題で困っている企業にうまく入り込み、「私がクレーム処理を請け負ってあげましょう」と言ってコンサル契約を結ぶのです。そしてクレーム担当の社員に研修をしたりするのです。そういう経営コンサルタントが得意な人でした。

■人の同情を引いてお金を引き出す例

もともと私のところにも「経営コンサルしてあげましょう」と言って近づいてきたのです。私は「何をどうやってくれるものか？」と思つて彼を見ていました。

すると彼は、当時フォーチュンソフト社でやっていた、日本人男性とフィリピン女性との結婚斡旋ビジネスに絡めて、話を振ってきたのです。

そして彼は「出会い系サイトのシステムを使えば、テレビ電話を使ってフィリピン女性と日本人男性のお見合いが沢山できますよ。どんどん儲かる仕組みができるので、そのシステムを私がつくって雲海さんに売ってあげましょう。たったの五百万円です。出せるで

しよ？」と言ってきたのです。

つまりこの人は同情を引いて、最終的には私から五百万円を引き出そうという魂胆なのです。このように非常にややこしい人なのです。

彼はしばらくの間、そういうへんちくりんな経営コンサルタントとして活動していたのですが、三十八才からの十年間で、何を勘違いしたのかIT企業を創業してしまいました。そして一年も経たずに倒産しました。その時期に彼は「技術者を三人採用してシステムを受託した」などと威勢のいいことを言っていたのですが、現実には倒産です。

このように同情を引きながら人からお金を奪い取って行くという、ややこしい劣等感の持ち主です。「同情心を使って入り込んでくる」という言動の根っこには、彼の傲慢性が隠れているのです。

■天王星と冥王星が0度

占星学でみると【天王星と冥王星が0度】です。これは「強制的な改革」です。破壊と創造で大きな問題に取り組んで、改革していくという、ものすごいアスペクトを持っています。

ところが実際の彼は、金持ちをみつめて取り入っていくという、ちょこまかとした経営コンサルタントしかできていません。破壊と創造とは縁遠い感じですが。これは金持ちに媚_こびる依頼心があるからです。自分で何かを成し遂げようというよりも、ちょこちょこ小手先で儲けようという依頼心のほうが強いのです。彼の依頼心が強くなっているのは、自分自身という「存在」に劣等感が巢食_くっているからです。

■水星と金星が0度

【水星と金星が0度のアスペクト】です。金星は愛情や魅力で、水星の知性がこれに合わさると、本来は「楽しい魅力的な会話」とか「楽しいコミュニケーションができる人」となるのです。楽しい知性です。

ところが実際は、「子供の頃に寺に養子に出されて苦労した、寂しかった」という同情心を引き出すコミュニケーションです。「兄弟・親戚は皆大卒、東大卒で自分だけ大学に行っていない」「自分はインポだ、彼女を満足させてあげられないあなたが抱いて下さい」と言つて同情心を引くのです。そういう、へんちくりんな同情心と依頼心のコミュニケーションを

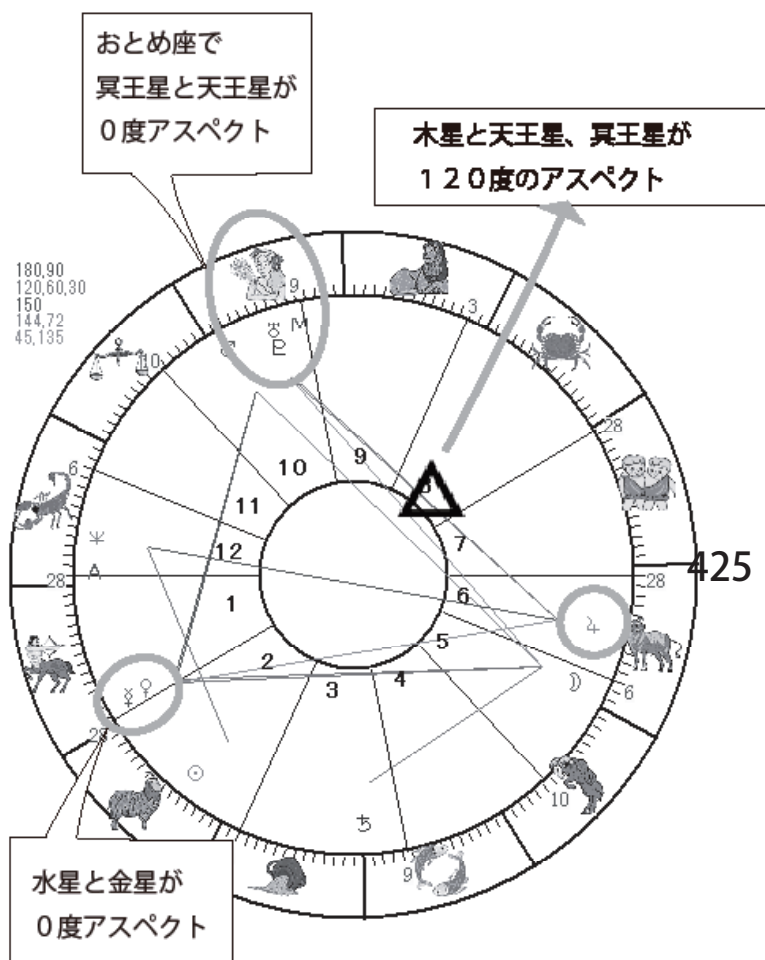
してくるわけです。そういうものを楽しいと感じる人も一部には、いるのかもしれませんが、まっとうな楽しい会話ではありません。

■天王星と木星が二二〇度

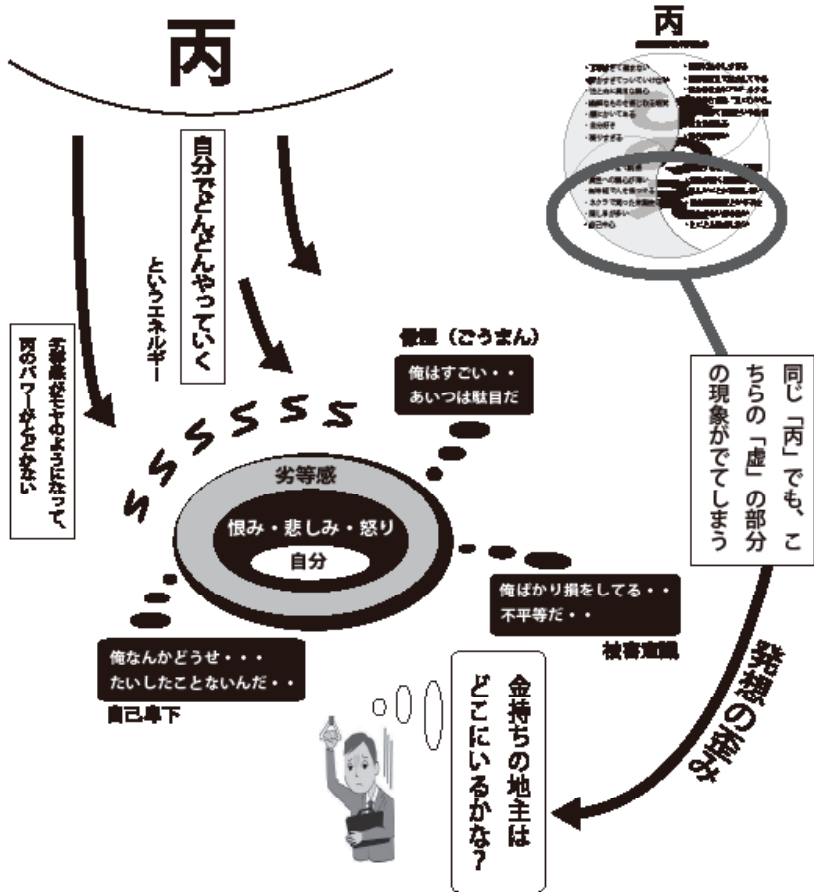
【天王星と木星が二二〇度】です。「革命的な組織で成功」とか「さわやかに改革」「スマー
トに革命して成功」というのが、このアスペクトの本来の意味です。ところが実際の彼は、
革命的というよりはイジイジしています。

■冥王星と木星が二二〇度

【冥王星と木星が二二〇度】です。これは権力のアスペクトです。「嫌味のない野心」とか
「すつきりさわやか一本気」という感じになります。ところが実際の彼はそうではありません、
いろいろと小手先の知恵を回して働きかけてきます。そして権力のある人に擦り寄っていく
スタイルです。



■事例⑥ 経営コンサルタントのホロスコープ



■火星がおとめ座

【火星がおとめ座】で

す。本来は「人生の戦いを切り抜けて行く分析力」のような感じになるはずですが、これも合いません。

■木星がおうし座

【木星がおうし座】で

す。物質欲やマナーと社会性の融合ですから、本当は豊かになるはずですが、ところが実際は

「金持ちからお金を分けてもらおう」という何か小手先だけの分析ですし、寂しいおうし座です。おとめ座も、どことなく可哀そうな感じがします。

■日干「丙」なのに、なぜ依頼心が強いのか？

四柱推命の理屈を使って、ちよつといやらしい見方をすれば「自分が太陽の丙でありながら、隣にあるろうそくの火を奪いとつてくるような劫財です。だから破産するのです」と言えます。四柱推命の古典に忠実で、嫌味っぽい占い師ならこのような鑑定をするでしょう。

丁の隣には甲があります。この甲も丁から火を奪い取ってしまいます。本来丙は「隣に何があっても関係ない」という影響を受けない干なのです。自分一人で燃えています。だから依存心や依頼心があつていけないのです。一人でやっていけないのです。

■命式は良いのに人生が不幸な理由

四柱推命でみると、そのような要素を持って生まれているのですが、彼自身が「生まれてすぐに養子に出された・・・」という劣等感や、他のいろいろな恨みを抱えたままの状態なの

で、星の作用が死んでしまうのです。

劣等感が真逆の傲慢の形となって表れるときもあります。こういうものが、彼の「存在」に影響を与え、金持ちに擦り寄ってお金をもらおうとする行動パターンとなって表れるのです。ですから、どんなに良い星の働きがあっても、不幸な結果となってしまうのです。

事例⑦ 脱サラした乗用馬専門のプロ調教師

一九七一年八月二十九日 午前八時生まれ

次は成功事例です。

成功事例は、どんな星であったとしても、その人を通せば良い方へ働くのがわかります。どんなパターンかの命式や星の配置であったとしても、いい方に働くのです。なぜなら、その人物の存在自体が間違っていないからです。

■日本で二、三人のプロの成功事例

ここで紹介する男性の職業は「乗用馬専門のプロ調教師」です。JRAなど、サラブレッドの調教師は職業として成り立っているのですが、乗用馬専用の調教師は、実は日本では職

業として成り立っていません。プロとして飯を食べていけるのは本当に一握りで、日本で三人もいないと思います。ですから、彼がはじめ「乗用場の調教師を目指す」と言い出したときに、周りの全員が反対しました。「そういう職業は無いんだから」と反対されたのです。

■飛行機に乗って北海道の乗馬クラブへ通う理由

世間ではあまり知られてない珍しい職業ですが、現在彼は、北海道で乗馬クラブのオーナーとしても成功しています。しかも、その乗馬クラブの会員の半分は、本州の人なのです。毎週わざわざ飛行機に乗って彼のもとにやってくるのです。

「なぜでしょうか？」その理由は、彼が飼育し調教した馬が、とても優秀だからです。そして、彼の調教した馬で全国大会に出場すると勝てるからです。だからわざわざ遠くからやってくるのです。会員さんは医者や社長がほとんどです。

■マンション販売の営業マンから脱サラ

彼はもともと東京の人で、マンション販売の営業マンをやっていました。しかし三十才

のときに仕事がつまらなくなり、会社を辞めて北海道に行きました。北海道に行ったのは「何か動物が飼えそうだ」という理由からでした。

始めはヤギを飼いましたが、それでは食べていけないので、次は牛を飼いました。しかしそれもつまらなくなり、その次に馬を飼い始めました。当時普通に飼われていたドサンコとかアパルーサ、トロッターなどの品種を飼育していました。

■米国产のチャンピオンホースとの出会い

ところがあるとき、あるお金持ちが、本当に調教された素晴らしいチャンピオンホースを、アメリカから五百万円で買ってきました。彼はその馬を見にいったのですが、そのときに「これが馬なのか!」と心からびっくりしたのです。それがクオーターホースという品種の馬でした。彼は「今まで日本で乗馬に使っていた馬とは、一体何だったんだ?」とショックを受けたのです。そして彼自身も五百万円を出してアメリカからチャンピオンホースを買ってきたのです。それが調教師としてのスタートでした。

■馬の飼育開始後、わずか二年で競技大会で勝利

当時の彼は、馬の商売をはじめて、わずか二年くらいだったのですが、その時点で日本の馬術競技大会で勝ってしまったのです。チャンピオンホースを買ってきたからです。

「本当に調教された馬とはこういうものなんだ」と、彼は体で覚えていきました。そして「新しく買った馬も、アメリカのチャンピオンホースと同じように調教したい、育成したい」と思い、馬の生産と調教に取り組んでいきました。するとその結果、日本では二、三人しかない乗用馬専門の調教師として成功してしまいました。

■乗馬クラブのオーナー兼調教師として成功

彼の出発点は、お金も何も無いときに大きな借金をして、世界基準の馬を買ったことと、そこから学びを得たということです。そして、わずか二年で有名になってしまい、馬の飼育を始めてから十年後、乗馬歴わずか十年で、乗馬クラブのオーナーとなりました。そして彼より乗馬歴の長い会員さんと比べても、彼の方が乗馬の技術が上なのです。会員さんはいたい五十代・六十代で乗馬歴も二十年以上のベテランがザラですが、一番乗馬歴が短く、最

事例⑦ 乗用馬のプロ調教師の命式

四柱推命										
壬:偏官		丙		丙:比肩		辛:正財		天干		
辰		戌		申		亥		地支		
(木土水)		(火土金)		(金水)		(水木)				
乙	癸	戊	辛	丁	戊	戊	壬	庚	戊	
甲	癸	丙	辛	丁	戊	戊	壬	庚	戊	
印綬	正官	食神	正財	劫財	食神	食神	偏官	偏財	食神	
偏印	正官	食神	正財	劫財	食神	食神	偏官	偏財	食神	
冠帯		墓		病		絶		十運		
								? 十干気学 旧暦 平月 7/9		
								大運は生まれた日から、6年11力		
								節入り日 8日 13時		
								節入り日からは20.7日で次の節入り		
								宿曜経 尾宿		
								? 蔵干		
								? 納音		
								? 特殊星		
<input type="checkbox"/> 命式と六運の合沖 <input type="checkbox"/> 命式と年運の合沖 <input type="checkbox"/> 命式と月運の合沖 数え年は生まれた年が1才です。										
数え年大運	8才7月	18才7月	28才7月	38才7月	48才7月	58才7月	68才7月	78才7月	88才7月	
	乙:印綬	甲:偏印	癸:正官	壬:偏官	辛:正財	庚:偏財	己:傷官	戊:食神	丁:劫財	
	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	
	衰	帝旺	建祿	冠帯	沐浴	長生	養	胎	絶	
数え年年運	2013年 43才	2014年 44才	2015年 45才	2016年 46才	2017年 47才	2018年 48才	2019年 49才	2020年 50才	2021年 51才	2022年 52才
	癸:正官	甲:偏印	乙:印綬	丙:比肩	丁:劫財	戊:食神	己:傷官	庚:偏財	辛:正財	壬:偏官
	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
	建祿	帝旺	衰	病	死	墓	絶	胎	養	長生

も年齢の若い彼が一番上手いのです。会員さんは何十年も乗馬をやっていますが、いい馬に乗った経験が無いので技術が伴いません。だからわざわざ彼のところへ来るのです。

■四柱推命での検証

四柱推命では日柱が【丙戌で墓】となっています。この干支の組み合わせは、ものすごく突出した探究心の持ち主です。私が提携している北海道の古い師の波木青龍さんも丙戌です。事例の彼の場合は、

日干と月干の並び

丙丙

「強い集中力」を求めて
「強い集中力」で動く

古典名 天無兩日 (テンニリョウジツナシ)

従来の解釈 明暖、自我は通ず、頑固

独立心、自信

人物 井深大、杏里、高嶋政宏

日干と年干の並び

丙辛

「精神の損得勘定」を求めて
「強い集中力」で動く

古典名 日月相会 (ニチゲツソウカイ)

従来の解釈 礼節、規律を重んじる、
蓄積、財あり、干渉、統率、太っ腹、
経済感覚、処理能力、大財、失財

人物 江川卓

事例⑦の馬のプロ調教師の天干の並び、丙丙の並びは古典的には「よくない」とされているが、現実には集中力を発揮した成功の人生となっている

馬に対する探究心となって表れています。

■日干と月干の「丙丙」の並びについて解説

月柱は【丙申で比肩】です。ここで四柱推命に詳しい人はピンとくると思いますが、日干と月干の並びが、丙丙で太陽が二つです。これは天に太陽が二つあるということ、ことわざとして「天に両日無し、国に両君無し、家に両夫無し」といわれています。つまり「家に夫は二人いない、国に王様は二人いない」ということで、そのくらい古典的には、おかしな命式だといわれています。

どうおかしいのかというと、いつも「あれやりたい、これやりたい」となって、どっちつか

ずになりやすいとされている命式なのです。ところが、これは実際はちつとも当たっていません。彼の三十才以降の人生は、その道一本で成功しています。

しかし古典的なプロの占い師なら、占いの理屈は沢山あるので「年柱が辛亥だから月柱と丙辛干合となり、丙が溶けて丙丙の悪さが出ないのだ」などと言うのですが、こういうのは屁理屈へりくつに過ぎません。

■大運正官で独立でも大成功

彼は大運正官の二十八才のときに馬のビジネスをスタートしています。正官ですから古典的にはそういう独立の時期ではありません。古典的には「組織に服従する」という意味です。ところが実際は組織に反発して乗馬クラブをスタートさせました。三十八才で偏官です。今はここですが、彼は現在乗馬クラブ業界全体の革命を起こそうと、日本クォーターホース協会の理事長として活動しています。

■サビアン占星術・太陽がおとめ座の五度

占星学では、サビアンをみると【太陽がおとめ座の五度】です。これは「妖精の夢をみる男」とあります。つまり毎日が創造性の楽しい日々ということです。

今までサビアンをほとんど説明してないのは、あまり当たらないからです。サビアンは自己破産などをやった人には当たりません。しかし成功する人には当たってしまうのです。事例の彼の場合、太陽がおとめ座の通りに素直に働くから当たるのです。毎日毎日新しい調教技術を生み出そうと必死です。つまり、創造で毎日が楽しいのです。ずばり当たっています。

■おとめ座で太陽と水星と金星が0度

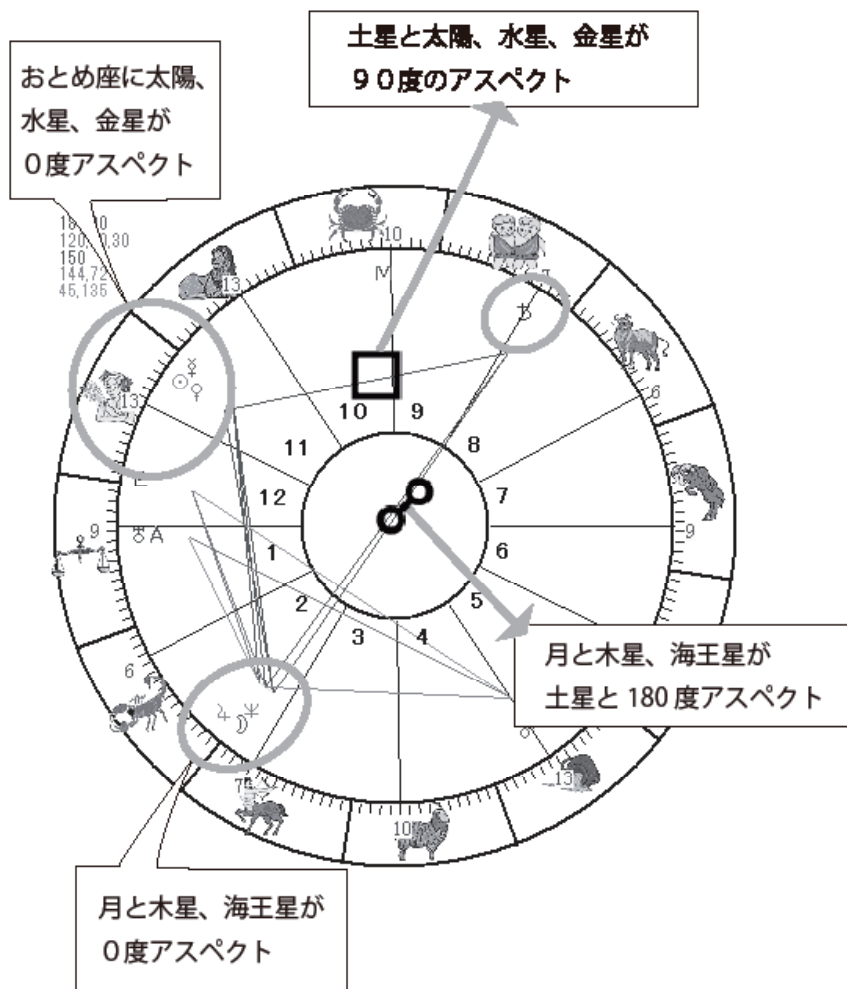
【おとめ座で太陽と水星と金星が0度】です。太陽の目的、水星の知性、金星の楽しい魅力が0度です。楽しい会話と目的の融合となります。ですから、お客さんと楽しく会話しながらいい馬をつくりましょう、競技会で勝ちましょうという現象となつて表れています。

■太陽と土星が九〇度

【太陽と土星が九〇度】です。古典的な本を読むと、「目的が土星によって制限される」となるのですが、これも当たりません。太陽と土星の九〇度アスペクトはよくないアスペクトといわれますが、彼の場合はいいアスペクトになっています。土星の困難や試練を乗り越えて、太陽の大きな目標を達成しています。見事に融合しているのです。星と星が溶けて、太陽の「目的」と土星の「困難」の両方を達成しています。

■金星と土星が九〇度

【金星と土星が九〇度】です。これも古典の教科書的には「アスペクトが九〇度だから金星の楽しみが土星によって束縛される」となるのですが、実際の彼は楽しい毎日なのです。毎日新しい調教技術を発明することで、楽しくてしょうがない生活です。創造性の毎日で楽しいのです。このように古典的なものは当たりません。成功者は金星のいいところ、土星のいいところが見事に融合しています。



■事例⑦ 乗用馬のプロ調教師のホロスコープ

■海王星と月が0度

【海王星と月が0度】です。これは意外と神秘世界の組み合わせのアスペクトですが、彼らは実は神秘世界が分かるのです。よく彼は私と運命学の話しをしています。

といっても彼には特別、運命学の知識があるわけではありません。四柱推命も知らない、ホロスコープ、甲乙、太陽、おとめ座、土星、金星・・・などの単語を並べても「???」となつてわかりません。しかし、運命学の一番重要な根本部分は理解できるのです。

■海王星と水星が90度

【海王星と水星が90度】です。これも古典的には「水星の知識が、海王星の幻想をノイズや雑音として拾ってしまう」とありますが、実際は雑音などは拾いません。それどころか極度の集中力を持っています。

さらに、その集中力で海王星の理想を実現していきます。日本一の調教師であり、日本一の馬をつくる人ですから、理想を知性でどんどん実現化しているのです。彼が言うには「調教とは馬の筋肉を鍛えるのでなく、馬の脳を鍛えるもの」というのです。つまり調教とは馬

の洗脳だということです。馬の脳と人間の脳の勝負です。知性で勝負していくのです。古典的な占星学の解釈では、このアスペクトは「ノイズを拾う知性」となっているのですが、現実と照らし合わせるとこれも当たっていません。

■海王星と木星が0度

【海王星と木星が0度】です。つまり理想世界の実現です。今の日本の乗馬業界のレベルは、はつきり言って世界で一番低いレベルです。先進国の中で一番レベルが低いのですが、彼はそれを何とかしようと活動しています。つまり海王星の理想を具体的に社会へと実現していく行動をしています。

■海王星と土星が一八〇度

【海王星と土星が一八〇度】です。古典的には「土星の現実や困難と、海王星の理想の間を行ったり来たりする」という解釈なのですが、これも古典通りではなく、現実を理想に近づけようとする人生を歩んでいます。

■火星がみずがめ座

男性の場合、火星と木星をみていきます。

【火星がみずがめ座】です。火星がみずがめ座にいと、自由の追求となります。反権力です。これはその通りです。

■木星がさそり座

【木星がさそり座】です。これは「深い深い他人の心理に入り込んで、うまく説得する」というような感じですが、これもうまくいつています。

火星がみずがめ座に入ると、どうしても反権力となりやすい傾向があります。日本の乗馬業界にも既得権を持った、そのたぐいの組織があるのですが、彼はそういう組織に対しては反権力で立ち向かっています。

■宿曜が尾

宿曜経でいうと【尾宿】です。これはその道一筋の星です。「乗馬用調教師として一筋」

そういう人生を歩んでいます。

このようにみていくと、今まで紹介した事例の人との違いが分かります。命式やホロスコープにどんな星があったとしても、今回の事例の男性の場合、ずいぶん苦勞しているせいか、心が透明なのです。つまり器が広いのです。丙だからといって丙にこだわる思考パターンではありません。甲の人が来たら、甲の人に合わせることもできますし、甲の人を理解できるのです。同じように庚の人にも、壬の人にも合わせることもできるのです。ですから壬の思考を楽しむこともできますし、いろんな星が来ても楽しめるのです。

■「存在自体」が無色透明の場合、星の良さが素直に現れる

このように透明な状態ですから、いろんな星が来てもすつと結果が出るのです。丙の良さ、戌の良さ、辛の良さ、おとめ座の分析力、太陽の目的の良さ・・・全部の星の良さが素直に出ていきます。存在自体（＝その人自身）が無色透明の心理状態や思考パターンであるなら、どんな星がやって来ても「あつそうだね」とすぐに反応できるのです。そのような素

直さがあると全部の星がいい方に作用します。こうなると吉凶はありません。

■星の作用がねじまがってしまう人の見分け方

反対に親への恨みなどで「存在自体」がグチャグチャしていると、全部が凶になって出るので。ですから人を見るときは「存在自体」に、誰かに対する恨みがないか、誰かへの反発はないか、ねじ曲がっていないか、を見ればわかってしまうのです。

「存在」がねじ曲がっていれば、全ての星がへんちくりんに作用していると決定して下さい。百分当たりです。「存在」がねじ曲がってなければ、全ての星が素直に出るはずだと決定して下さい。百分当たりです。これがフォーチュンソフト流の星平会海の原理なのです。

事例⑧ 住居用ログハウス日本一の社長

一九五三年二月三日生まれ

北海道でログハウスをつくっている住宅メーカーの社長です。

普通「ログハウス」というと別荘のイメージが強いですが、この人の場合そうではありません。ログハウスこそ住宅にふさわしい“という信念を持った人です。その信念のもと、住宅に特化したログハウスをつくっています。つまり一年中人に住んでもらいたいという思いでログハウスを専門につくっています。そういう工務店です。

また彼のつくるログハウスはデザインが大変特殊です。例えば、とても窓の大きいログハウスだったりします。他にも普通ログハウスというと、大きな屋根で二階がロフトというのが一般的ですが、そういうものではなく、住宅として使いやすい間取りでつくります。

■両親の工務店を飛び出して独立

もともとは両親の経営する工務店で働いていました。そこで時々ログハウスを設計していたデザイナーだったのですが、両親の家のづくり方が気に入らず、両親の元を飛び出して自分で会社を創った人です。

この人の特長は、「お客さんは全員友達」と思っているところです。この社長は家を造った後に、お客さんと十年、二十年とずっと長くつき合いをしています。そういう特徴があります。話をしていても「お客様を皆友達にしたい」のように「友達」という言葉をよく使います。反対に、友達にしたいくないお客さんからは注文を取りません。実はこれは非常にいい開運方法でもあるのです。

■「つき合う友達を選ぶ」という成功法則とは？

実は『成功したいなら、友達を選べ』という開運の法則があるのです。

具体的に説明すると、もし皆さんが何か新しいことをやろうとします。例えば会社を辞め

てラーメン屋をやりたいとか、サラリーマンを辞めて居酒屋をやりたいと思いました。そして自分の親や親族にそのこと言うと、ほとんどの場合「大きなリスクを犯すんじゃないよ」「心配だよ」「もうちょっと安定した仕事があるんじゃないの？」こんなふうに言ってきました。

ところが、この「心配だよ」というのは実は嘘なのです。この言葉を言い変えると「私はあなたを信用していませんよ」ということになります。また「もつと安定したほうがいいよ」というのは、言っている本人が、本当の意味での安定した人生を歩んできてないから、そういう言葉を口にするのです。「安定、安定」とよくいいますが、この安定という言葉に惑まどわされると人生が失敗します。

■安定した企業の内容は大変化している

例えば、うちの実家の近くに、皆さんもご存知の「富士写真フィルム」という一流企業があります。この会社は昔は写真のフィルムをつくっていました。何万人もいた従業員のほとんどがカメラとフィルムをつくっていました。

ところが今は、フィルムをつくっている従業員は0人なのです。では従業員はどうしたの

でしょうか？「フィルムしかつくりたくない」という人は全員リストラです。今富士フィルムは医薬品をつくっています。あとは電子部品です。

このように安定している大企業は、仕事の内容は安定してないのです。ものすごい変化をしています。変化についてこれない社員はクビになります。これが安定している企業の実体です。ですから本当に安定が欲しいと思うのなら、常に変化することが必要となるのです。

つまり、家族や友達は「安定」という言葉を使って、あなたの成長を邪魔しているのです。こういうことを言う人は、はつきり言う悪魔です。友達ではありません。

■「安定している」にまどわされると失敗する

もう少し事例を挙げます。通常、周りのほとんどが、あなたの成長を邪魔するアドバイスをしてくれます。しかし、そういう声に耳を傾けてはいけません。例えばあなたが「会社をつくりたい」と言ったとします。すると誰かが「今のサラリーマンのほうが安定しているよ」というアドバイスをしてきたとします。実はこのアドバイスをした人は「自分はサラリーマンしかできなかった・・・」と言っているのです。自分が会社をつくれなかったから、こうい

うアドバイスしかできないのです。こんな人の言うことを聞く必要はありません。

あるいは学校を卒業して民間企業や公務員として就職するときに、誰かに「民間企業に入ります」と言うと、「公務員のほうが安定しているよ」とアドバイスされたとします。こういうアドバイスをする人は、実は能力が無くて民間企業をリストラされたような人なのです。つまり能力が無い人のアドバイスなのです。

■大企業では味わえない中小起業の醍醐味

また、もしあなたが上場企業の社員で、そこを辞めて何かをしようとしたときに「もったいない、せつかくの大企業で、住宅ローンも簡単に組めるのに・・・」こう言ってくる人がいたとします。この人は中小企業の、何でも自分で自由にできる面白さを知らない人なのです。小さな会社にいると企画、販売、設計、サポートなど全部できますが、大企業では無理な話です。

また結婚するときに、本人は大学を卒業していました。ところが相手は高卒でした。そのときに誰かが「大卒じゃないと損するよ」というアドバイスをしたとします。そういう言い

方をする人は、結婚に失敗している人です。結婚に成功している人は「大卒じゃないと損するよ」なんてことは言いません。両親や親族は大体こういうアドバイスをしてくれます。

もうわかったと思います、大体の人はとどのつまり「不安」と「恐怖」に支配されている反応システムを持って生きているのです。

■不安と恐怖に反応するのは未熟な証拠

何を見ても新しいことは不安と恐怖なのです。希望と安心を抱けない反応システムしか持っていません。そういう不安と恐怖の反応システムの持ち主が世の中には多いのです。すなわち不幸なのです。

もうちよつと言い方を変えると「つまらない人生」を歩んできた人が多いのです。すなわち未熟なのです。ですから何かものごとを相談するときに、「年配者だから成熟している」などと誤解してはいけません。

特に親は自分より魂が未熟だと思って下さい。未熟な魂だからこそ、子育てをしながら自分が成長する必要があるのです。ところが未熟なままで人生を終わってしまう親が多いので

です。ですから未熟な親に相談しても仕方ありません。子供のほうが魂のレベルが高いのです。腰抜けの親や成功法則を知らない親とは縁を切ってもかまいません。

■実際に人をみるときの事例

この工務店の社長のいう「友達」とは、ポジティブな反応システムを持った人のことです。「常に新しいことをやっこう、常に不安と恐怖を排除して新しいことをやっこう」と発想する人です。この社長は自分のお客さんにはそういう人しか選ばないのです。

この社長は非常にいいデザインのログハウスをつくるのですが、実は私（天野氏）も、北海道で自分が住む家建てるときに、十軒くらい工務店を回ったのですが、その結果、今回紹介している社長の工務店に決めました。そのときに、私がこの社長のどこを見たのかをお話してみたいと思います。

その人物の命式は、もちろん見ますが「いいか悪いか」とか「貴賤」などは関係ありません。「星が発動しているかどうか」「これだけを見るのです。命式が発動していれば、その命式の範囲内で必ず成功します。命式が発動すれば、大体その人が関わる分野で、日本一になって

■No.1 ログハウス工務店の社長の命式

己:偏財	乙	癸:偏印	壬:印綬	天干	? 十干気字	旧暦 平月 2/17						
卯	酉	卯	午	地支	大運は生まれた日から、1年2ヵ月 節入日 5日 19:4 節入日からは26.6日で次の節入り 宿曜経 氏宿							
(木)	(金)	(木)	(火)		? 蔵干	? 納音						
甲	乙	庚	辛	甲	乙	丙	己	丁	十二運	? 特殊星		
劫財	比肩	正官	偏官	劫財	比肩	傷官	偏財	食神	命式と大運の合沖	命式と年運の合沖	命式と月運の合沖	数え年は生まれた年が1才です。
建禄	絶	建禄	長生									

2才0月	12才0月	22才0月	32才0月	42才0月	52才0月	62才0月	72才0月	82才0月
甲:劫財	乙:比肩	丙:傷官	丁:食神	戊:正財	己:偏財	庚:正官	辛:偏官	壬:印綬
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
冠帯	沐浴	長生	養	胎	絶	墓	死	病

しまうのです。ほとんどの人が命式が発動しないまま人生を終わってしまうからです。「きちんと命式が働いているのか？」と言う観点で人をみていきます。

■日干が乙酉の絶

【日干が乙酉で絶】です。乙らしい物腰の柔らかさで、交渉事が上手です。特に、住宅メーカーですから、補助金を申請したり、合併浄化槽をつけるときに申請したりと、役場との交渉が沢山あるのです。それを上手に交渉しないとトラブルが起きてしまいます。

私が注目したのは、「うるさい役所との交渉が上手にできるか」という点です。私自身は

すぐに、けんか腰になってしまうタイプなので、そうではなく柔らかく交渉するかどうかを見ました。それに関してはOKでした。

例えば、私を買った土地は一万坪以上あるのですが、道路が無い土地でした。ですから道路をつくる必要があったのです。土地の近くまで道は来ているのですが、私の土地までは来ていませんでした。ですから自分で百メートル程つくらなければいけませんでした。さらにその敷地から家まで百五十メートルあるので、合計二百五十メートルの新しい道をつくる必要があったのです。これを自分だけでつくと、土木工事なので非常に大きなお金がかかるわけです。

■社長の役所との交渉の仕方

この問題を工務店の社長はどうしたかというと、「人口数千人の町です。そこに本州からわざわざ移住してきます。しかも本州の会社を経営している人が移住してきます。町にとつて税収面からかなりプラスでしょう。だったらせめて百メートル部分くらいまでは、道路とまではいきませんが、砂利を引いてトラックが入れるようにしてあげませんか？町道とし

て認定しろとは言いません。ただ乗用車が入りできるように整備しませんか？砂利代くらいは持って下さいね」と役所と交渉したのです。さらに「近くに小学校がありますが全校生徒五人でしょ。そこに天野さんの子供が入れば全校生徒六人だから廃校になりません。そこに住むだけでも町にとってプラスでしょう？」と交渉して砂利を敷いてくれました。砂利だけでも自分で敷けば少なくとも百万円はかかります。こういう交渉の上手さが乙らしさです。乙が生きています。

■命式に印星と絶

その【乙の横に癸と壬】があります。偏印、印綬で印星の固まりです。【十二運星が絶】です。ですからロマンです。すなわちアイデアが沢山湧いてくるアイデアマンで、かつロマンチストなのです。そういう人がつくったものは何かというと、オリジナルの住宅専用のログハウスでデザインがいいのです。通常の軽井沢にあるような感じのログハウスではなく、広い窓などの特徴あるデザインが得意です。ここでも十二運星の絶や印星が生きてると判断しました。

こんなふうに命式が生きていればその人は成功できますし、信頼できます。ですから私はその工務店と契約したのです。

■太陽と水星が0度

ホロスコープをみると【太陽と水星が0度】です。同じところにあるので、太陽のパワーと水星のコミュニケーションが非常にマッチしています。これも交渉上手という面に出ています。お客さんとの交渉も上手、役所との交渉も上手です。

■宿曜が亢

【宿曜は亢^{コウ}宿】です。反抗のコウです。これは以前勤めていた実家の工務店を飛び出したところに表れています。いい加減な手抜き工事を沢山目の当たりにして「こんなのでは駄目だ」とそこを辞めて自分の会社をつくりました。これは亢が活きています。組織に反抗していきます。

またロマンとアイデアだけでは会社は運営していきません。会社には沢山従業員がいるので給料を払う必要があります。ですからそういう強さも必要です。「そういうものはあるのかな？」と思うとあるのです。

■紫微斗数の命宮に廉貞・蛇羅

紫微斗数を見ると【命宮に廉貞・蛇羅】と強い星が入っています。これも生きています。

■乙を使い切ると庚的な環境がやってくる

ところが先日この社長はちよつと失敗をしてしまいました。乙の欠点が見事に出してしまいました。この乙の欠点が出てきた出来事ですが、この社長は乙を使い切っているのです、そろそろ別の苦手な分野にも挑戦しなければいけないという現象なのです。

乙ですから真反対の庚的なものが苦手です。ですから、庚的な判断力が必要となる環境に追い込まれるのです。これは命式を使い切つて成功した人への神様からの宿題です。命式を使い切つてない人にはこんな試験はやって来ません。「あなたは乙は使い切っているから、

庚的なものも勉強しなさい」というメッセージなのです。

ログハウスは普通の住宅とはかなり仕組みが違い、部材を全部フィンランドから買い付けます。シベリア鉄道から船で積んできます。私の家の場合で、だいたい一千万円の部材を使うのですが、この支払いを工務店はユーロでフィンランドの部材会社へ支払うのです。

為替をみると、ユーロが百二十円くらいだったのが、ずっと下がってきて一〇五円になりました（二〇一〇年当時）。そのときは民主党の代表選挙の最中で、菅さんと小沢さんの一騎打ちでした。勝った方が日本の首相になるという場面です。

■「円高になるだろう」というメディアを信じて失敗

このとき小沢さんは「為替に介入して円高は阻止する」と言っていたので『小沢さんが首相になれば円高になるだろう』と、全てのテレビ、新聞、メディア各社、全ての評論家が言っていました。反対に『菅さんが首相になれば、為替介入はしないだろうから、ますます円が高くなる。百円くらいの値をつける円高にもなるかもしれない』と、全てのメディアが毎日繰り返し伝えていました。

この社長も為替相場はみていましたが、「菅さんが総理大臣になりそうだ、もつと円高になりそうだ」と心の中で思いました。円高になると部材の支払いが安くつくからです。しかし私は一〇五円の時点で「早く部材の料金をフィンランドへ振り込んだほうがいいよ」と社長にアドバイスしました。ところがこの社長は日経新聞やニュースを見て、菅さんが総理大臣になると、もつと円高が進みそうなので「待つ」という判断をしたのです。

■決断が鈍って九十万円の損失を出す

ところが、蓋を開けてびっくりです。菅さんが総理大臣になったのですが、その翌日、日銀が一気に三兆円の介入をしてくれました。そして一気にユーロが百十二円まで上がっていききました。円安です。七円も為替が変わってくると、この社長は一気に九十万円くらいの損をするのです。結局この社長は、部材代だけで九十万円の赤字になってしまいました。これが乙らしい欠点です。庚のリスクを取る決断力が要求された場面だったのです。

■幸せな人生になるためのエネルギーの使い方

最後に開運するためのエネルギーの使い方について説明します。

この本を手にとっている方々は「成功したい」「ハッピーになりたい」という人ばかりだと思いますが、もし本当に成功したいのなら、毎日のエネルギーの使い方をチェックして下さい。

■幸せな人生にしたいなら「変化」が必要

環境はドンドン変化しています。それに合わせて自分も変化していく必要があります。この「変化」という言葉がポイントなのです。自分が変わっていないと人生がハッピーにならないからです。

そして、その変化を起こすために「考えるエネルギー」を使っているのか、それとも変化を起こすために「行動するエネルギー」を使っているのかを自分でチェックして下さい。両方とも同じエネルギーですが、どちらにより時間を使っているかが、人生の違いを生み出すのです。

現状を変化させたい・・・

行動する

考える

行動

考えてもエネルギーが消費してしまっ

変化が起こる

変化が起こらない

「考える」ことにエネルギーを使っ
ていても変化は生まれないので、
現状は何も変わらない

そして、占いに相談
にくる人というのは、
百分「考えるエネル
ギー」のほうに時間を
使っています。変化を
起こす前段階で、考え
ることにエネルギーを
使っているのです。こ
れは百分当たります。
実は、考えることに
エネルギーを使っ
てしまふから行動できな
いのです。考えること
にエネルギーを使っ
てしまふと行動のエネル

ギーが発動しないのです。

ここで言う『考える』というのは、「あつちが得か、こつちが得か？」という程度の発想のことです。（俗に「マインド」などと言われたりもする）同様に「もしそれをしたらどうなるか？」と、こんなことばかりを思っている（考えている）から命式が発動しないのです。『考える』と不安と恐怖があなたを支配してしまいます。それがストレスになります。結果、病気にもなります。うつ病、精神病です。

ところが行動して病気になる人はいません。命式が発動するから健康になるのです。プラスの波動です。ポジティブです。健康です。

ですから毎日、生活に変化を起こそうと実際に行動しているのか、それともウジウジ考えている腰抜けなのかを、自分自身でよくチェックしてみてください。

事例⑨ 世界選手権出場の馬術界の異端児

一九六二年十月十六日六時生 北海道

馬術の世界選手権に参加した人です。

彼はおじいさんの代からずっと牛の牧場をやっていた家に生まれました。馬ではありません。本人も家業を継ぐつもりで、畜産関係の大学に入って牛の勉強をしました。

■家業の牛をやめて馬の牧場をはじめ

ところが牛だけやっていても将来がないと判断して、牛の牧場を自分の代でやめてしまいました。完璧にやめてしまいました。大学も中退しました。そして馬をやるうと決断しまし

た。若干二十才前後のときでした。

最初は何もわからないので、全国の有名な乗馬クラブを回って、あちこち修行しました。技術的なものは、その時期に勉強して身につけたそうです。そしていよいよ自分の牧場に帰ってきました。広い大草原だけがある状態でしたが、そこから馬を飼いはじめました。

■日本の馬術業界の常識とは

日本の馬術業界というのは、海外から高い馬を買ってこなければ競技会では勝てません。例えば日本人のオリンピック代表で、よくメディアにも登場するドイツ在住の法華津さんという方がいますが、彼の持っている馬などは億単位の馬です。馬術で世界に勝とうと思うなら、億単位の馬が必要なのです。ヨーロッパ産の血統のいい馬を買ってこなければ馬術競技の世界ではほとんど勝てません。

また日本の馬業界というのは競馬用の馬が中心になっています。競走馬です。つまりサラブレッド中心の仕組みが出来上がっているのです。世界で使われているような、普通の乗用場や馬術用の馬はほとんどいないのです。

ですから競技会というのは、はっきり言うと、お金持ちがお金を積んでヨーロッパから高い馬を買ってくれば勝ってしまうのです。だから大体全日本選手権で優勝にからむのは、億単位の馬になってしまふのです。

■「環境に支配されない脳」が現状を突破する

ところが事例の彼には、億単位の金を出して買ってくるような資金はありません。こういう場合普通、「環境に支配される脳」を持っている人なら、ここで終わってしまいます。ところが「環境に支配されない脳」を持っていると、ここから知恵が出てくるのです。知恵が浮かぶときはポーンと浮かぶのです。考えて考えて出てくるという感じではなく、ポーンと与えられるのです。こういうのが本当の知恵です。

■ドサンコとクオーターホースを掛け合わせる

日本には古来種のドサンコという馬があります。ルーツは南部馬で武将が乗っていた馬です。このドサンコは非常に頭が良くてタフな馬です。おそらく頭の良さではドサンコが世界一で

す。その代わり人間に従順ではありません。馬が自分で考えるからです。そして彼は、このドサンコとアメリカのクォーターホースという馬をかけ合わせて中間種をつくることを思いつきました。クォーターホースとはアメリカの牧場で使う「牛追い馬」です。つまりカウボーイが仕事で使う馬です。

馬術には「エンデュランス」という、百六十キロを走る「馬のマラソン」といわれる耐久競技があるのですが、彼は「ドサンコとクォーターホースの中間種がこの競技に向いているのでは！」とひらめいたのです。そして生産を始めました。

■馬の訓練の人手不足を克服するアイデアとは

馬は訓練しなければ強くならないのですが、彼の牧場では馬が十頭、二十頭と増えてきて訓練のための人手が足りなくなりました。毎日一頭あたり、少なくとも二時間は乗って訓練しなければ強い馬はできないのです。しかし二十頭を一人で乗って訓練することは現実的に不可能です。せいぜい三、四頭が限界です。彼は困ってしまいました。普通、環境に支配されてしまうと、ここで終わってしまうのですが、ところが彼は、またアイデアを思いついた

のです。

彼が住んでいるところは北海道の白滝村という村で人口も千人程度です。小学校も一つだけでした。全校生徒が五人で、彼の子供が卒業したら廃校になることが決まっているような状況でした。

そこで村もなんとかしたいということで、山村留学の子供を東京や大阪から募集していました。これは村の里親のところに住み込んで、そこから村の学校に通うというものですが、彼はここに目をつけて、「白滝村に山村留学すると毎日馬に乗ることができません。引きこもり、登校拒否、問題児など全て面倒をみましょう。馬に乗っていけば治りますよ」と宣伝して、全国から小学校五年生から中学三年生の子供達を集めたのです。

■山村留学の子供たちに乗馬を教える

そしてその子供達に、毎日学校が終わると馬に乗りに来てもらうのです。毎日乗ってれば三ヶ月もすれば馬を立派に使えるようになります。ですから馬を訓練するスタツフとして使えるのです。しかも子供達は「遊び」で馬に乗るのです。それが馬のいい訓練になるので

す。つまりタダでスタッフを雇ったのと同じなのです。子供は楽しくてしょうがありません。皆がハッピーなのです。そして、そうやって育てた馬の中に一頭、世界選手権に出るようなレベルの馬が現れたのです。偶然です。

■親の問題で山村留学をやめる

私が初めて彼と出会った頃、「山村留学は散々やってきたけどもうやめる」と言っていました。さらに「もしかしたら、もう競技馬をつくる仕事もやめるかもしれない」とも言っていました。

というのも山村留学にやってきた子供達は、馬に乗って遊ばせておけば元気になって、自信を持ってどんどん変化していくのです。大成功なのです。ところが変化しない人達がいるのです。子供の親です。登校拒否や引きこもりの原因を突き詰めると大体は親の問題なのですが、彼はそのことが心底分かったというのです。

山村留学の子供の中には、自分の親と一緒に白滝村にアパートを借りて住む場合もあるのですが、このときに問題を起こすのは親なのです。近所の人達とトラブルを起こすのです。

彼はそういう親達にほとほと愛想をつかしていました。そして結局、山村留学をやめてしまいました。親は変化しないのです。変化を怖がるのです。そういう腰抜けで、未熟な親だから子供がおかしくなるのですが・・・。

■世界選手権を目指す目標設定と動機

そういう時期に、ちょうど私（天野氏）と出会いました、私は占いをみるふりをしながら、彼に向かつて「その発想は駄目だ」といいました。ネガティブの反応をしていたからです。「そういう動機でやめては駄目です。エンデュランスも続けなさい。今やめたら絶対に駄目です」と言いました。

そうすると彼も最終的に「やる」ということになりました。ところが、もう山村留学の子供達はいませんから、残った馬でせいぜい自分で訓練できるのは三頭くらいが限界でした。しかし彼はその三頭で世界選手権を目指すそうと思っただのです。

一億円を出して競技会で優勝するのではなく、十万、二十万円程度の安いドサンコと百万円くらいのクオーターホースから生まれた子供でも、世界に通用する馬ができると証明したい、

日本伝統の和種はそのくらい素晴らしい血統を持っていることを世界に知らしめたい、というのが彼の動機でした。

■業界はじまって以来の中間種で競技へ参加

そういう目標設定をしたのは、ほんの数年前のことです。それまでは彼も「金が無いから無理だ」と言っていました。普通に考えると当然無理なのです。世界選手権に参加するには、馬を飛行機に積んでアメリカまで輸送するので、参加して帰ってくる輸送費だけで四百万円くらいはかかるのです。全部それは自己負担です。

そして世界選手権のエンデュランス競技には、日本から五人が参加し、そのうち四人までが純血アラブという種類の馬でした。オーナーは一人の人物で、ある大企業の社長の馬でした。また、その馬を使っている四人も全員お金持ちでした。彼だけが、そういう中間種で参加でした。片や何千万、何百万で買ってきた馬と、ほとんどコストのかかってない馬が同じ競技に参加するのです。ですから彼は、日本の乗馬業界からすると完璧な異端児でした。業界始まって以来の事件だったのです。

■「もしこれをやったらどうなるんですか?」という思考を解説

彼のそういう行動をみてみると、一つわかることがあります。「もしこれをやったらどうなるんですか?」のような思考パターンがありません。彼は「もし、○○するとどうなるんですか?」という思考は全くしません。「やってみないとわからない」という発想です。人の前を走る人、つまりパイオニアは未来を予知しません。未来は誰にもわからないからです。

■ポジティブな反応の絶対条件

これがポジティブな反応の絶対条件です。やってみないとわからないのだから、わからないことは考えません。まずやるのです。今、起こっていることから「この瞬間に何をすべきか?」だけを考えます。こういう思考パターンの人は必ず変化します。自分を変えていくのです。

そして結果を神に委ねます。こういう心理になるのです。こういう心境にならなければ、まだまだやってないという証拠です。だから「もしこれをやったらどうなるんですか?」と質問してくる人は、何もやってないのと同じなのです。私からすると「お前まだ何もやって

ないだろう」という感覚です。こういう人には、命式をみてああだこうだ言う必要はありません。そういう質問への回答は「あなたはやる気がありません、だからできません」で終わりです。「もし・・・」の発想はネガティブの反応システムです。だから何をやっても失敗するのです。

散々やった人は、結果を神に委ねて自分は安心します。「もうこれ以上できません」というところまでやってしまうと安心するのです。平和になり不安が消えていきます。私はこういう人と取引をしたいし、こういう人達とビジネスをしたいのです。

■現状をやり切ると次の段階にジャンプできる

事例の彼は、今は馬を世界選手権に出すことで頭がいっぱいだと思えますが、おそらくその次の段階がやってきます。神様は面白いことをします。今の段階で一生懸命やっていくと、やり切って結果を神に委ねます。彼の場合だと、世界選手権で結果がどうなろうと関係ないのです。やり切ってしまった後にはピョーンとジャンプして、神は次の課題を与えるのです。「やり切ったんだろう、いい勉強しただろう」と次の段階に入るはず。私自身も彼を見

ながらその次の段階に入るのを待っているのです。この段階に入ってくると、私のやろうとすることと共通点が出てくるので、いいパートナーになれるかなと思つているところです。

■日柱が丁亥の胎

最後に命式をみてみましょう。彼の場合も命式が全部発動しています。

【日柱が丁亥で十二運星が胎】です。胎は独自性です。周りは何億もするような馬で競技に出る。しかし自分だけはドサンコとアメリカンクォーターの中間種を安くつくつて出場する。そういう人は彼だけです。そういう独自性で世界に挑戦するのは胎の特長です。

丁の正義感もあります。ヨーロッパの出来上がった馬を買ってくるのでなく、彼からは「日本の和種も優秀だと訴えたい」という正義感や情熱が出ています。これも生きています。

天干に庚（正財）、壬（正官）と財と官がそろつた財官双美格です。つまり非常にバランスがよい才能です。庚の実行力、壬の勝負性、全部出ています。

丁庚

「マネーの損得勘定」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 火鑛真金（カレンシンキン）

従来の解釈 他人を訓練、航海、育成、
軽い干渉、処理能力、経済感覚、散財、
頭のよさ

人物 岡本太郎、正岡子規、成村健一

丁壬

「真っ向勝負」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 干合星奇（カンゴウセイキ）

従来の解釈 忠実、礼儀正しい、礼節、
売名、プライド、人気者、官あり、名
誉、名声、正直、責任感、保守的

人物 エジソン、手塚治虫、石破茂

癸:偏官	丁	庚:正財	壬:正官	天干 丁壬	? 十干気学	旧暦 平月 9/ 大運は生まれた日から、7年功、 節入日 9日3時 節入日から171日で次の節入し 曜曜経 参宿			
卯	亥	戌	寅	地支	? 萬干	? 納音			
(木)	(水木)	(火土金)	(木火)	十二 運	癸酉年運	? 特殊星			
甲 乙 戊 甲 壬 辛 丁 戌 戌 丙 甲	印綬 偏印 傷官 印綬 正官 偏財 比肩 傷官 傷官 劫財 印綬	病 胎 養 死							
<input type="checkbox"/> 密式と大運の合沖 <input type="checkbox"/> 命式と年運の合沖 <input type="checkbox"/> 命式と月運の合沖				数え年は生まれた年が1才です。					
9才6月	19才6月	29才6月	39才6月	49才6月	59才6月	69才6月	79才6月	89才6月	
辛:偏財	壬:正官	癸:偏官	甲:印綬	乙:偏印	丙:劫財	丁:比肩	戊:傷官	己:食神	
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	
胎	絶	墓	死	病	衰	帝旺	建祿	冠帯	
4 1									
2013年 52才	2014年 53才	2015年 54才	2016年 55才	2017年 56才	2018年 57才	2019年 58才	2020年 59才	2021年 60才	2022年 61才
癸:偏官	甲:印綬	乙:偏印	丙:劫財	丁:比肩	戊:傷官	己:食神	庚:正財	辛:偏財	壬:正官
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
帝旺	建祿	冠帯	沐浴	長生	養	胎	絶	墓	死

■馬術業界の異端児の命式

■月と金星が一八〇度

占星学では、一番の特長は【月と金星が一八〇度でアスペクト】しているところです。愛情を示す二つの星がアスペクトして、山村留学の子供達の面倒をみるところに表れています。育成が大好きです。

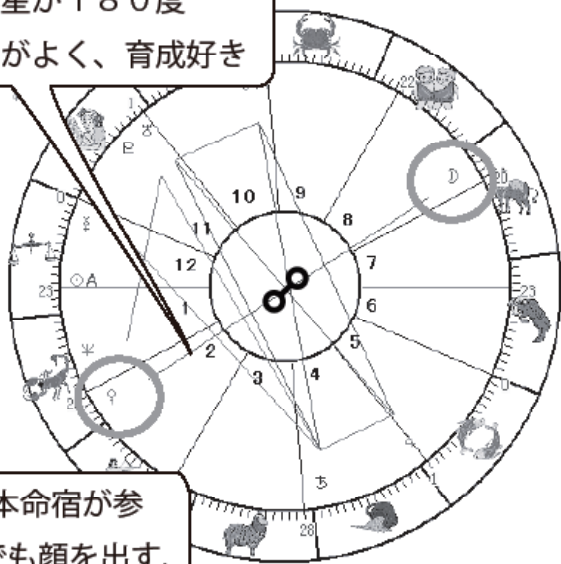
■宿曜・参

宿曜が【参宿】です。何にでも顔を出して面倒をみます。今まで彼は村の山村留学をやっています。次は北海道のエンデュランス協会をつくって役員をやっています。日本全体のこの競技を向上させようとしています。そういう面倒見のいいところがでています。

■紫微斗数の命宮が太陽星と太陰星、貫禄宮に天梁星

紫微斗数では【命宮に太陽星と太陰星が同居】しています。これはお父さんであり、お母さんであるということです。厳しいお父さん役もできるし、優しいお母さん役もできる。これも出ています。

月と金星が180度
面倒見がよく、育成好き



宿曜では本命宿が参宿、何にでも顔を出す、時代の革新者という意味もある



紫微斗数の命宮には
太陽星、太陰星だけ
でなく文曲星、文昌
星も入っている

【官禄宮に天梁星】です。リーダーです。いろんな組織のリーダーをやっていますから、これも出ています。

■成功者は環境に支配されず運命に支配される

このように命式が全部人生に表れています。成功している人や、道を開拓して行く人というは、全部このように運命に支配されていくのです。環境には支配されません。

環境の中に引き留まっていれば、彼は未だに牛の牧場をやっているでしょう。環境の中に留まっていれば「自分は馬を買う金がないから競技に勝つことができない」とウジウジしています。環境に支配されていると「山村留学に来た子供達がいなくなったら、馬を訓練する人がいなくなるからやめた」と言っています。そういう環境を全部脱皮して、運命に影響されるようになる、このように発展していくのです。

事例⑩ 人生が転換したカリスマ歯科医師

一九六三年四月三日 二十三日三十分 北海道生

北海道はもちろん全国的にも、とても有名な歯科医師です。米国のNY大学やテンプル大学で教鞭を執っていて、日本でも島根大学の准教授という人です。

■業界を革命する新システムを開発

学歴も非常に立派で「スーパー・デンチャーシステム」という理想的な入れ歯をつくるという、画期的ですごいシステムを開発しました。このシステムが大人気となって、今では診断が半年待ちという大盛況の状況です。

従来の入れ歯づくりでは、歯科医院で歯型をとった後、どこか遠い別の場所にいる歯科技工士に歯形を送り、そこで入れ歯をつくり、再び歯科医院に送り返して調整していくという流れでした。そのため患者さんが最初に診察してから、入れ歯が出来上がるまでには、かなりの日数が必要だったのです。

ところが彼が開発した新しいシステムは、歯科技工士が歯科医院に常駐して、その場で患者さんの口の中を見ながら入れ歯をつくってしまうのです。そのため初診から四十八時間くらいで入れ歯が完成してしまいます。材料も従来とは違ったものを使っているので、ぴったり装着できる入れ歯になるそうです。これを発明しました。

■人生の前半はコンプレックスを抱える

ところが彼は、もともとは大変なトラウマを持っていました。

彼の家族はとて有能な一家で、両親は北海道で大きな事業を手がけていました。北海道全土に商品を卸す事業でしたが、彼のお兄さんが、その事業を継ぎました。お兄さんはとても優秀な人で東大卒でした。常に彼の先にいる優秀な人物でした。

そのため彼は小さいときから「お兄さんには勝てない」という人生を味わってきました。両親もお兄さんが優秀だったので、当たり前前に事業を継がせました。また彼は「自分は東大に入れなかった」というコンプレックスも抱えていました。ですから彼は、お兄さんコンプレックスと学歴コンプレックスを持つようになったのです。これが彼の一番のトラウマでした。

■交通事故で奥さんが意識不明になる

ところがある時、彼の人生を大きく変える出来事が起りました。それは数年前のことでした。奥さんと車に乗っているとときに大きな交通事故が起きたのです。

奥さんが車を運転していたのですが、大量出血で植物人間状態になってしまいました。半年以上ICUで治療を受け、奇跡的に意識は回復しましたが半身不随になってしまいました。自力で歩けなくなり、一生車椅子の生活を医者から宣告されました。

しかし彼は奥さんを治したいと思い、いろいろな医者に診せたのですが「難しいです」「無理です」と言われ続けるだけでした。ところが彼は「そんなはずはない、なんとかする方法

があるはずだ」とあきらめずに、自分で治療の道を調べ始めたのです。

そしてあるとき、腰に人工的な骨をつくって埋め込み、歩けるようにする技術が外国にあることを知りました。次に彼は、日本でその手術ができる医者を探しました。そして、とうとうある外科医を探し当てました。そして、足の一部を切除して人工関節を埋め込む手術をするようになりました。結果、手術は成功しました。今では奥さんは車椅子なしで普通に歩けるようになりました。こういう生と死の体験を通して、彼の人生は大きく変わったのです。

■事故直後に起こった奇跡

事故の程度からしても、奥さんは死んでいてもおかしくない状況だったのですが、事故が起きた瞬間に、ある奇跡が起きて一命をとりとめました。これはテレビにも放映されましたし、本にもなっています。(詳細は「奇跡を起こす七つの習慣」「自分で奇跡を起こす方法」など) 事故が起こった直後、奥さんの体からはどんどん血液が流れ出しました。「反応しない、心臓が停止状態に近い、瞳孔が開いている」と彼は奥さんを診断してそう思いました。「ま

ずい・・」と思いつながら救急車の到着を待っていたそうです。

ところがその後、救急車で搬送されて病院に到着すると、不思議なことに奥さんの血液型に合う血液が既に大量に準備されていたのでした。

それには理由がありました。なんと奥さんが事故に合った瞬間に、偶然奥さんの携帯電話のリダイヤルのスイッチが入り、それがたまたまお母さんにかかってしまったというのです。そこで彼が介抱している様子や事故の状況などを、お母さんが全部聞いていたのです。そしてお母さんは急いでお兄さんにそのことを伝えました。

■手術に必要な血液が準備できていた

するとお兄さんは「大変なことになった」ということで、頭のいい方ですから搬送されるであろう病院を予測し、さらに奥さんの血液型に合う人を自分の事業の社員や、商工会議所のスタッフなどから集めて輸血の準備をしていたというのです。そういうわけで救急車が着いたときには既に血液と手術の準備ができていたのです。手術は八時間におよぶ大手術で、大量の血液がすぐに必要だったのです。そういう経緯で奥さんは一命をとり止めたというの

です。

そういう奇跡が起きました。こういう一連の出来事を通して彼は変わりました。それ以降、仕事の面でも世界のいろいろな大学で教鞭を執るようになりましたし、歯科医としてもスーパードンチャーステムなどをつくりあげて大評判となっています。

■交通事故を通じて人生への反応が変化

また交通事故が起こった後に、両親とお兄さんがやっていた事業が倒産するという出来事が起きました。自分よりも優秀で、子供のころからずっとコンプレックスを持っていたお兄さんの事業が倒産したのです。この頃に彼はフォーチュンソフト社にやってきました。

彼は「何故なんでしょうか？子供のころからずっと絶対に勝てなかったお兄さんが失敗して、なぜ私の方が成功したのでしょうか？」というような質問をしてきました。

結局、彼はこういう全ての出来事を通じて、自分をようやく許すことができました。そしてお兄さんを許した。両親を許した。コンプレックスを持っていた自分自身を許した。その結果開運したのです。極端に開運しました。

■複数の印星と偏官

この人の命式ですが、当然星は全部使っています。命式が生きている状態です。例えば「アイディアが思い浮かぶ」とか「大学の教授」「学ぶことが好き」ということは、印星が沢山あるのでそれが発動しています。

【日柱が丁丑】で、【月柱が乙卯の偏印】です。彼は医療業界に革命を起こしていますが、年柱を見ると【癸卯の偏官】となっています。偏官らしい「医療革命」、印星らしい「アイディア」です。これも星が生きています。さらに地支の蔵干に注目すると、卯乙、卯乙と並んでいるので、地支蔵干の通変星が偏印、偏印となります。つまり印だらけです。ですから「アイディア」「人気」「革命」となり、全部が動いています。結局、持っている星全部が動いている人が開運しているということ。反対に開運してない人は命式の星が全部死んでいます。

■第八ハウスに月・火星・天王星

【彼の場合、生と死の体験をきっかけに人生が変わりましたが、ホロスコープでいうと】

丁乙

「和合と強固の思考」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 桃田權作 (シヨウデンシュサク)

従来の解釈 援助を受ける、放浪、
軽職、創造力、先駆者、印あり、学術、
趣味、独創、妄想、ロマン

人物 小沢一郎、古館伊知郎、横溝正史

丁癸

「変化球勝負」を求めて
「正義感・善なるもの」で動く

古典名 團蛇妖嬌 (トウダヨウキョウ)

従来の解釈 忍耐力、プロ意識、積
み重ね、不合理が許せない、言あり、
自制心、反逆、闘争

人物 坂本零士、石ノ森章太郎、山下清

庚:正財	丁	乙:偏印	癸:偏官	天干	? 十干気学	旧暦 平月 3/
子	丑	卯	卯	地支	大運は生まれた日から、9年5力/	
(水)	(土金水)	(木)	(木)		節入り日 5日 21時	
壬	癸	癸	辛	己	甲	甲
正官	偏官	偏印	偏財	食神	印	偏印
		病	病	運	? 蔵干	? 納音
					? 特殊星	

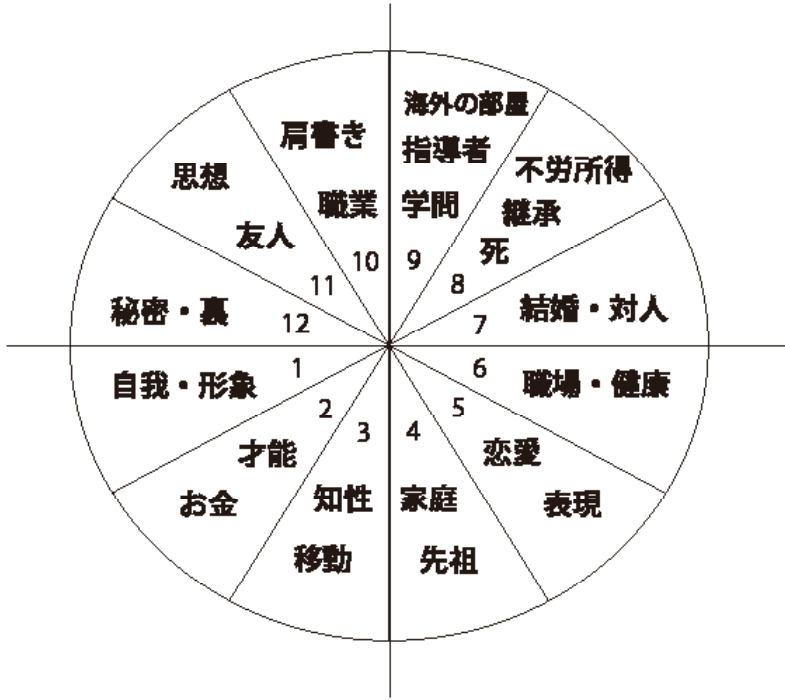
印星が目立つ
っている

命式と運の合沖 命式と財運の合沖 数え年は生まれた年が1才です。

35才	40才	45才	50才	55才	60才	65才	70才	75才	80才	85才	90才
正官	偏財	庚:正財	己:食神	戊:傷官	丁:比肩	丙:劫財					
亥	戌	酉	申	未	午						
絶	胎	養	長生	沐浴	冠帶	建祿					

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
35才	54才	55才	56才	57才	58才	59才	60才
癸:偏官	甲:印綬	乙:偏印	丙:劫財	丁:比肩	戊:傷官	己:食神	庚:正財
辛:偏財	壬:正官						
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
帝旺	建祿	冠帶	沐浴	長生	養	胎	絶
							墓
							死

■カリスマ歯科医師の四柱推命の命式



一般的な各ハウスの意味

第八ハウスに天王星と月と火星が入っています。これは生と死のハウスによって人生が変わることを暗に示しているのでしよう。

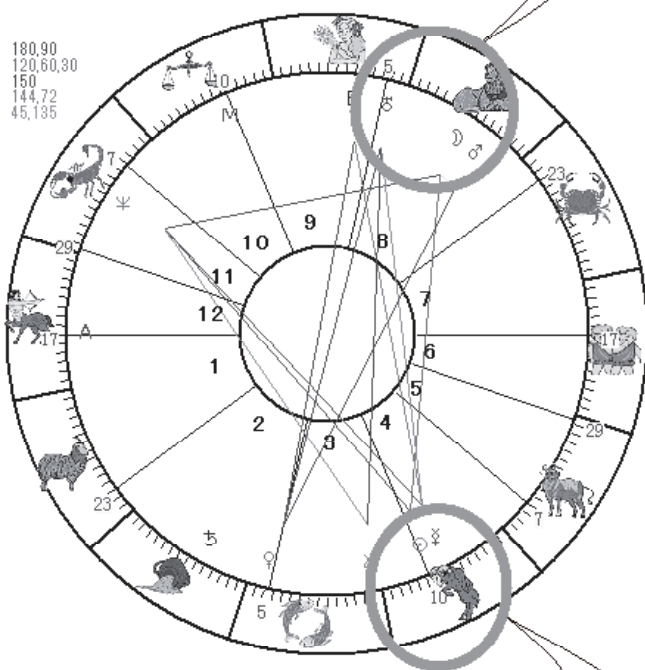
■宿曜・張

宿曜経でいうと【張宿】です。「威張る」というか「自己主張」の激しい星です。

■紫微で命宮に太陽星と天梁星

紫微斗数では【命宮に太陽星と天梁星】が入り、これはリー

第8ハウスに月、火星、天王星が入っている。心の内面が星座にあらわれ、具体的な現象や行動がハウスにあらわる。第8ハウスは、さそり座のような意味合いがあり、冥王星がルーラー、死に関係が深いハウス。大手術や深い絆などの意味もある



太陽と水星がおひつじ座で0度アスペクト。ホロスコープ全体のアスペクトは水星に集中している「新しいことに知性を使って挑戦していく人生」という様子は実際のこの人物と一致している

■カリスマ歯科医師のホロスコープ

ダー星です。これも生きています。

このように、何をみても生きている状態です。

占い屋さんならば、こういうケースは「印があるから成功したんだ」というような言い方をするでしょうが、そういう見方をしているようでは駄目です。

普通は命式にこれだけ印星が多いと「乞食坊主」という言い方をされ、貧乏な生活を送るといわれています。実際、命式に印星の多い人には乞食坊主の貧乏人が沢山います。それよりも「開運した事実を分析してみたら、全部の星が発動していて特に印星が多かった」という言い方のほうが合っているのです。

カリスマ歯科医師が事故によって 得られたという気づき

- どんな逆境も乗り越えられる
- 人生（幸せ）は自分がつくりあげる
- 本気が夢を叶える
- 人生は、現実の問題よりも、現実をどう受け止めて、それを変えていくかのほうが大切
- この瞬間を最後だと思って精いっぱい生きる

カリスマ歯科医師の著書を参照

事例⑪ 「^{だま}騙された」が**続くデザイナー社長**

■四柱推命の陰陽実虚を使う鑑定法

四柱推命を陰陽実虚に分けて鑑定する方法を解説していきます。

皆さんは当社の本やDVDで勉強済だと思しますので、それを前提に話していきたくと思います。

使うのは星平会海から印刷される鑑定書、四柱推命だけでなく占星学、紫微斗数、宿曜経もみます。そして今回教材と一緒に配布した「陰陽実虚の鑑定書」を参考資料としていきます。

己:偏財

乙

癸:偏印

壬:印綬

天干

■「だまされた」が続くデザイナー社長の四柱推命の天干

今からある経営者の人生をお話しします。六十代の男性です。彼の人生を聞きながら、皆さんは「何が実なのか？何が虚なのか？何が陰なのか？何が陽なのか？」あるいは「十干の壬が働いている」とか、「十干の乙が働いているのか？」などと想像しながら聞いて下さい。

まず四柱推命の命式の十干の構成を説明しておきます。時柱から己、乙、癸、壬です。これを「人生の何が己か？、何が乙か？、何が癸か？、何が壬か？」という感覚でみるのです。そして「星が死んでいるのか？、生きているのか？」「実なのか？虚なのか？」という観点からみていつて下さい。星の発動具合をイメージする練習です。

■好きな女の子を追いかけ上京する

この男性はまず、北海道のある高校を卒業後、東京の鉄工所に就職し

ました。そのときの動機は「同級生の好きな女の子が東京に行ったから、追いかけて行った」というものでした。「さあ、この気持ちは十干でいうとどれでしょうか？、東京まで追いかけて行った行動力はどの十干でしょうか？」と、このようにみていくのです。感情の高まりはおそらく「己」です。東京まで追いかける行動力は、勝負の「壬」でしょう。このときは星が生きています。陽実です。

■親に「だまされて」北海道に帰る

そして鉄工所に勤務してから一年後、鉄工所を辞めて北海道に戻るのですが、その理由が不思議な答えでした。「親にだまされて北海道に帰った」と言うのです。「親が危篤だ」という連絡があり、あわてて帰ってみたら、親は元氣だったというのです。

私（天野氏）は「それなら、そのまま東京に帰ってくればいいのに」と思ったのですが、彼はそこから北海道に残って広告会社のサラリーマンを始めました。そこで十年間働きました。

ここで皆さん「何か変だな」と感じたでしょうか？何が変かという点、親子関係です。お

そらく彼の内側には、親子関係で未だに解決されてない問題があるはずで、親はもう世界してこの世にはいませんが、死んだ親との間にしこりが残っているのです。

■親子関係の「しこり」が見えてくる

「だまされた」と彼は言いました。この言葉から「親が正直な気持ちを子供へ言えない環境だった、子供が正直な気持ちを親へ言えない環境だった」と推測できます。そして、この段階で「このことが彼の後の人生に影響を与えるかもしれない」と鑑定のアンテナを立てるのです。こういう「だまされた」という言葉はネガティブですから、必ず星が死んでいく「虚」の状態に陥ります。そのように予測します。

■三十代で独立、広告デザイン関連の会社を設立

彼は広告会社ではデザイナーとして働きました。当時最先端のマッキントッシュを使って仕事をしました。そして十年後、三十代で独立して自分の会社をつくります。デザインの能力を生かした、同じような広告会社でした。

ところがさらに十年後、突然会社を閉じました。その原因が「なぜ？」というおかしな理由なのです。

■従業員に「だまされて」会社をたたむ

当時、五人の従業員がいたらしいのですが、その従業員全員が、五人がかりで会社の金を使い込んだというのです。「全ての社員が、社長である自分をだまして会社の金を使い込んだ」と言うのです。それが頭にきて会社を閉じたといいます。

皆さん何か変だと思いませんか？ここでも「だまされた」という言葉が出てきました。親にだまされ、従業員にもだまされたというのです。ここで「この男性は、実は人とのコミュニケーションが上手くできないのでは？」とアンテナを立てるのです。

■デザイン住宅の建設会社で起業する

そして頭にくて何をやったかというところ、新しい会社をつくりました。彼は四十代のときに自分の家を新築したのですが、そのときの大工さんのやり方をみて「こんないい加減な工事

「だったら俺にもできる」と思ったららしいのです。そして彼は自分で、「デザイナーが設計した美しくてきれいな住宅」をつくる建設会社を起業しました。今もその仕事を続けています。

■突然心拍数が上がり救急車で運ばれる生活

私（天野氏）がいろいろと相談を受けるようになったのはここ数年の間で、彼が六十才を過ぎてからです。どういう相談だったかというところ、彼は医者に行ったところ「うつ病」と診断されたそうです。というのも時々、突然心拍数が上がり、急に血圧も上がり、気持ち悪くなつて救急車で運ばれるというのです。

■「いつかは成功できるよね」という口癖

また彼がよく口にする言葉があります。彼は、まず一言目に「頑張っていればいつかは自分でも成功できるよね」とよく言います。デザイナー住宅をつくり、一応北海道では有名な会社の経営者なのですが、自分ではまだ成功したと思つてないのです。

彼がそんなことを言うので、あるとき私は彼の家を訪ねてみました。家に行つて生活の様

子を見れば、その人の生活基準が大体分かるからです。

■高級ドイツ車など高級品に囲まれる生活

すると彼の家のガレージにはドイツ製の車が三台ありました。そのうち一台は最高級クラスのもので、新車ならば千五百万円以上はするものでした。三台合わせると三千万円以上です。それがガレージに並んでいるのです。持っている時計も百万円単位のもので、万年筆もモンブランの高級品で数十万円するものでした。こういう状況にも関わらず、彼には「自分は未だに成功してない」というコンプレックスがあるのです。だから彼は「いつかは頑張っていれば成功できるよね」と言うのです。何か変な感じがしませんか？

■下請け業者は「バカばかり」という口癖

もう一つ彼の特徴として、下請け業者のことを「バカばかり」と言うことがあります。「俺の言うことを聞かないバカばかり」と言うのです。そこで私は「業者つてどの業者ですか？」と聞いてみると、養生や基礎工事をする土木業者、コンクリート業者、住宅の電気回りの業

者、水道業者、配管業者、大工さん、こういう各業者が住宅の建設には携たすわりますが、彼は全員を「バカだ」というのです。

私は「じゃあ、あなたは何でもできるんですね。土とコンクリートをあつかえるなら、バックホーやブルドーザーなど、重機を使って自分で土地を造成したりするのですか？」と聞いてみると「機械オンチだから重機は使えない」と言うのです。「じゃあ電気は？」と聞くと「電気は詳しくないから配線はできない」と言うのです。「じゃあ大工は？」と聞くと「手が不器用だからできない」と言うのです。結局何もできません。自分では何も出来ないのに「下請け業者はバカだから」と言うのです。

■愛人に「だまされた」奥さんがノイローゼ

そういう相談を何度か受けていましたが、あるとき彼と一杯飲みながらいろんな話をするうちに、最後に出てきたのが「昔、愛人がいてだまされた」という話でした。「親にだまされた」「従業員にだまされた」「愛人にだまされた」と、彼の話には「だまされた」がよく出てきます。「どういうこと？」と聞いてみると、女が約束を破ったというのです。彼は知らなかった

らしいのですが、愛人が自宅に電話して、奥さんにずいぶん嫌がらせをしたというのです。そして奥さんがノイローゼになってしまったのです。だから「愛人にだまされた、とんでもない女だった」と言うのです。こういう人生をたどってきた人でした。

この人の人生を振り返ってみて、どの星を使っている、どの星を使っていないかを、なんとなく想像していただきたいのです。

ヒントを出します。ポイントとなるのは「壬」です。この干が怪しいのです。

■「癸」「乙」「己」の発動具合を検証する

それぞれの干をみていきます。

【癸】 知識とか情報収集の干ですから、これは使っている感じがします。

【乙】 人当たりのいい干です。「そうだね、わかっているよ」と言う感じですが、人当たりだけはいいい干ですが、実際は納得していません。これも使っています。

【己】 議論よりも感情優先の干です。これはねじ曲がっている感じがします。

■ ブログをきっかけに有名になりメディアへ露出

また最近、彼はブログをきっかけに有名人になってしまい、ラジオやテレビにも出演するようになってしまいました。彼が、そのブログで一体どんなことを書いているのかを紹介していきます。ここでも「己・乙・癸・壬が陰陽実虚との関係ではどうなのか？活性化しているのか？それとも死んでいるのか？」を想像しながら聞いていただきたいと思えます。

■ 「女性は上品あるべきだ」というブログ記事を解説する

彼は女性に対して非常にうるさいことを言っています。例えば、「女性の人は上品であるべきだ」というテーマで以下の内容を書いています。

・【電車の中で化粧はすべきでない】

・【電車の中で男は女性の腰に手をまわすべきではない】

・【女の人は食事中に鼻をかむべきではない】

・【自分の部屋（東京の個人オフィス）に来る女の人が悪い。そこで関係を持ってしまっても私は悪くない】

こういう内容を見ると、明らかに女性に対して「恨み」を抱えてるのがわかります。彼は昔、愛人からひどい目に合わされましたが、もしかすると実のお母さんからも、同じようなひどい仕打ちを受けていた可能性があります。「だまされた」とか「裏切られた」と感じた原体験です。そういう女性への恨みが、彼の星を発動させない原因となっているのかもしれない。特に愛情や感性は「己」の部分なので、ここが死んでしまっている可能性があります。

■「人生哲学の先生としての「コメント」のブログ記事を解説する

彼は今、人生相談や人生哲学の先生ということでメディアに出ているのですが、先程と同じように、ブログに書いている内容について解説していきます。

・【かっこいい大人になりたい】と書いてあります。

これは実際には、今まで六十年間かっこよく生きてこれなかった、ということの裏返しです。

・【好きに生きてほしいよ、そのほうが楽になる】

これは、「私は好きには生きてないよ、楽ではないよ」と言っているのです。

・【誰かの役に立ちたい】

これは、つまり今までの人生が「誰かの役に立ってない」という自信があるのです。

・【やりたいことをやったら奇跡が起きるよ】

これは成功哲学のマーフィーが言っている言葉ですが、すなわち彼は「今までやりたいことをやってないよ。だから奇跡が起きてないよ」ということなのです。

・【今の政治家で期待できる人物はいない、唯一期待できるのは石原慎太郎さんだけだから、石原さんに期待する】

この「期待する」という言葉の背後には恨み・妬みが隠れています。失敗すると「やっぱり駄目だった」という、恨み・妬みに変わってしまいます。他人に対する期待はすぐに恨みに変わります。

・【最近一番嬉しかったのは、ブログやテレビで有名になって嬉しい】
こうやって自分の心を慰めているわけです。

それでは、ここからは四柱推命に占星学のホロスコープ、紫微斗数、宿曜経も加えて彼の人生をみていきます。

■紫微斗数の命宮に廉貞星と陀羅星

紫微斗数では【命宮に廉貞星と陀羅星】が入っています。非常にきつい星です。だから本

来はきつい人なのです。もともと、きついことができるし、ケンカつ早い人なのです。

■占星術で火星が支配星

ホロスコープでは、【火星が支配星】です。火星は戦いです。だから戦いや闘争ができる人なのです。火星が一番強いです。

■宿曜経が亢宿

【宿曜は亢宿】です。反抗の星です。

■四柱推命の天干に壬・癸・乙・己

四柱推命の壬もケンカ星です。だから本当は、人とドンドン真正面からケンカができる人なのです。癸の知恵を使いケンカができます。表面上は乙の穏やかでやさしいふりができます。己は感情面ですから、もともとは喜怒哀楽がはつきりしている人であるはずです。

ところが、彼の人生を振り返ってみると、壬、廉貞、陀羅、亢も全部ケンカ星ですが、こ

れが全く生きていません。

■具体的なビジネスを通して星の発動状況を検証する

このことについて彼のビジネスで、最近何があつたかを説明すると、更によくわかります。私の場合、何度も会つたり、一杯飲みながら話を聞きますので、経営者はいろいろなことをしゃべってくれます。本人が言った言葉の中にしか、本当のヒントはありません。

■税務調査にどう反応したか？

十年前に彼のところに税務調査が入りました。このとき彼は「非常に理不尽な調査をされてお金を奪い取られた気がした」と言うのです。そこで私は「それでどうしたんですか？戦いましたか？裁判に持っていきまされたか？」と聞きました。すると彼は「妥協した」というのです。

妥協したけど気に食わないから、税務調査官が来たときに、納税用のお金を全て十円玉で用意したというのです。二百から三百万円くらいの金額を全て十円玉で納税したというので



す。大きな袋に十円玉をいっぱい詰めて、税務署の職員に「ここで数えろ、ここで領収書を発行して行け」と言いました。彼はそういうふうには税務調査に対応したのです。

明らかに壬のケンカ腰、火星のケンカ腰、廉貞のケンカ腰、亢宿のケンカ腰ではありませ

養命芸海法の本やセミナーDVDなどと一緒に配布された鑑定表

られたケンカから逃
 の状態になると『売
 す。ところが壬が虚
 ケンカ腰でやるので
 ず。だから、すぐに
 『徹底して限界を超え
 て勝ちに行く』ので
 す。だから、すぐに
 ケンカ腰でやるので
 す。ところが壬が虚
 の状態になると『売
 られたケンカから逃

げる』になってしまいます。『負けてもいいんだ』と投げやりになり、逃げてばかりになります。彼はこの虚の状態です。

■愛人とのトラブルにどう反応したか？

続いて、彼が愛人問題をどうやって解決したかについて解説します。愛人が嫌がらせをしてきたのなら、それに対して徹底して闘えばいいのですが、彼はどうしたかというと、その愛人にお金を渡して黙ってもらったのです。これは壬ではありません。自分ではあげたくないお金をあげて黙らせたのです。

■下請け業者からの訴訟にどう反応したか？

さらに、彼は一昨年に下請け業者から裁判を起こされました。彼は、ある下請け業者の仕事ぶりがよろしくなかったのでチェンジしたらしいのです。ところが「それは契約違反だ」ということで下請け会社から裁判を起こされました。

そして彼は東京の弁護士事務所をまわって裁判の相談したのですが、結果、弁護士からは

「おそろく勝てない」と言われました。なぜなら「あなたは元受けで、訴えたのは下請け業者、こういう構図の場合、裁判ではおそろく負けるでしょう」と言われました。

そして彼はどうしたでしょうか、彼いわく「ヘドが出そうな気持ちだったけど、金を払って和解した」というのです。

そうではなく、徹底して裁判すればいいのです。弁護士がダメなら、自分でやればいいのです。それが壬です。逃げるのは虚の状態です。ここでも星が生きていません。

■社員の育成にどう反応したか？

また彼は自分の会社に社員を採用しません。身内だけです。息子、親戚だけで固めています。なぜでしょうか。「人を育成するのが苦手だから」と逃げているのです。では育成することが本当に苦手なのでしょうか？己はもともと愛情深く、人を育成するのが大好きな星です。ですから本来はできるのです。でも逃げているのです。

■自分の性欲にどう反応したか？

そして彼は「最近、自分は禁欲生活をしている、女性から距離を置いている。欲望から距離を置いている。そうするとハッピーになるんだ」と言っています。

これも嘘です。「禁欲をします」というのは、配布した鑑定書にもあるように、『禁欲主義に走る』という己の虚の現象なのです。本来欲望大好きで、感情の喜怒哀楽も非常に激しい己なのですが、これが虚の状態になると『禁欲生活が自分に合っている』と思うようになるのです。鑑定書とそのまま一致しています。

■関西で起きた「いじめ事件」にどう反応したか？

また昨年二〇一二年の夏頃、関西でいじめのニュースがあり、子供が死んでしまいました。彼はこのニュースを聞いて、急激に血圧と心拍数が上昇し、気持ち悪くなり倒れたというのです。そして救急車で運ばれました。そして彼は、「いじめを許した市や学校、教育委員会は許せない」と言って、子供たちを救う活動をすると言っています。彼はこのニュースに異常に反応しているのです。これはいじめ問題と、彼自身が同じ波動を持っているために

起こった現象です。ですから彼も、おそらく下請け業者に対していじめているのでしょう。また自分も誰かからいじめられているのでしょう。だから、いじめ問題に過剰に反応するのです。こういう極端な反応は、単なる彼の空想です。思い込みです。

■「いじめ問題」の本質を解説する

というのも、私の子供が小学校のときにも、やはり学校でいじめが問題になりました。当時は四国の田舎に住んでいましたから、全校生徒も五十人ほどでした。私は全ての子供の親は誰なのか、顔まで知っていました。どこに住んでいるか、どんな家かもわかるのです。玄関を開けて家の中に入ったこともあります。掃除をしているのか、汚いのか、親の仕事も分かります。両親がそろっているのかもわかります。離婚して奥さんが旦那を追い出したのか、旦那が奥さんを追い出したのかもわかります。そういう内容を全部知った上で、いじめられた子供を見ると、「まあ仕方ないね、ああいう家だもんね」という感覚になるのです。現実を知っている人は全員そう思うのです。

■「いじめ」を受けていた側の子供の家の状況とは？

愛媛でいじめられていた子供の家に行ってみると、まあびつくりしました。玄関を開けると一面おもちゃだらけです。足の踏み場ありませんでした。家自体は立派な家です。しかし旦那さんはいません。奥さんが旦那を追い出しました。そして子供を見ると歯が黒いのです。子供に歯磨きをする習慣がついてないのです。虫歯だらけで真っ黒でした。歯医者にも行ってません。親が放置しています。親が子供の教育を放置しているのです。そういう状況だから、子供に自信がつくわけなのです。だからいじめられるのです。

■子供のいじめ問題は親の問題

結局、子供のいじめの問題は親の問題です。教育委員会や学校は関係ありません。そういう現実を知っている人は「あの親じゃあしょうがないね、救いようがないね」という感じで分かるのです。

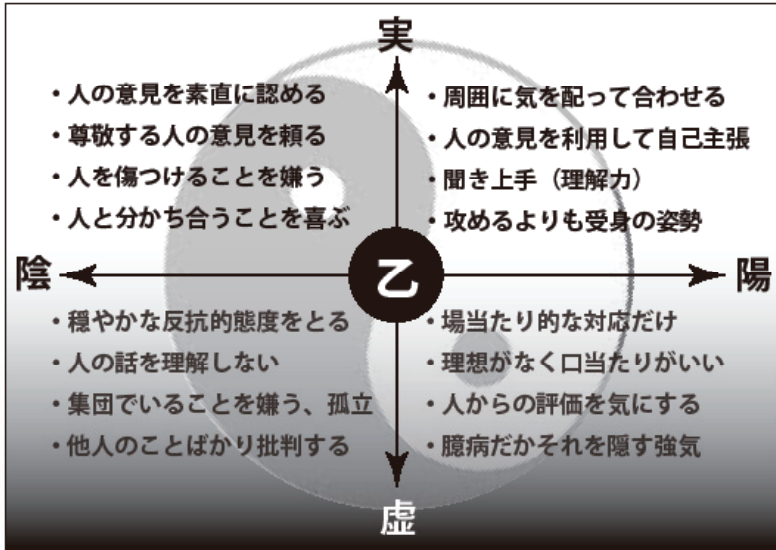
いじめの問題は親の問題です。関西のいじめの問題も同じです。子供の“友達”といういじめていた人間“が現金を盗んでいったのです。これは泥棒です。窃盗です。つまり自分の

家に泥棒が入って、お金が無くなったのに気付かないバカ親なのです。そういう現実を知らないで、テレビでいじめのニュースが放映されると、過剰に反応して倒れてしまうのです。自分が同じ波動を抱えているからです。

■ケンカできる星がことごとく死んでいる状態

ですから彼は、本来正々堂々とケンカできる星を沢山持っているのだから、散々それを使ってどんどんケンカすればいいのです。お金を使って解決するのではなく、どんどん裁判して、ケンカするならケンカする、殴り合いするなら殴り合いをすればいいのです。それができる星なのです。それを逃げてばかりいるから星が死んでしまうのです。壬、火星、廉貞、全部がケンカできる星なのです。

己も、本来愛情深い星なのだから、女性と仲良くなつたのならつき合えばいいのです。言い寄ってくれば仲良くなればいいのです。もしトラブルが起これば、全面的に闘って解決すればいいのです。全部お金で逃げるから星が死んでしまうのです。

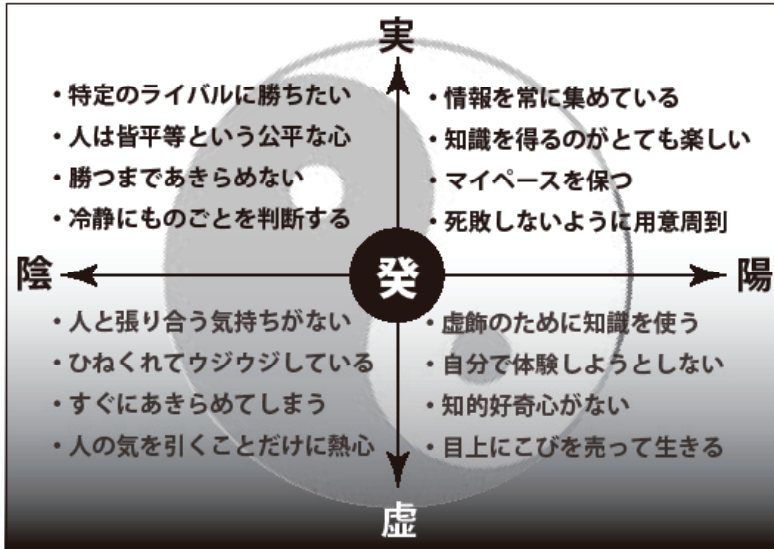


フォーチュンソフト社の「陰陽実虚四柱推命鑑定書」を転載

■ 十干をさらに詳しく解説

彼の十干それぞれについて、配布した鑑定書から抜粋して、もう少し詳しく解説してみます。乙の陰陽実虚、癸の陰陽実虚、壬の陰陽実虚、己の陰陽実虚、それぞれの概要を説明しておきます。

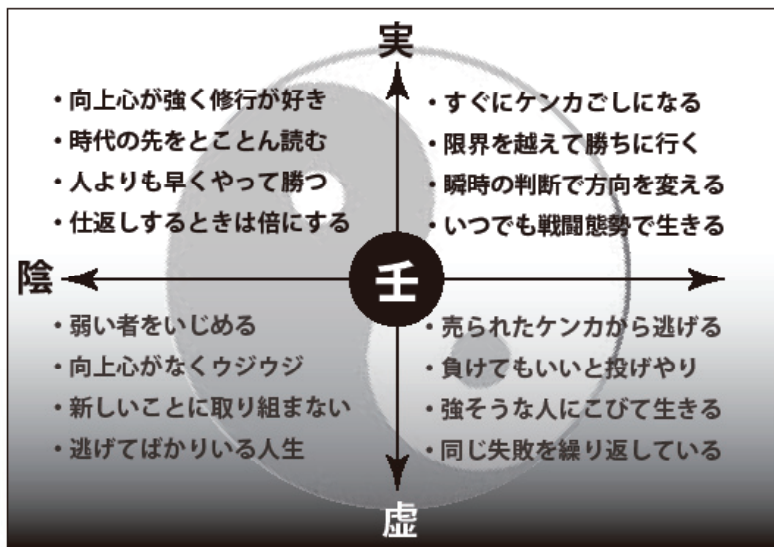
【乙】「陽実」の場合は非常に周囲に気を使います。人の意見を聞きます。「陰実」の場合は人を素直に認めます。人を傷つけません。もし傷つけたりする場合、実ではなく虚の場合です。星が死んでいる場合です。「陽虚」になると周囲に気を使うのではなく、場当たりの反応となります。人の意見を聞くのでなく、人か



フォーチュンソフト社の「陰陽実虚四柱推命鑑定書」を転載

らの評価を気にするだけです。「陰虚」になると、穏やかな振りをしていますますが実は反抗しています。人のことを認めません。理解不足です。もともと甲乙は頭の干なので頭はいいはずですが、理解不足になってしまっています。

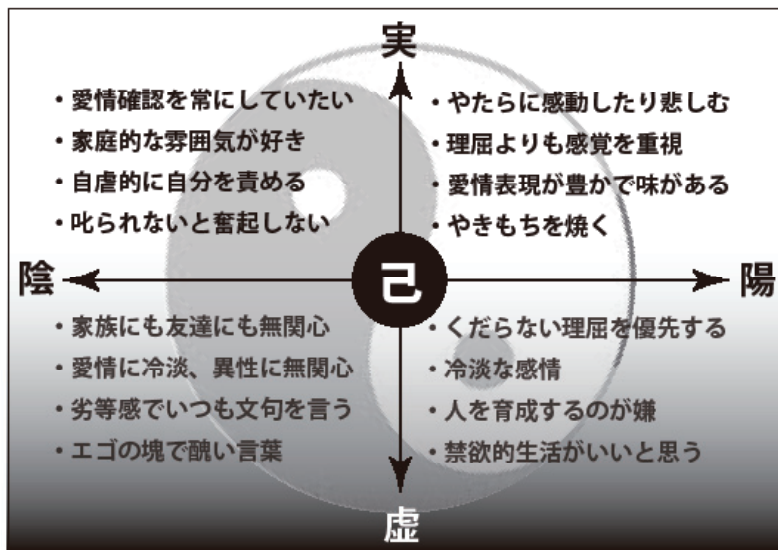
【癸】「陽実」は情報収集が得意です。「陰実」だと勝つまでしぶとくやります。壬のようにとことんまで土俵勝負をするではなく、手を変え品を変え勝つまでしぶとくやるのが特長です。それが無い場合は虚の場合で、星が死んでいる場合です。「陽虚」の場合は虚飾きよしやくです。自分を飾るために知識を使う、情報を使うとなりません。「陰虚」になると人の評価を気にするだけです。



フォーチュンソフト社の「陰陽実虚四柱推命鑑定書」を転載

【壬】「陽実」はケンカ腰です。勝ちにいけます。同じ土俵の上に立つてとことんまで指し合いの勝負をしていきます。「陰実」は向上心があり、貧乏が許せません。ところが「実虚」になると、売られた喧嘩は買わない弱虫です。負けてもいいと思つています。「陰虚」になると、弱いものいじめです。逃げてばかりいます。おそろくいじめに対しても極端に反応するはずです。いじめる側もいじめられる側も同じ波動を持っています。

【己】「陽実」は愛情第一です。理屈よりも情です。「陰実」になると、常に愛情確認をしたがりです。しかられて奮起します。己は感情ですから、感情をガツンとやられると、か



フォーチュンソフト社の「陰陽実虚四柱推命鑑定書」を転載

えって奮起します。ところが「陽虚」になると人の育成ができません。喜怒哀楽が激しいので本来は欲望も激しいのですが、禁欲生活をします。そして「陰虚」になると人に無関心です。出てくる言葉が醜いです。人を非難する言葉ばかりです。愛されたいという情の裏返しです。そのエネルギーが落ちてくると、人の非難ばかりするようになります。

これが陰陽実虚で人をみていく方法です。

第八章 開運の法則と反応システム

皆さんは、どういうきっかけで占いの勉強を始めたのでしょうか？

人間関係の悩みかもしれませんし、会社の人事の問題という方もいらっしゃると思います。もつと稼げるようになりたい・。幸せな結婚をしたい・。出世したい・。いろいろな動機があると思いますが、いずれにしても「ハッピーになりたい」「成功したい」というところにいき着くと思います。それ以外に何かあるでしょうか？

■「幸せになろうと」「占い」を学んだのになぜ不幸になる？

ところが、お金持ちになりたいとか、成功したい、人生をよくしたい、という思いから占いの勉強をはじめても、結果として、ほとんどの人が不幸になってしまうという現実があります。これは一番重要な問題です。今回はこのことについて『開運の法則』というテーマで解説していきます。

■バフェット氏と斉藤一人さんの開運法則を解説

世界で一番資産を増やした人は、アメリカ人で有名なウォーレン・バフェット氏です。資

産を四千倍にしました。日本で一番の納税した人は斉藤一人さんです。ですからフォーチュンソフト流の開運の法則は、世界一の投資家のバフェットさんと、納税日本一の斉藤一人さんの教えから学んでいきましょうということです。それ以外は無視です。なぜなら彼等以上に稼いだ人はいないからです。簡単なことです。彼らの発想を理解しないまま、よくわからないへんちくりんな本ばかり読むから貧乏になってしまうのです。

■売れるのは「技法」が書いてある本

本屋に行つてつまらない開運の本や、成功法則の本を読んでもしようがありません。その著者自身が開運してないからです。例えば、投資という分野ならバフェットさんより稼いだ人はいません。彼は最初、自分のお金と親族のお金だけ集めて運用を始めたのですが、それを四兆円にまで増やしました。この人以上に稼いだ人は世界中にいません。

しかしバフェットさんの著書はあまり売れません。テクニクが書いてないからです。反対に、儲かってない人の書いた「理論」の本が売れているのです。本屋にはこういう本が沢山並んでいます。本の内容は「技法」です。『こうやったら儲かる』というテクニクを解

説する本ばかりが売れるのです。だから本を買った人は皆を損をしますので。儲けてない人の本を読んでいるからです。

■ウォーレン・バフェットの教え

彼は自分のことを「decade trader（ディケイド・トレーダー）」と言っています。これの反対が「day trader（デイ・トレーダー）」で、毎日短期間で売買する人のことです。一方、ディケイドトレーダーは十年二十年かけて売買するトレーダーです。「ディトレーダーは儲かる」という人もいますが、バフェットさん以上に稼いだディトレーダーはこの世にいません。資産が四兆円を越えたディトレーダーは一人もいません。ということはディケイドトレーダーのほうが儲かっているのです。

■占い師を軽蔑「未来は予測不可能」

そしてバフェットさんは「占い師を軽蔑している」と言っています。なぜかというと、『未来が分かる地球人はいないから』というのです。

彼の言う「占い師」とは、街頭で手相を観たり、四柱推命で運命を観るような職業占い師のことではありません。彼は「経済の占い師」を蔑視しているのです。

つまり、「来年は株が上がるか下がるか」と予測する人です。「金上がる下がる」を予測する占い師、あるいは「ドルが上がる下がる」を予測する占い師、「景気が上がる下がるか？下がるんですか？」という占い師、「政治がよくなるんですか？悪くなるんですか？」という占い師、「これから年金システムが破壊するんですか？どうですか？」、「中国が……」。こういう連中を皆軽蔑しています。未来は誰にも分からないからです。

■未来を予測したがるのは「ただの感情」

「未来は誰にも分からないけど……」と思う一方で「世界のどこかにはそういう未来を予測できるテクニックがあるはずだ」という気持ち皆さんの心の中にもあると思います。しかし、こういう思いに対してバフェットさんは「その思いは知性なのか？」と問うています。そして「そういうものは知性でなく、ただの感情だ」と続けています。つまり「未来を予測すること」は、好き嫌いと同じだということです。リングゴよりミカンが好きとか、この人

好きですか嫌いですか、という感情のレベルの話だということです。「誰にも分からないものは分からないんだ」と反応するのが知性です。「わからないものを知るテクニクがどこかあるはずだ」と探すのは感情なのです。

株価の上下などの一切の予想は、通常「現状から良くなるか悪くなるか」でしか発想しません。これは二分思考です。つまり二分思考は知性ではないのです。結局、二分思考とは感情なのです。好き嫌いです。

■バフェットの言う「一番の才能とは？」

世の中には一見すると理論的であり、権威がある予測があります。例えば新聞、ネットは全部そうです。ドイツ証券がああ言ったこう言った、ゴールドマンサックスが・・・、シティバンクが・・・、ジョージ・ソロスが・・・。こういう、一見理論的であり、権威がある予測を「排除する能力」、バフェットさんは、これこそが一番の才能であり、成功の秘密だと言っています。つまり独立思考のことです。周りに全く影響されない思考のことです。

彼の本には、こういうことが書いてあるのですが、売れません。「技法」が無いからです。

■ バフェット流「金持ちになれない人」

また彼は「金持ちになれない人」について解説しています。

▲ 「過去の歴史を分析して将来を予想する人」

つまり「占い師のふりをするな」と書いてあります。

▲ 「他人の考えに影響される人」

これは結構やっかいです。他人とはやっかいなものなのです。この「他人」とは親の考
えとか、生まれ育った環境も当てはまります。事例集で紹介した北海道のカリスマ歯科医も
そうでした。彼も「東大に入れなかつた自分は劣っている」という他人の考えに四十年間も
支配されてきました。

普通の人は、誰でも大学の先生や仕事の上司、社長に影響されています。会社では上司に
影響されなければ給料はもらえません。テレビ、メディア、宗教も同様です。自分以外のもの

のに影響されて、自分の内側を見ないのです。自分を信じないで、他人を信じているのと同じです。だから金持ちにはなれないのです。

▲【100の高し人】

意外なことに頭のいい人は金持ちにはなれません。ここで言う「頭のいい人」とは学問のできる人のことです。

昔の人類はスピードの遅い変化をしてきました。ところが二百年前の産業革命の辺りから、人類はものすごく急激な変化をしています。戦争も昔は一対一で一生懸命チャンバラをしていましたが、今では時間が十分もあれば核兵器で地球全体を滅ぼすこともできます。

そして学問がフォローできるのは産業革命後くらいまでが精一杯なのです。つまり学問に「今」は無いのです。学問はリアルタイムから何十年も遅れているのです。はるか昔につくられた学問は、今の時代には通用しません。

■学問はリアルタイムをフォローできない

ところがIQの高い人というのは、過去につくられた難しい学問を一生懸命マスターすることに喜びを感じています。過去に終わってしまった古い学問を勉強することに喜びを感じているのです。だから金持ちになれないのです。今の時代に合っていないからです。

今、リアルタイムで起こっていることは学問になりません。過ぎ去った過去を分析、整理しているのが学問です。だからIQの高い人は意外と貧乏になっています。事例集で何人か紹介したので、皆さんも分かっていたのだと思います。

▲【株価を予想する人】

株価を予想せずに、企業の価値をみる人が金持ちになります。これを実践するのはチャートを見ないので非常に難しいのです。ところが、このことは占いにも応用できるのです。『株のチャートをみる人は貧乏になります』ということですから、同様に『命式をみて、ああだこうだいう人は貧乏になります』ということです。実際の人物そのものをみて価値を見出す人は成功します。

ところが有名な占い師やカリスマ的な占い師というのは、命式をじっくりとみます。相談者と会話もしないで、ズーッと命式をみて「当たった」とか言って喜んでいきます。ちなみに、

こういう人達の特長として五十代くらいで早死にしているという傾向があります。

■日航機事故を分析した有名な易者

ある有名な東京の易者で、昔、日航機の墜落事故があったときに、乗客全員の命式を出して共通点を探し出した人がいました。そして「乗客にはこういう共通点があった。だから死ぬ運命だった」というようなことを発見して話題になりましたが、その人も五十代で死んでしまいました。

またバフェットさんは面白い方をしています。野球を観に行つて頭のいい人はスコアボードを見ていろいろと研究するが、バフェットさんは点数を見ないというのです。そこは見ずに、グラウンドの選手の筋肉の動きを見るところです。頭のいい人はスコアボードを見て失敗するのです。こういう発想の癖をつけないとお金持ちにはなれません。

■バフェット流「金持ちになる人」

では次に金持ちになる人です。

●【目の前のことだけに注目している】

未来には無関心です。

●【誰にも影響されない人】

誰にも影響されない人とはどういう心理状態でしょうか？「インターネットのあの人はあ
あ言った、こう言った」こういう情報には関心がありません。絶対的な安心感があるので不
安ありません。くつろぎます。自分に自信ができるのです。

●【IQの高くない人】

古い学問をしなければ金持ちになれません。頭が洗脳されてないから金持ちになれるのです。

●【価値を見る人】

企業の価値、人の価値を見る人です。「その人にはどういう価値があるのか？」「その商品
にはどういう価値があるのか？」を見るということです。

●【複雑なものを嫌う人】

シンプルが好きな人です。

●【あつという間に金持ちになることを嫌う人】

あつという間に金持ちになる人は、あつという間に貧乏になるのです。

●【予想と違って受け入れる人】

■齊藤一人さんの教え

次は齊藤一人さんです。この人も実はバフェットさんと同じようなことを言っています。ところが言い回しが全く違います。西洋人と日本人の感性の違いです。それを紹介します。

一人さんはよく講演会で「アメリカ人は金持ちになる本当の秘密を知っているよ」と言っています。「日本人は勝てないよ。経済では勝てないよ」と言っています。それでは我々日本人が成功するにはどうしたらいいのでしょうか？

■人生に困ったことは起こらない

一人さんは「人生において困ったことは起こらない、絶対に起こらない」と言っています。実はこれはバフェットと同じことを言っているのです。ずいぶん言い回しは違いますが、同じです。

「人生に困ったことは起こらない」と言うのですが、その理由は「神は意地悪ではないからだ」と言っています。もし困ったことが起ったとしたら「それは違うよ」というメッセージだということです。

こう言うと「そんなはずはない、困ったことは起ります。例えば原爆が広島と長崎に落ちました、困ったことじゃないですか！」という人がいます。

それに対して一人さんは「それは違う」と言うのです。なぜなら、それまでの日本人は戦

争好きだったのです。「神風が吹いて負けない」と言っ、喜んで若者が敵へ突っ込んで行く、そういう風潮でした。そういうものに対して「違うよ」と言っているのです。分かっているから原爆を落としたのです。米国が原爆を落として六十年くらい経ちましたが、日本人は変わりました。誰も戦争をしたいと思っ、ていません。このことを原爆が落ちる前に気付いて、分かっ、てしまえばいいのですが、分からないからそういうことが起ったのです。だから困ったことは起きてないのです。分からないから、ひどいことが起るだけなのです。

■人間関係の悩みを自己中心

また、よく「人間関係で悩みがある」といいますが、それも同じように困ったことではありません。何も困らないのです。人間関係の悩みは全部「相手を変えたい」という悩みです。自分の思うように相手が動かない、反応しないという悩みです。しかし、よく考えてみれば、そんなことはできるわけではないのです。変えられるのは自分だけです。

だから人間関係で悩むということは「自分を変えろ」というメッセージなのです。人間関係で悩んだら「とっ、と自分を変えろ」ということです。相手が思い通りにならないといっ

て悩むのはバカな人の発想です。自分を変えてしまえば、そういう悩みはすつとなくなりません。悩みの根本は「自分は変わらない、でも相手を変えたい」という自己中心なのです。

■「努力すれば成功する」の嘘

また多くの日本人の持っている間違った価値感に「努力すれば成功する」というものがあります。これも嘘です。これは共産主義と同じ発想です。「八時間働いたら八時間分の給料を下さい」という発想と同じです。一時間だけ働いて同じ効果があればそれでいいじゃないですか？努力せずに成功するのが本当です。

■バブルはいいのか？悪いのか？

これに関連した質問ですが、バブルを潰したのはいいことでしょうか？悪いことでしょうか？「バブルは悪いことだったから潰した」と思っている人がいますが、バブルで景気がいいときは誰も困ってないのです。

タクシーの運転手、銀座の飲み屋のお姉さん、ゴルフ屋さん、企業もサラリーマンも儲かっ

た。経営者も儲かったのです。しかし「バブルを潰せ」と言った連中がいたのです。これが当時の橋本総理と大蔵省です。頭のいい連中が潰したのです。

■バブルが潰された理由とホリエモン

それではなぜ彼らはバブルを潰したのでしょうか？

バブルというのは、例えば百万円の土地が一千万円になったということです。それだけ儲かりました。ところが総理大臣や大蔵省は、それに対して「よかったね」とは言わないのです。「けしからん」というのです。

つまり「不労所得は悪である」という思いです。さっきの「努力すれば成功する」と同じ発想です。つまり金持ちに対する妬み嫉妬です。

公務員はバブルの恩恵を受けていません。給料は変わりません。ところが公務員は皆東大卒のエリートです。「公務員はこれだけしかもらってないのに、民間企業の連中はいい思いをしている」という妬み嫉妬があつたのです。そういう思いからバブルを潰したのです。今も彼等是不労所得で儲けている人間は、悪い奴だと思つています。例えばホリエモンなども

そうです。妬み嫉妬で潰すのです。

金持ちが小さくなって、家も大きく建てられないし、本当はメイドを雇ったりしたいのですが、周りがうるさいので雇えない、金持ちが縮こまってしまいうシステムをつくりあげました。だから景気がよくならないのです。「この辺りがわからないと日本の景気はよくならないよ」と、一人さんは言っています。

■環境の支配から脱皮して、運命に支配される人生を送ろう

生きていると、いろんな事柄（ことがら）が起ります。人はいろいろな事柄や出来事に影響を受けていると考えがちですが、本当はそうではありません。

■会社からリストラされた後の反応の違い

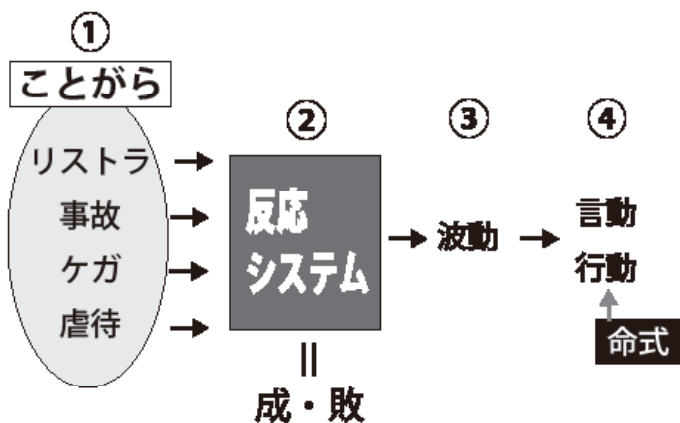
例えば、会社からリストラされたとします。このとき人は「会社からリストラされた」という事柄に影響を受けているわけではありません。リストラされて、奮起して会社をつくった人もいます。「こんな会社からリストラされて、清々した、ああさっぱりした、明日から

自分は自由だ」と会社をつくる人もいます。一方、いつまでもグジグジグジグジ言っている人もいます。あるいは街頭でビラを巻いて「リストラ反対、不当解雇を許すな」みたいにやっている人もいます。全部同じ「リストラされた」という事柄が起こったのですが、後の人生が違ってきます。結果が違います。ですからリストラという事実、つまり事柄で人生は変わらないのです。これが重要なのです。このことがわからないと開運できません。

■各人の反応システムが開運の鍵

各人が持っている反応システムが、事柄にどう反応するかが問題なのです。何かの事柄が起こり、それに対して反応システムがある反応をして、その人の持っている波動に上がりまします。波動は具体的な言葉、行動になって表れます。【左頁図参照】

結局、どういう反応システムを持っているかで人生が決まるのです。命式では決まりません。あなたの持っている反応システムが人生の成敗を決めるのです。①ことから（リストラなど）↓②反応システム↓③波動↓④言葉・行動の順番です。そして命式が発動するのは④の行動のところでは②の反応システムには命式は作用しません。



力を与えてくれる ⇒ ポジ型反応システム
 不安・恐怖を与える ⇒ ネガ型反応システム

■カリスマ歯科医の反応システム

例えば事例集で紹介した歯科医は交通事故に会いました。奥さんが半身不随になりました。そうなったきっかけは交通事故です。それに対して「このまま人生を終わってはいけない」という思いで事故に反応したのです。その結果、今はスーパー歯科医となりました。歯科医が経営難で倒産していく時代に伸びています。

一方事故にあって、ずっと恨みつらみを言い続け、相手のドライバーを恨みながら死んでいく人も多いです。同じ事柄が起っても、どういう反応システムを持っているかで成敗が決まります。

■落馬から新事業に着手

私（天野氏）も新しい事業をやっています。北海道に数千万円を投資しながらやっているのですが、きっかけはケガです。「運命学大全」にも書いてあるのですが、乗馬中に馬がひっくり返って落馬して、私は背骨を折ってしまいました。そのときに「どうしてなんだろう？自分の技術がなかったからそうなったのか？それにしても乗馬クラブの事故が多いな」と思っていました。私に通っていた乗馬クラブでも一年間で三人が骨を折っていたからです。

「競馬馬に乗っているのではなく、乗用馬でそれだけ事故があるのはおかしいんじゃないか？」と思うようになりました。そして全国の有名な乗馬クラブや、馬の生産元の牧場を周って見た結果、今の日本の乗馬クラブのシステムに問題があることを発見しました。そして新しい事業を展開させたのです。きっかけは背骨を折ったというケガでした。

■反応システムがマイナスをプラスに転換

私の反応システムが、ケガをただのケガでは終わらせませんでした。プラスに転換するのです。このように成敗を決めるのは事柄ではありません。反応システムなのです。

あるいは親から虐待された。こういう人は多いです。特に女性で親や親族から性的虐待を受けている人も多いものです。それをずーっと恨んで終えるのか、それをひっくり返してプラスに転じて、困っている人を救うような事業にするのも反応システムしだいです。

■人生が失敗する人は不安と恐怖の反応システム

出来事や事柄で人生が決まるものではありません。成功しようと思ったら、どういう事柄が起こっても力を与えてくれる、ポジティブ型の反応システムを持っているしなければいけません。こういう人と実際に会って話をしてみると、だいたい気持ちのいい人です。

反対に、失敗の人生を送ろうと思うなら、何があっても不安と恐怖を与えてくれるシステムを持っていればいいのです。どんなことが起こっても不安と恐怖になります。

例えば株が上がって儲かったとします。その結果、その人は成功すると思えますか？このときに、その人の反応システムがネガティブ型になっていれば、もし儲かってお金持ちになつたとしても不安と恐怖に支配されるのです。

■恐怖から大底で買った株を手放す

私の知り合いで株のチャート図をみる天才がいます。十年以上ずっとチャートを見続けている人です。リーマンショックの大底も当てました。彼はそこでごっそり株を買いました。ドンピシャでした。大成功です。しかし彼の持っている反応システムがネガティブでした。

株価がすつと上がってくると「今売らないと損をするんじゃないか、将来下がったらどうしよう」と、どんどん不安の思いが上がってくるのです。不安と恐怖に襲われてしまうのです。ですから彼は株を買ってわずか一カ月後に売ってしまいました。そのまま持ち続けていれば相当儲かっていたはずです。

このように反応システムがネガティブだと、どんなに成功しても次に失敗してしまいます。逆に反応システムがポジティブならば、どんなに不幸な事件があっても結果は大成功するのです。

■ポジ型の反応システムを解説する

では続いてこの反応システムについて詳しく説明します。ポジ型の反応システムさえ持つ

ていれば怖くありません。

■【他人を成功させたい。困っている人を助けたい】

他人を成功させたいと思つていきます。困っている人を助けたいのです。そういう愛情があり、自分だけ成功すればいいというものではありません。困っている人がいると、助けたいという反応です。

■【自分の限界を破る】

自分の限界をドンドン破つていきます。破つてみるのが大好きです。ですから「できません」とは言いません。「やってみましょう」と言います。「まずやってみましょう」と言うのです。「自分には無理です。出来ません」とは言いません。こういう人は命式が全部発動します。

■【他人の成功をお祝する】

自分以外の人の成功をお祝いします。人の成功を喜べます。だいたい妬み嫉妬というものは、自分がやらないから発生するのです。自分が限界までやっていると、妬み嫉妬は出ない

のです。やり切ったという満足感だけです。人と自分を比較して妬むというのは、まだまだやってない証拠です。

■【失敗したらどうしようという発想がない】

「失敗したどうしよう」という発想がありません。失敗という選択肢が頭の中ありません。全くありません。こう言うと「じゃあ実際に失敗したらどうするんですか？」と、こういう質問があります。その答えは昔の武士と同じです。

死ぬ決意です。そこまでやって、失敗して飯が食えないならもういい、思い残すことは無いです。という心境です。昔の戦国時代の武将は全部そうです。負けたら家族全部が死ぬのです。いつも腹を切るという覚悟でやったのです。だから頭も回ります。失敗したら腹を切るといふ決意があるから頭が回ります。こういう人は各分野のリーダーです。事例集で紹介した人達もそうです。最低でも年収はだいたい一千万円以上です。

■ネガ型の反応システムを解説する

▲【他人に甘えるだけ】

他人に甘えます。やって欲しい、助けて欲しい、甘えるだけです。

▲【グジグジしている】

グジツとしています。命式は発動しません。

▲【妬み嫉妬が多い】

妬み嫉妬も多いです。これは自分がやり切っていないからです。

▲【常に不安と恐怖に支配されている】

常に「失敗したらどうしよう」という不安と恐怖に支配されています。死の覚悟もしていません。いわゆる腰抜けです。腰抜け人生です。だいたいこういう人が死ぬと自縛霊になっ

てしまいます。あの世に行けず、誰かにとりついてしまうのです。はっきり言って迷惑です。地球にとって公害です。こういう人はだいたい年収も三百万円です。

本当に金持ちになりたいのなら、ポジティブの反応システムになることが必要です。「失敗という選択肢は無い」という腹を持ってやるのです。「自分にはできない」と言いません。できなくてもやるのです。そうすれば自然にポジティブになっていきます。そうすれば成功します。年収一千万円はとれるようになります。

おわりに

「世の中うそばかり（常識が変わる節目）」

昨年二〇一二年は、約百六十五年ぶりに海王星がルーラーの“うお座”に戻ってきた年でした。そして年末の十二月二十一日でマヤ暦が終わり、時代は新しい段階へ突入したと言われています。

あの東日本大震災・福島原発事故後から、もう丸二年が経とうとしています。この数年の、私たちを取り巻く環境の変化には著しいものがあります。

民主から自民への政権交代をはじめとして、かねてより日本経済の有力な取引先と思われる中国が、尖閣諸島や人権の問題などで、リスク高が表面化し、政治・経済の注目は、がぜんミャンマーやタイなどの東南アジア諸国に注がれるようになっていきます。

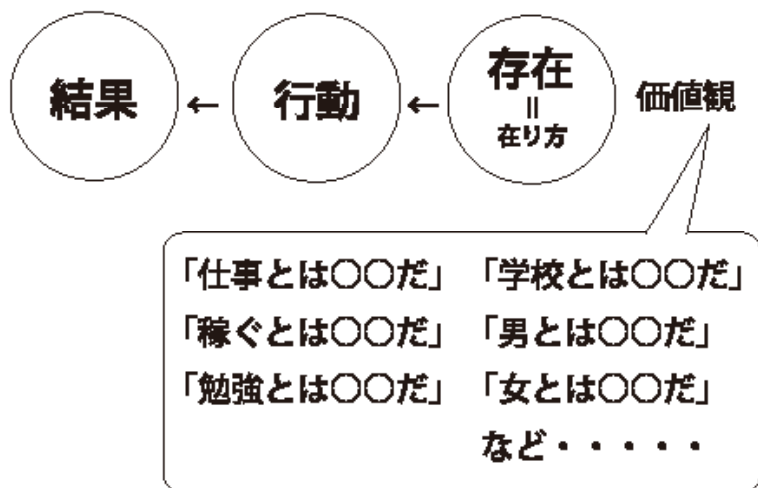
またソニー、シャープ、パナソニック、任天堂といった日本を代表するような企業が軒並み業績が悪化するという、数年前までは誰も予想できなかった現象が起こっています。何がどうなるのか？何がこの時代に通用する価値観なのか？混沌としている今の状態は、本当に古い時代と新しい時代のつなぎ目であることが実感されます。

そういう混沌の中、私たちは一体何をよりどころとして、日々を過ごしていけばいいのでしょうか？

今回「星平会海 占術融合法 奥義口伝」の書籍を作成するにあたり「開運すること」について改めて考えさせられました。

本書の人物事例集を、じっくり読んでいただけると分かりますが、「開運する」とは『環境に支配されず、運命に支配される』ことだと改めて思われました。「真面目に努力すれば報われる」「大人になったら会社に勤めて社会人として立派に働く」「学校に毎日通

存在・行動・結果の関係図

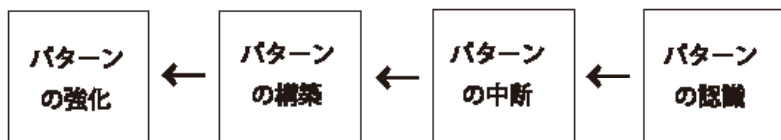


結果を変えようと思うなら、行動を変えることが必要、もっと突き詰めると「存在」を変化させることが必要となる

うことは素晴らしい」「偉い人が真理を教えてください」のように、私たちは知らず知らず、いろいろな価値観を環境から吸収しながら年を重ね、環境に従って生きています。

その結果「人生が幸せで、本当に生きていることが楽しい幸せだ」という人は、何も問題無いのですが、もし現状に違和感や苦しみを感じているとするならば、自分が無

「存在」=在り方の変化する順番



意識に選択している、今まで培ってきた価値観を疑ってみることが必要だということです。

特に今は、時代の変わり目ということもあり、数年前、数十年前までの価値観が通用しなくなっています。「いい会社に入れば定年まで勤めることができ安泰だ」「貯金をしておけば、自然にお金が増える」「一流大学に入っておけば幸せになれる」などの価値観は、明らかに通用しにくくなっていることは皆さんも実感されていると思います。

占いに關しても価値観の源となる「理屈」は山ほどあります。「天干の並びが貴だから幸せになれる」「調候用神があるので、のほほんと人生を過ごせる」「喜ぶ財星が回ってくるからお金に恵まれるだろう」などと当たり前と言われているが、こういった内容が実際の人生には通用しない理屈であ

ることは、天野雲海氏の解説によつて粉々に粉碎されています。

本当に新しい時代を生き抜くためには、自分自身の内側の「思い」を強くすること、そして、それに従う勇氣が必要だと改めて感じさせられました。世の中には使えないウソがはびこっているからです。

本書には、皆様を「開運人生のスタートライン」に立たせてくれるためのヒントがちりばめられています。また、これからどう行動していくべきかのインスピレーションが与えられる内容になったとも感じています。

本書を上手く活用していただければ、あなただけの「オリジナル星平会海人物象意伝」をつくることもできます。そして、そこから新しい価値が生まれ、それが多くの方々に勇氣や平安を与えるものへと進化することもできるでしょう。

そのような、嬉しいお知らせが届くことを心待ちにしつつ「おわりに」とさせていただきます

ます。ありがとうございました。

二〇一三年（癸巳）三月吉日

発行責任者 有川馬鯉























四柱推命 十干のキーワードと十二支



甲	言葉による思考、	寅
乙	和合と協調の思考、	卯
丙	強い集中力、	巳
丁	正義感・善なるもの、	午
戊	信頼されたい、	辰 戌
己	愛されたい、	丑 未
庚	マネーの損得勘定、	申
辛	精神の損得勘定、 繊細な神経、	酉
壬	真っ向勝負、	亥
癸	変化球勝負、	子



占星学 惑星のキーワードと十二星座

月		感情		かに
水		知性	 	ふたご おとめ
金		楽しい・快楽	 	てんげん あうし
太		目標・エネルギー		しし
火		やる気		おひつじ
木		社会との関係性		いて
土		コツコツ・拘束		やぎ
天		独立・変革		みずがめ
海		理想・幻想		うお
冥		徹底してやる ・破壊と創造		さそり

発行責任者 有川馬鯉
(古い開運塾 代表)

落丁本・乱丁本・印刷ミスの本は、ご連絡下さい。
送料当方（有川）負担でお取替えます。

連絡先
【e-mail】 kawasaki-unmei@mbr.nifty.com
【電話・FAX】 044-271-6206
